

令和3年度 栄区民意識調査 結果報告書

令和4年1月
横浜市栄区役所



目次

1. 調査の概要		2
2. 回答者の属性		4
3. 集計分析結果		9
1. 生活の満足度について		10
2. 定住意向について		20
3. 生活意識について		29
4. 道路・交通について		64
5. 健康・福祉について		67
6. 子育てについて		84
7. 防災について		88
8. 救急について		100
9. 地域のつながりについて		102
10. 多文化共生について		111
11. 友好交流都市について		120
12. 読書について		130
13. 広報について		132
14. マイナンバーカードについて		151
15. 環境行動について		165
4. 参考資料(調査票)		169

1. 調査の概要

調査概要

【調査の目的】

栄区民のみなさんが暮らしの中で感じる満足や不安、生活スタイル、地域のつながりなどの意識を把握し、今後の区政を進める基礎資料として活用する。

【調査対象】

栄区内に居住する20歳以上の男女3,000人

【抽出方法】

住民基本台帳からの無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査期間】

令和3年11月15日～12月3日

【回収数】

1,481件（回収率49.4％）

【集計結果の見方】

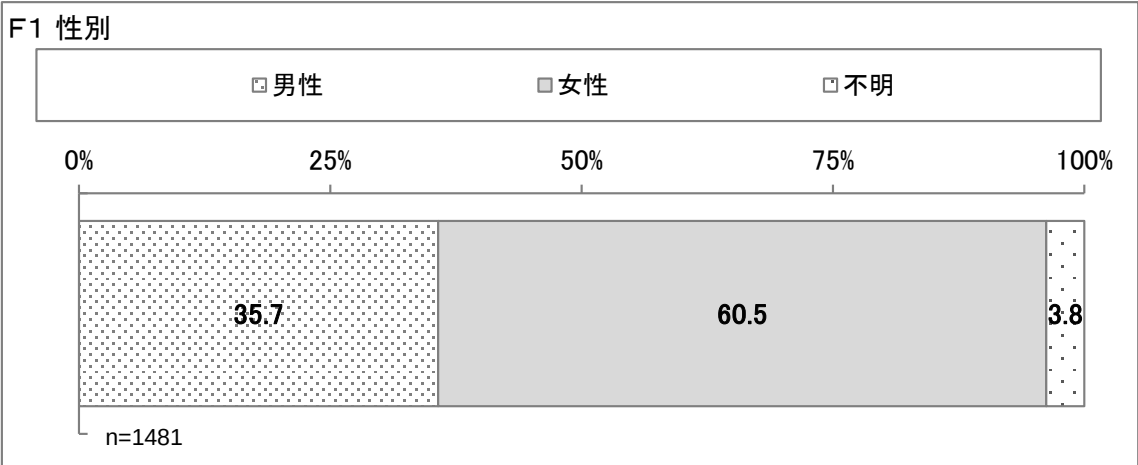
1. 図(グラフ)の中で使用されている「 $n=〇〇$ 」は、その設問に対する回答者数をあらわす。
2. 回答の比率(すべて百分率(％)で表示)は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100％を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100％にならない場合がある。
3. 項目をまとめてひとつのカテゴリーにする場合(例えば問1など)、各回答項目の回答者数の合計を基数として％を算出している。各回答項目は小数点第2位以下を四捨五入しているため、回答項目の％の合計と一致しない場合がある。

2. 回答者の属性

回答者の属性

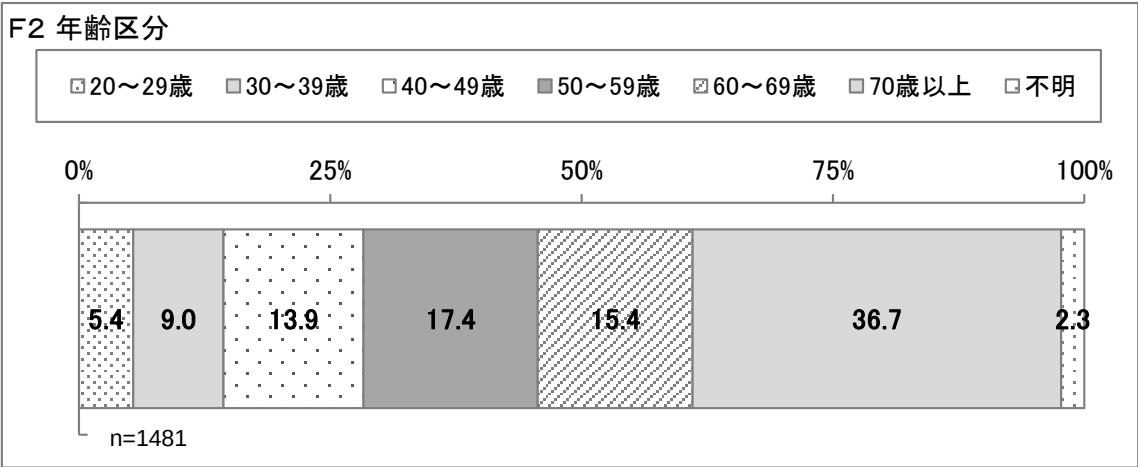
【性別】

- 「女性」が60.5%で、「男性」(35.7%)より24.8ポイント多い。



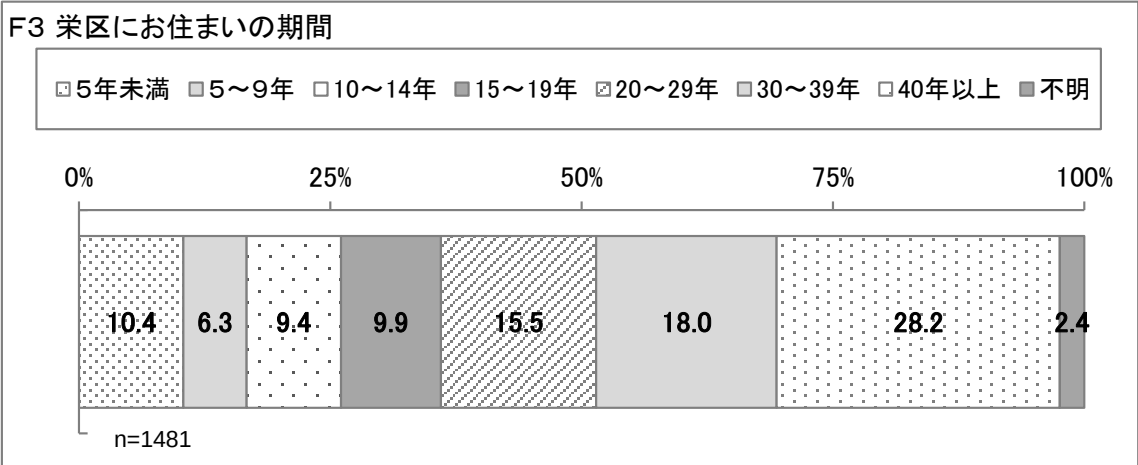
【年齢】

- 「70歳以上」が36.7%で最も高い。「20～29歳」は5.4%で最も低い。



【居住期間】

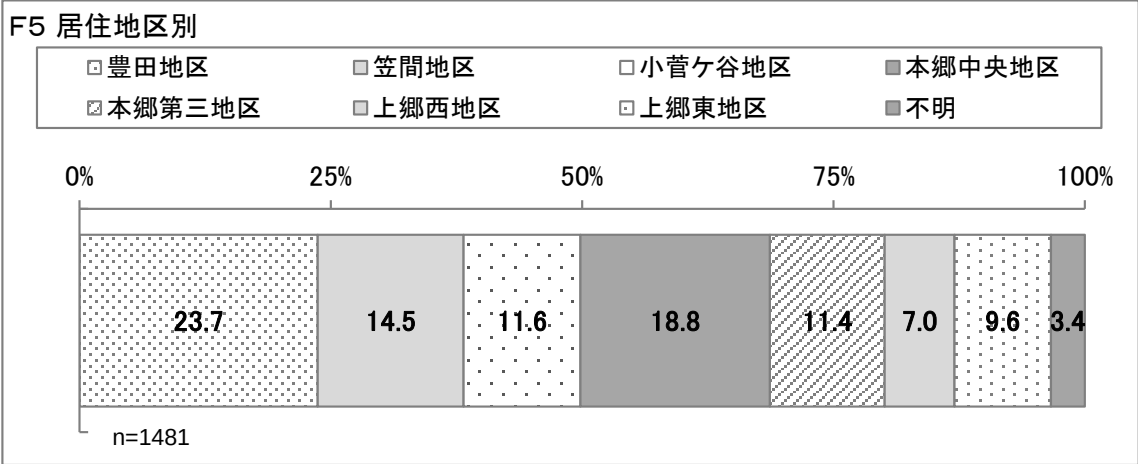
- 「40年以上」が28.2%で最も高く、「30～39年」が18.0%で続く。「20年以上」が全体の6割強を占める。



回答者の属性

【居住地区】

- ・ 「豊田地区」が23.7%で最も高く、「本郷中央地区」が18.8%で続く。「上郷西地区」が7.0%で最も低い。



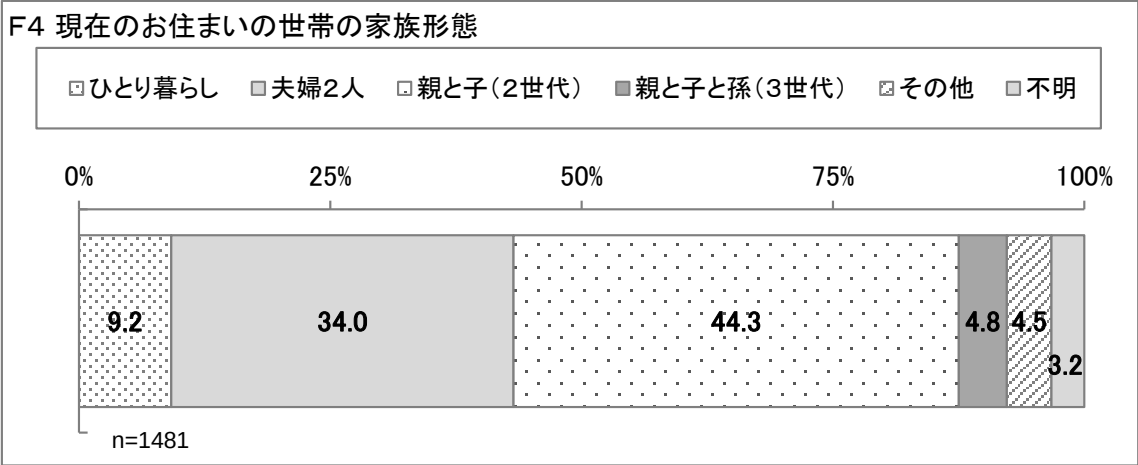
豊田地区: 飯島町、金井町、田谷町、長尾台町、長沼町、本郷台一丁目～五丁目
笠間地区: 笠間町、笠間一丁目～五丁目
小菅ヶ谷地区: 小菅ヶ谷町、小菅ヶ谷一丁目～四丁目、小山台一丁目～二丁目
本郷中央地区: 桂台北、桂台中、桂台西一丁目～二丁目、桂台東、桂台南一丁目～二丁目、桂町、公田町
本郷第三地区: 鍛冶ヶ谷町、鍛冶ヶ谷一丁目～二丁目、中野町、柏陽、元大橋一丁目～二丁目、若竹町
上郷西地区: 犬山町、尾月、上之町、亀井町
上郷東地区: 上郷町、庄戸一丁目～五丁目、長倉町、野七里一丁目～二丁目、東上郷町

※町界で区分しているため、連合町内会のエリアとは一部異なっている部分があります。

回答者の属性

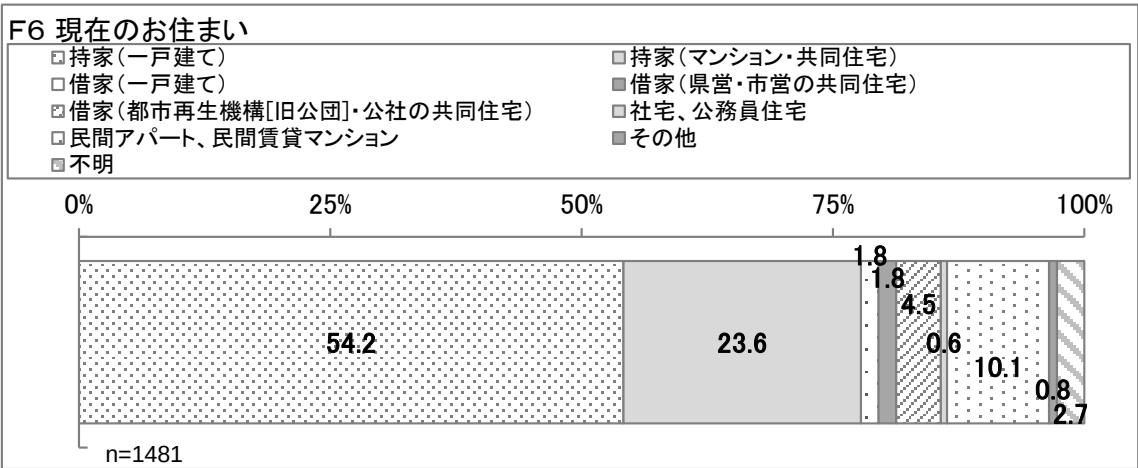
【家族形態】

- 「親子(2世代)」が44.3%で最も高く、「夫婦2人」が34.0%で続く。「ひとり暮らし」は9.2%。



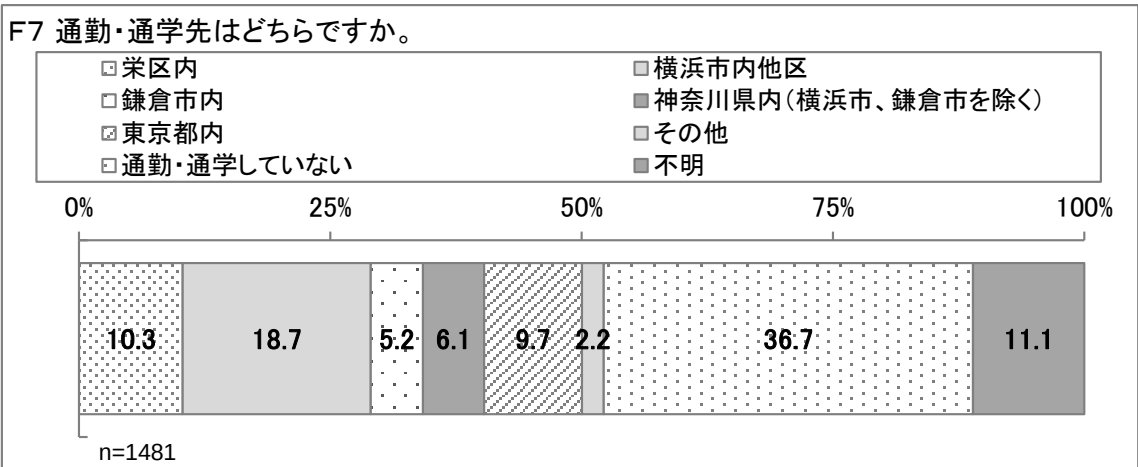
【住居形態】

- 「持家(一戸建て)」が54.2%で最も高い。「持家(マンション・共同住宅)」が23.6%で続き、持家の比率は全体の8割弱を占める。



【主な通勤・通学先】

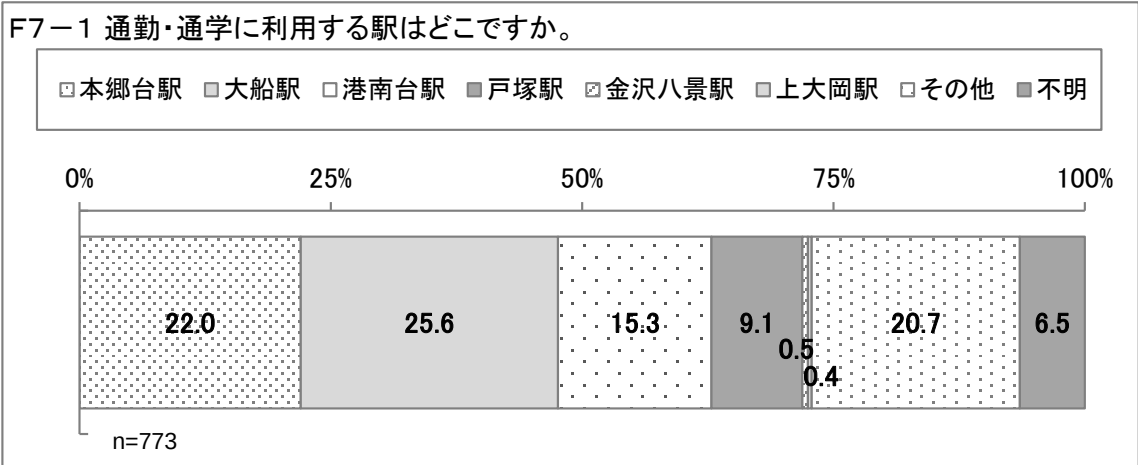
- 「通勤・通学していない」が36.7%で最も高い。通勤・通学先では「横浜市内他区」が18.7%で、「栄区内」(10.3%)、「東京都内」(9.7%)を上回る。



回答者の属性

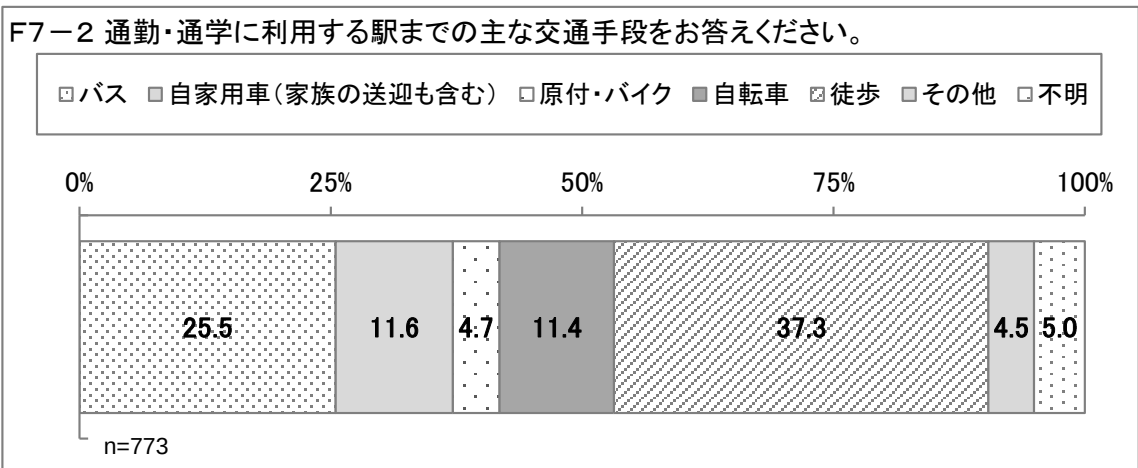
【通勤・通学に利用する駅】

- 「大船駅」が25.6%で最も高く、「本郷台駅」(22.0%)、「港南台駅」(15.3%)が続く。



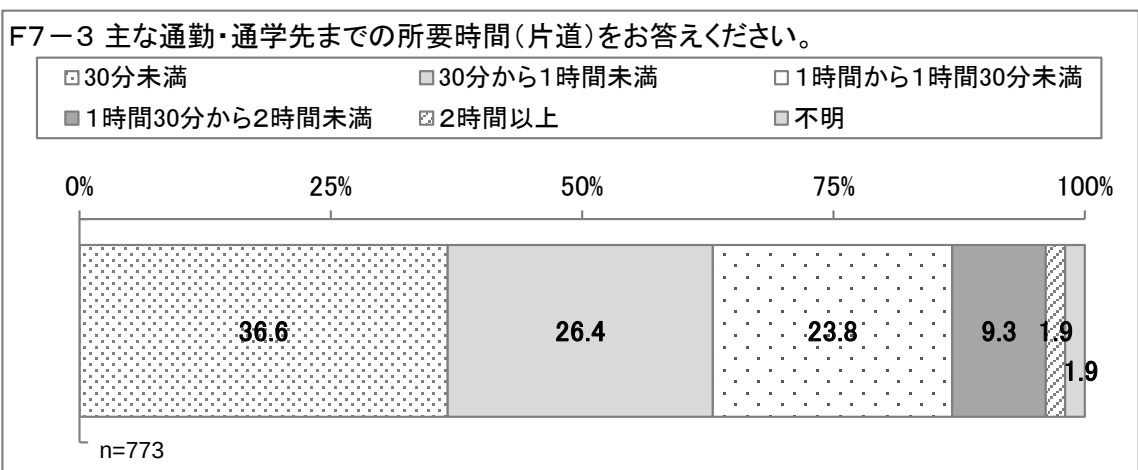
【駅までの交通手段】

- 「徒歩」が37.3%で最も高く、「バス」(25.5%)、「自家用車」(11.6%)、「自転車」(11.4%)が続く。



【通勤・通学の所要時間】

- 「30分未満」が36.6%で最も高い。1時間30分未満の合計で9割弱を占める。

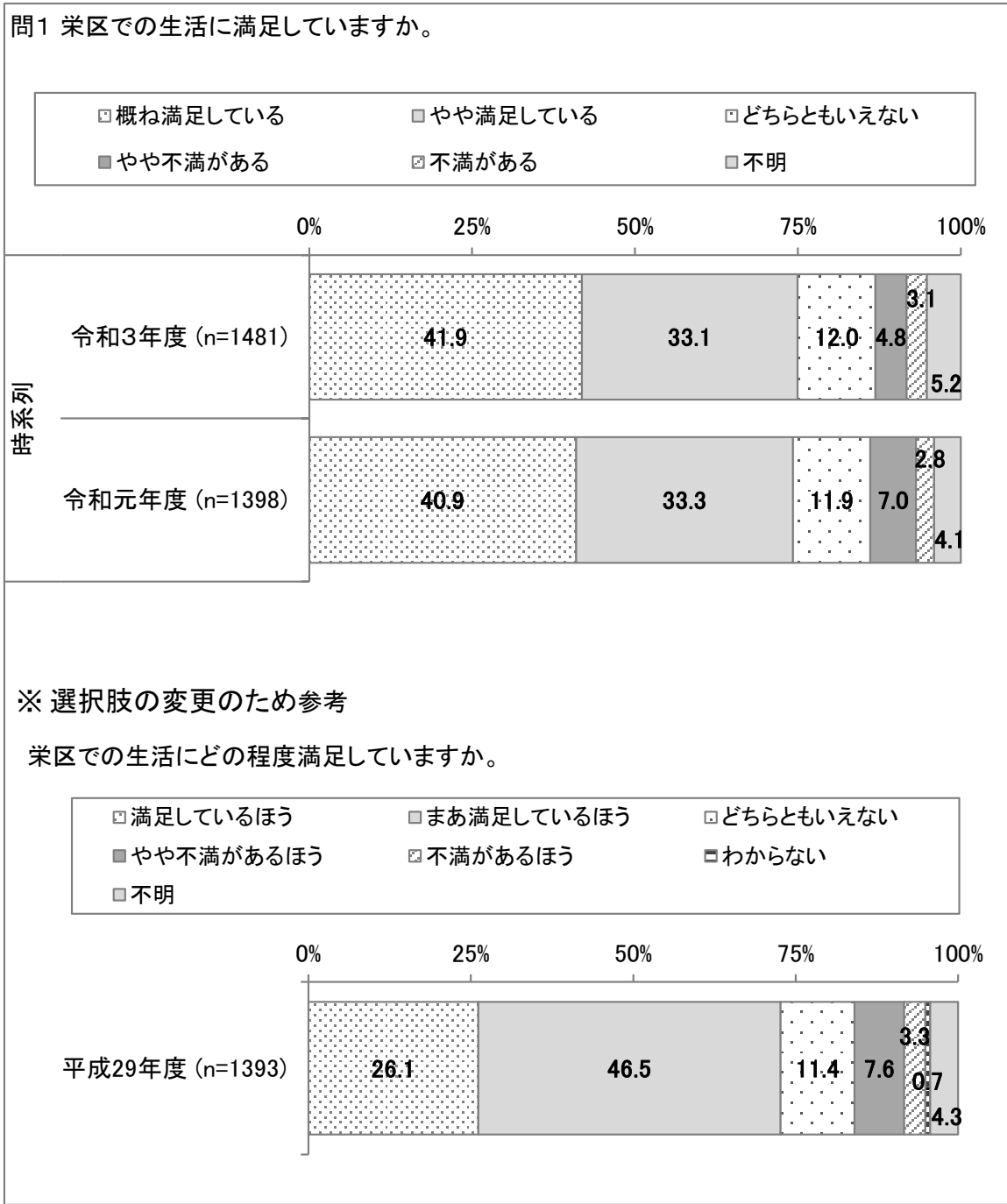


3. 集計分析結果

1. 生活の満足度について

【満足度：全体・時系列】

- ・ 「概ね満足している」が41.9%を占め、「やや満足している」(33.1%)を合わせると(以下『満足』) 7割以上が『満足』していると回答している。
- ・ 一方で「やや不満」、「不満」の合計(以下『不満』)割合は7.9%である。
- ・ 前回調査と比較すると、『満足』が増加傾向にある。

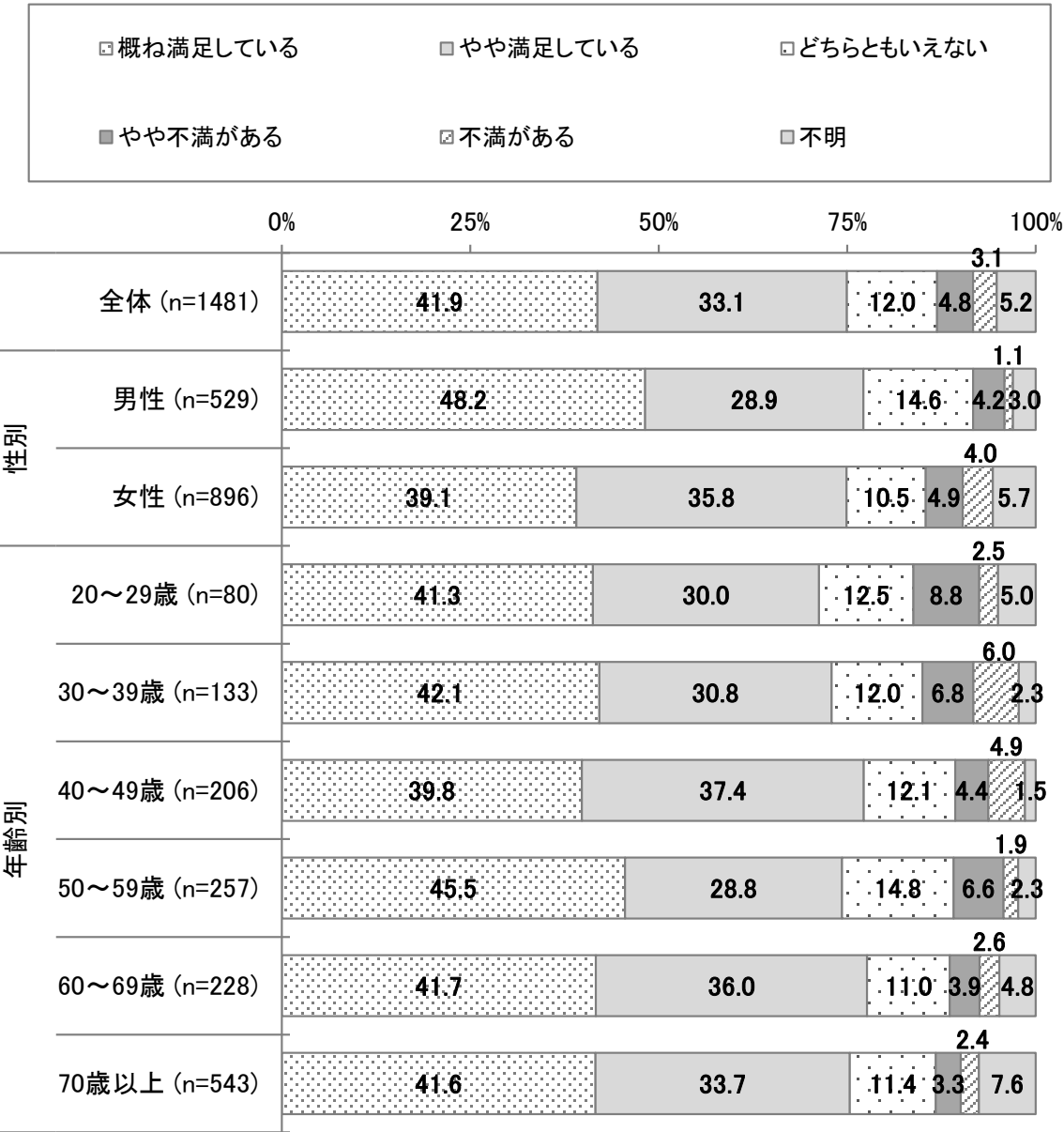


1. 生活の満足度について

【満足度：性別・年齢別】

- ・ 男女別では、「男性」の『満足』が「女性」に比べて2.2ポイント多い。
- ・ 一方、『不満』は「女性」が「男性」より3.6ポイント多い。
- ・ 年齢別では、「60～69歳」で『満足』が77.6%と最も高く、「20～29歳」で71.3%と最も低い。
- ・ 一方、『不満』は「30～39歳」で12.8%と最も高い。

問1 栄区での生活に満足していますか。

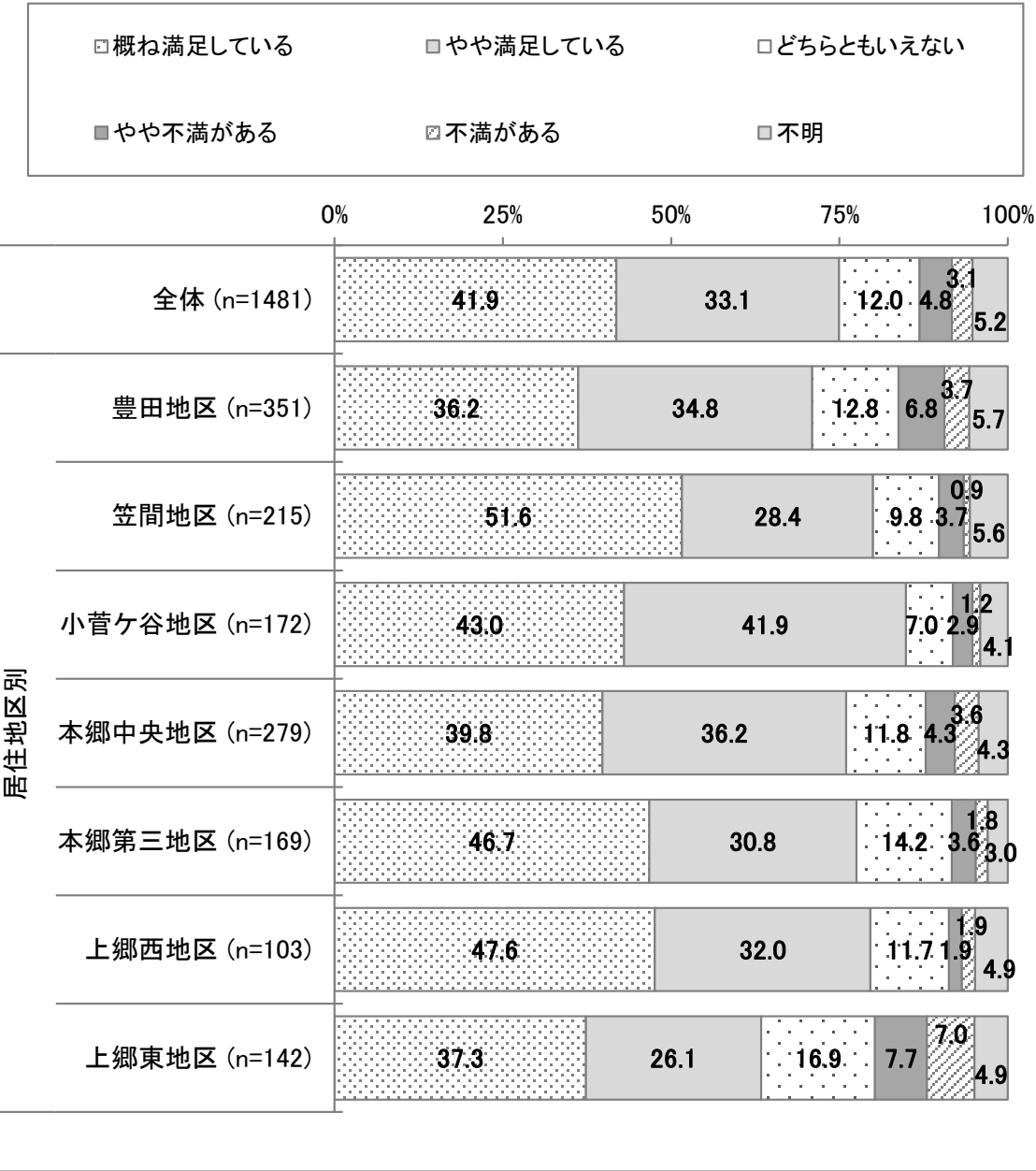


1. 生活の満足度について

【満足度：居住地区別】

- ・ 「小菅ヶ谷地区」の『満足』の割合が84.9%で全体より9.9ポイント多い。
- ・ 一方、「上郷東地区」は『不満』が14.8%で全体よりも6.9ポイント多い。

問1 栄区での生活に満足していますか。

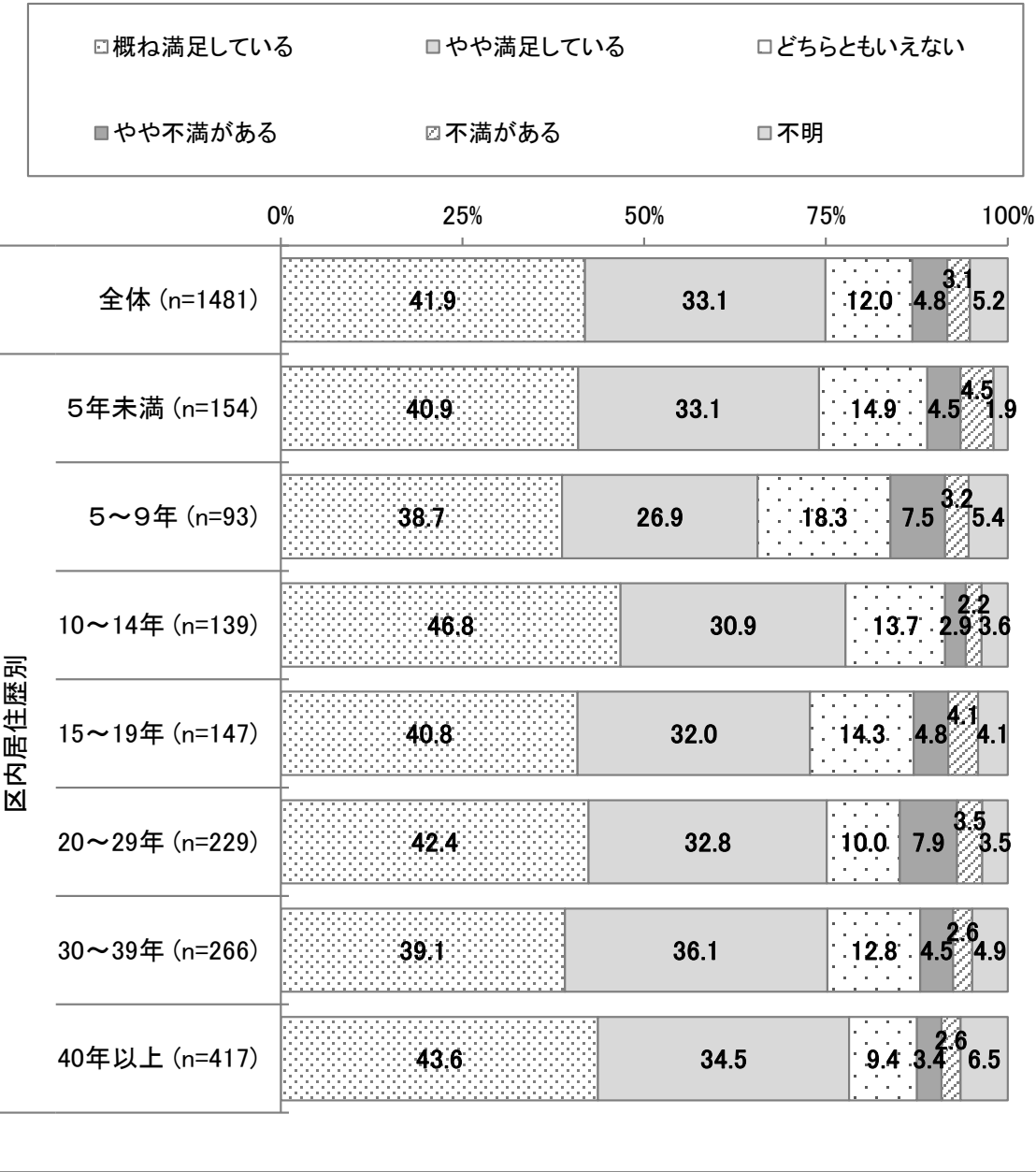


1. 生活の満足度について

【満足度：区内居住歴別】

- ・ 「40年以上」の『満足』の割合が78.1%で全体より3.1ポイント多い。
- ・ 一方、「5～9年」の『満足』の割合が65.6%と全体より9.4ポイント少ない。

問1 栄区での生活に満足していますか。



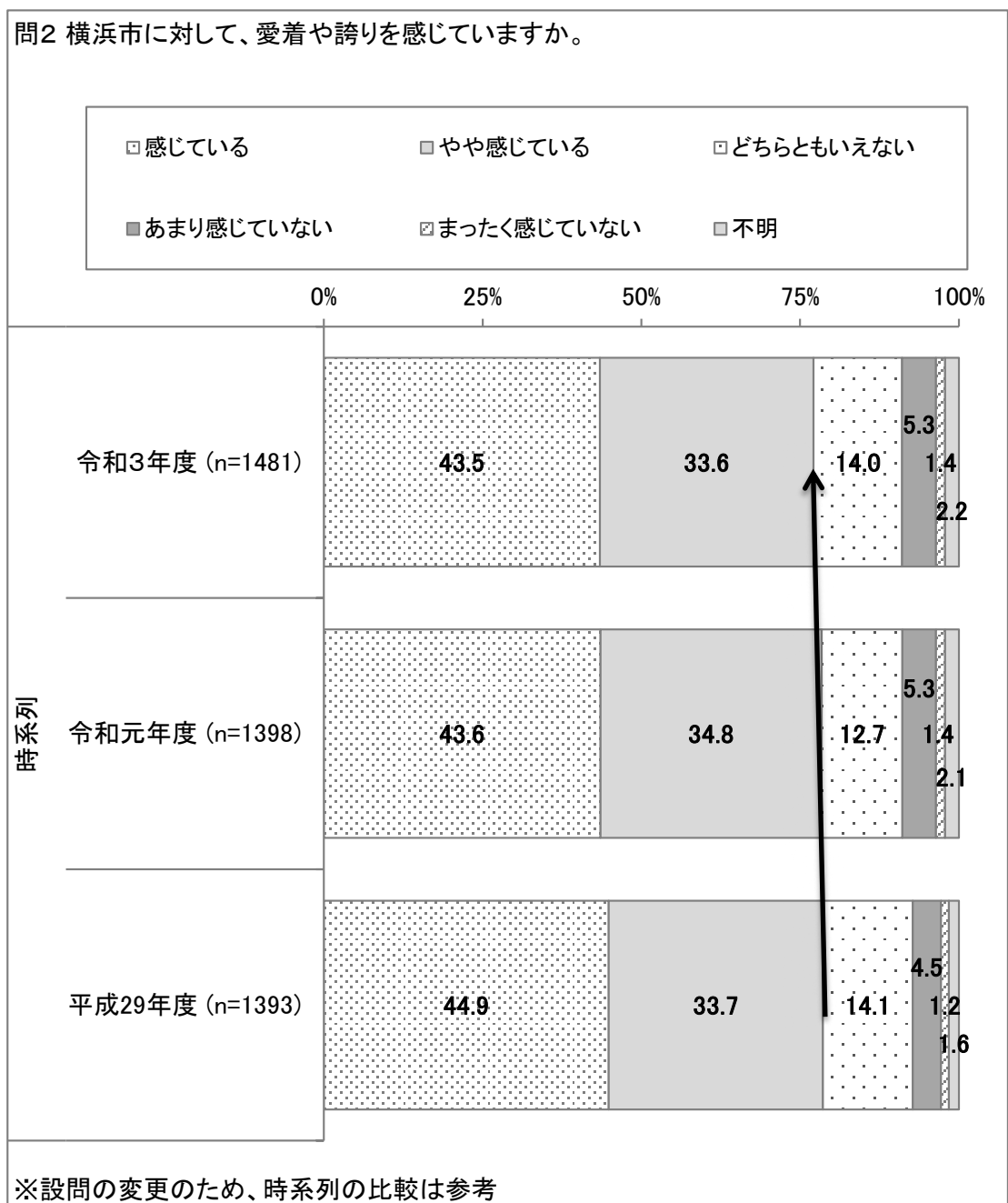
1. 生活の満足度について

【横浜市に対する愛着・誇り： 全体・時系列】

- 横浜市に対する愛着や誇りを感じる割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて(以下『感じている』)77.1%に達する。
- 一方で「あまり感じていない」、「まったく感じていない」の合計(以下『感じていない』)割合は6.8%である。
- 時系列で比較すると、『感じている』が減少傾向にある。

※ 設問の変更

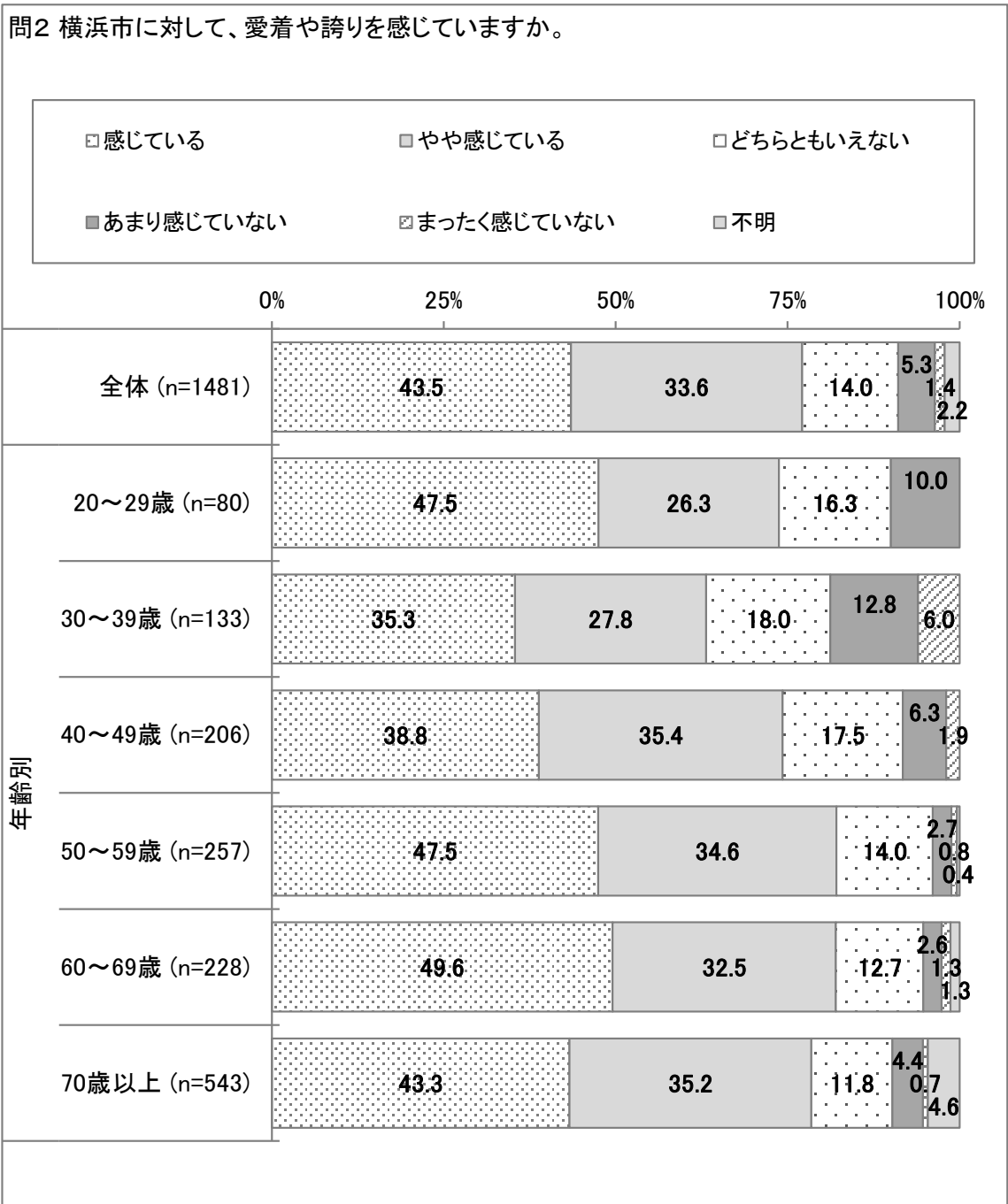
平成29年度:「横浜に対して」→令和元年度・令和3年度:「横浜市に対して」のため、時系列の比較は参考。



1. 生活の満足度について

【横浜市に対する愛着・誇り：年齢別】

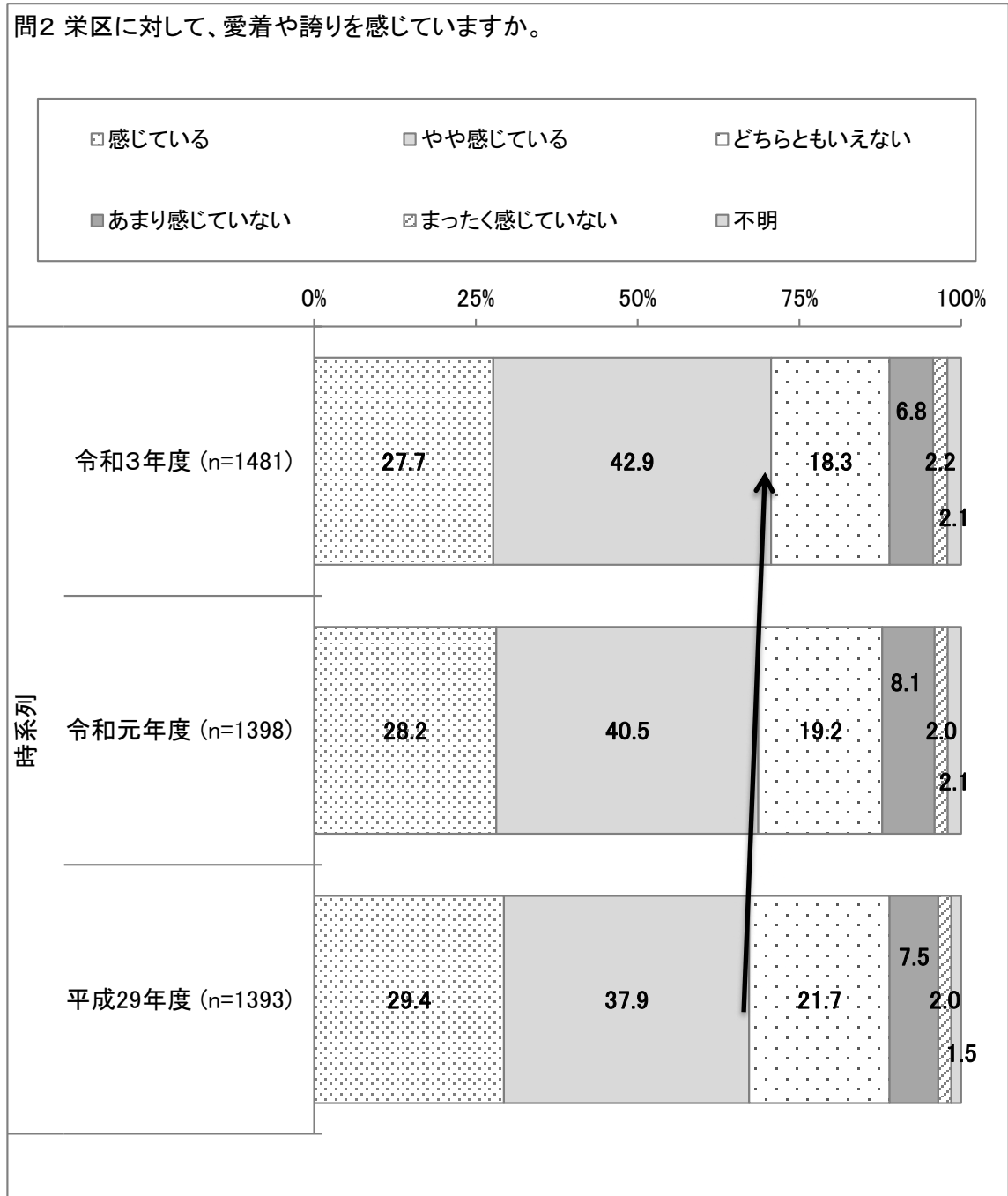
- ・ 年齢別では、「50～59歳」、「60～69歳」の『感じている』がそれぞれ82.1%、82.0%で全体より5ポイント程度多い。
- ・ 一方、「30～39歳」の『感じていない』が18.8%で全体より12.0ポイント多い。



1. 生活の満足度について

【栄区に対する愛着・誇り： 全体・時系列】

- ・ 栄区に対する愛着や誇りを感じる割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて(以下『感じている』)全体の約7割(70.6%)である。
- ・ 時系列で比較すると、『感じている』が増加傾向にある。

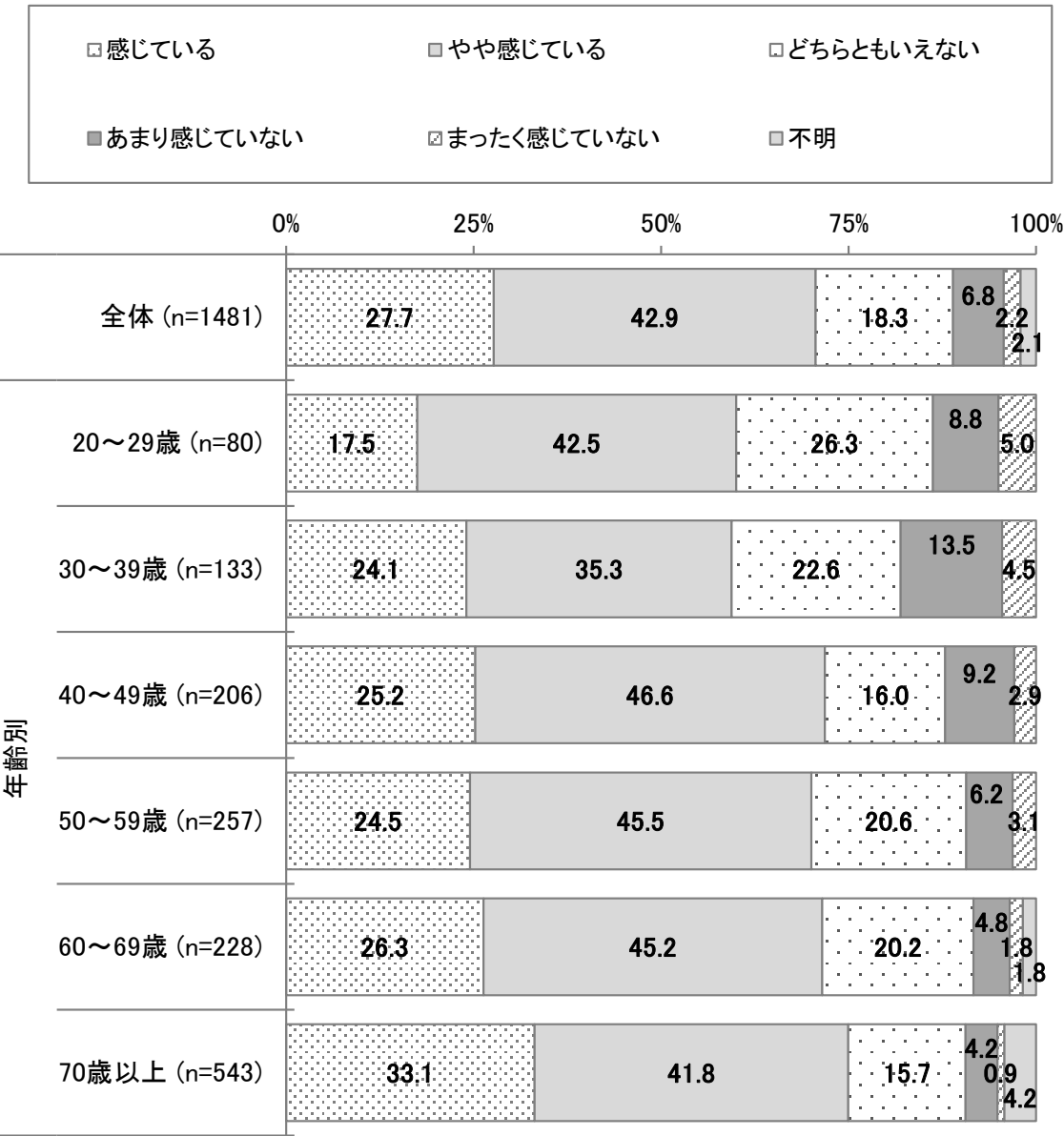


1. 生活の満足度について

【栄区に対する愛着・誇り：年齢別】

- ・ 年齢別では、『感じている』割合は「20～29歳」、「30～39歳」で全体より10ポイント以上少ない。

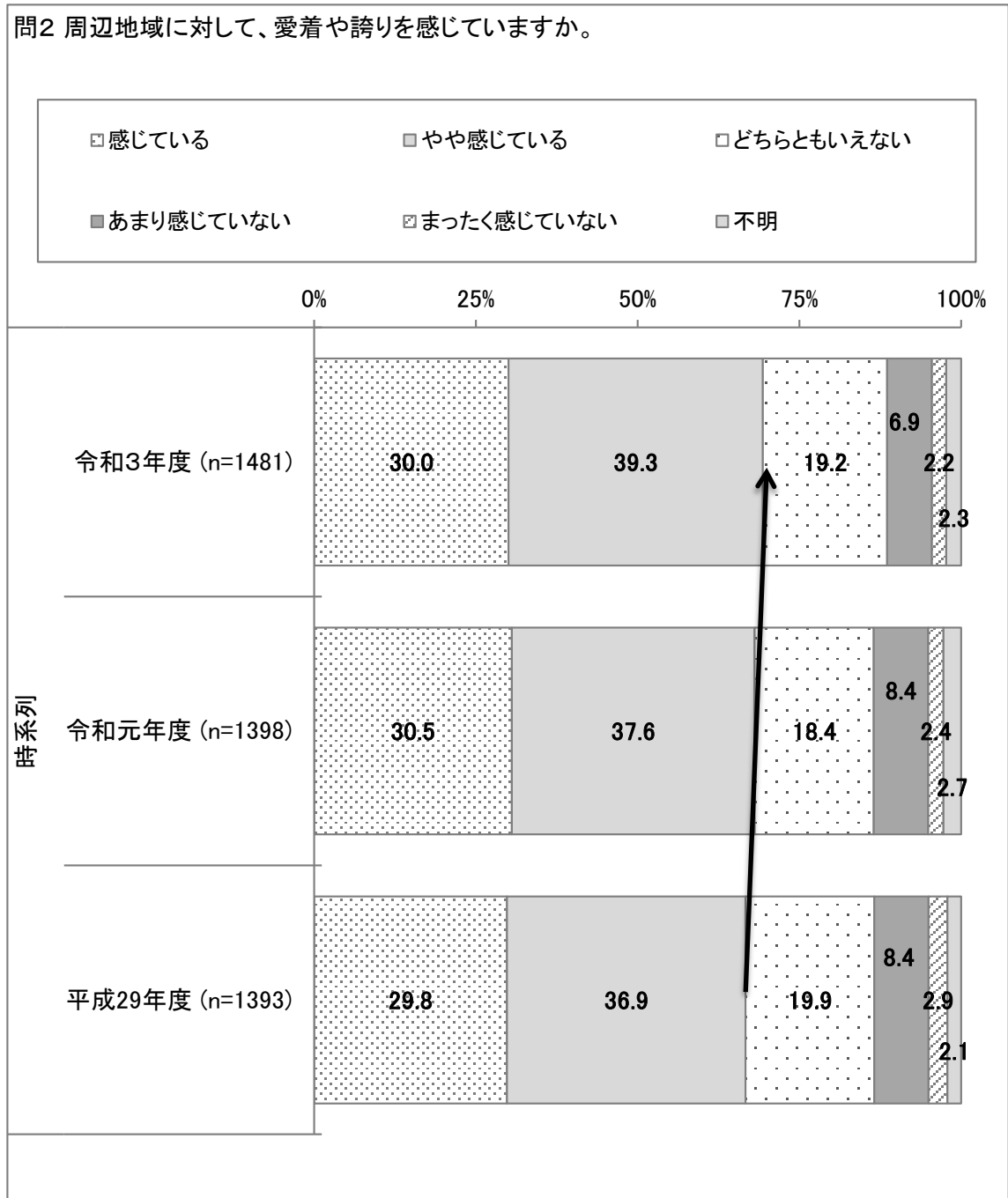
問2 栄区に対して、愛着や誇りを感じていますか。



1. 生活の満足度について

【周辺地域に対する愛着・誇り： 全体・時系列】

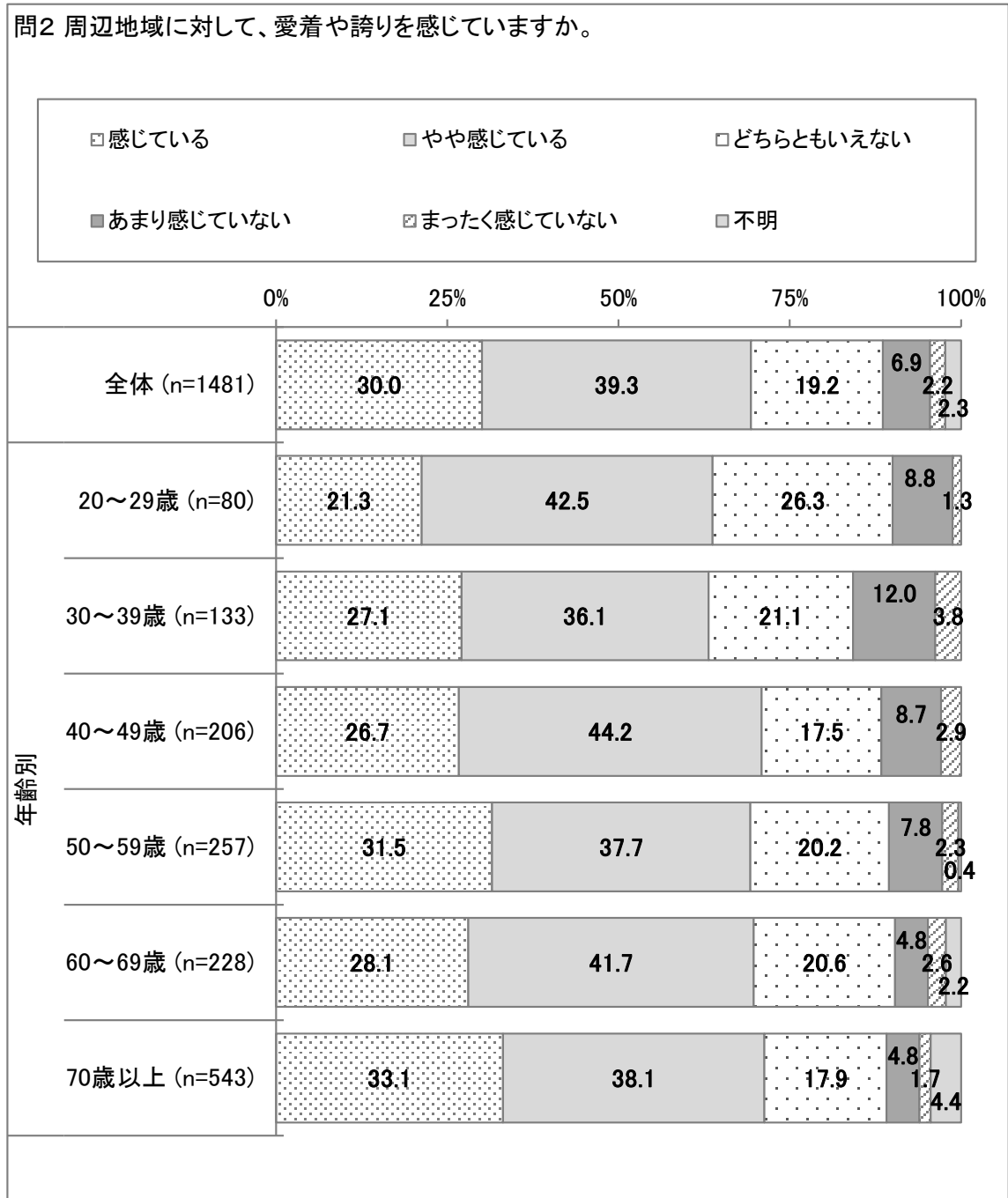
- ・ 周辺地域に対して愛着や誇りを感じる割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて(以下『感じている』)全体の約7割(69.3%)である。
- ・ 時系列で比較すると、『感じている』が増加傾向にある。



1. 生活の満足度について

【周辺地域に対する愛着・誇り：年齢別】

- 年齢別では、「40～49歳」、「70歳以上」の『感じている』がそれぞれ70.9%、71.3%で全体より2ポイント程度多く、「20～29歳」、「30～39歳」では、全体より5ポイント以上少ない。
- 一方、「30～39歳」の『感じていない』が15.8%で全体より6.7ポイント多い。

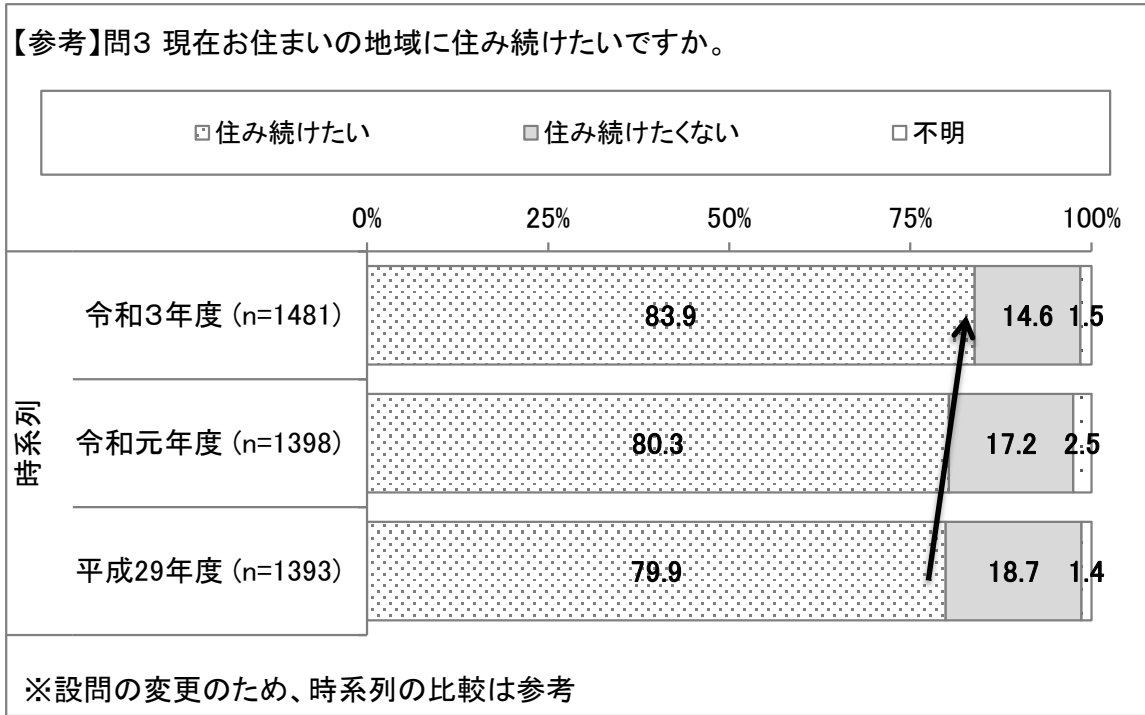
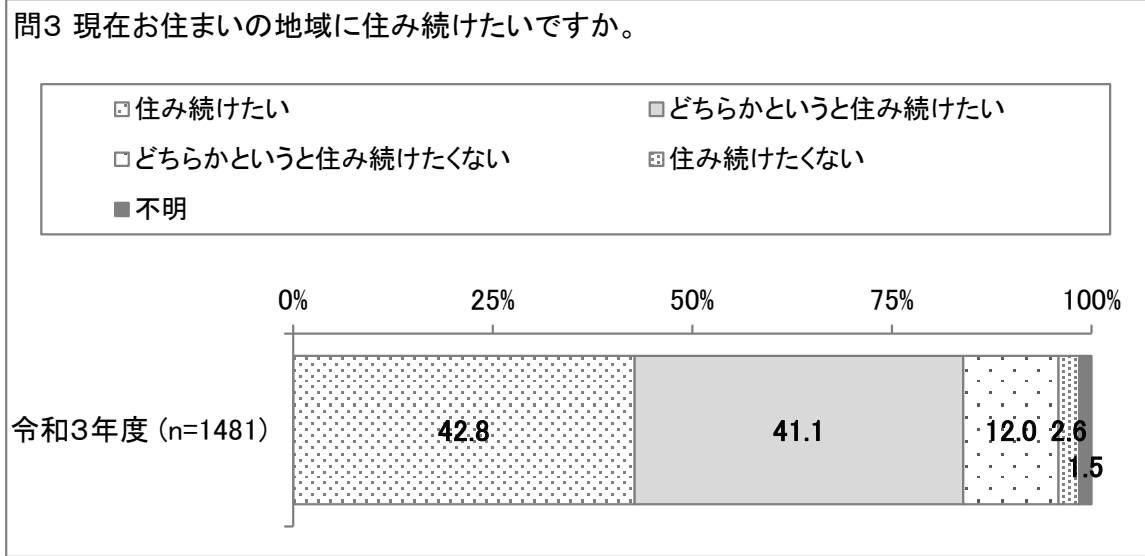


2. 定住意向について

【定住意向： 全体・時系列】

- ・ 現在の居住地域に「住み続けたい」、「どちらかというに住み続けたい」を合わせて（以下『住み続けたい』）83.9%に達する。
- ・ 時系列で比較すると、『住み続けたい』は増加傾向、「どちらかというに住み続けたくない」、「住み続けたくない」（以下『住み続けたくない』）は減少傾向がみられる。

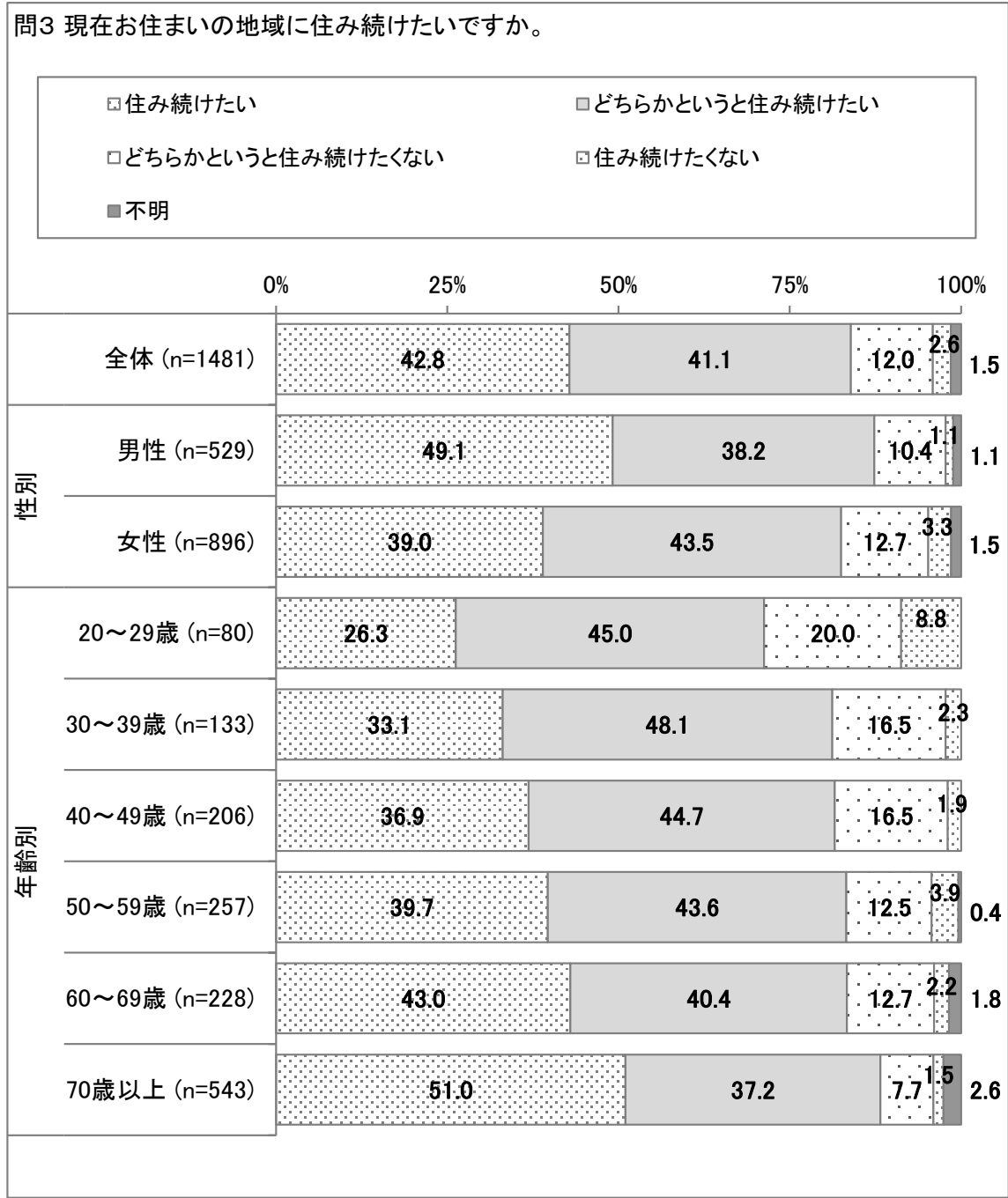
※ 設問の変更(平成29年度・令和元年度:選択肢は、「住み続けたい」、「住み続けたくない」→令和3年度:選択肢は、「住み続けたい」、「どちらかというに住み続けたい」、「どちらかというに住み続けたくない」、「住み続けたくない」)のため、時系列の比較は参考。



2. 定住意向について

【定住意向：性別・年齢別】

- ・ 男女別では、「男性」の『住み続けたい』は「女性」に比べて4.8ポイント多い。
- ・ 年齢別では、年代が上がるほど定住意向が高くなる傾向がみられる。
- ・ 定住意向(『住み続けたい』)は、「20～29歳」で71.3%と最も低く、「70歳以上」では88.2%で最も高い。

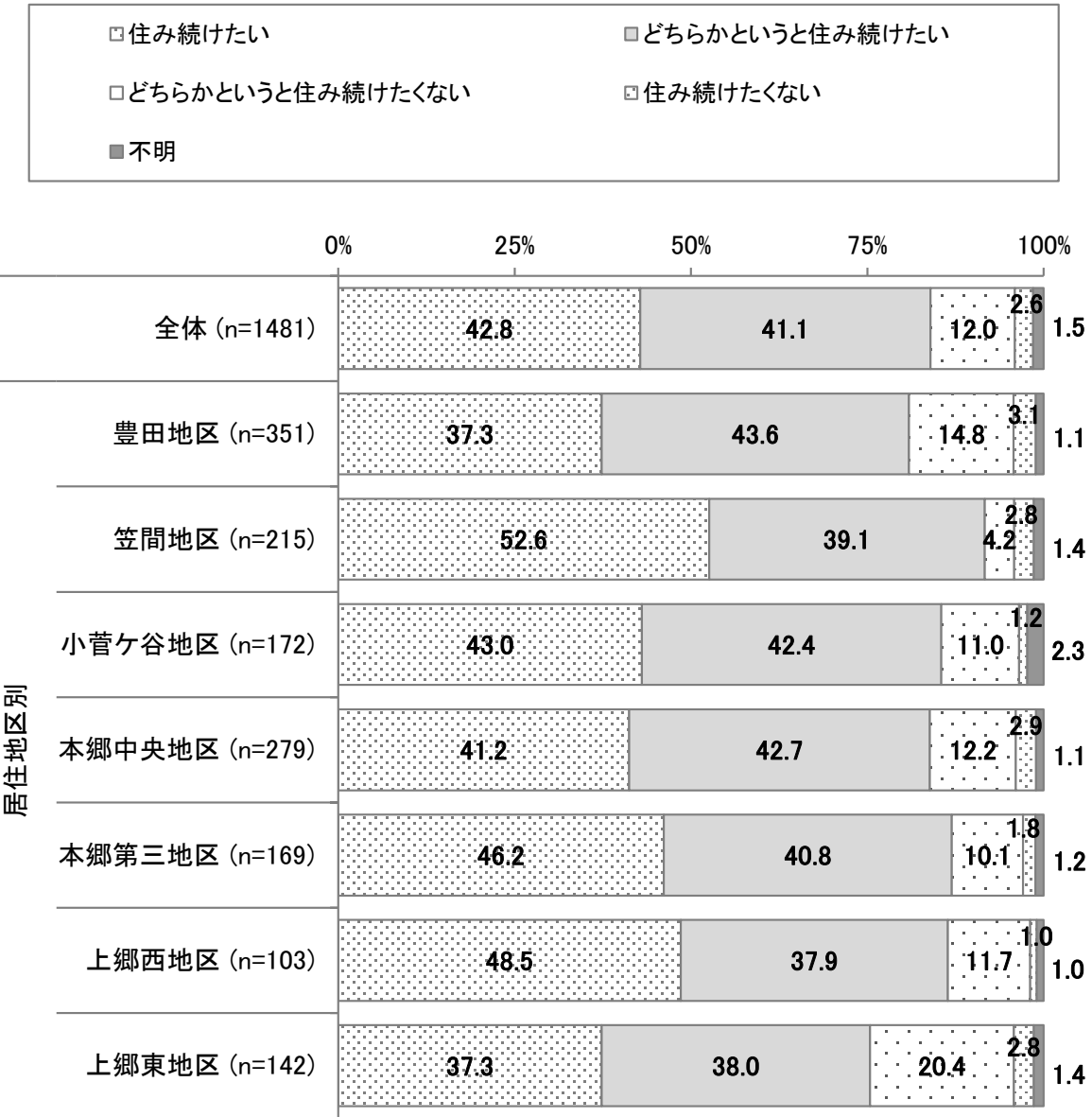


2. 定住意向について

【定住意向：居住地区別】

- ・ 居住地区別では、「笠間地区」の定住意向(『住み続けたい』)が91.6%で、全体より7.7ポイント多い。
- ・ 一方、「上郷東地区」の定住意向(『住み続けたい』)は75.4%で、全体より8.6ポイント少ない。

問3 現在お住まいの地域に住み続けたいですか。

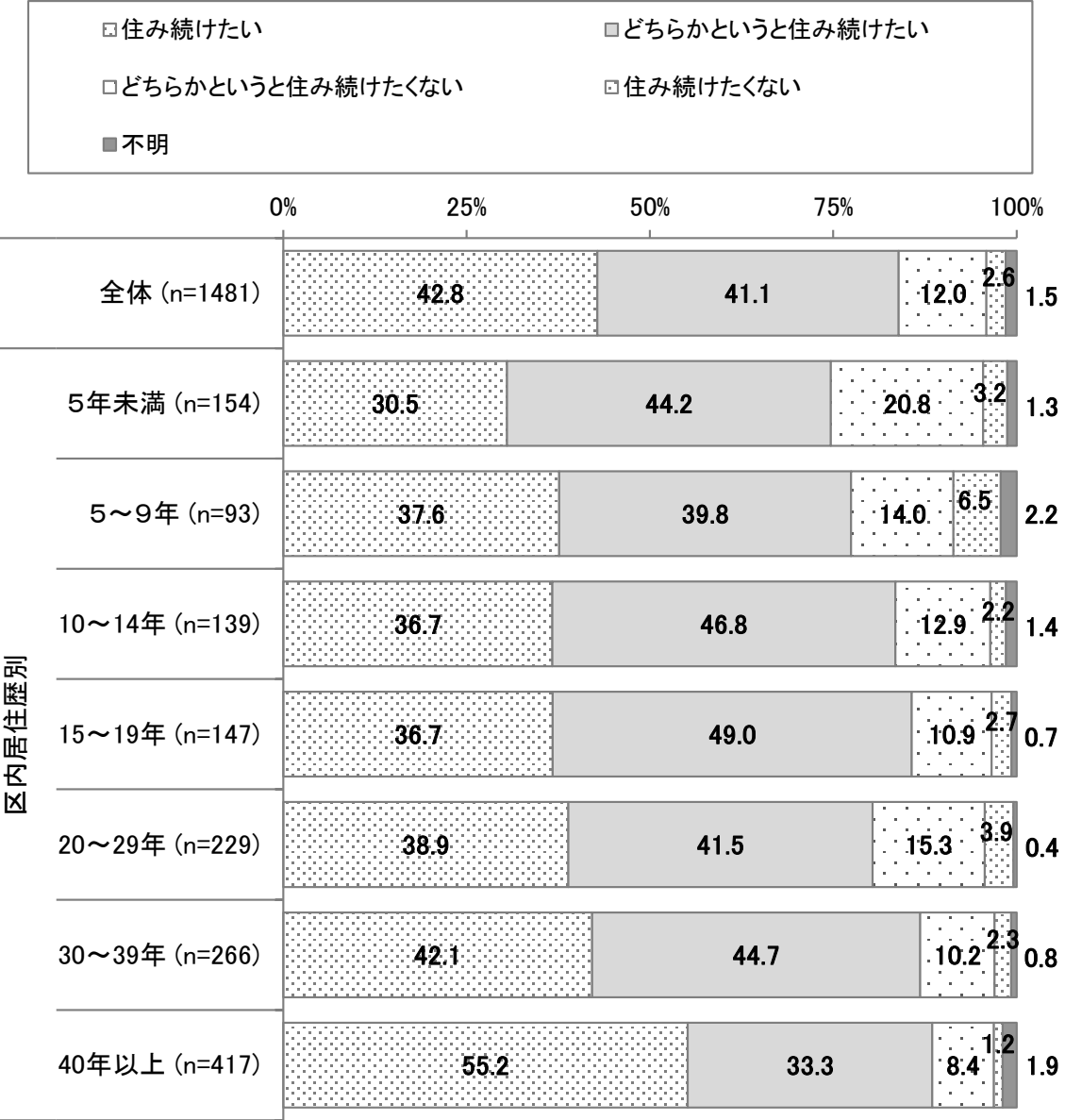


2. 定住意向について

【定住意向：区内居住歴別】

- 区内居住歴別では、「40年以上」の定住意向(『住み続けたい』)が88.5%で全体より4.6ポイント多い。
- 一方、「5年未満」、「5～9年」の『住み続けたい』は、それぞれ74.7%、77.4%と全体より5ポイント以上少ない。

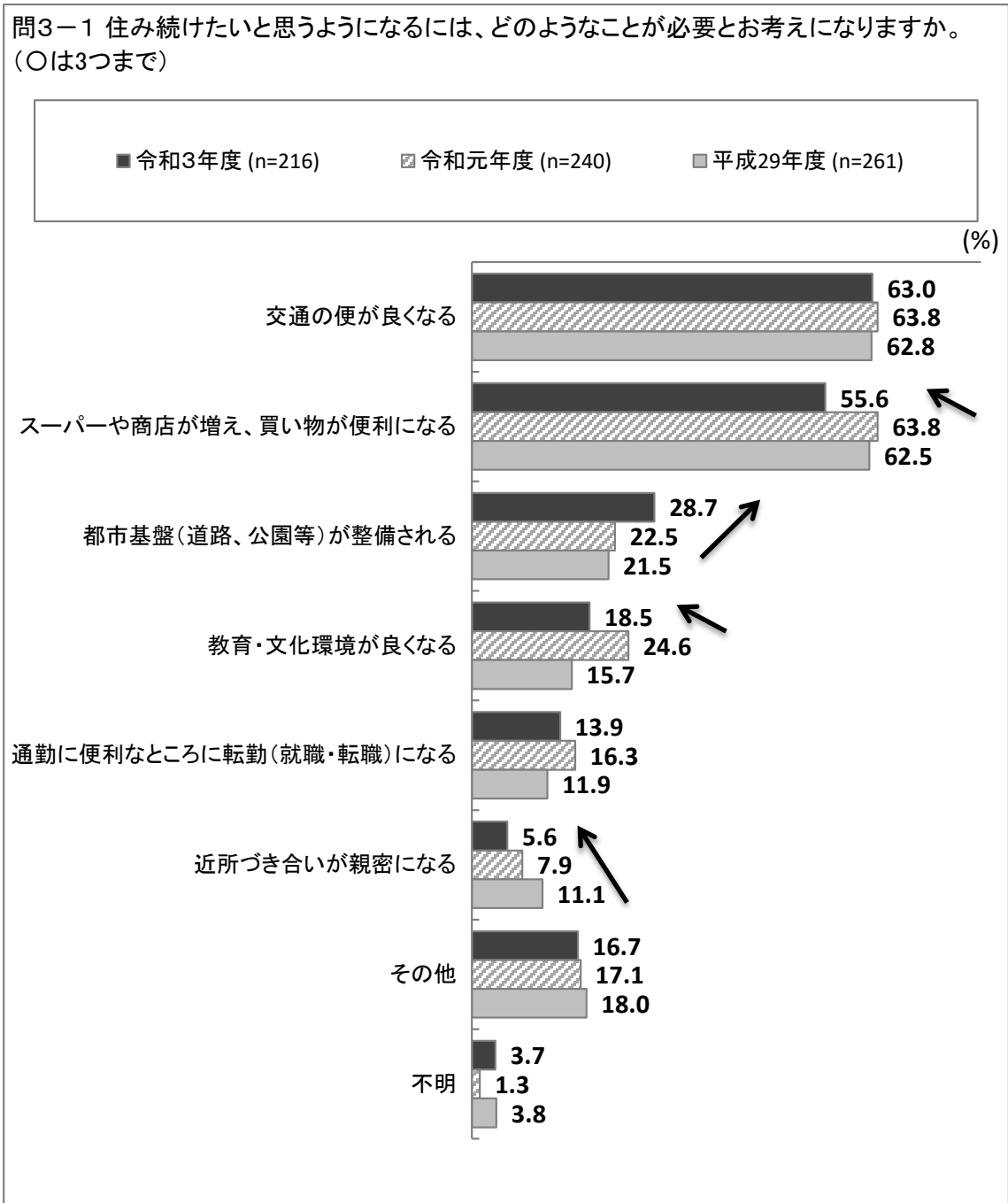
問3 現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



2. 定住意向について

【定住のために必要なこと： 全体・時系列】

- ・ 「交通の便が良くなる」が6割を超え、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」は5割を超えている。ただし「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」では前回調査より8.2ポイント減少している。
- ・ 前回調査と比較すると、「都市基盤(道路、公園等)が整備される」の割合は6.2ポイント増加し、「教育・文化環境が良くなる」の割合は6.1ポイント減少している。
- ・ 一方、時系列で比較すると、「近所づき合いが親密になる」の割合は、減少傾向がみられる。

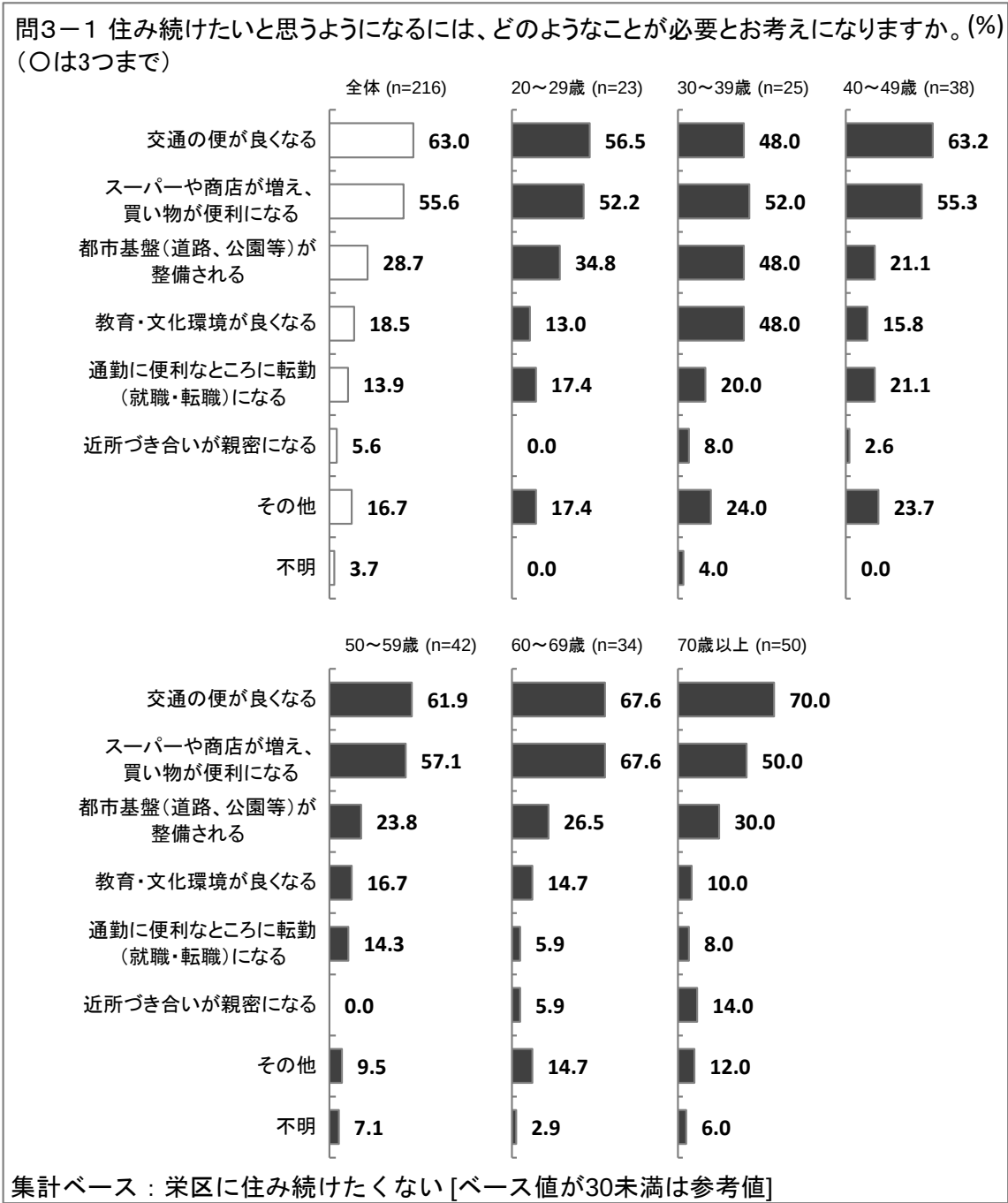


2. 定住意向について

【定住のために必要なこと：年齢別】

- ・ 「交通の便が良くなる」は、「70歳以上」で全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」は、「60～69歳」で全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる」は、「40～49歳」で全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「近所づき合いが親密になる」は、「70歳以上」で全体より5ポイント以上多い。

※「20～29歳」、「30～39歳」はベース値が30未満で参考値。



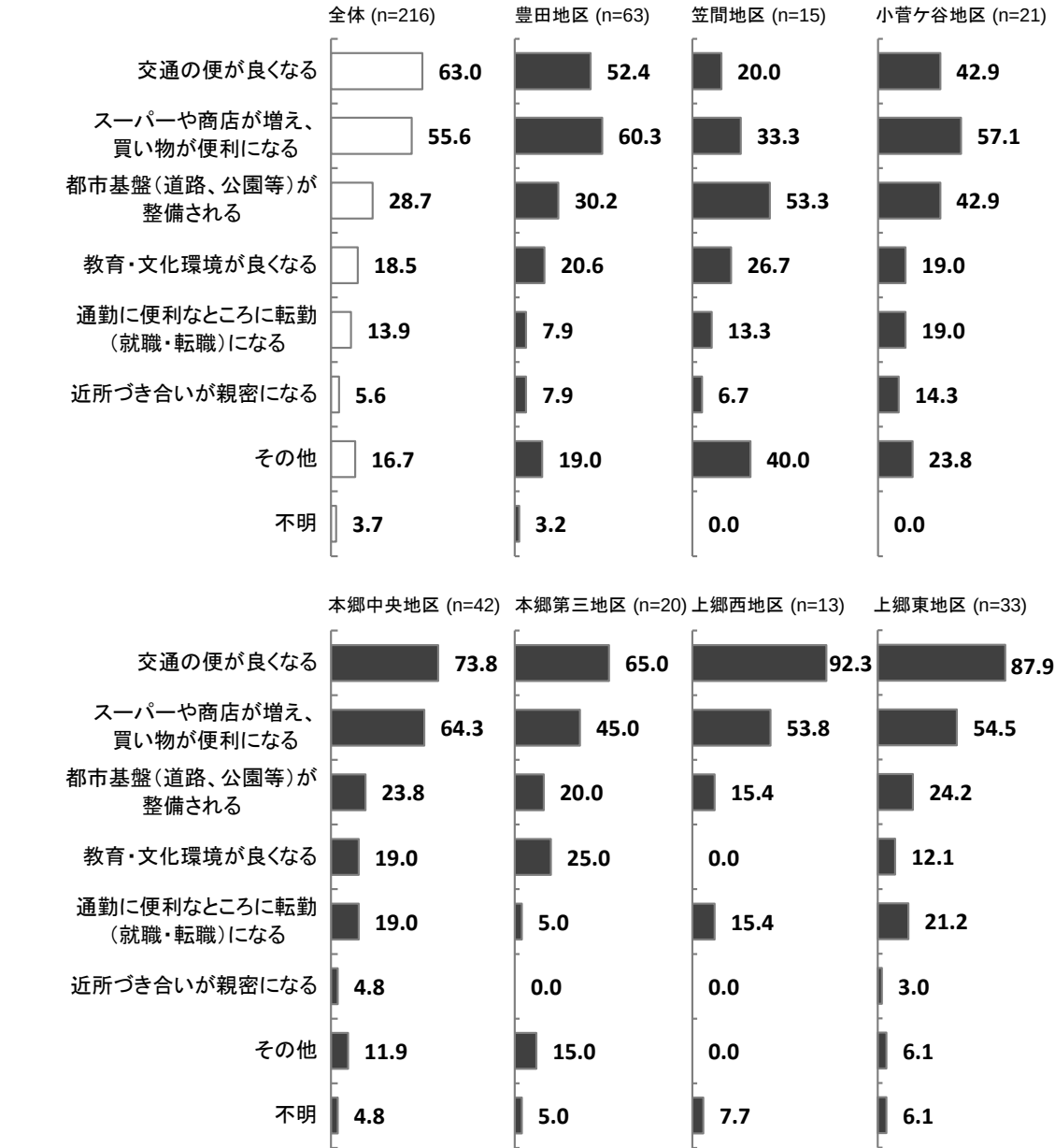
2. 定住意向について

【定住のために必要なこと：居住地区別】

- ・ 「豊田地区」は、「交通の便が良くなる」が全体より10ポイント以上少なく、「通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる」が全体より5ポイント以上少ない。
- ・ 「本郷中央地区」は、「交通の便が良くなる」が全体より10ポイント以上多く、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」、「通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「上郷東地区」は、「交通の便が良くなる」が全体より10ポイント以上、「通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる」が全体より5ポイント以上多く、「教育・文化環境が良くなる」が全体より5ポイント少ない。

※「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」、「本郷第三地区」、「上郷西地区」はベース値が30未満で参考値。

問3ー1 住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。(%)
(○は3つまで)



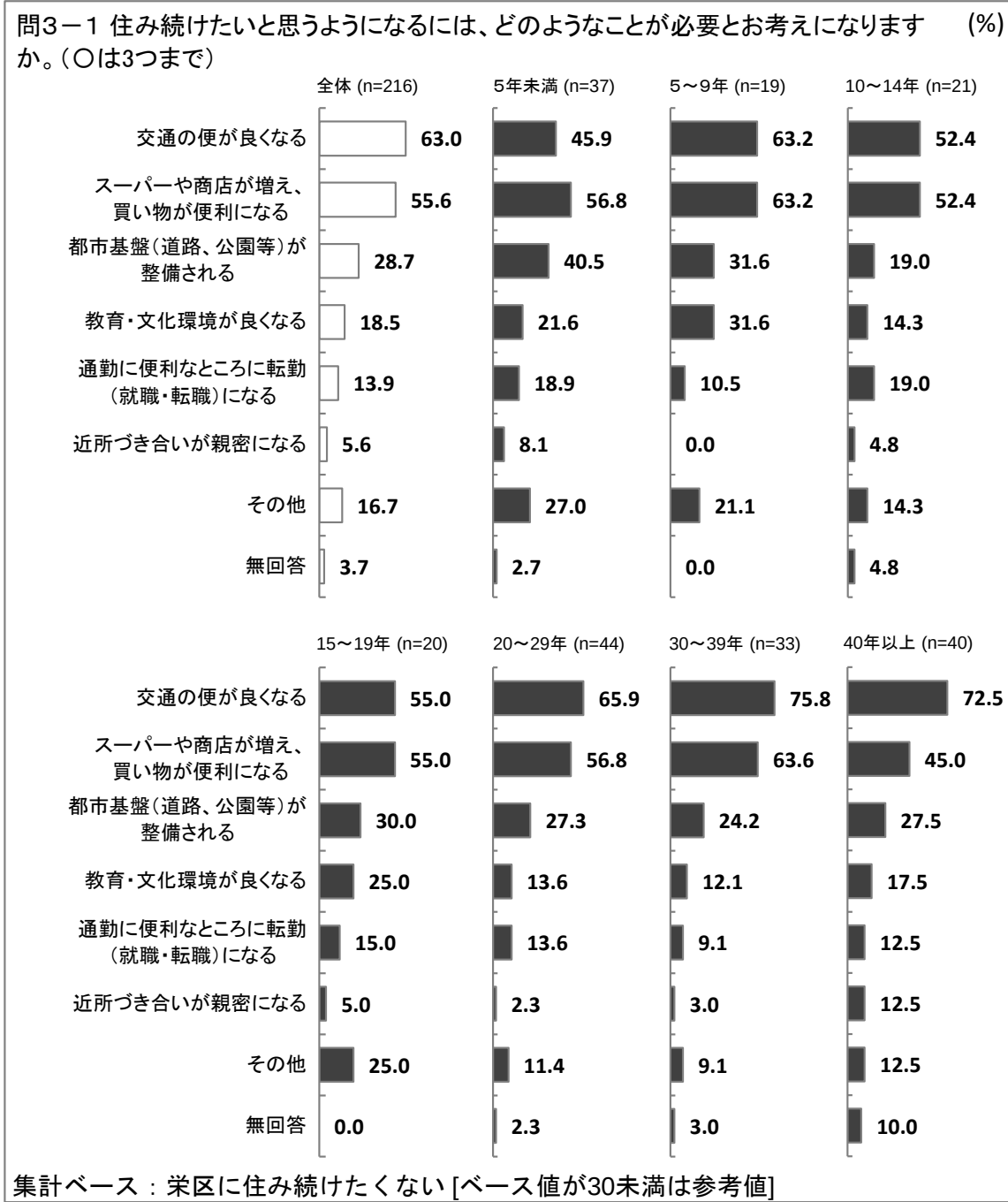
集計ベース：栄区に住み続けたくない[ベース値が30未満は参考値]

2. 定住意向について

【定住のために必要なこと：区内居住歴別】

- ・ 「交通の便が良くなる」は、「30～39年」、「40年以上」で高く、「5年未満」で低い傾向である。
- ・ 「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」は、「30～39年」で全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「都市基盤(道路、公園等)が整備される」は、「5年未満」で、全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる」は、「5年未満」で全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「近所づき合いが親密になる」は、「40年以上」で全体より5ポイント以上多い。

※「5～9年」、「10～14年」、「15～19年」はベース値が30未満で参考値。



2. 定住意向について

【定住のために必要なこと「その他」】

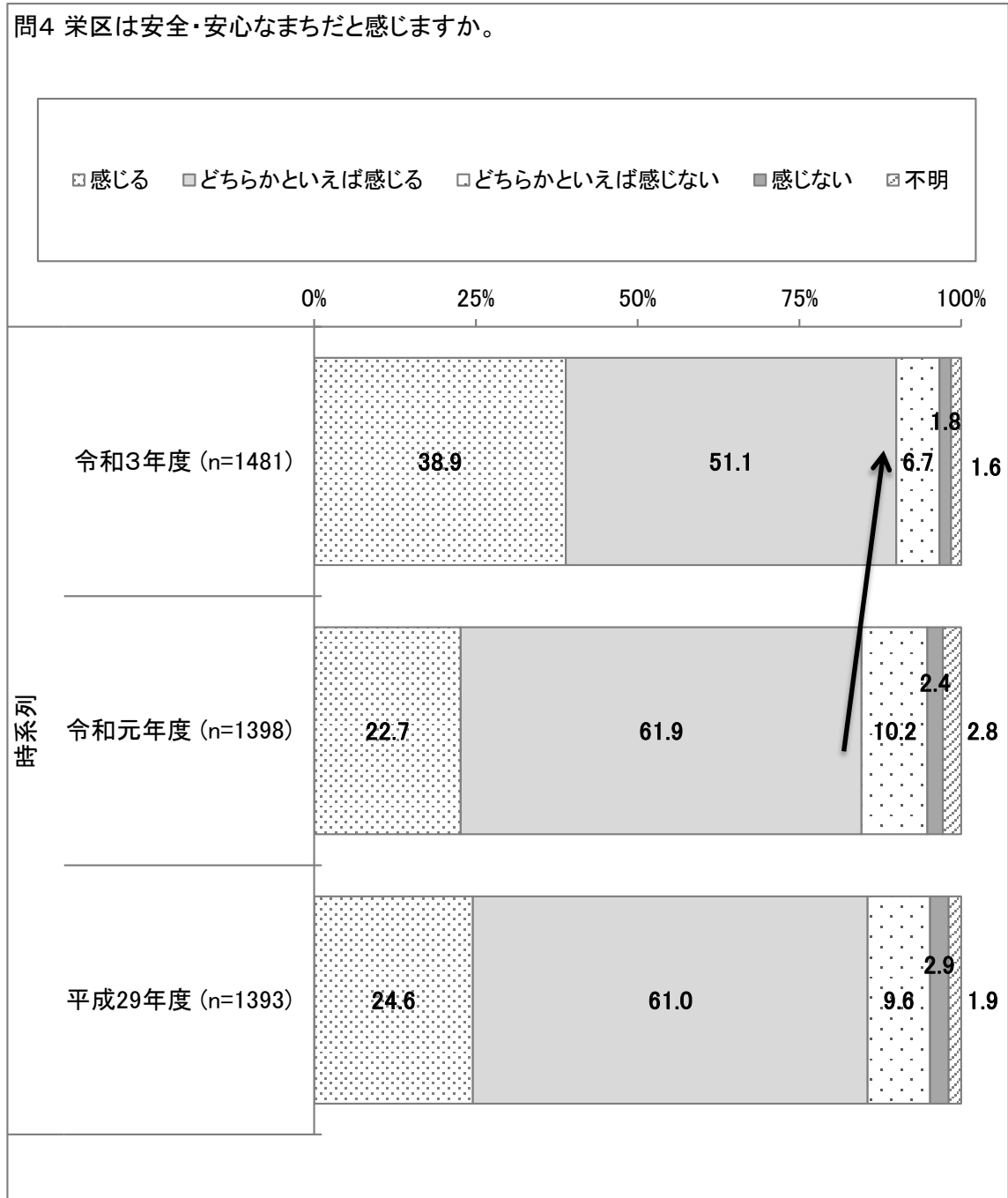
- ・ 自由回答では35名の方から42件の意見があげられた。
- ・ 「環境改善」に関するものが最も多く(11件)、次いで、「行政」に関するもの(9件)、「道路・交通改善」に関するもの(7件)、「経済」に関するもの(6件)、「安全・安心」に関するもの(5件)、「地域のつながり」に関するもの(3件)、「教育」に関するもの(1件)があげている。

問3ー1 現在お住まいの地域に住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。					
「7. その他」の内容			(件)		
環境 (11件)	騒音・日当たり・樹木の選定等の改善	3	道路・交通 (7件)	歩道の確保・整備	4
	自然環境の保全・整備	3		自転車道路の整備	1
	住民のマナー向上	2		市道・私道など決まりが難しい	1
	ごみ回収ボックス設置ルール設定	1		坂が多い	1
	都会に住み続けたくない	1	経済 (6件)	商業施設の充実・サービス向上	3
	駅周辺の環境整備	1		医療の充実	3
	市・区役所職員の信頼度の向上	3	安全・安心 (5件)	防犯の強化	3
行政 (9件)	生活支援サービスの充実	2		災害対策強化	1
	周辺自治体との連携	1		差別による格差、いじめ防止	1
	若者を増やす施策・活性化	1	地域のつながり (3件)	自治会町内会のあり方	2
	区役所まで行くのが不便	1		隣近所の助け合いの環境強化	1
	税金の軽減	1	教育(1件)	小学校教師の質の向上	1
合 計					42

3. 生活意識について

【安全なまちとを感じるか： 全体・時系列】

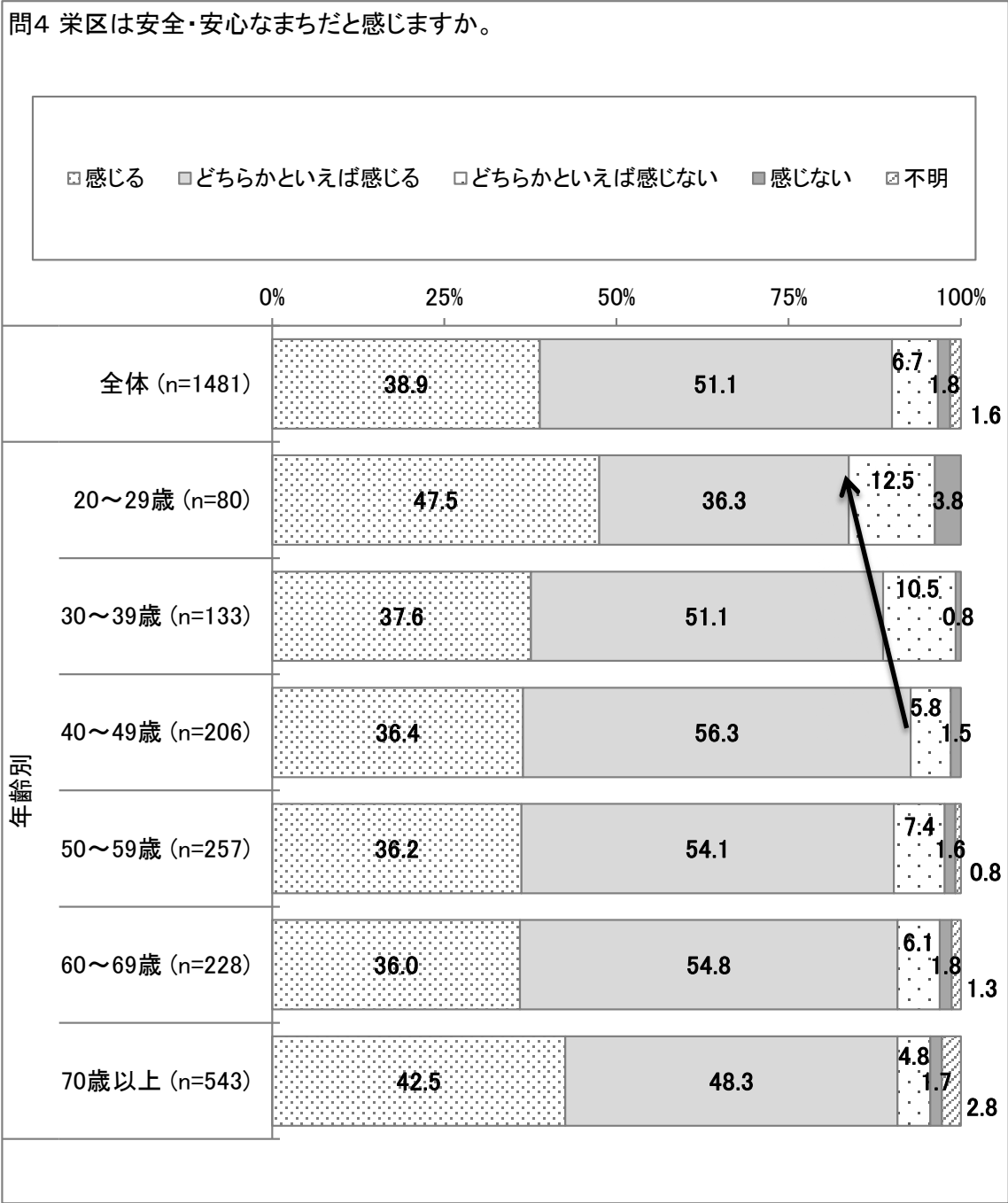
- 安全なまちだと「感じる」の割合は38.9%で「どちらかといえば感じる」を合わせると90.0%が安全だと感じている。
- 前回調査と比較すると「感じる」の割合が16.2ポイント多い。



3. 生活意識について

【安全なまちとを感じるか： 年齢別】

- 「感じる」、「どちらかといえば感じる」の合計『感じる』では、「40～49歳」が92.7%で最も高く、年代が下がるほど割合が低くなる。50歳以上では9割と全体平均と同程度である。

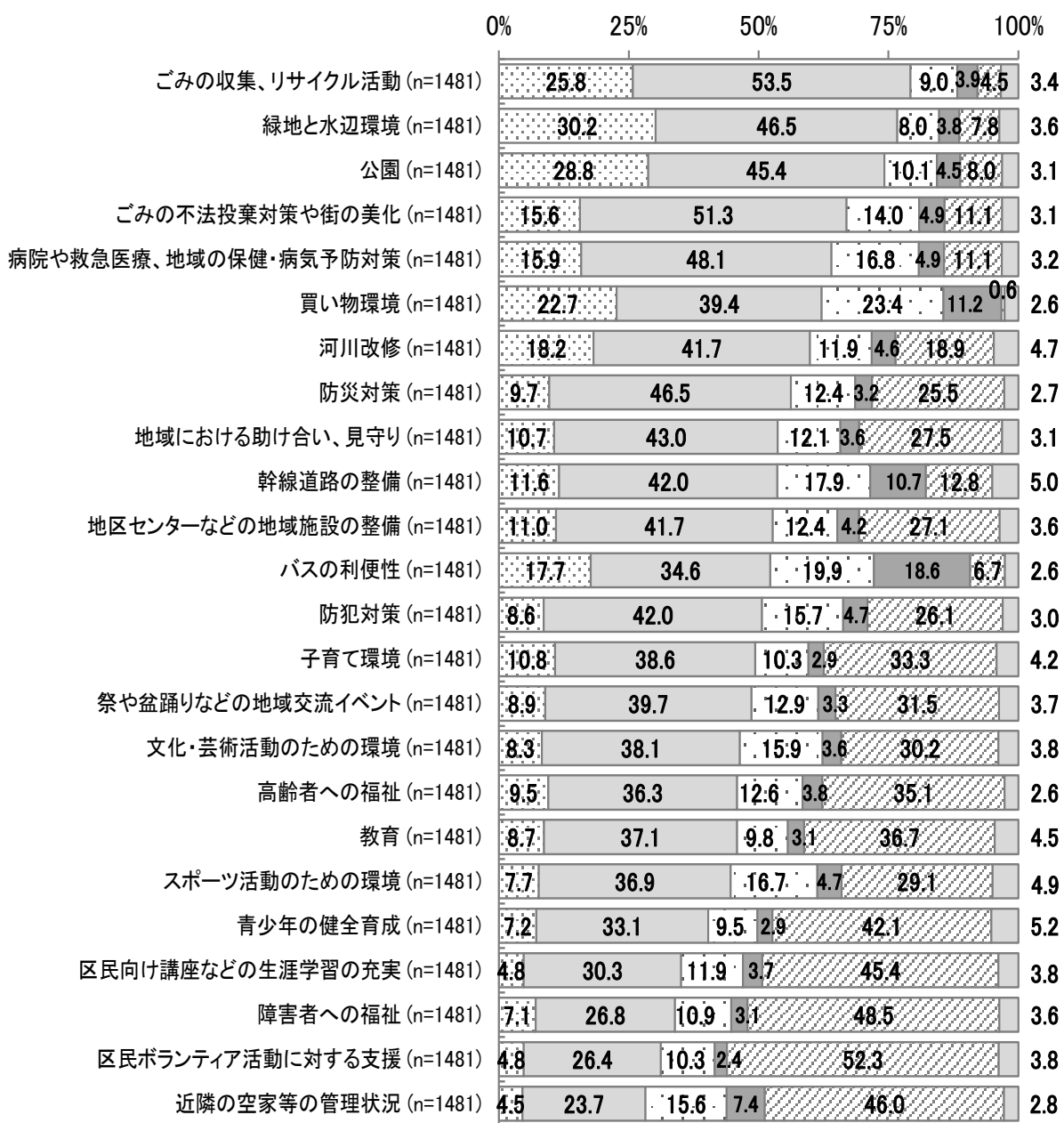
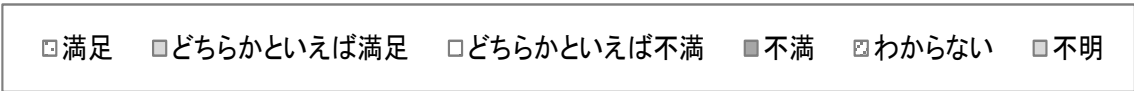


3. 生活意識について

【満足度の高い生活環境：全体】

- 「満足」、「どちらかといえば満足」の合計(以下『満足』)が最も高いのは、「ごみの収集、リサイクル活動」(79.3%)で、「緑地と水辺環境」、「公園」、「ごみの不法投棄対策や街の美化」、「病院や救急医療、地域の保健・病気予防対策」、「買い物環境」が続く。

問5 以下の項目について、どの程度満足していますか。

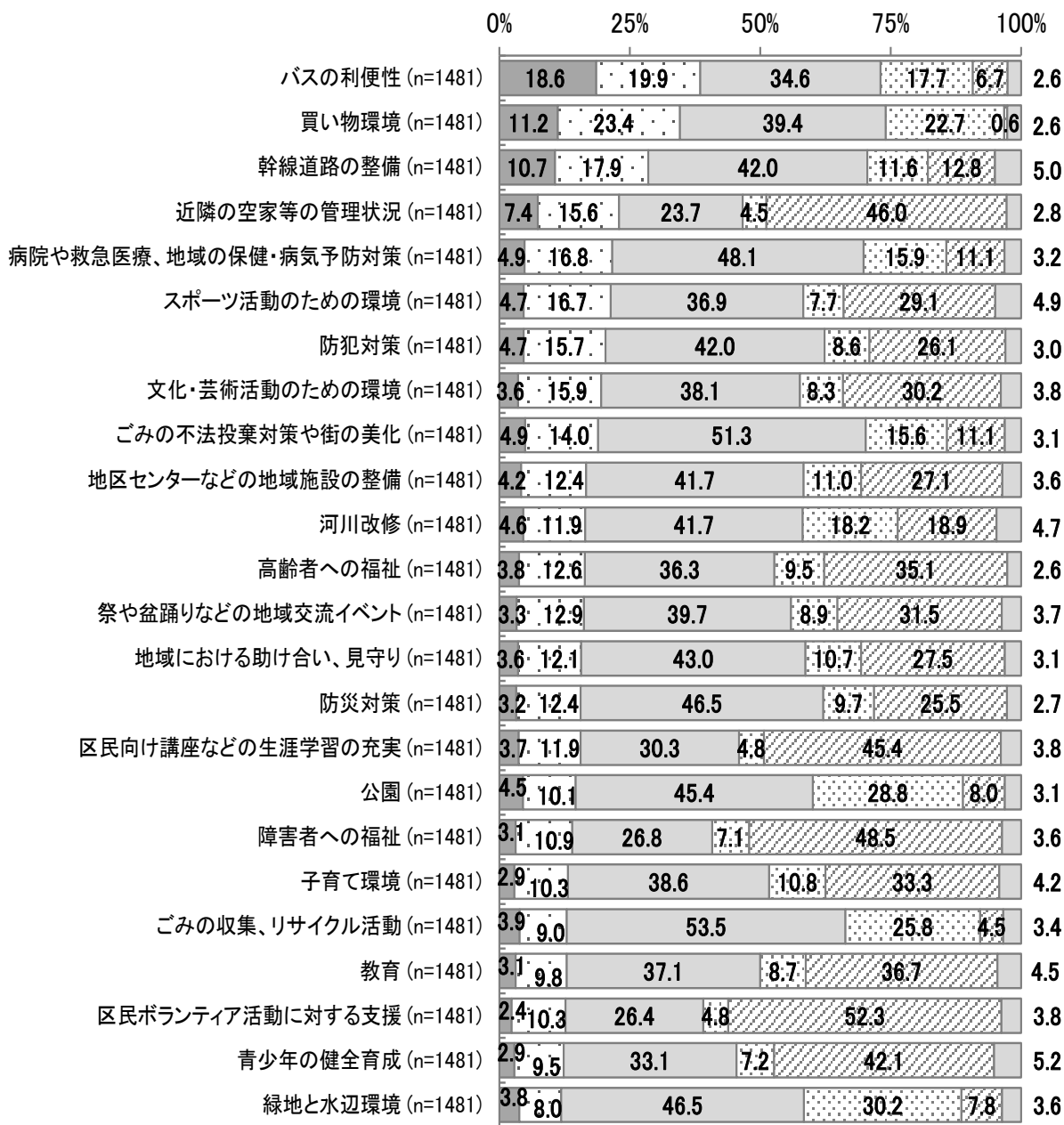
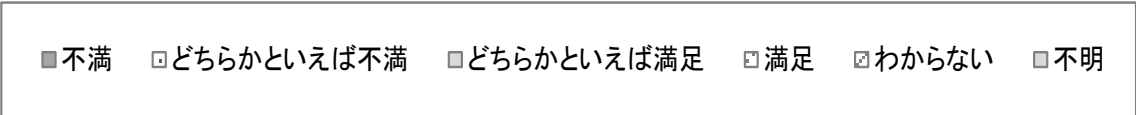


3. 生活意識について

【満足度の低い生活環境：全体】

- 「不満」、「どちらかといえば不満」の合計(以下『不満』)が最も高いのは、「バスの利便性」(38.5%)で、「買い物環境」、「幹線道路の整備」、「近隣の空家等の管理状況」、「病院や救急医療、地域の保健・病気予防対策」、「スポーツ活動のための環境」、「防犯対策」が続く。

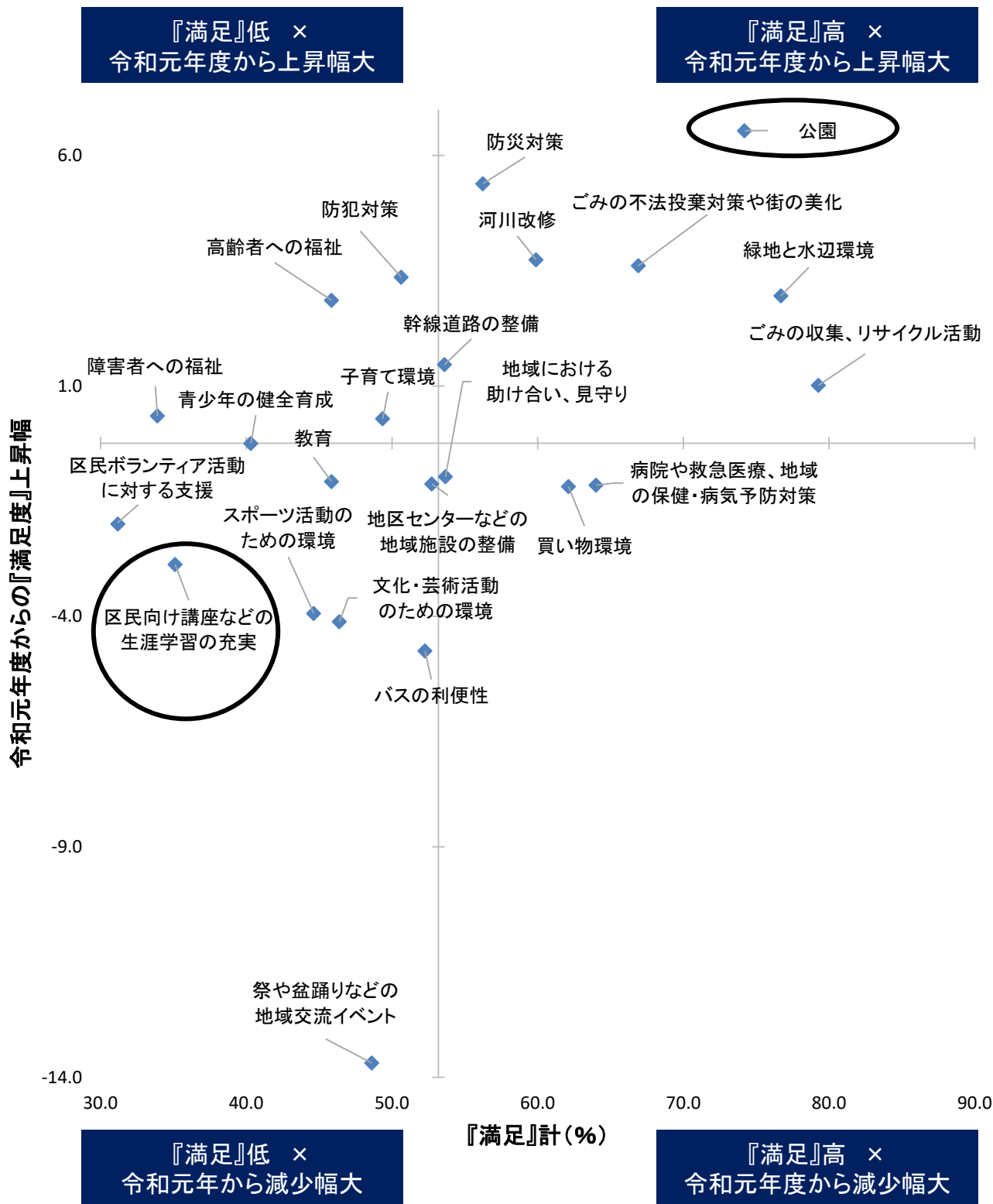
問5 以下の項目について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【満足度の時系列変化】

- 『満足』が高く、令和元年度から上昇幅の大きい項目としては「公園」があげられる。
- 一方で、『満足』が低く、令和元年度からの上昇幅が小さい項目としては「区民向け講座などの生涯学習の充実」があげられる。
- 令和元年度からの上昇幅が他と比べて低い項目としては「祭や盆踊りなどの地域交流イベント」があげられる。



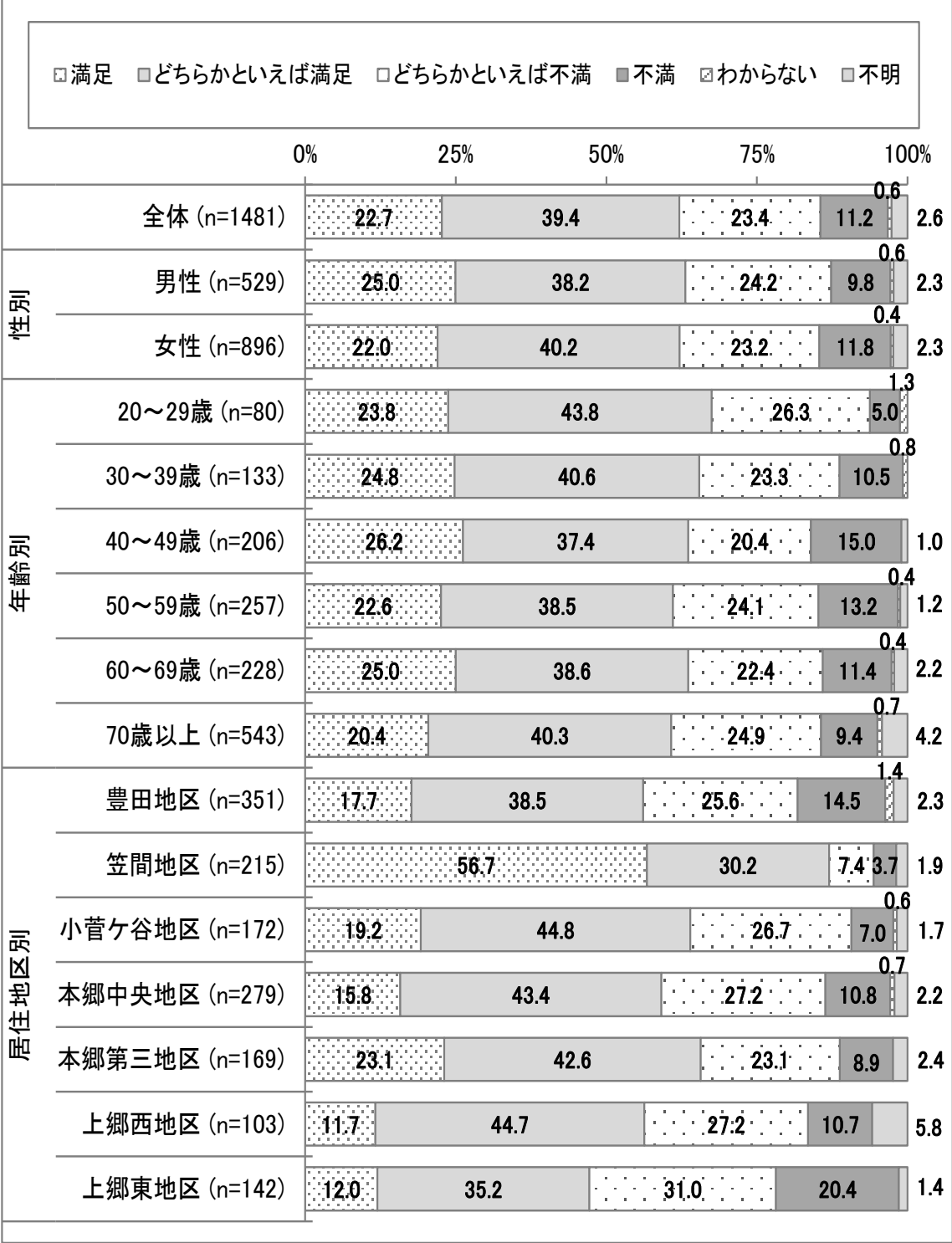
※縦軸、横軸はそれぞれ『満足』計(%）、令和元年度からの『満足』上昇幅の単純平均を示す

3. 生活意識について

【買い物環境】

- 全体の『満足』は62.1％である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「笠間地区」、5ポイント以上多いのは、「20～29歳」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「上郷東地区」、5ポイント以上少ないのは、「上郷西地区」、「豊田地区」である。

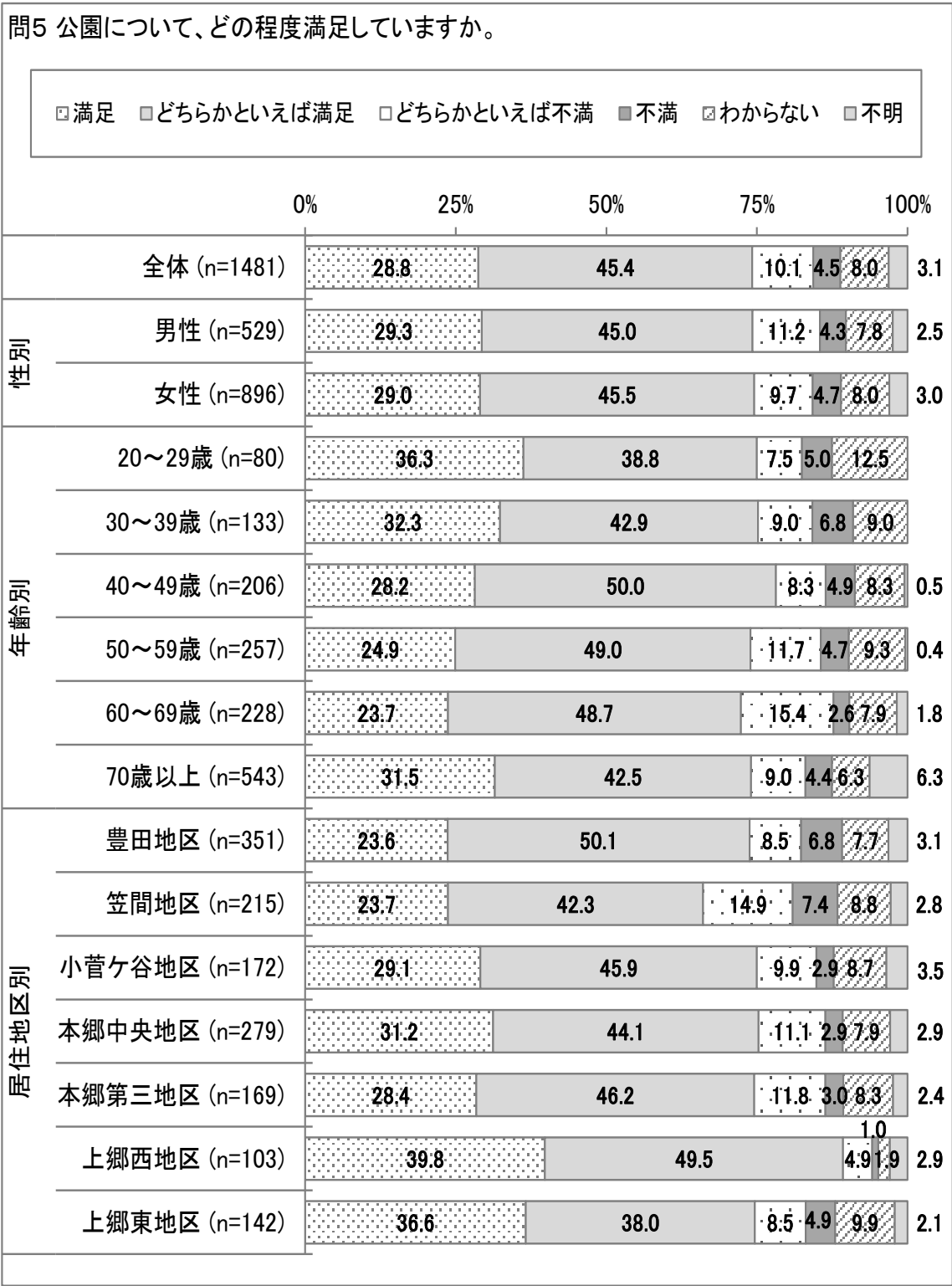
問5 買い物環境について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【公園】

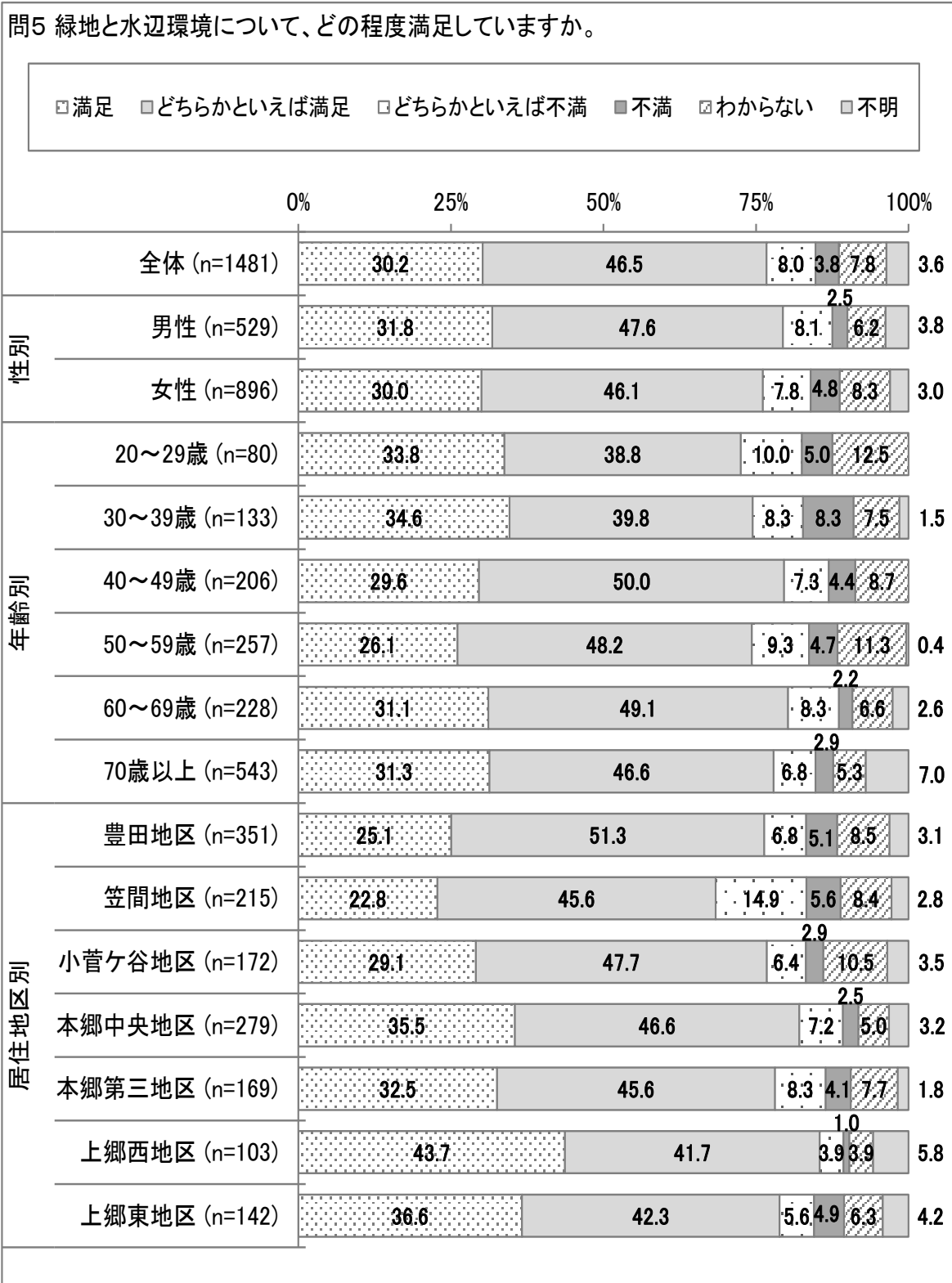
- 全体の『満足』は74.2%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「上郷西地区」、5ポイント以上少ないのは、「笠間地区」である。



3. 生活意識について

【緑地と水辺環境】

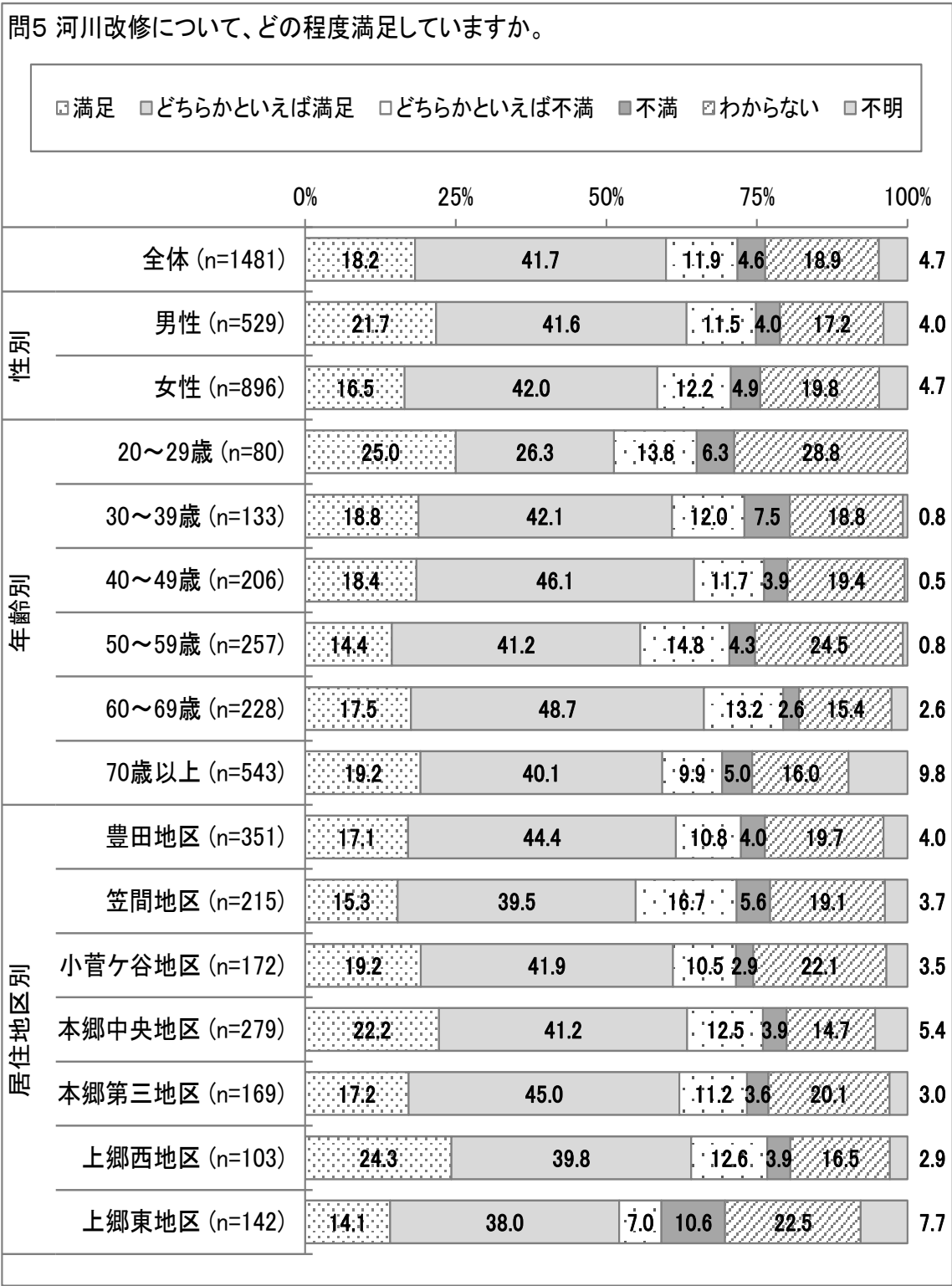
- 全体の『満足』は76.7%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「上郷西地区」、「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「笠間地区」である。



3. 生活意識について

【河川改修】

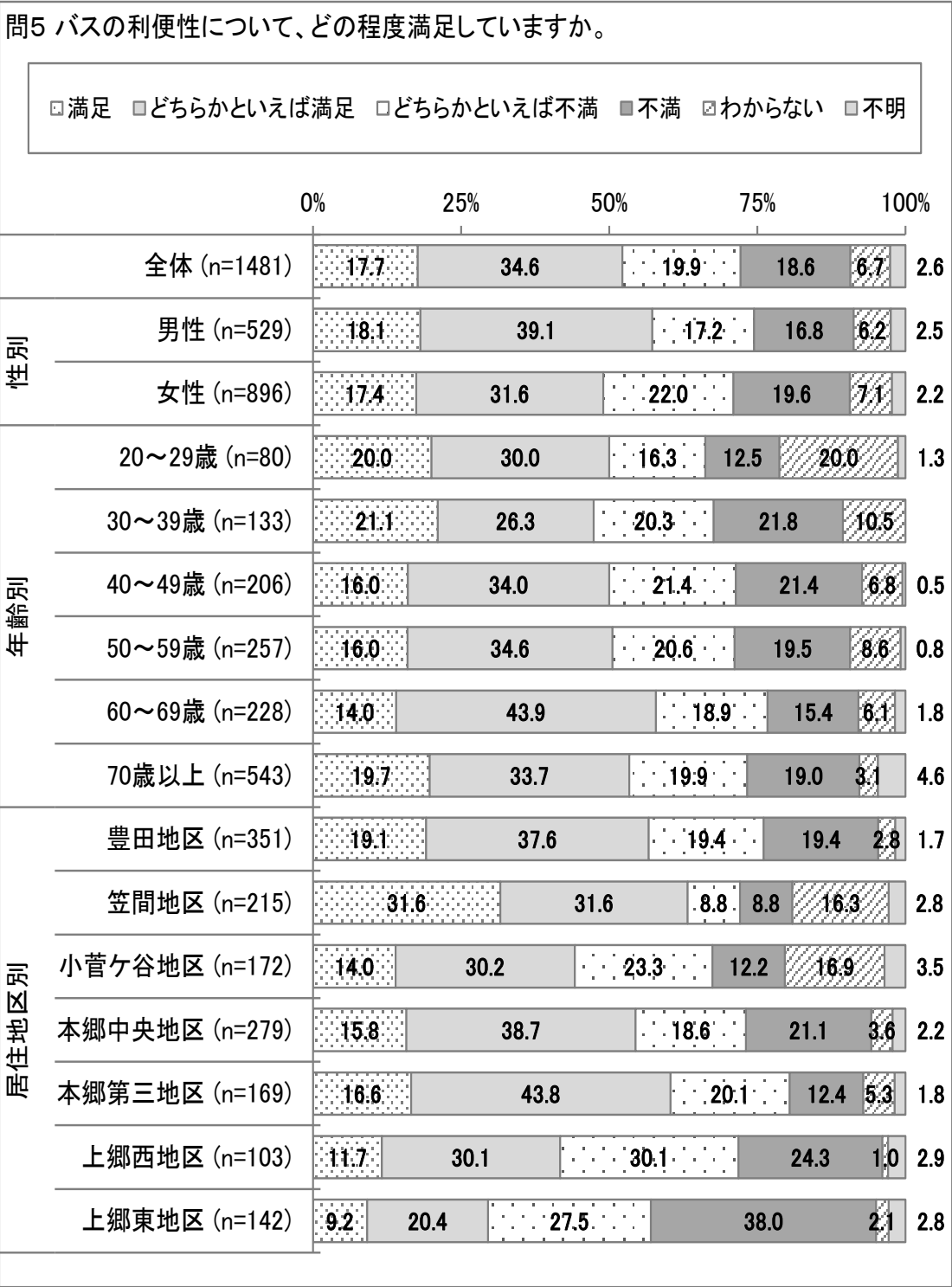
- 全体の『満足』は59.9%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「60～69歳」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」と「上郷東地区」、「笠間地区」である。



3. 生活意識について

【バスの利便性】

- 全体の『満足』は52.3%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「笠間地区」、5ポイント以上多いのは、「男性」と「60～69歳」と「本郷第三地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「上郷東地区」、「上郷西地区」、5ポイント以上少ないのは、「小菅ヶ谷地区」である。
- 「20～29歳」と「小菅ヶ谷地区」では、「わからない」が全体より10ポイント以上多い。

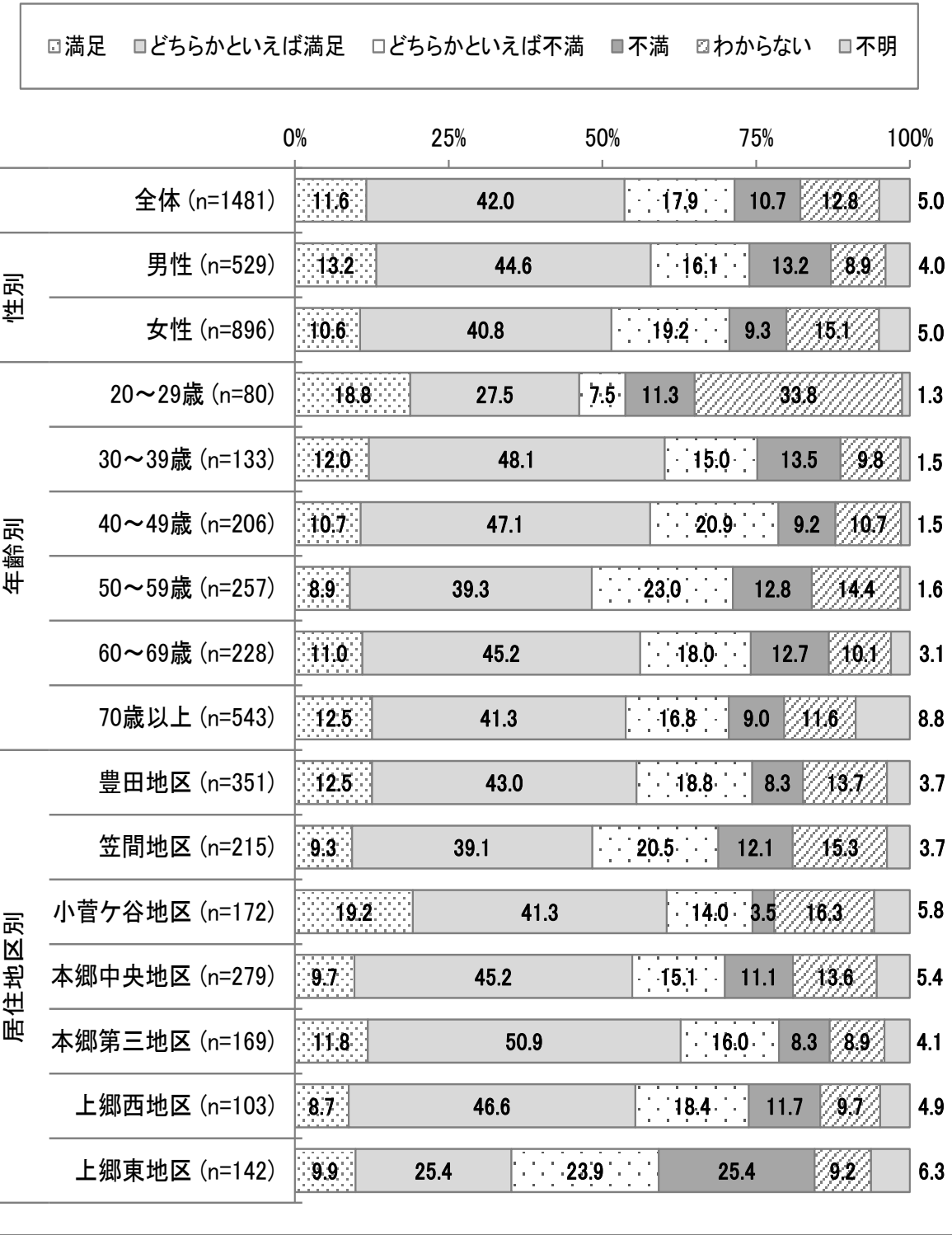


3. 生活意識について

【幹線道路の整備】

- 全体の『満足』は53.6%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「30～39歳」と「本郷第三地区」、「小菅ヶ谷地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「上郷東地区」、5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「50～59歳」と「笠間地区」である。
- 「20～29歳」では、「わからない」が全体より10ポイント以上多い。

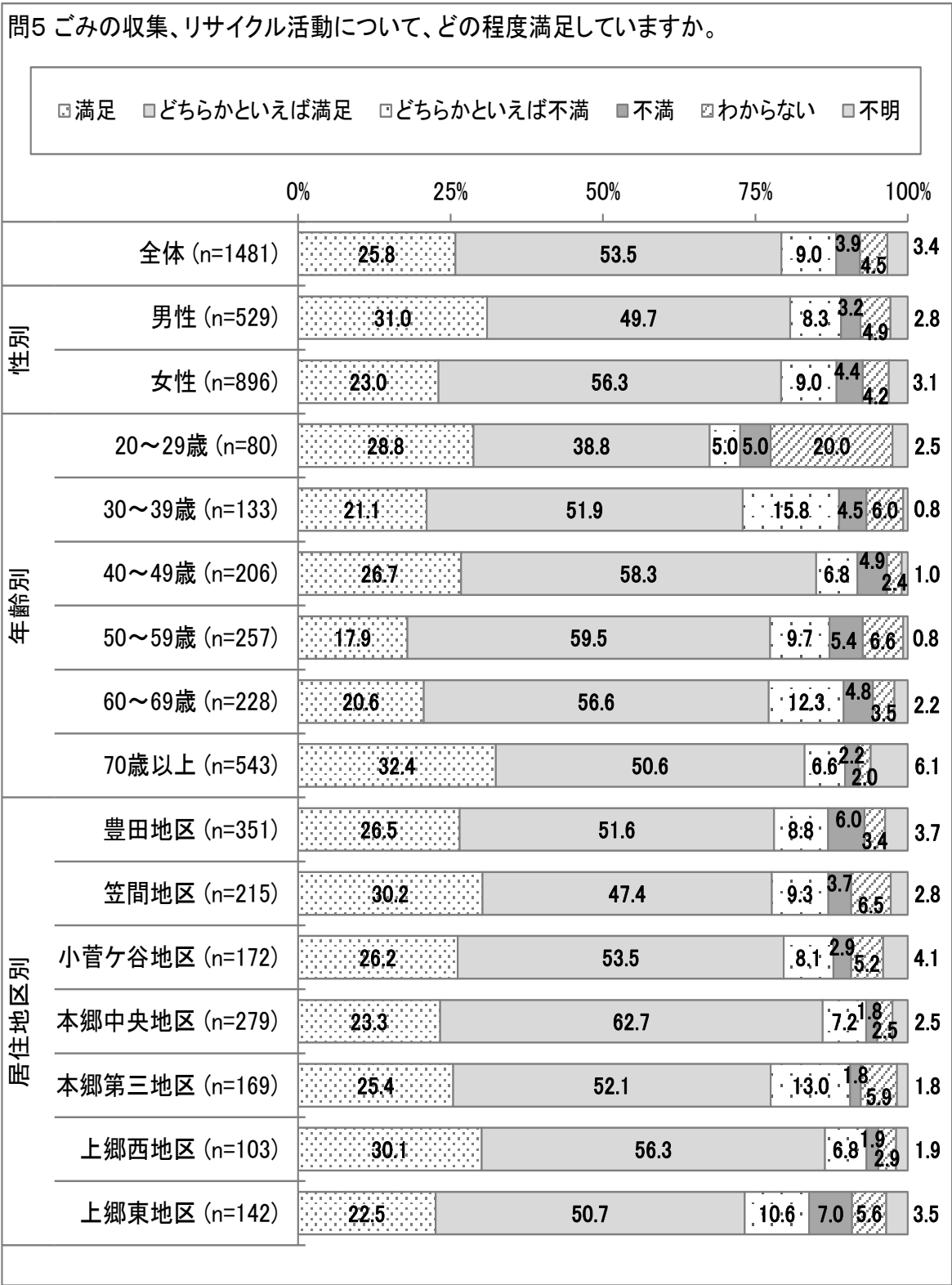
問5 幹線道路の整備について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【ごみの収集・リサイクル活動】

- 全体の『満足』は79.3%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」と「上郷西地区」、
- 「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、5ポイント以上
- 少ないのは、「30～39歳」と「上郷東地区」である。
- 「20～29歳」では、「わからない」が全体より10ポイント以上多い。

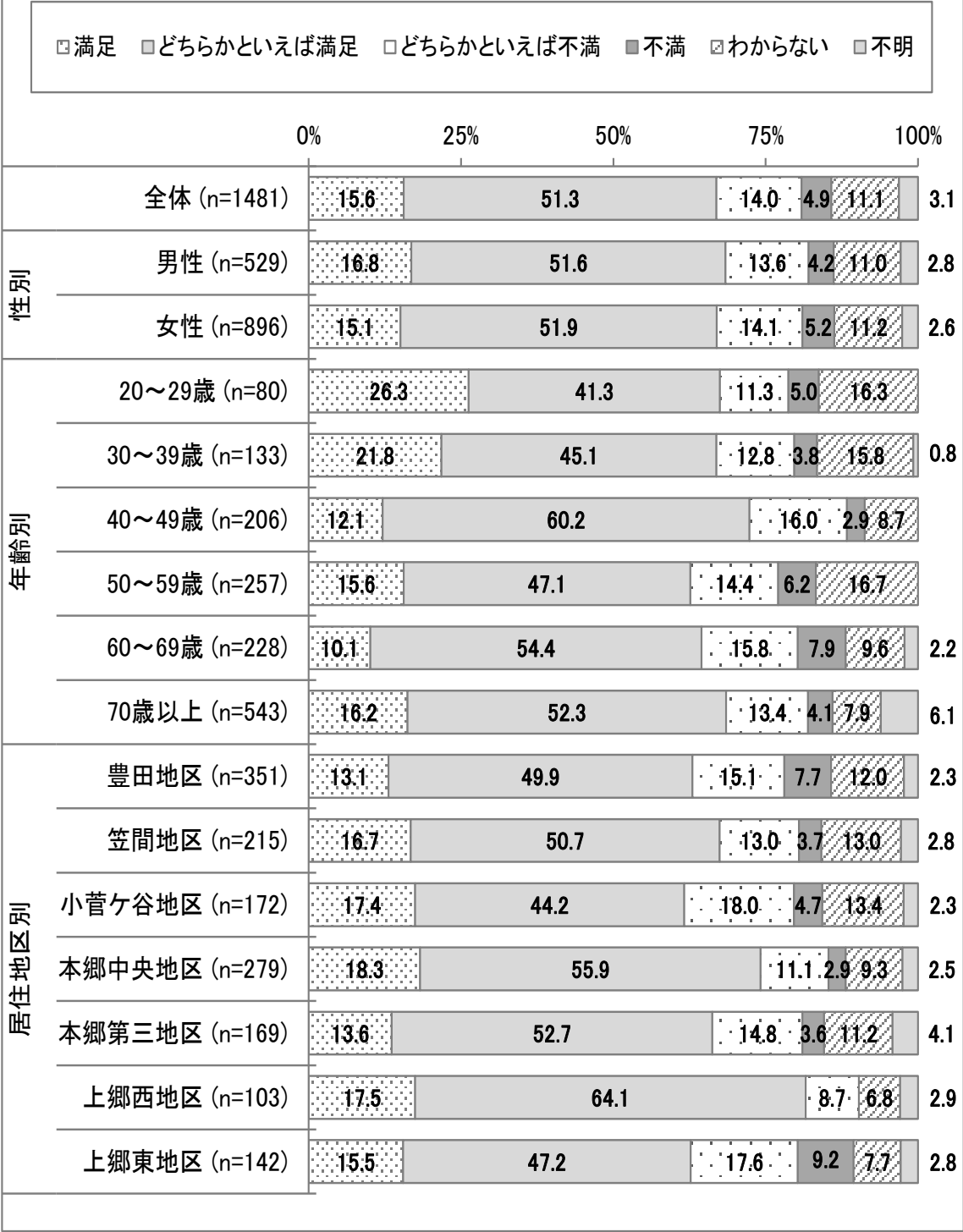


3. 生活意識について

【ごみの不法投棄対策や街の美化】

- 全体の『満足』は66.9％である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「上郷西地区」、5ポイント以上多いのは、「40～49歳」と「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「小菅ヶ谷地区」である。

問5 ごみの不法投棄対策や街の美化について、どの程度満足していますか。

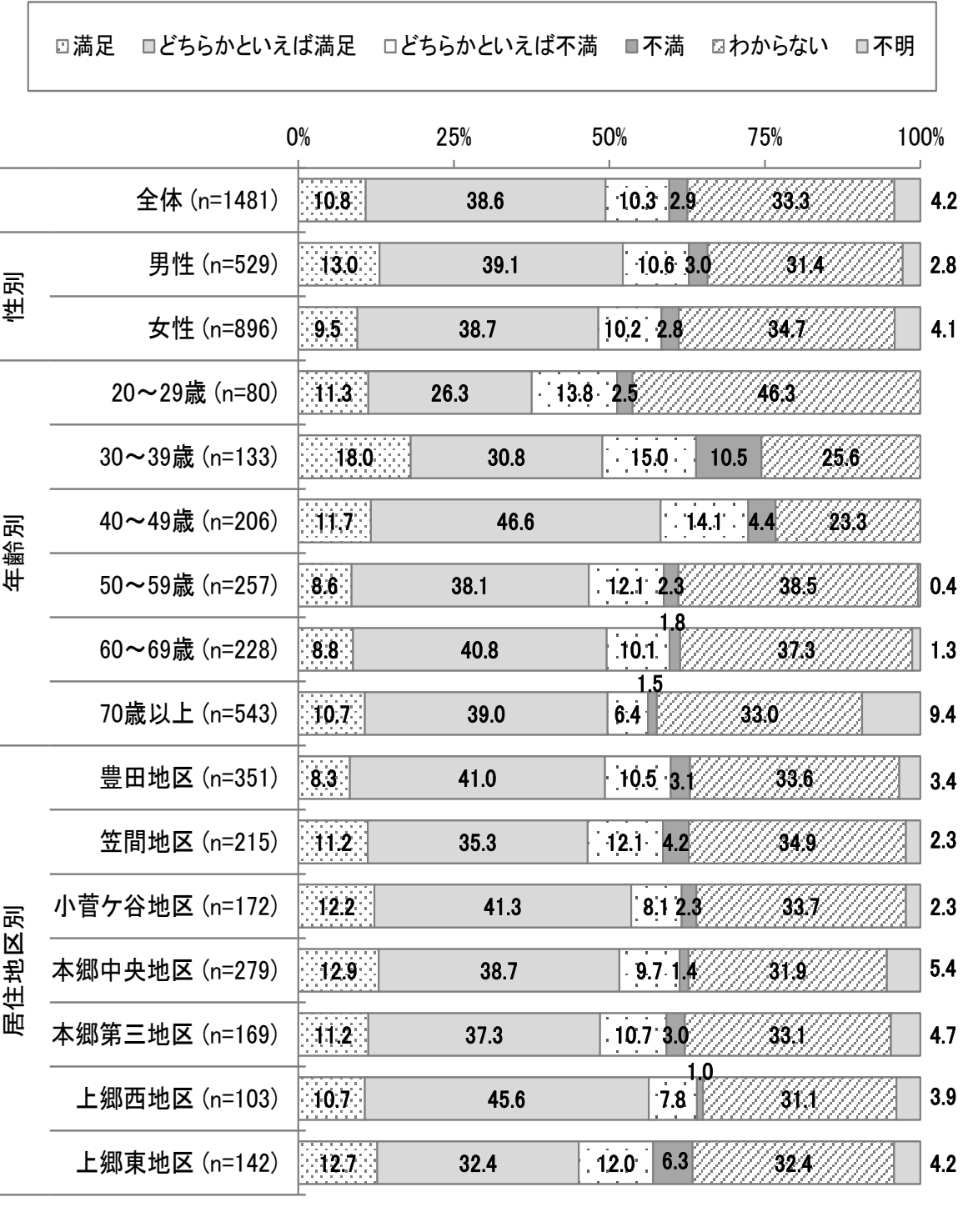


3. 生活意識について

【子育て環境】

- 全体の『満足』は49.4％である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」と「上郷西地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「20～29歳」である。
- 「20～29歳」では、「わからない」が全体より10ポイント以上多い。

問5 子育て環境について、どの程度満足していますか。

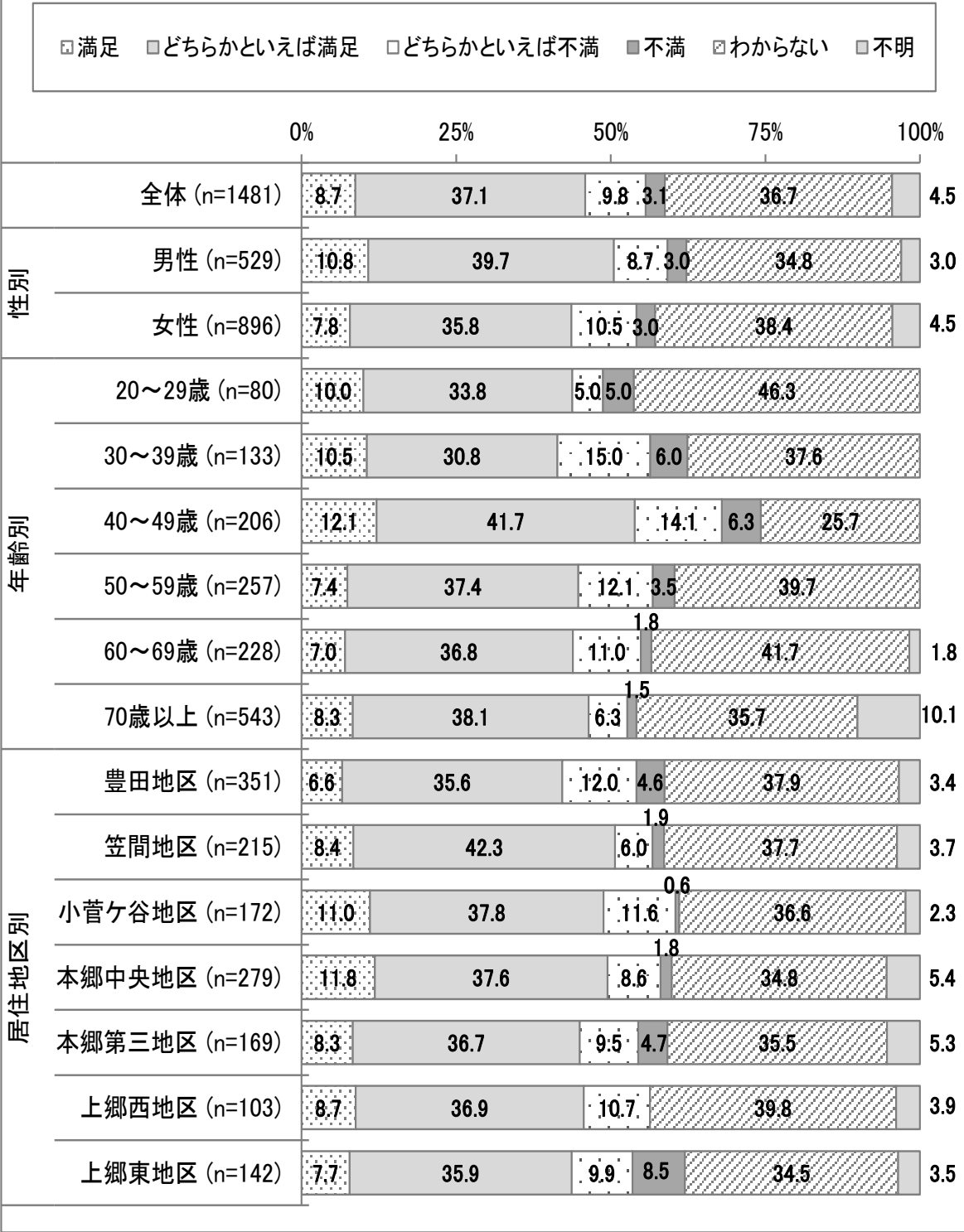


3. 生活意識について

【教育】

- 全体の『満足』は45.8%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」である。

問5 教育について、どの程度満足していますか。

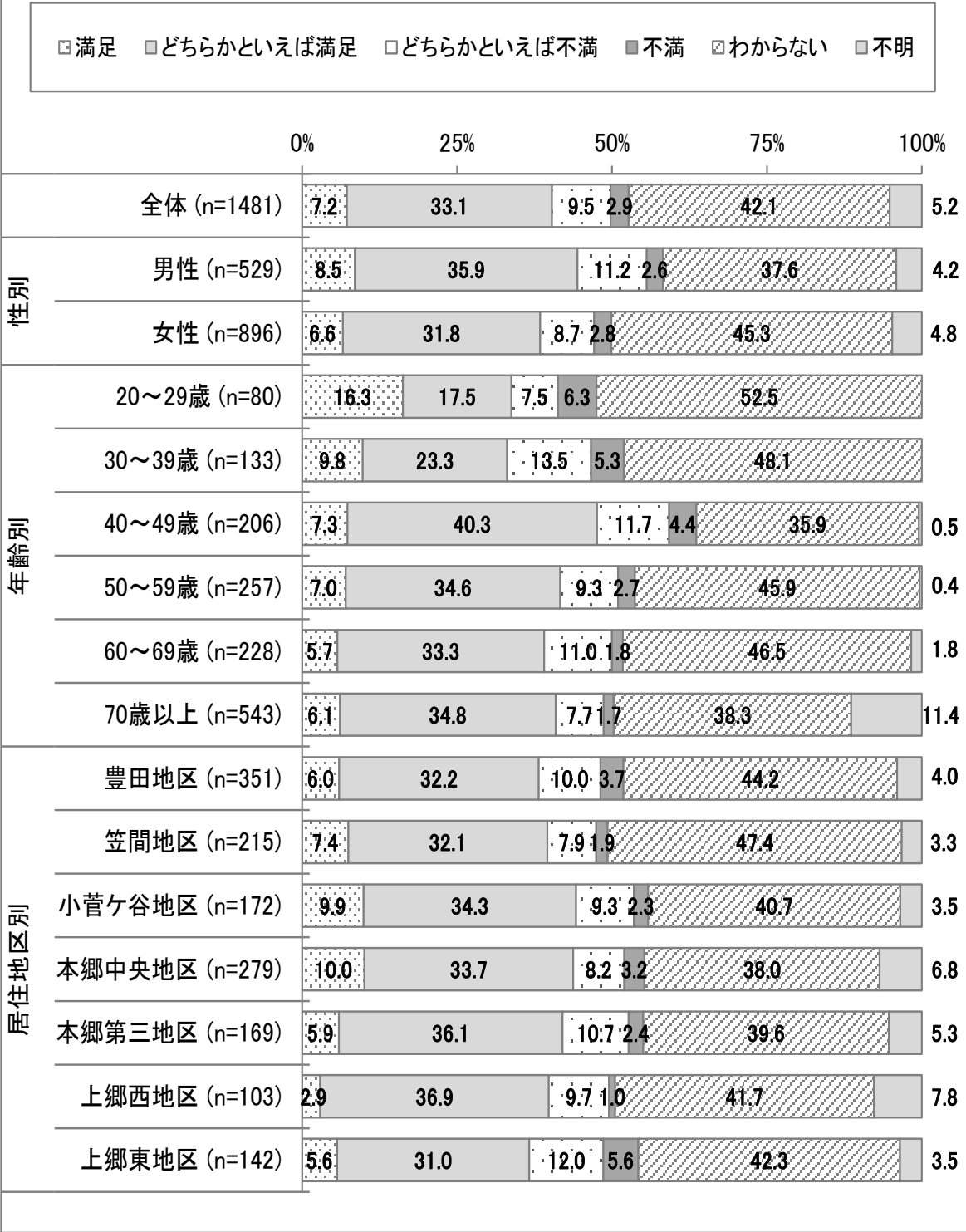


3. 生活意識について

【青少年の健全育成】

- 全体の『満足』は40.3%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「30～39歳」である。
- 全体の42.1%が「わからない」と回答しており、「20～29歳」は全体より10ポイント以上多い。

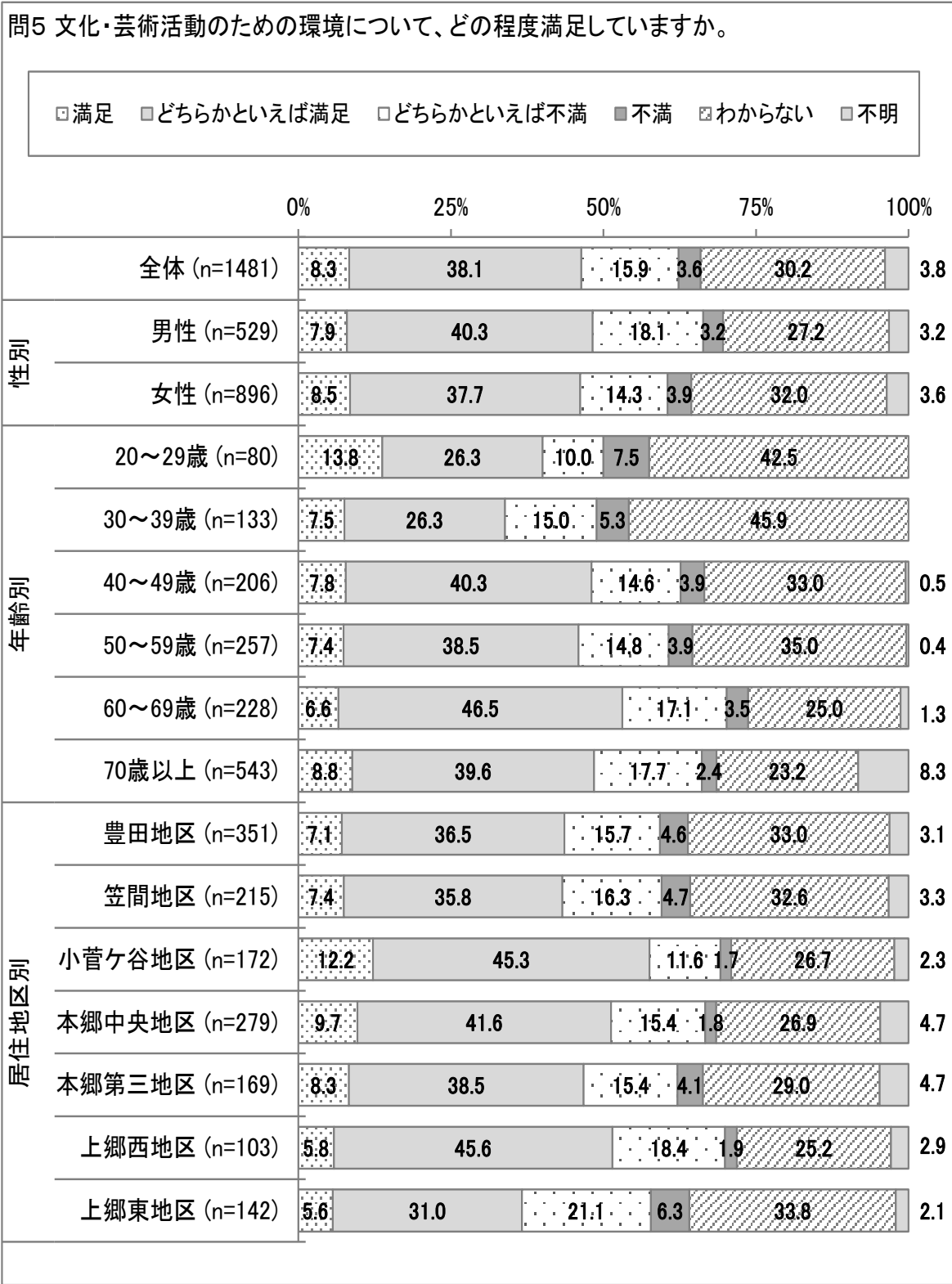
問5 青少年の健全育成について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【文化・芸術活動のための環境】

- 全体の『満足』は46.4％である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「小菅ヶ谷地区」、5ポイント以上多いのは、「60～69歳」と「上郷西地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「30～39歳」、5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」と「上郷東地区」である。
- 「20～29歳」、「30～39歳」では、「わからない」が全体より10ポイント以上多い。

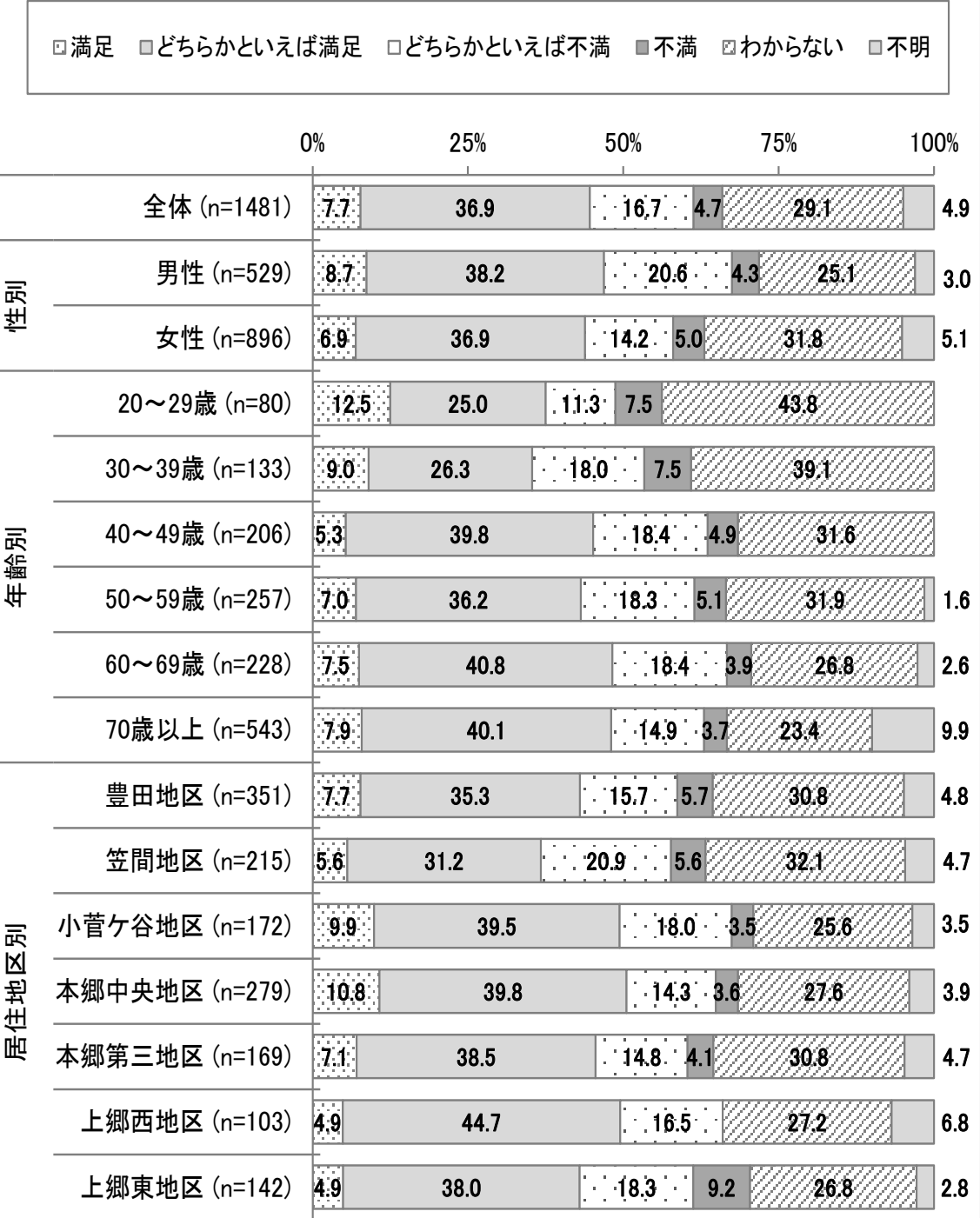


3. 生活意識について

【スポーツ活動のための環境】

- 全体の『満足』は44.6％である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「30～39歳」と「笠間地区」である。
- 「20～29歳」、「30～39歳」は「わからない」が全体より10ポイント以上多い。

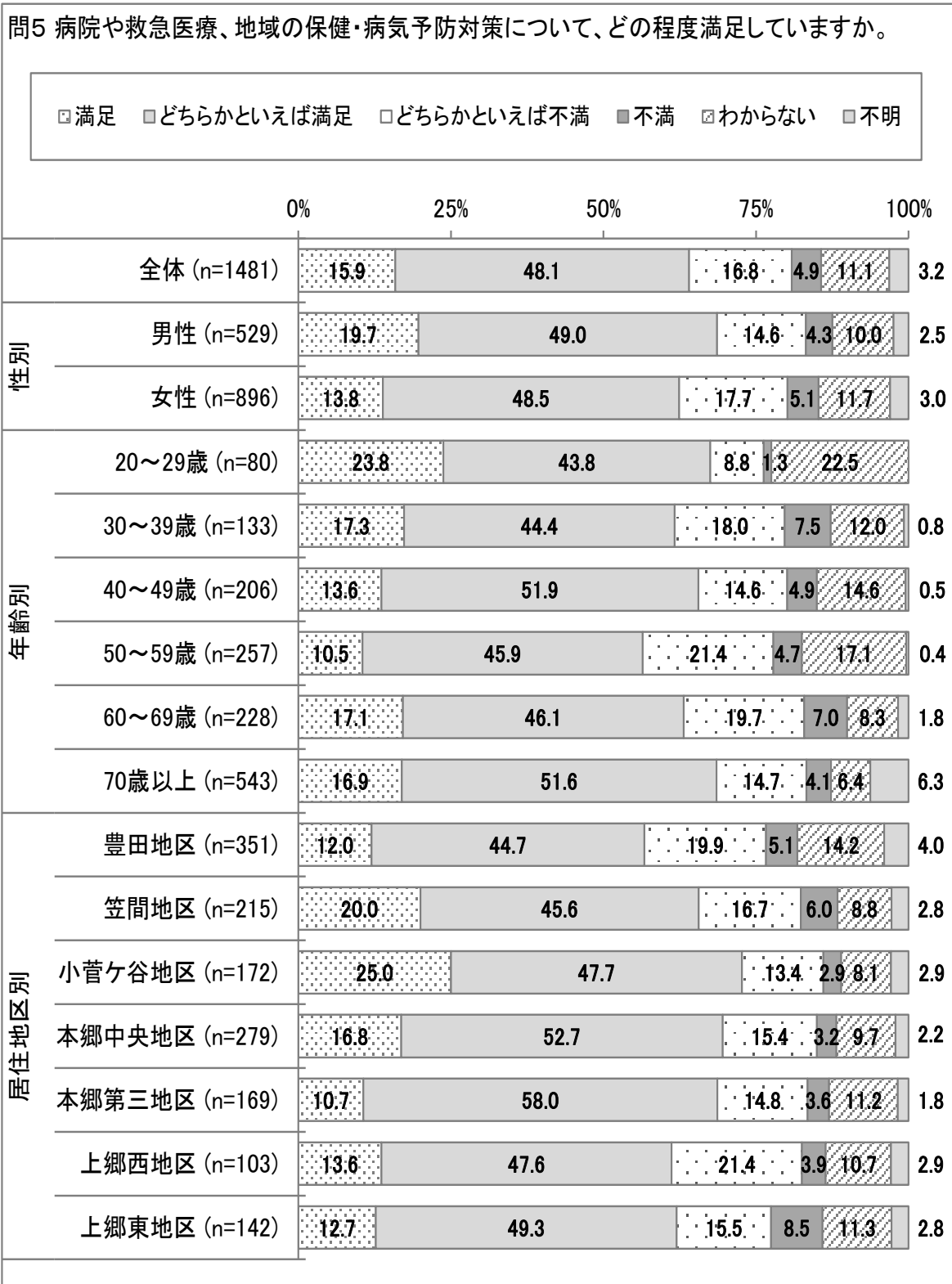
問5 スポーツ活動のための環境について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【病院や救急医療、地域の保険・病気予防対策】

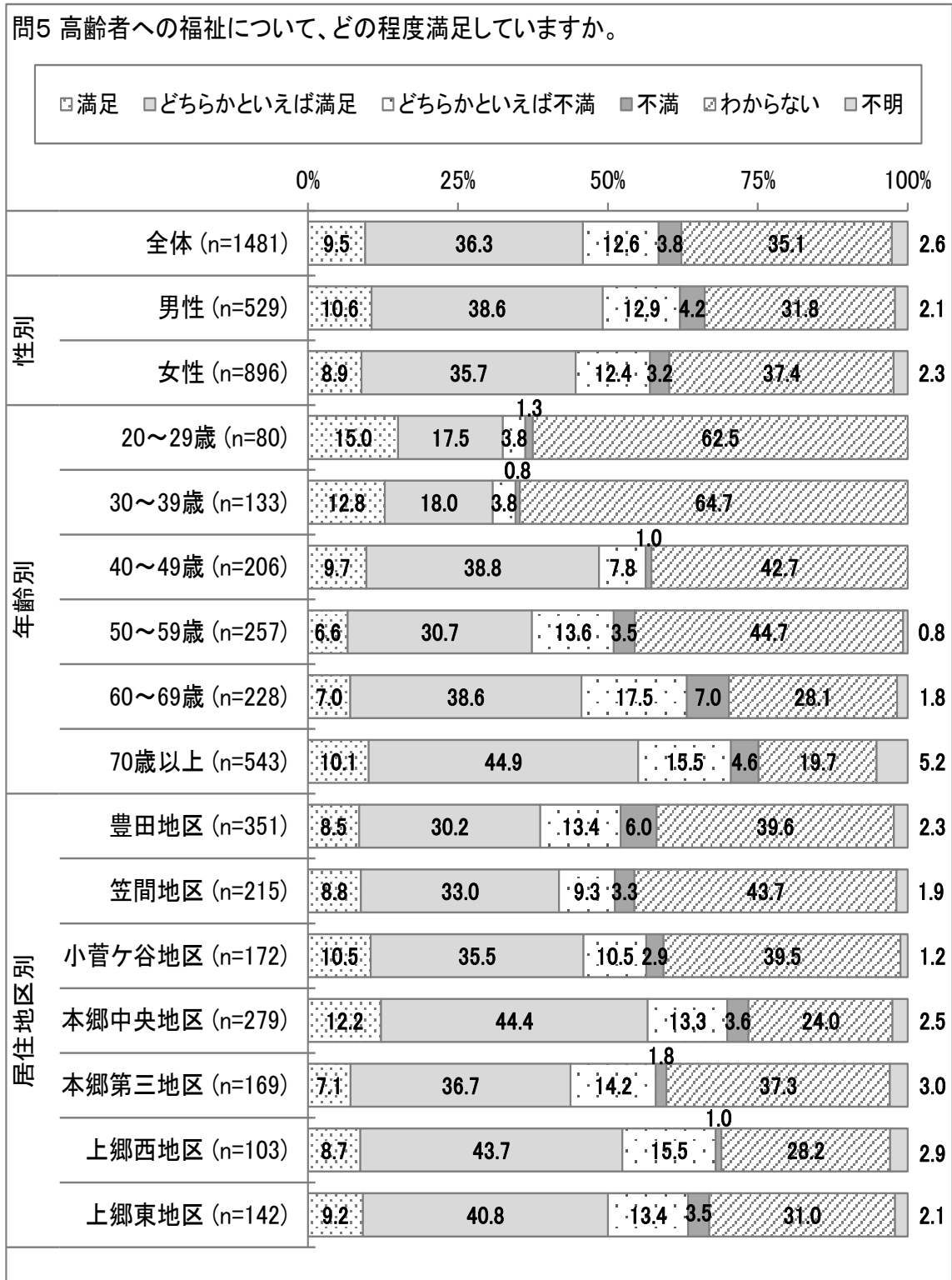
- 全体の『満足』は64.0％である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「小菅ヶ谷地区」、「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「50～59歳」と「豊田地区」である。
- 「20～29歳」では、「わからない」が全体より10ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【高齢者への福祉】

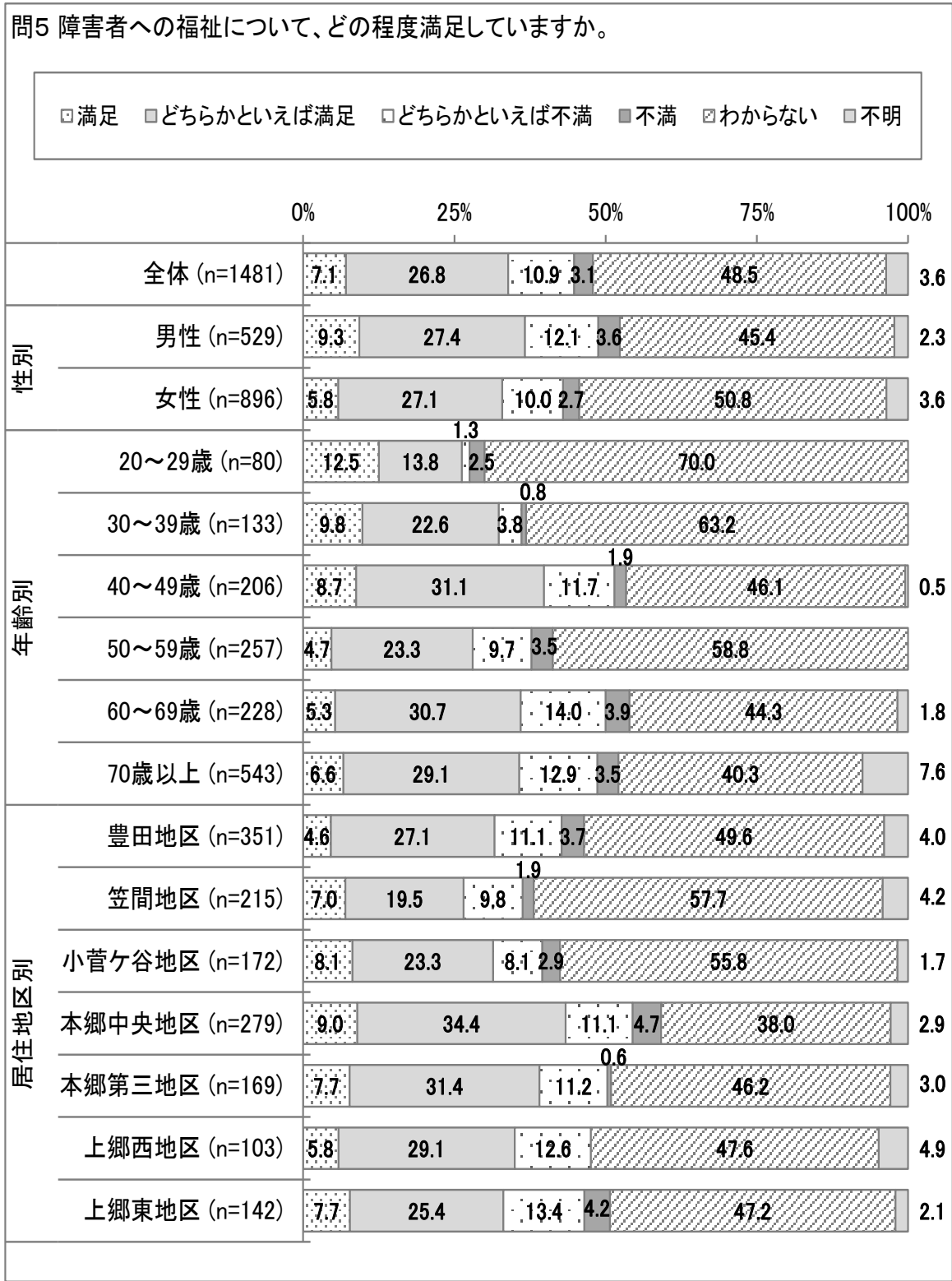
- 全体の『満足』は45.8%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「本郷中央地区」、5ポイント以上多いのは、「70歳以上」と「上郷西地区」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「30～39歳」、5ポイント以上少ないのは、「50～59歳」と「豊田地区」である。
- 「20～29歳」、「30～39歳」は「わからない」が全体より20ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【障害者への福祉】

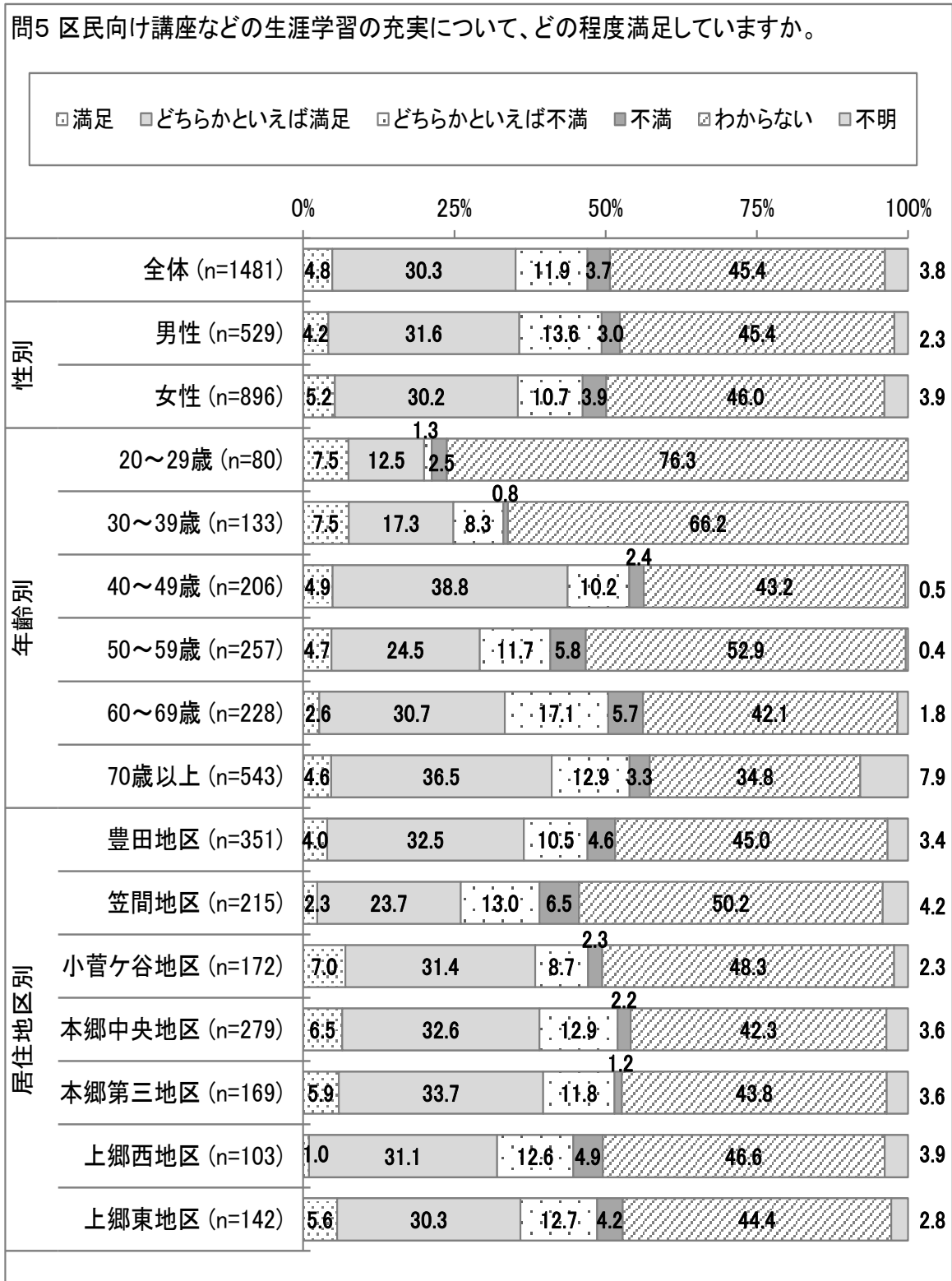
- 全体の『満足』は33.9%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」と「本郷中央地区」、「本郷第三地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「50～59歳」と「笠間地区」である。
- 全体の48.5%が「わからない」と回答しており、「20～29歳」では全体より20ポイント以上、「30～39歳」、「50～59歳」では全体より10ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【区民向け講座などの生涯学習の充実】

- 全体の『満足』は35.1％である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」、「70歳以上」である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「30～39歳」、5ポイント以上少ないのは、「50～59歳」と「笠間地区」である。
- 全体の45.4％が「わからない」と回答しており、「20～29歳」では全体より30ポイント以上、「30～39歳」では全体より20ポイント以上多い。

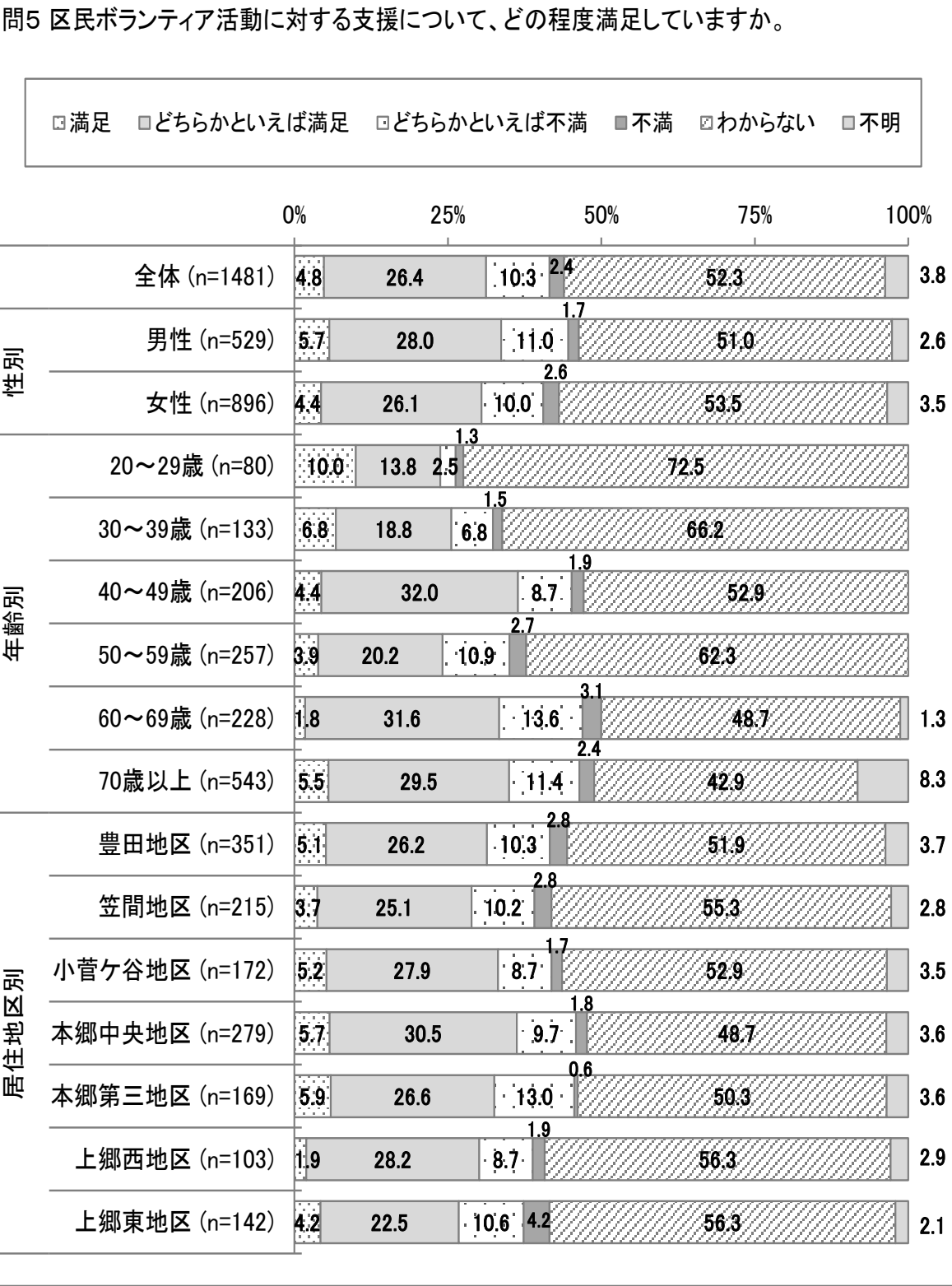


3. 生活意識について

【区民ボランティア活動に対する支援】

- 全体の『満足』は31.2%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」と「本郷中央地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「30～39歳」、「50～59歳」である。
- 全体の52.3%が「わからない」と回答しており、「20～29歳」では全体より20ポイント以上、「30～39歳」、「50～59歳」では全体より10ポイント以上多い。

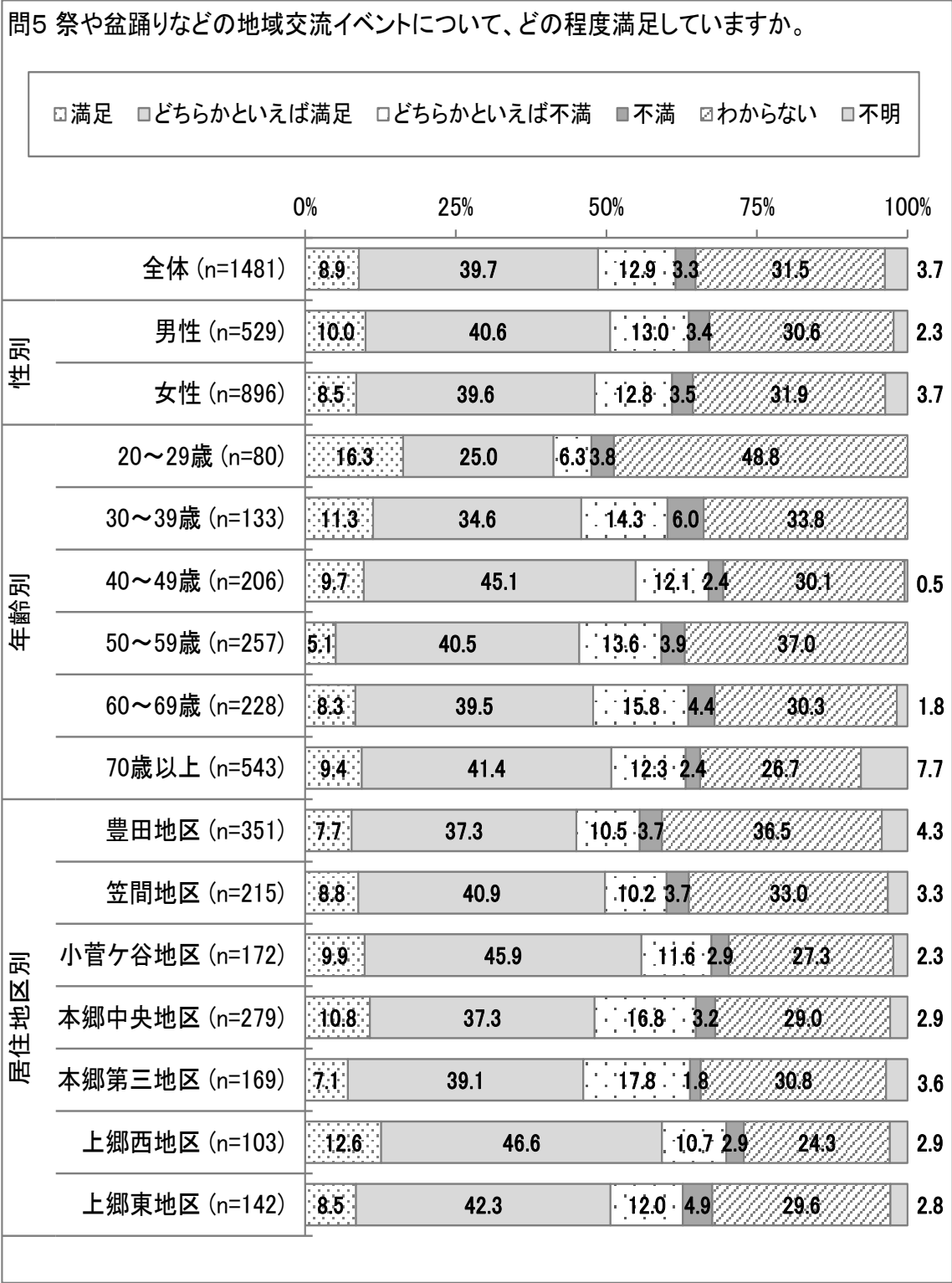
問5 区民ボランティア活動に対する支援について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【祭や盆踊りなどの地域交流イベント】

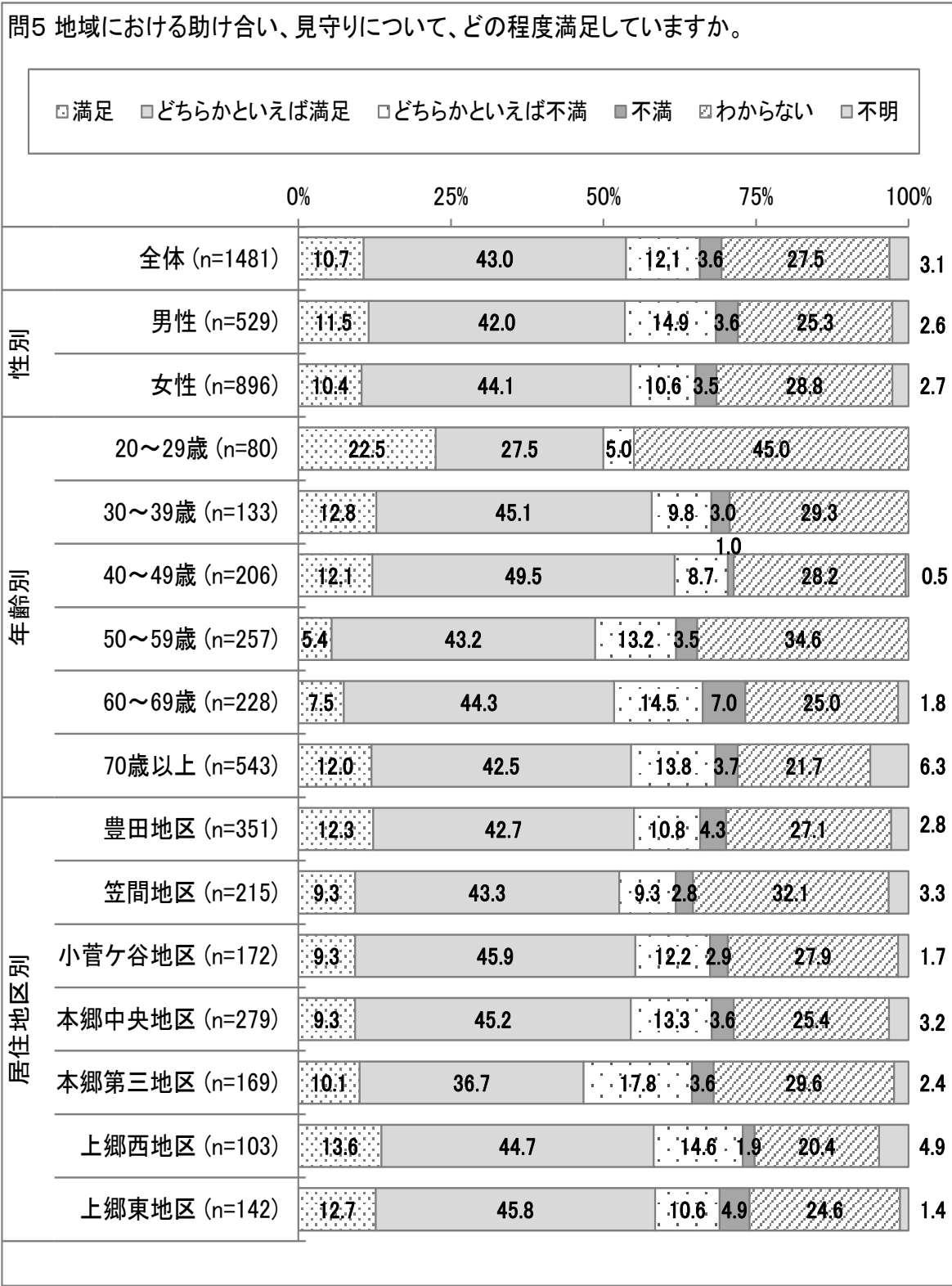
- 全体の『満足』は48.6%である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「上郷西地区」、5ポイント以上多いのは、「40～49歳」、「小菅ヶ谷地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」である。
- 「20～29歳」は「わからない」が全体より10ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【地域における助け合い、見守り】

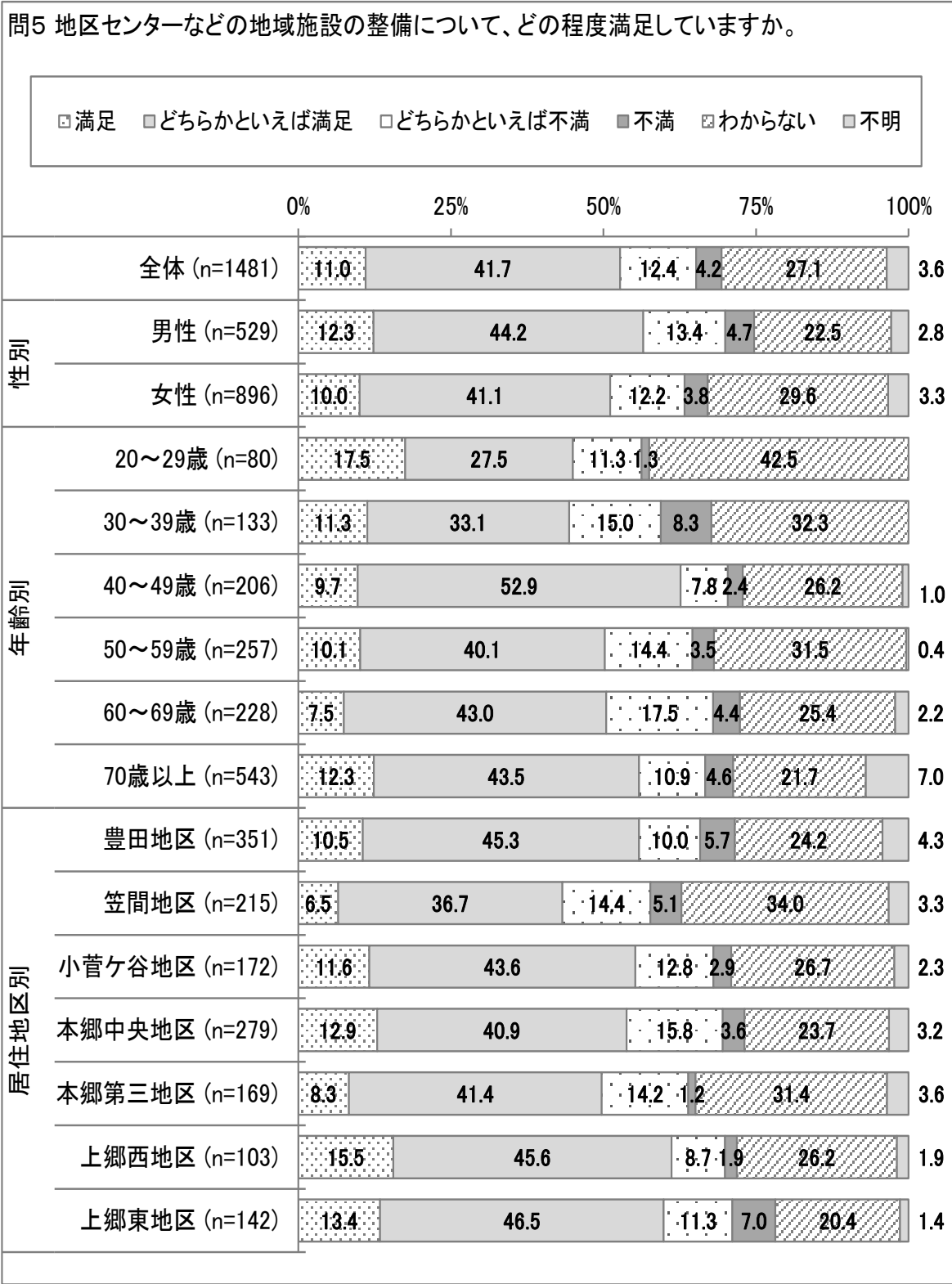
- 全体の『満足』は53.7％である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「50～59歳」と「本郷第三地区」である。
- 「20～29歳」は「わからない」が全体より10ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【地区センターなどの地域施設の整備】

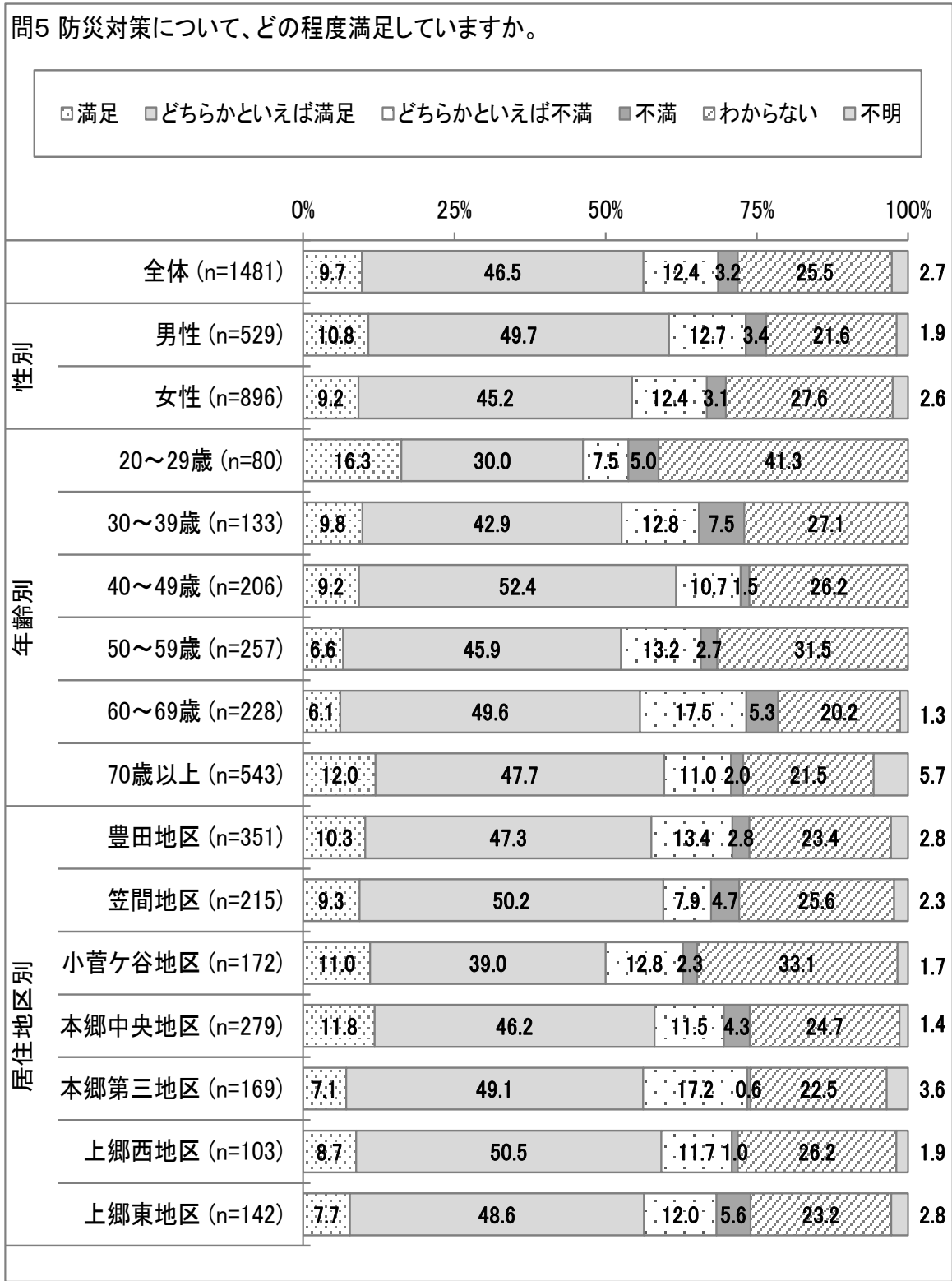
- 全体の『満足』は52.7%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」、「上郷西地区」、「上郷東地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、「30～39歳」と「笠間地区」である。
- 「20～29歳」では、「わからない」が全体より10ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【防災対策】

- 全体の『満足』は56.2%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」と「小菅ヶ谷地区」である。
- 「20～29歳」では、「わからない」が全体より10ポイント以上多い。

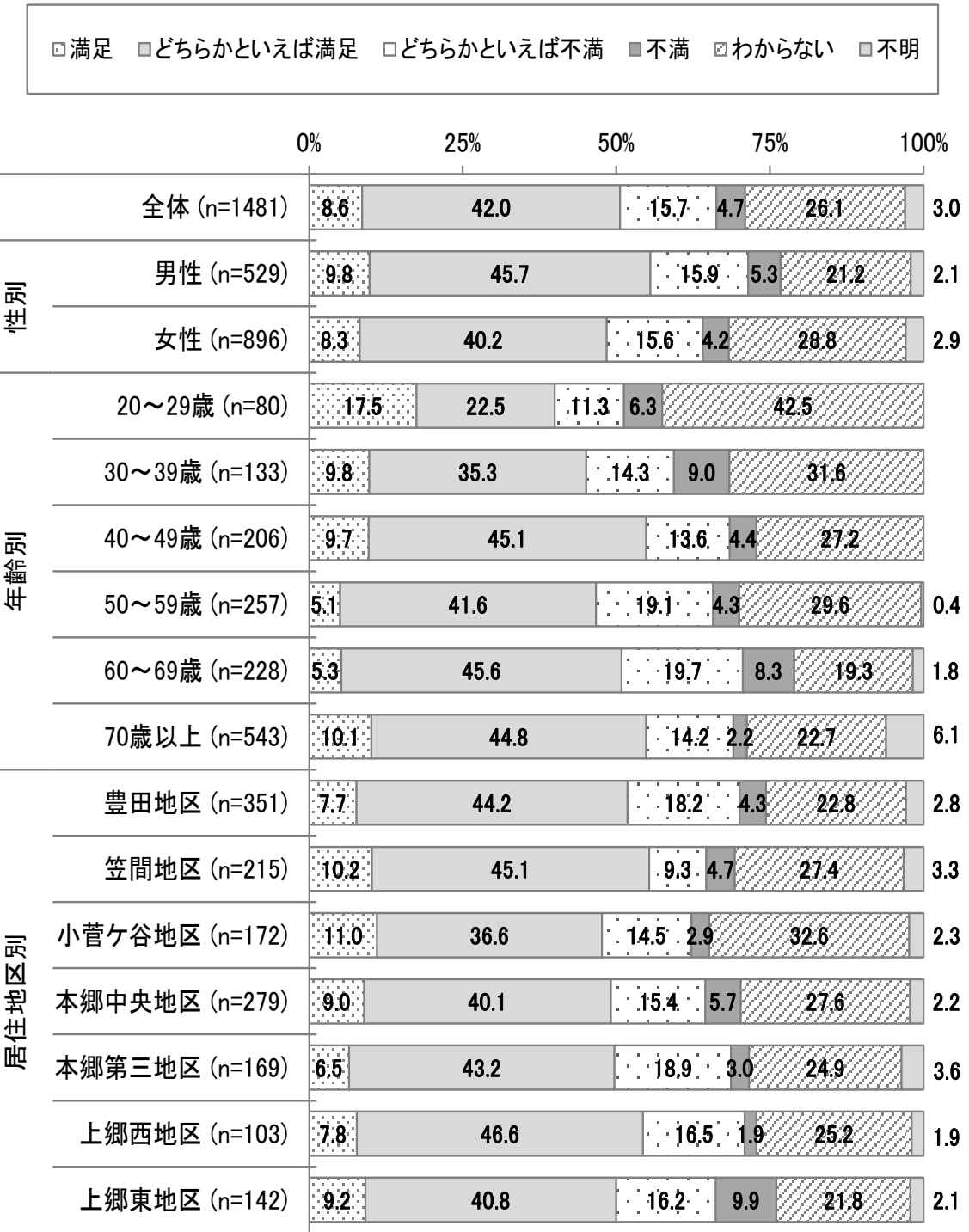


3. 生活意識について

【防犯対策】

- 全体の『満足』は50.6％である。
- 全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「20～29歳」、5ポイント以上少ないのは、「30～39歳」である。
- 「20～29歳」では、「わからない」が全体より10ポイント以上多い。

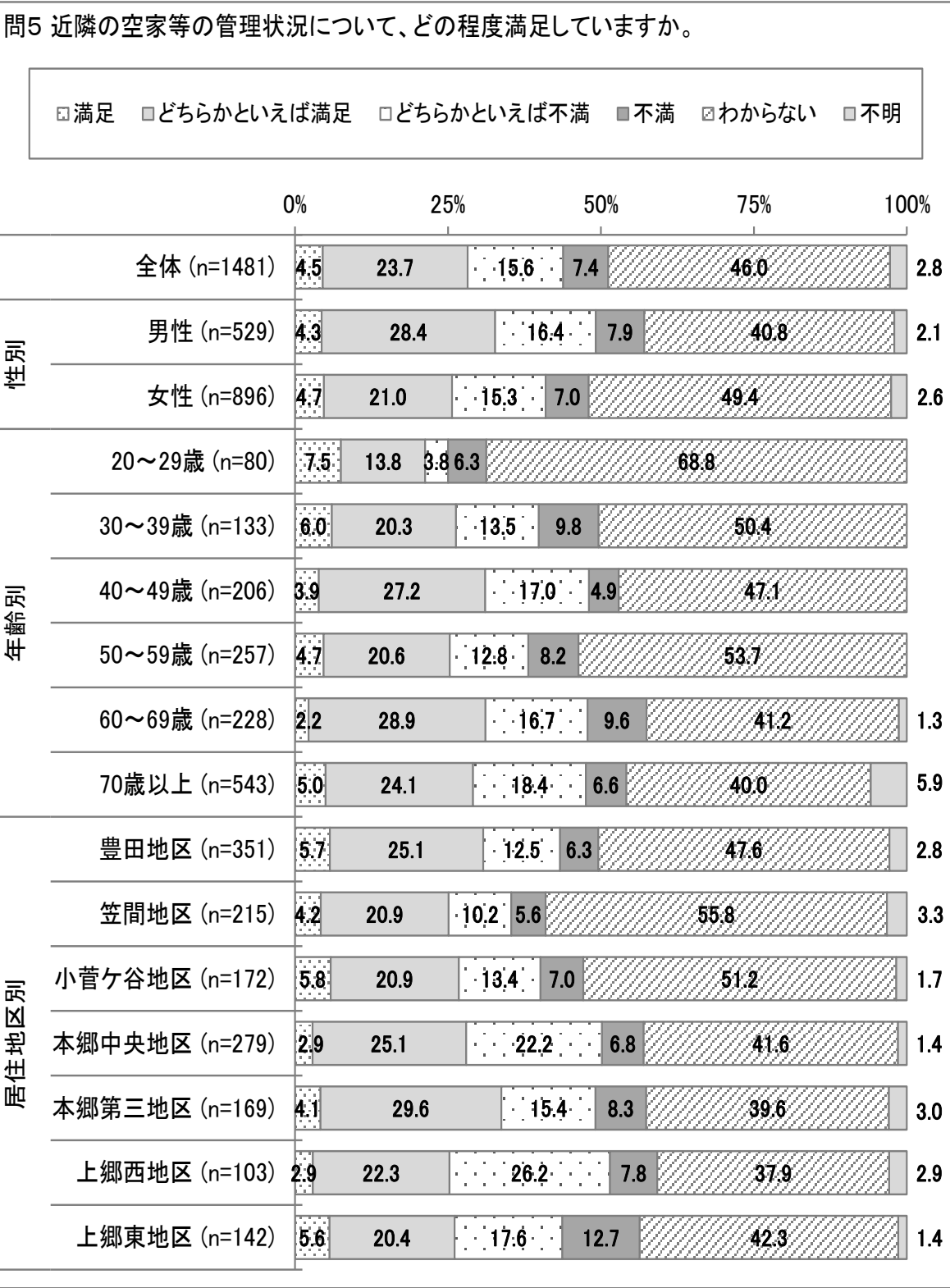
問5 防犯対策について、どの程度満足していますか。



3. 生活意識について

【近隣の空家等の管理状況】

- 全体の『満足』は28.2%である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「本郷第三地区」である。
- 全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「20～29歳」である。
- 全体の46.0%が「わからない」と回答しており、「20～29歳」は全体より20ポイント以上多い。

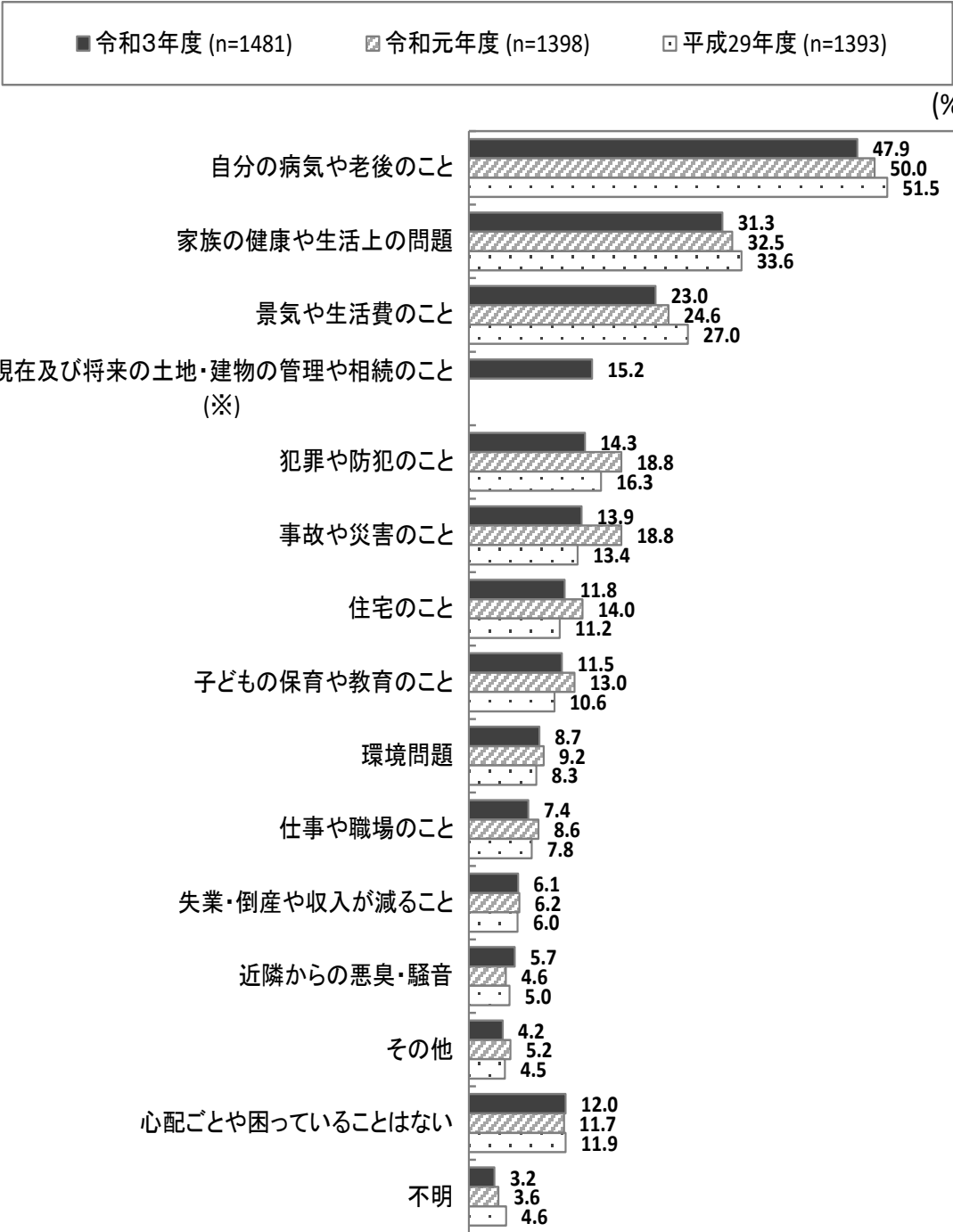


3. 生活意識について

【心配ごとや困っていること：全体・時系列】

- 最も割合が高いのは、「自分の病気や老後のこと」で47.9%、次いで、「家族の健康や生活上の問題」(31.3%)、「景気や生活費のこと」(23.0%)が続く。
- 前回調査と比較すると、「近隣からの悪臭・騒音」で1.1ポイントの増加がみられたが、その他全ての項目で減少している。

問6 近頃、ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。
(〇は3つまで)



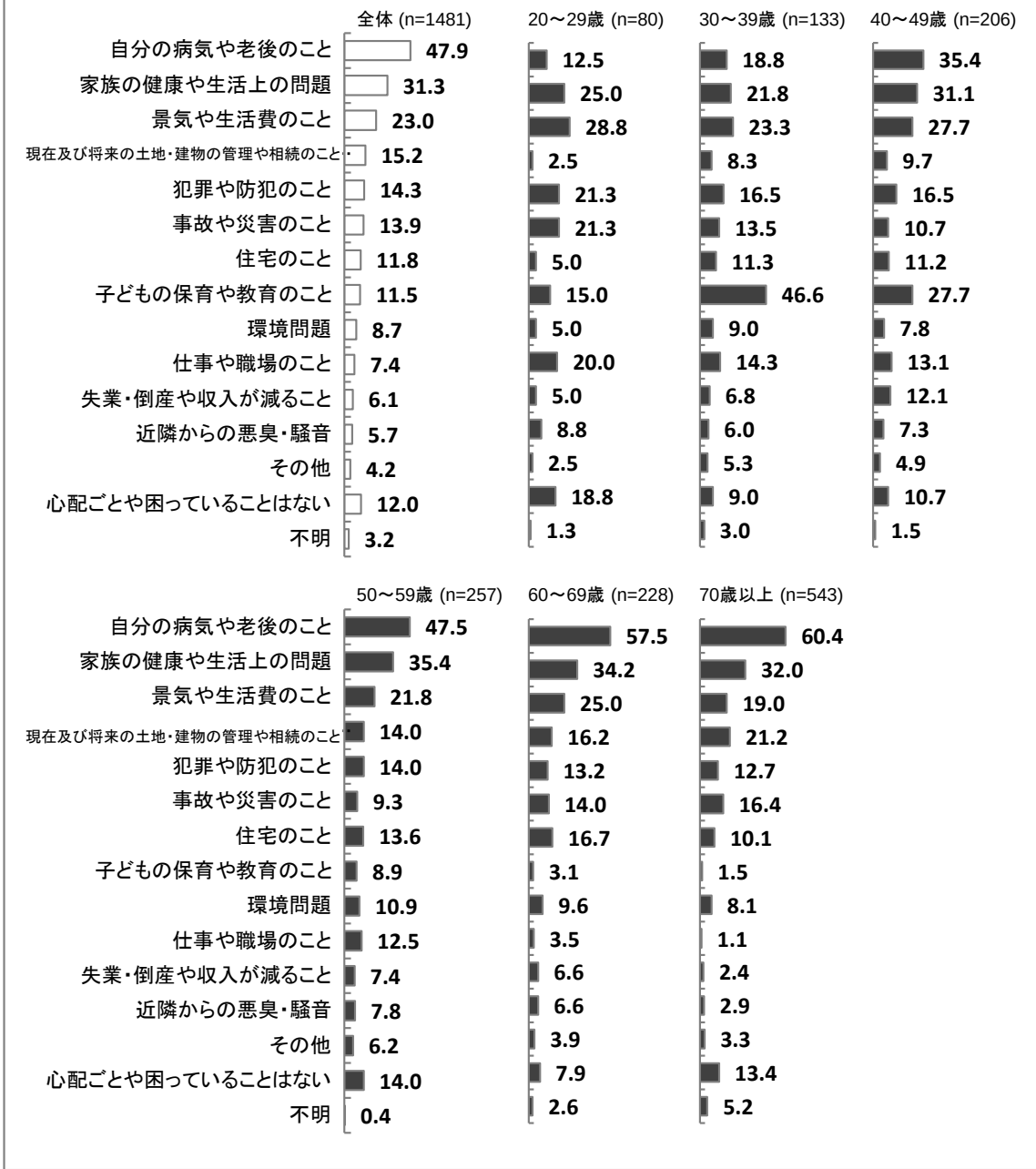
(※)は令和3年度調査の新設項目。

3. 生活意識について

【心配ごとや困っていること：年齢別】

- ・ 「20～29歳」では、「仕事や職場のこと」が全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「30～39歳」、「40～49歳」では、「子どもの保育や教育のこと」が全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「70歳以上」では、「自分の病気や老後のこと」が6割を超え全体より10ポイント以上多い。

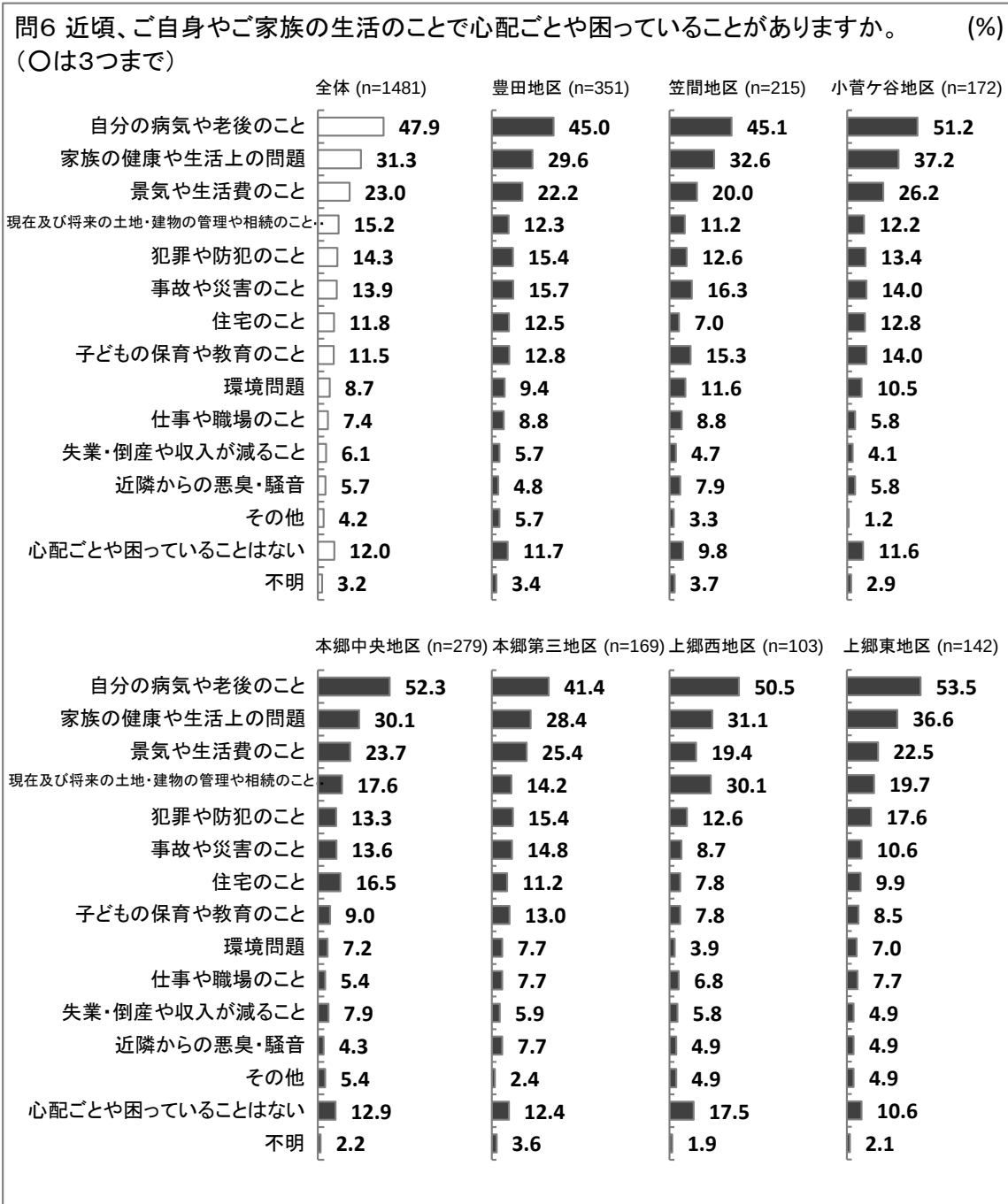
問6 近頃、ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。 (%)
(○は3つまで)



3. 生活意識について

【心配ごとや困っていること：居住地区別】

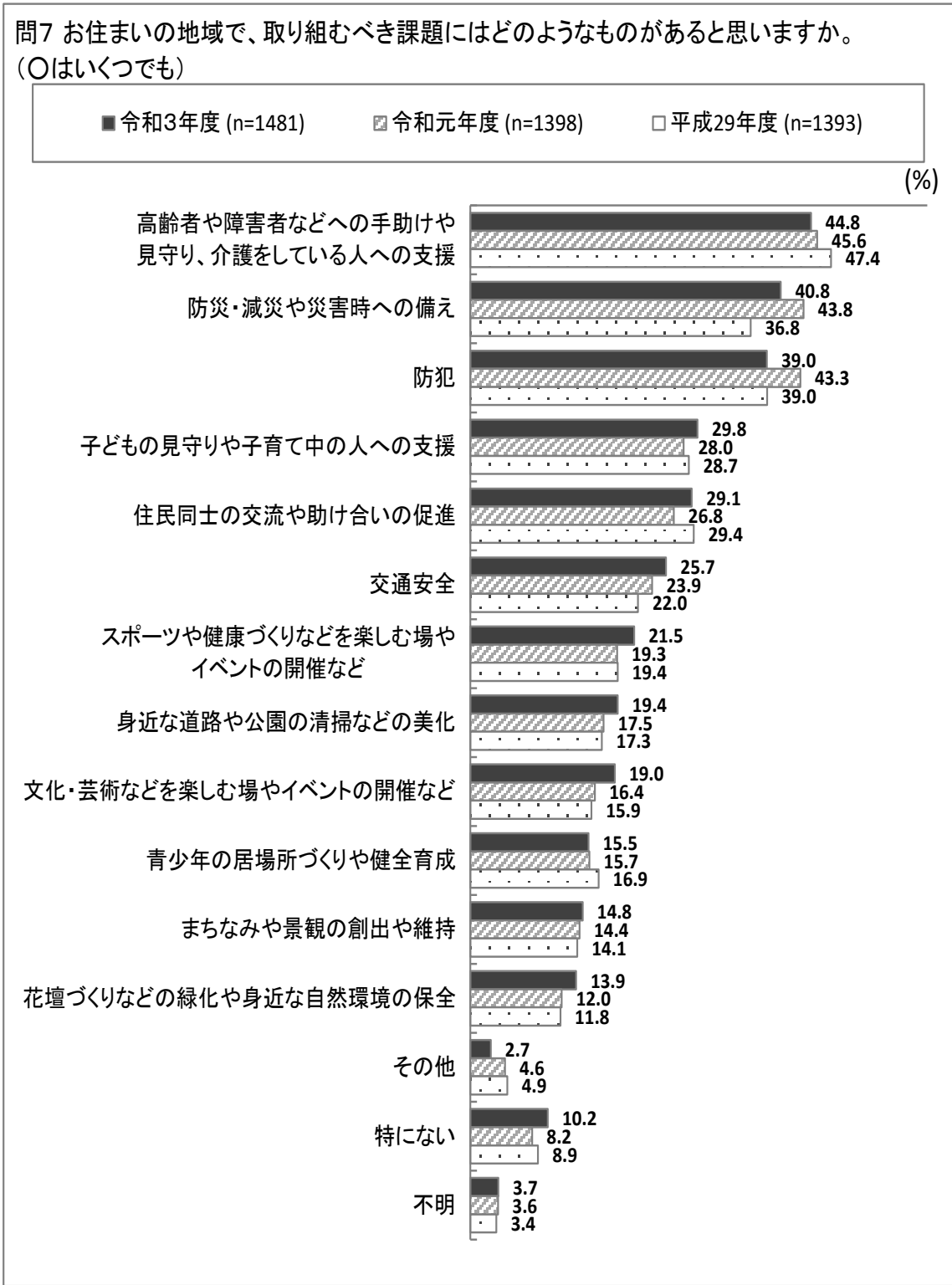
- ・ 「小菅ヶ谷地区」では「家族の健康や生活上の問題」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「上郷西地区」では、「現在及び将来の土地・建物の管理や相続のこと」が全体より10ポイント以上多く、「心配ごとや困っていることはない」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「上郷東地区」では、「自分の病気や老後のこと」、「家族の健康や生活上の問題」が全体より5ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【取り組むべき課題： 全体・時系列】

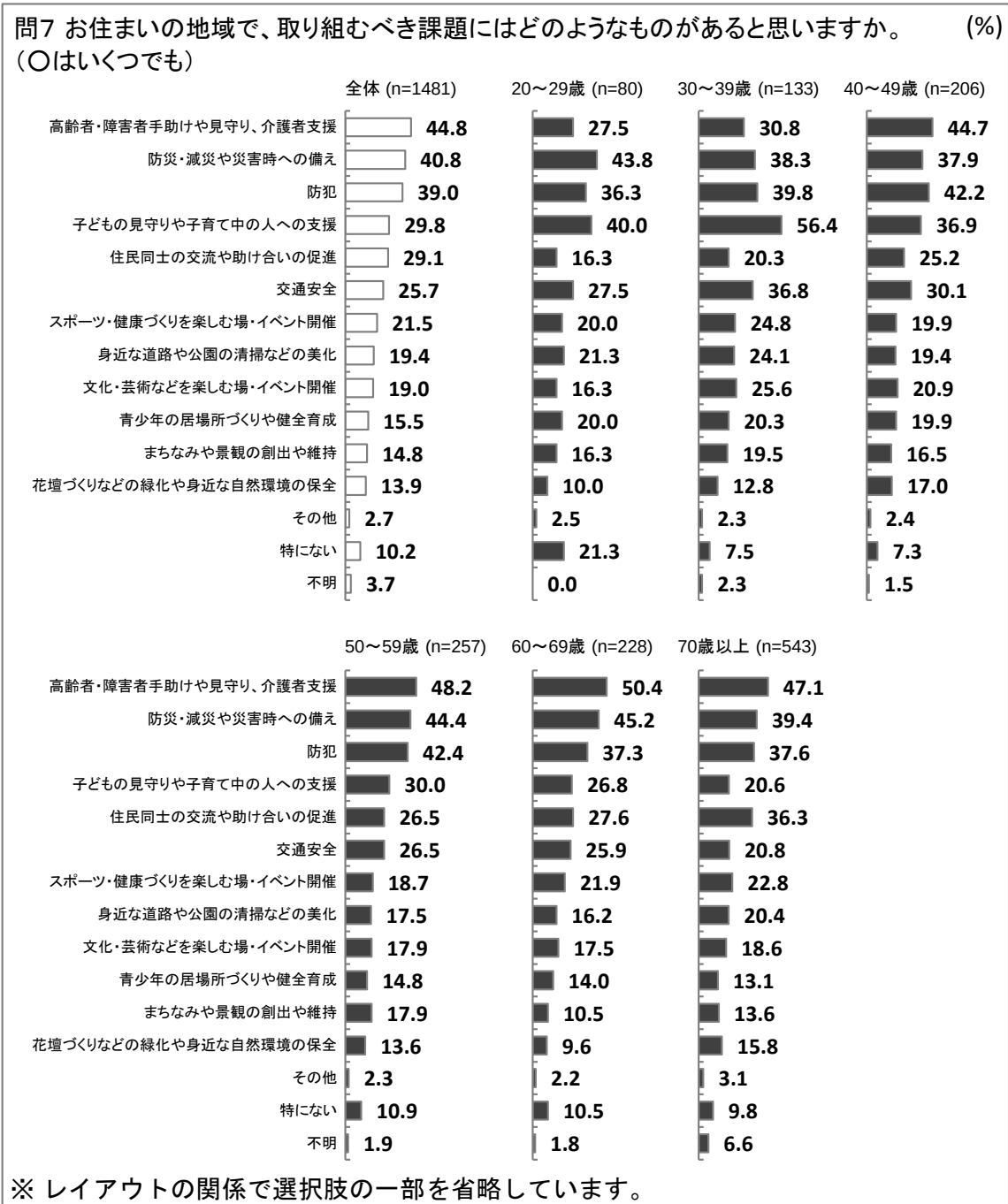
- ・ 「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」が44.8%で最も高くあげられている。次いで、「防災・減災や災害時への備え」、「防犯」が約4割で続くが、いずれも割合は前回調査より減少している。
- ・ 前回調査と比較すると、「文化・芸術などを楽しむ場やイベントの開催など」、「スポーツや健康づくりなどを楽しむ場やイベントの開催など」、「住民同士の交流や助け合いの促進」が2ポイント以上増加している。



3. 生活意識について

【取り組むべき課題：年齢別】

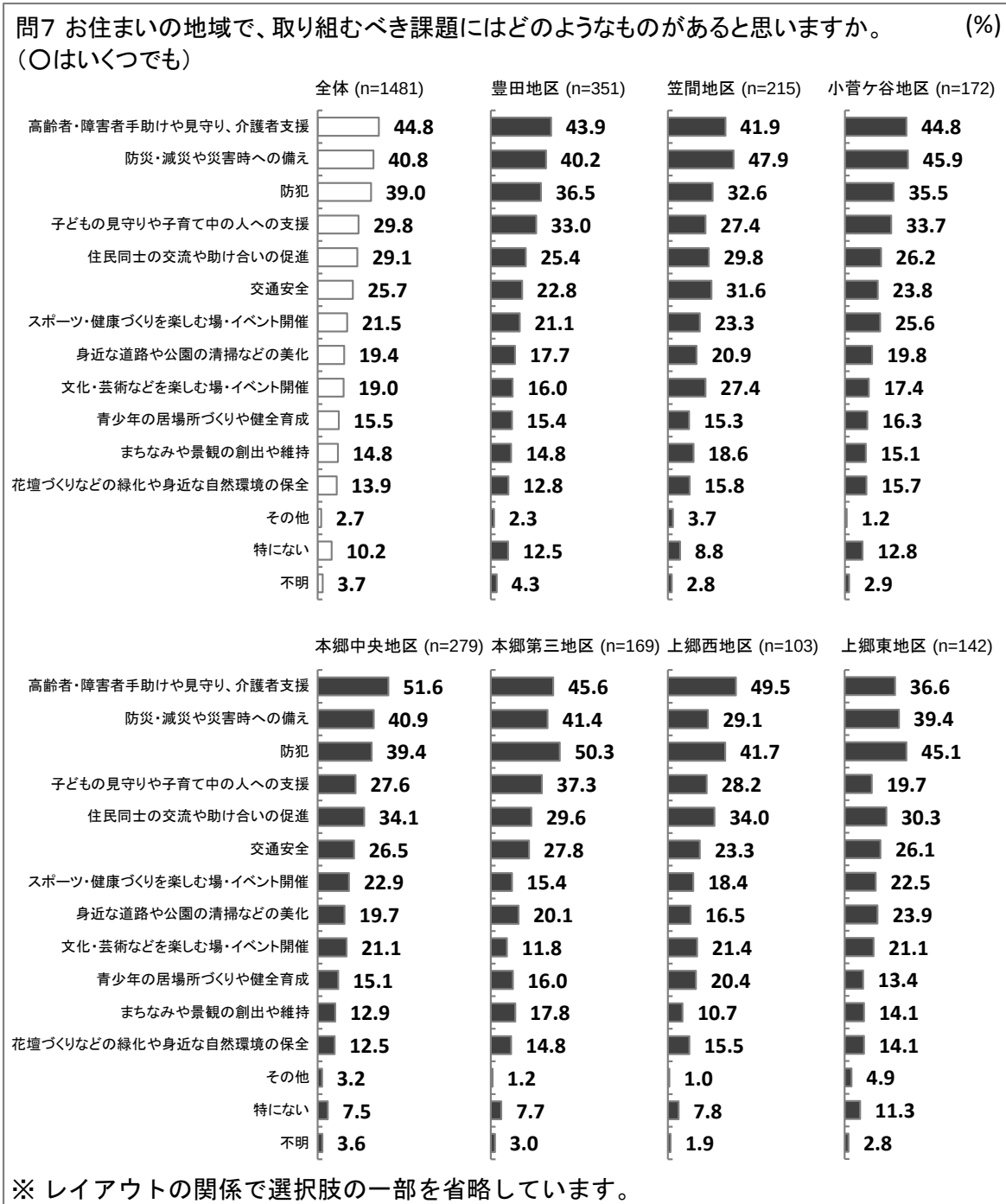
- 「20～29歳」では、「子どもの見守りや子育て中の人への支援」と「特にない」が全体より10ポイント以上多い。
- 「30～39歳」では、「子どもの見守りや子育て中の人への支援」、「交通安全」が全体より10ポイント以上多く、「文化・芸術などを楽しむ場やイベントの開催など」が全体より5ポイント以上多い。
- 「40～49歳」では、「子どもの見守りや子育て中の人への支援」が全体より5ポイント以上多い。
- 「60～69歳」では、「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」が全体より5ポイント以上多い。
- 「70歳以上」では、「住民同士の交流や助け合いの促進」が全体より5ポイント以上多い。



3. 生活意識について

【取り組むべき課題： 居住地区別】

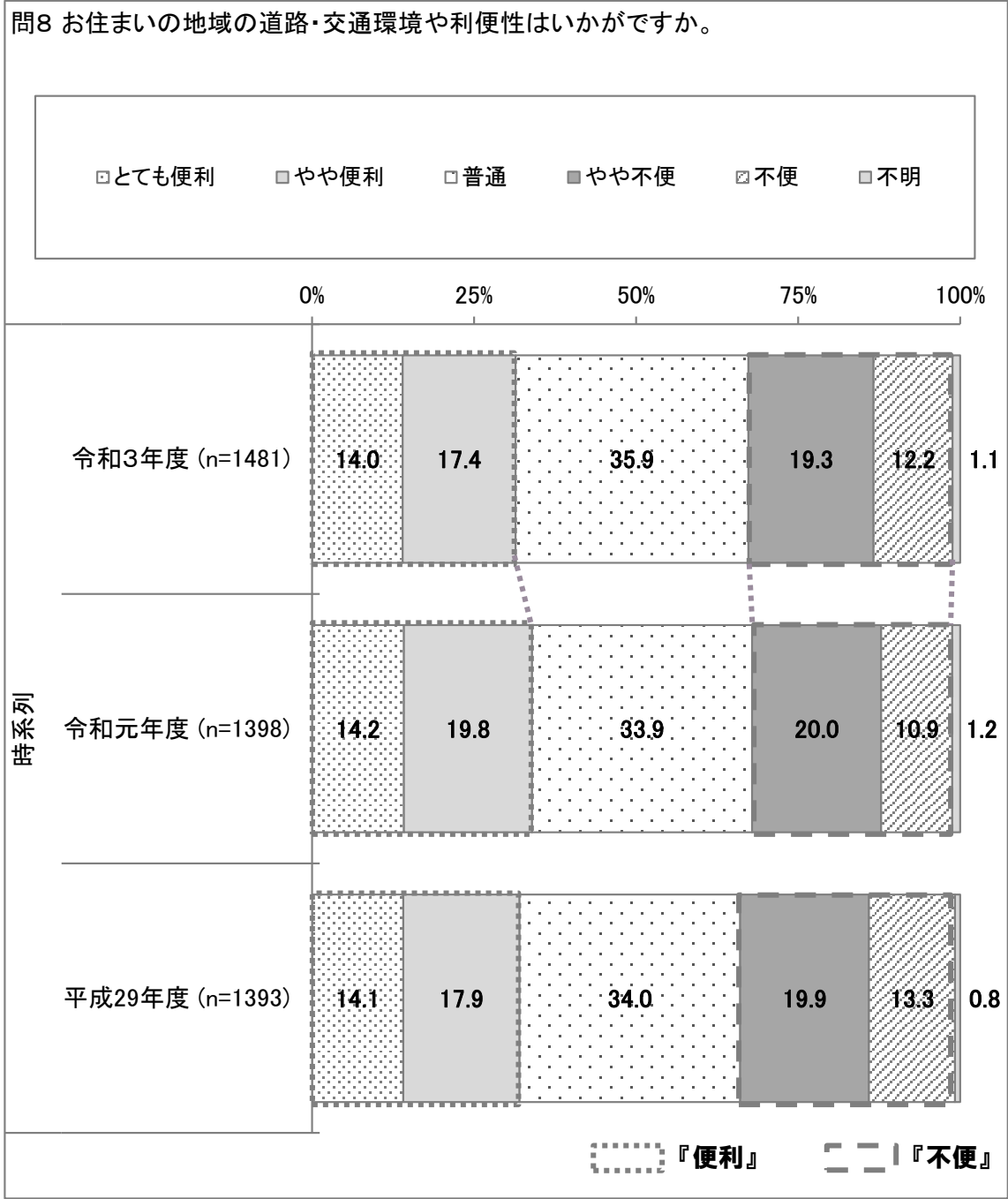
- ・ 「笠間地区」で「防災・減災や災害時への備え」、「交通安全」、「文化・芸術などを
楽しむ場やイベントの開催など」があげられる割合が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「小菅ヶ谷地区」で「防災・減災や災害時への備え」があげられる割合が全体より
5ポイント以上多い。
- ・ 「本郷中央地区」で「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人
への支援」があげられる割合が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「本郷第三地区」で「防犯」があげられる割合が全体より10ポイント以上、「子ども
の見守りや子育て中の人への支援」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「上郷東地区」で「防犯」があげられる割合が全体より5ポイント以上多い。



4. 道路・交通について

【お住いの地域の利便性： 全体・時系列】

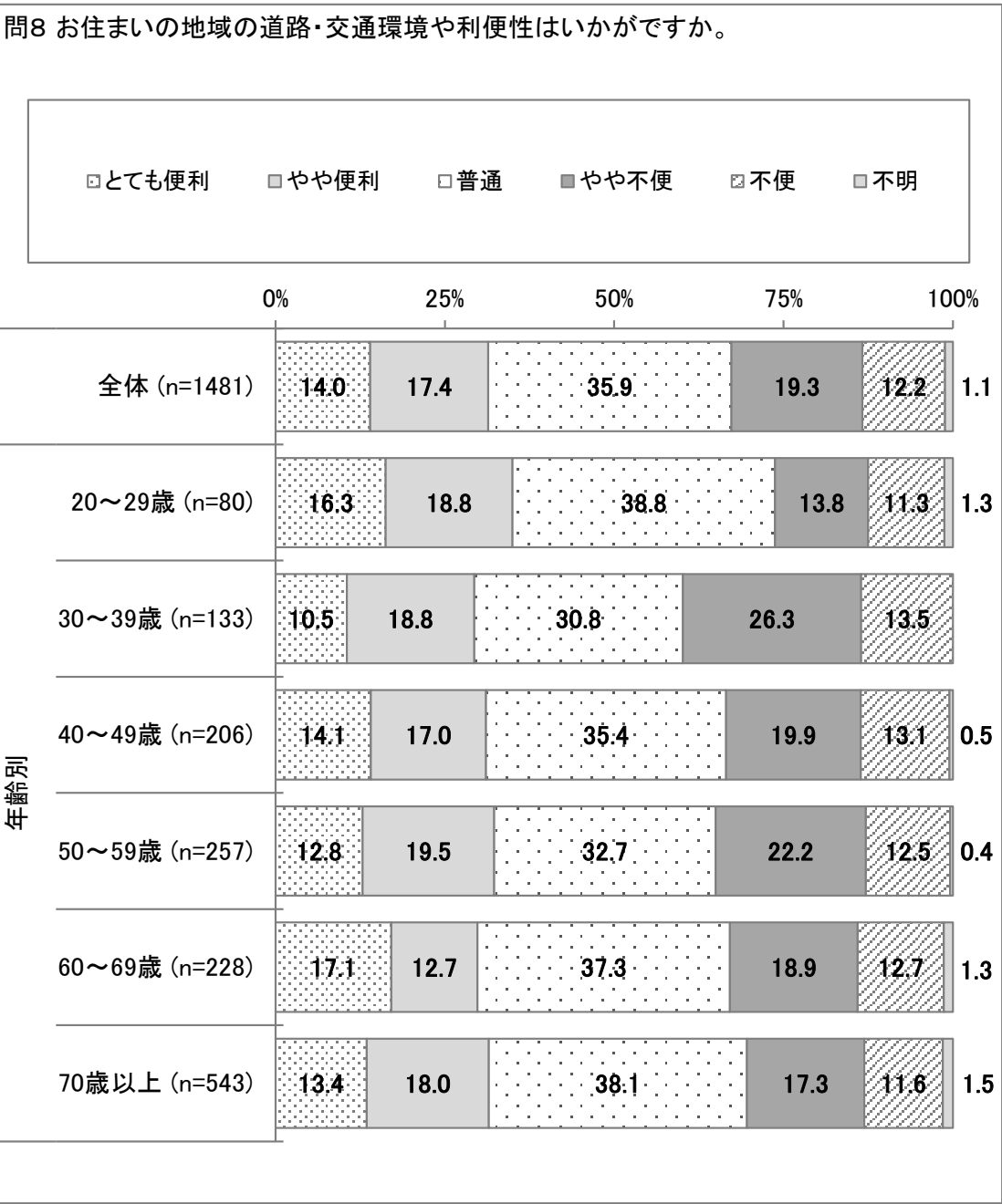
- 全体の31.4%が「とても便利」、「やや便利」(以下『便利』)と回答している。「やや不便」、「不便」の合計(以下『不便』)は31.5%で、『便利』と『不便』がほぼ同じ割合で存在している。
- 前回調査と比較すると、『便利』は減少、「普通」、「不便」は増加傾向がみられる。



4. 道路・交通について

【お住いの地域の利便性： 年齢別】

- 「20～29歳」の『不便』の割合が25.1%と全体より5ポイント以上少ない。
- 「30～39歳」の『不便』の割合が39.8%と全体より5ポイント以上多い。

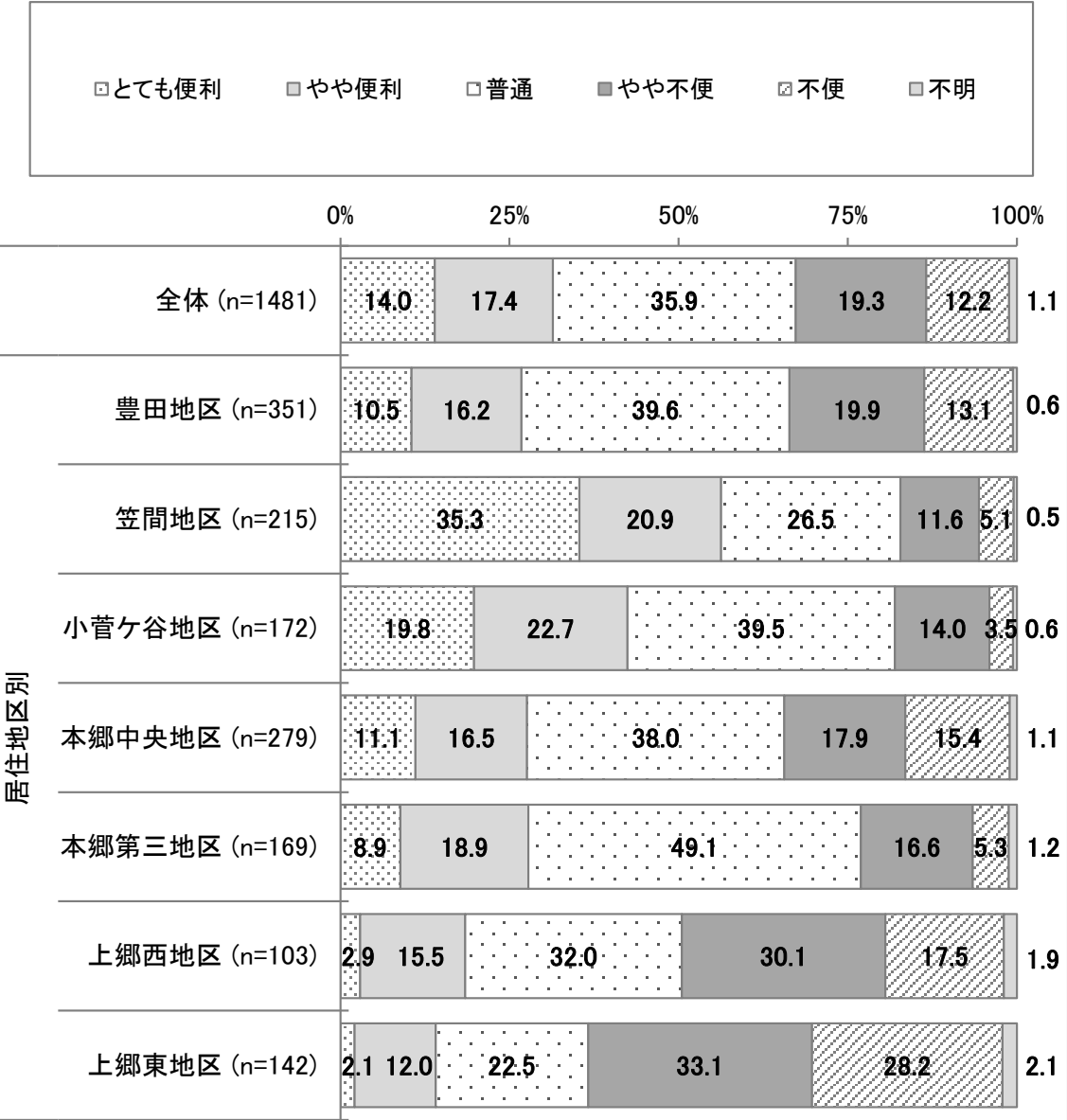


4. 道路・交通について

【お住いの地域の利便性： 居住地区別】

- 全体に対して「とても便利」が10ポイント以上多いのは、「笠間地区」である。
- 全体に対して「普通」が10ポイント以上多いのは、「本郷第三地区」である。
- 全体に対して「やや不便」が10ポイント以上多いのは、「上郷東地区」、「上郷西地区」である。
- 全体に対して「不便」が10ポイント以上多いのは、「上郷東地区」である。
- 全体に対して『便利』が10ポイント以上多いのは、「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」である。一方、『不便』が10ポイント以上多いのは、「上郷東地区」、「上郷西地区」である。

問8 お住まいの地域の道路・交通環境や利便性はいかがですか。

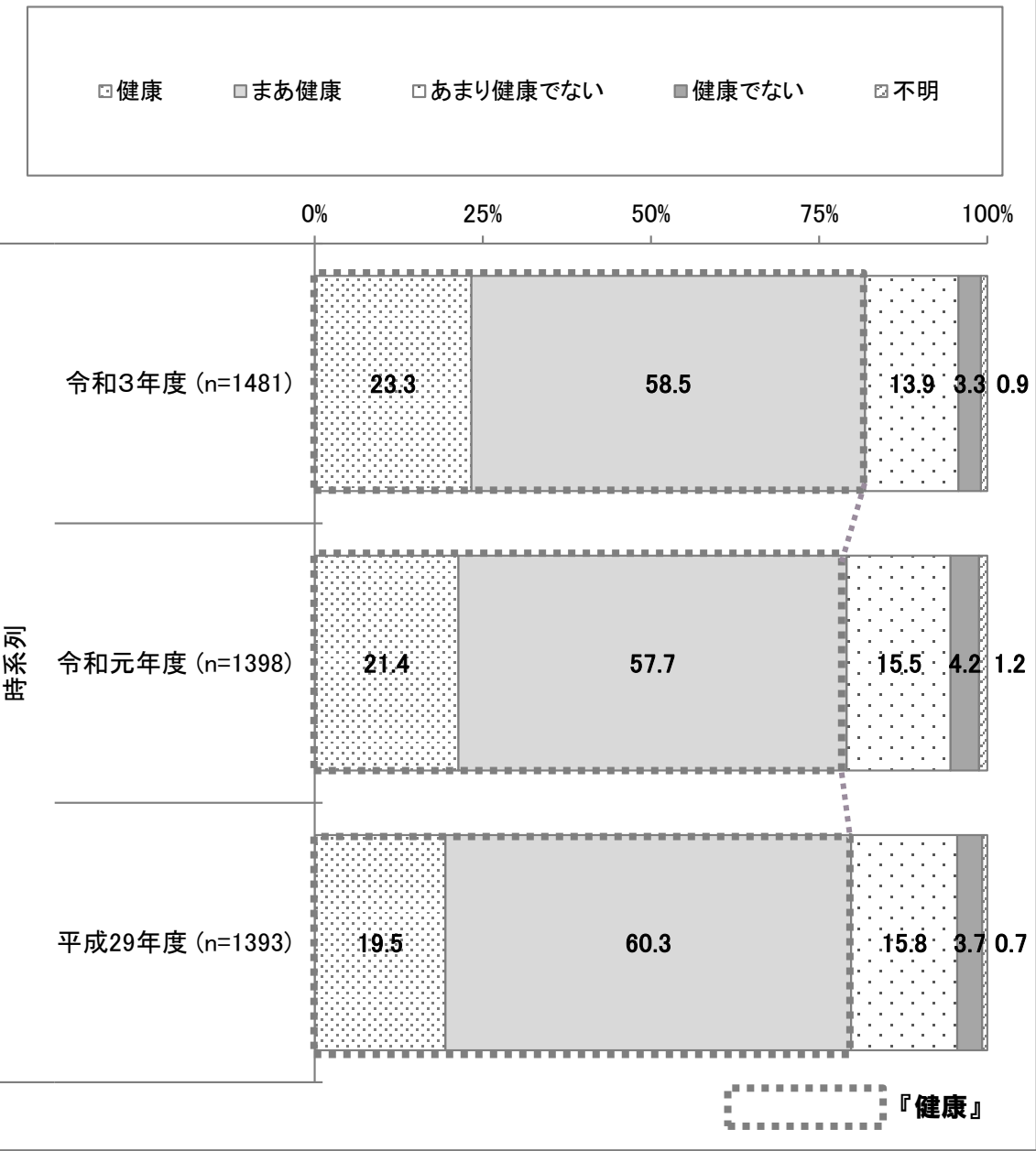


5. 健康・福祉について

【健康状態： 全体・時系列】

- ・ 「健康」、「まあ健康」の合計(以下『健康』)の割合は8割を超え、「あまり健康でない」、「健康でない」の合計(以下『健康でない』)を大きく、上回る。
- ・ 前回調査と比較すると、『健康』の割合は2.7ポイント増加している。

問9 現在のご自身の健康状態について、どのように思いますか。

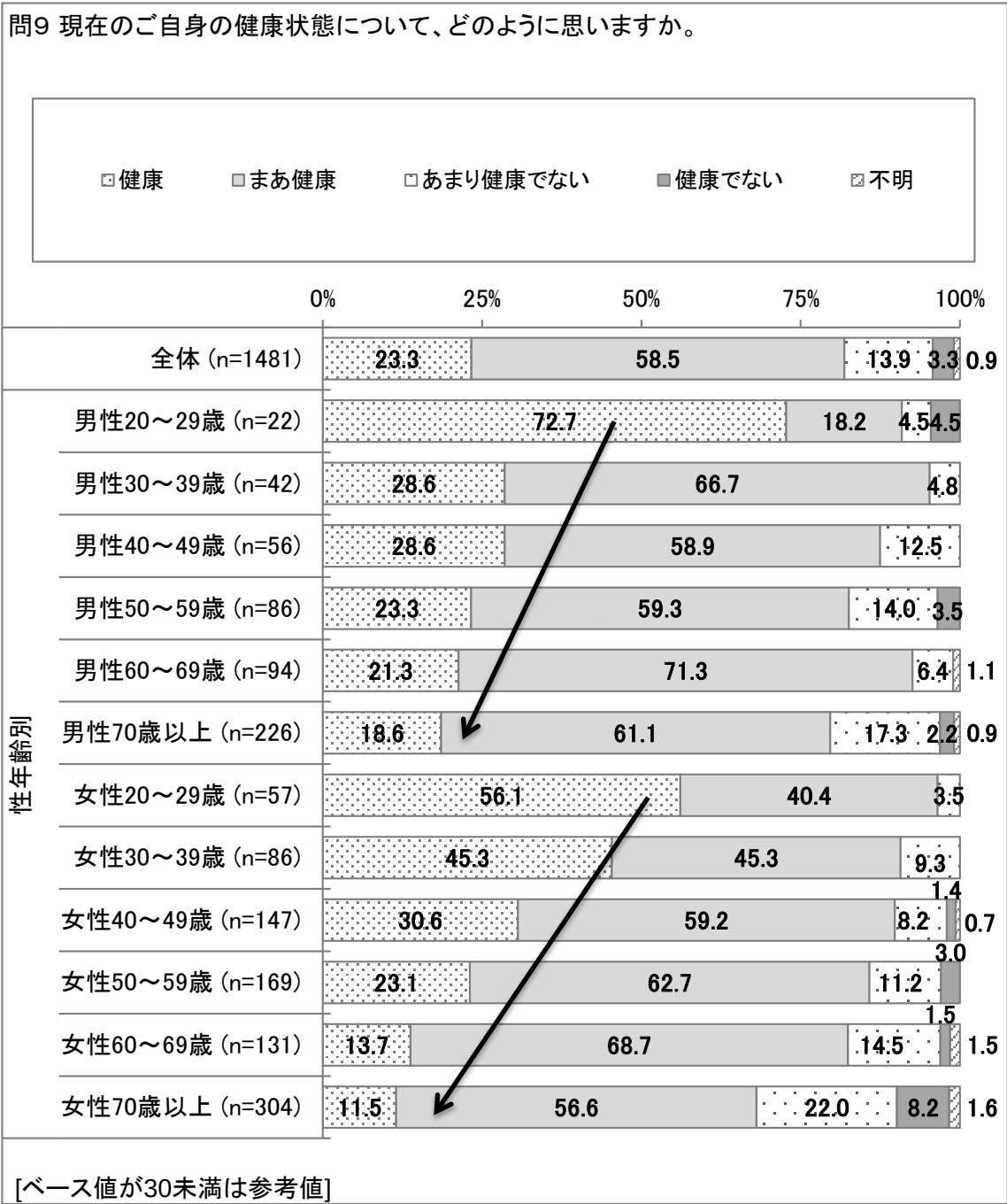


5. 健康・福祉について

【健康状態： 性年齢別】

- 性別に関わらず、年代があがるほど「健康」の割合は減少している。
- 男性は、「30～39歳」、「60～69歳」で、『健康』の割合が全体より10ポイント以上多い。
- 女性は、「20～29歳」で、『健康』の割合が全体より10ポイント以上多い。一方、「70歳以上」で『健康でない』の割合が全体より10ポイント以上多い。

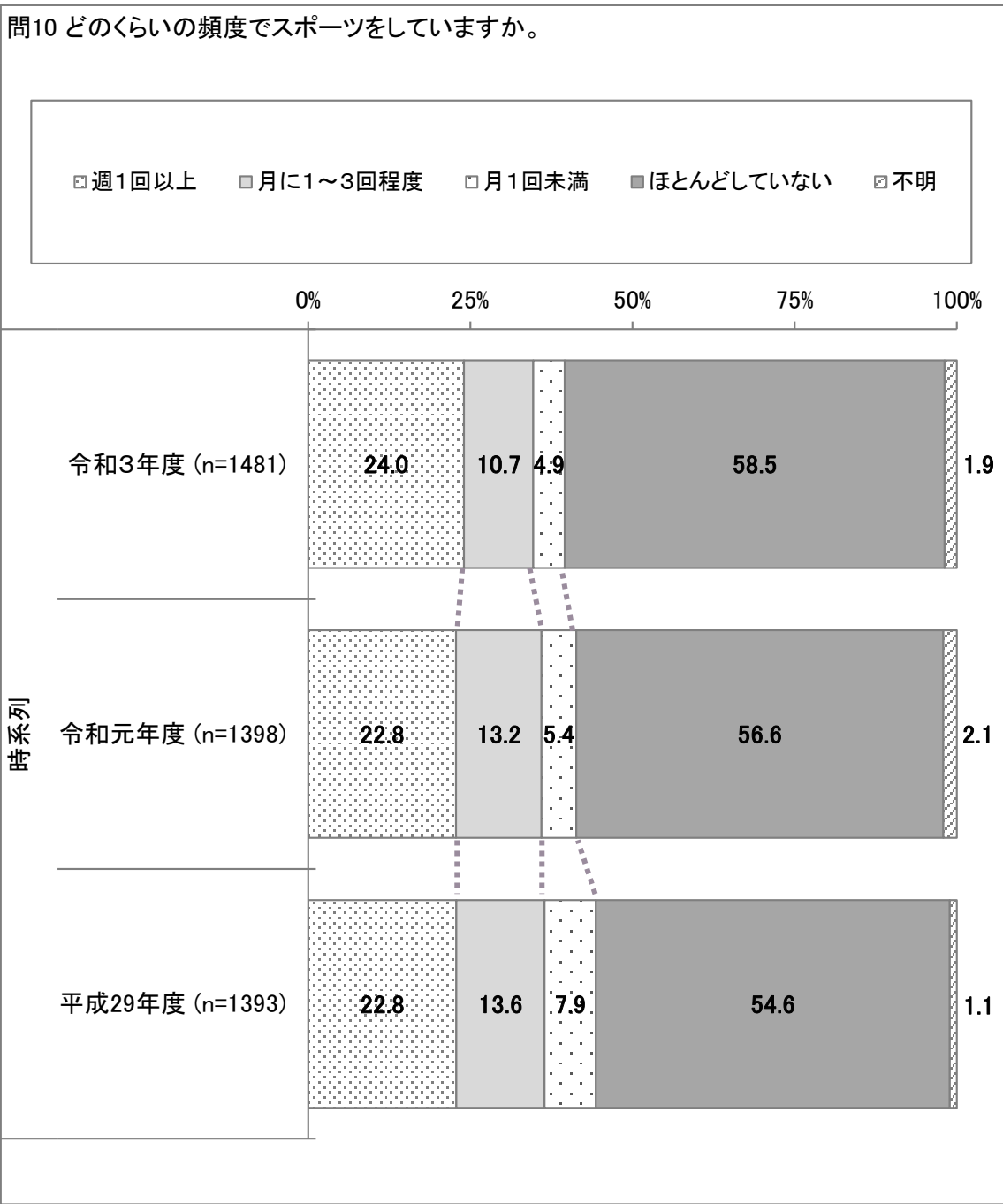
※「男性20～29歳」はベース値が30未満で参考値。



5. 健康・福祉について

【スポーツ頻度： 全体・時系列】

- ・ 「週1回以上」の割合は24.0%、「ほとんどしていない」は58.5%である。
- ・ 時系列で比較すると、「週に1回以上」の割合は増加傾向がみられる一方で、「ほとんどしていない」の割合も増加傾向にある。

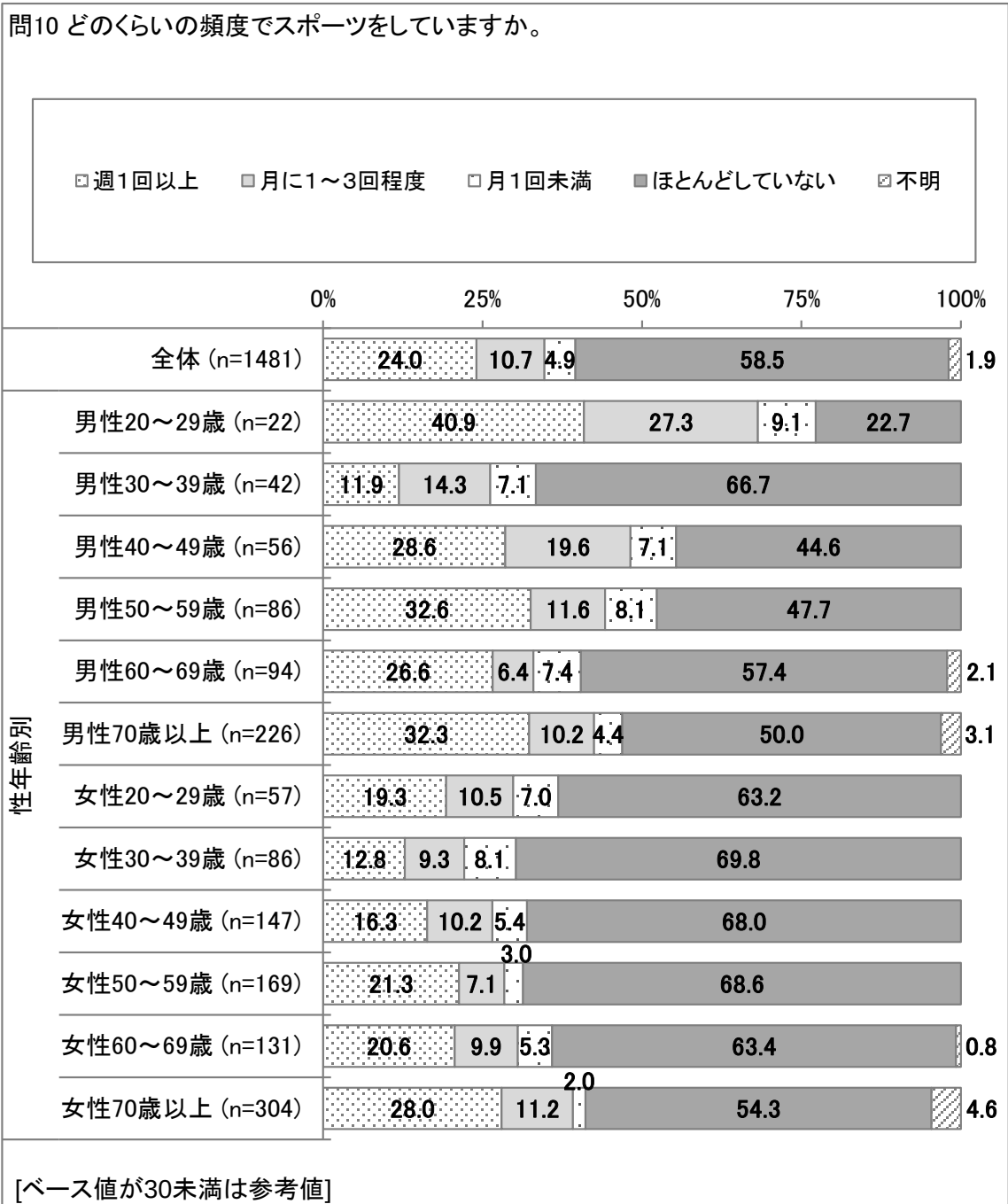


5. 健康・福祉について

【スポーツ頻度： 性年齢別】

- ・ 「週1回以上」は、「男性50～59歳」、「男性70歳以上」で全体より5ポイント以上多く、「月に1～3回程度」は「男性40～49歳」で全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「ほとんどしていない」は、「女性30～39歳」、「女性50～59歳」で全体より10ポイント以上多く、「女性40～49歳」、「男性30～39歳」で全体より5ポイント以上多い。

※「男性20～29歳」はベース値が30未満で参考値。

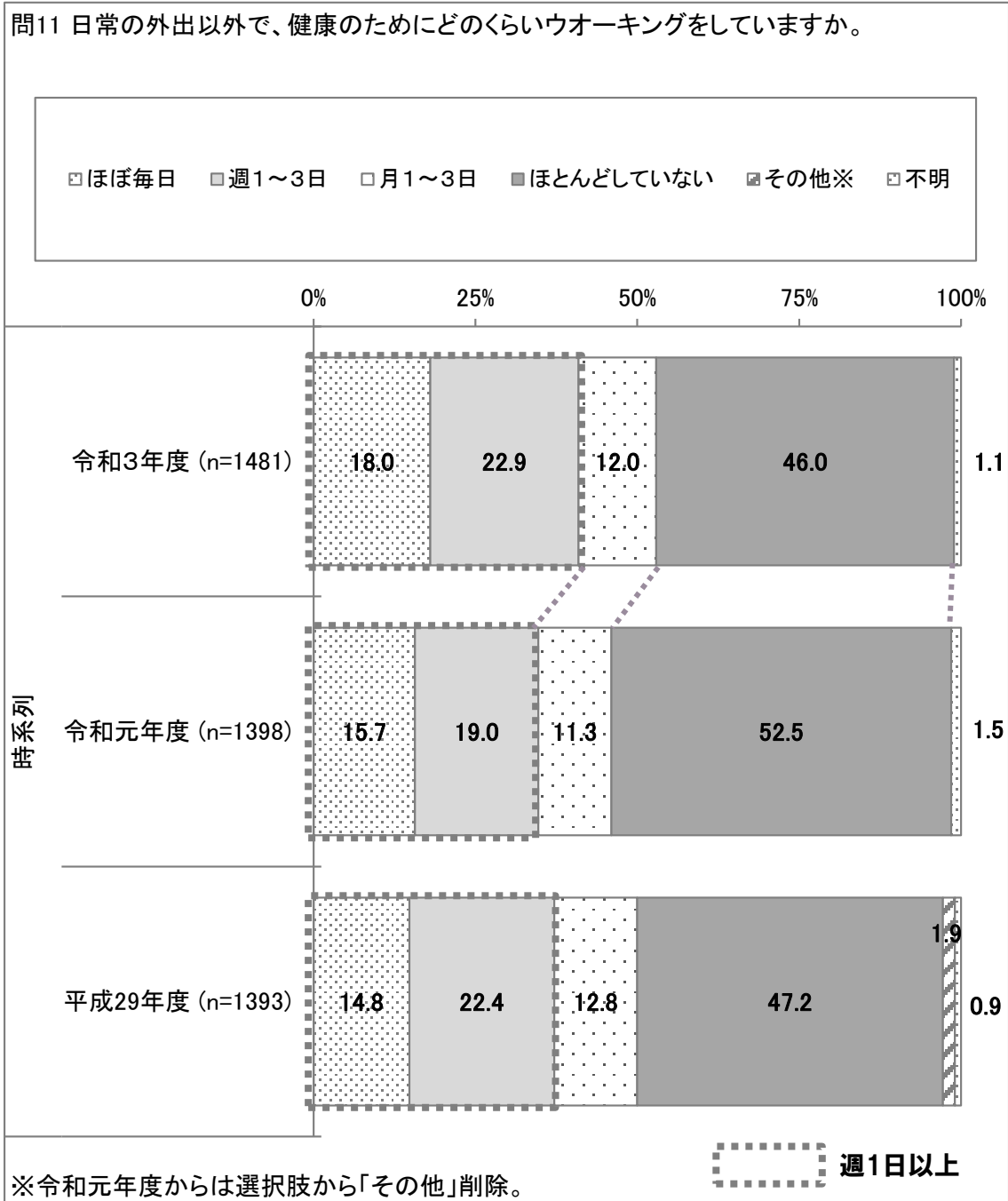


5. 健康・福祉について

【ウォーキング頻度： 全体・時系列】

- ・ 「ほぼ毎日」の割合は18.0%、「週1～3日」を合わせた合計(以下『週1日以上』)の割合は40.9%である。一方、「ほとんどしていない」の割合は46.0%である。
- ・ 前回調査と比較すると、『週1日以上』の割合は6.2ポイント増加しており、「ほとんどしていない」の割合も6.5ポイント減少している。

※平成29年度調査は、一部選択肢の相違があるため参考値。

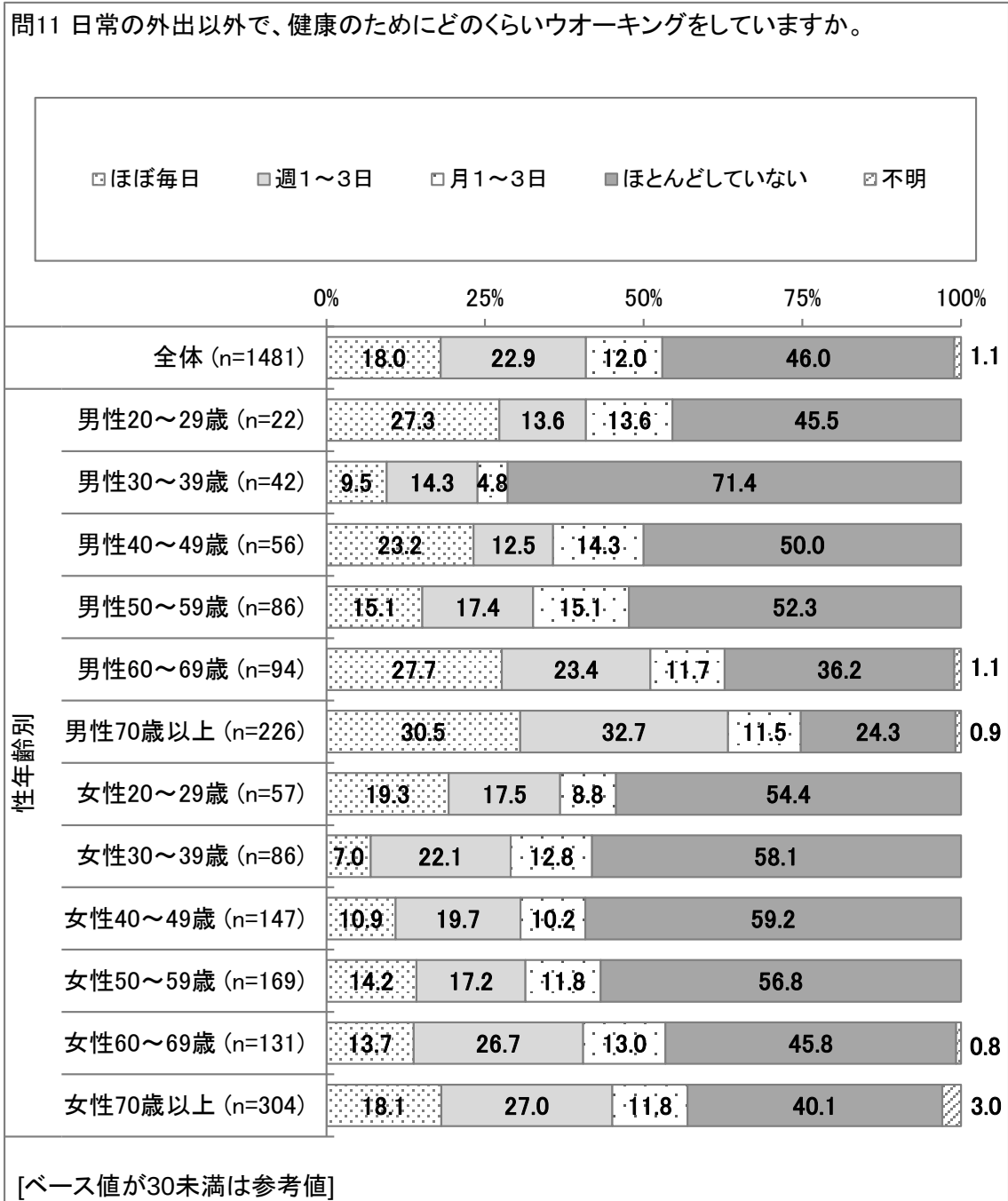


5. 健康・福祉について

【ウォーキング頻度： 性年齢別】

- 『週1日以上』の割合は、「男性70歳以上」で全体より20ポイント以上、「男性60～69歳」で全体より10ポイント以上多い。
- 「ほとんどしていない」の割合は、「男性30～39歳」で全体より20ポイント以上、「女性30～39歳」、「女性40～49歳」、「女性50～59歳」で全体より10ポイント以上多い。

※「男性20～29歳」はベース値が30未満で参考値。

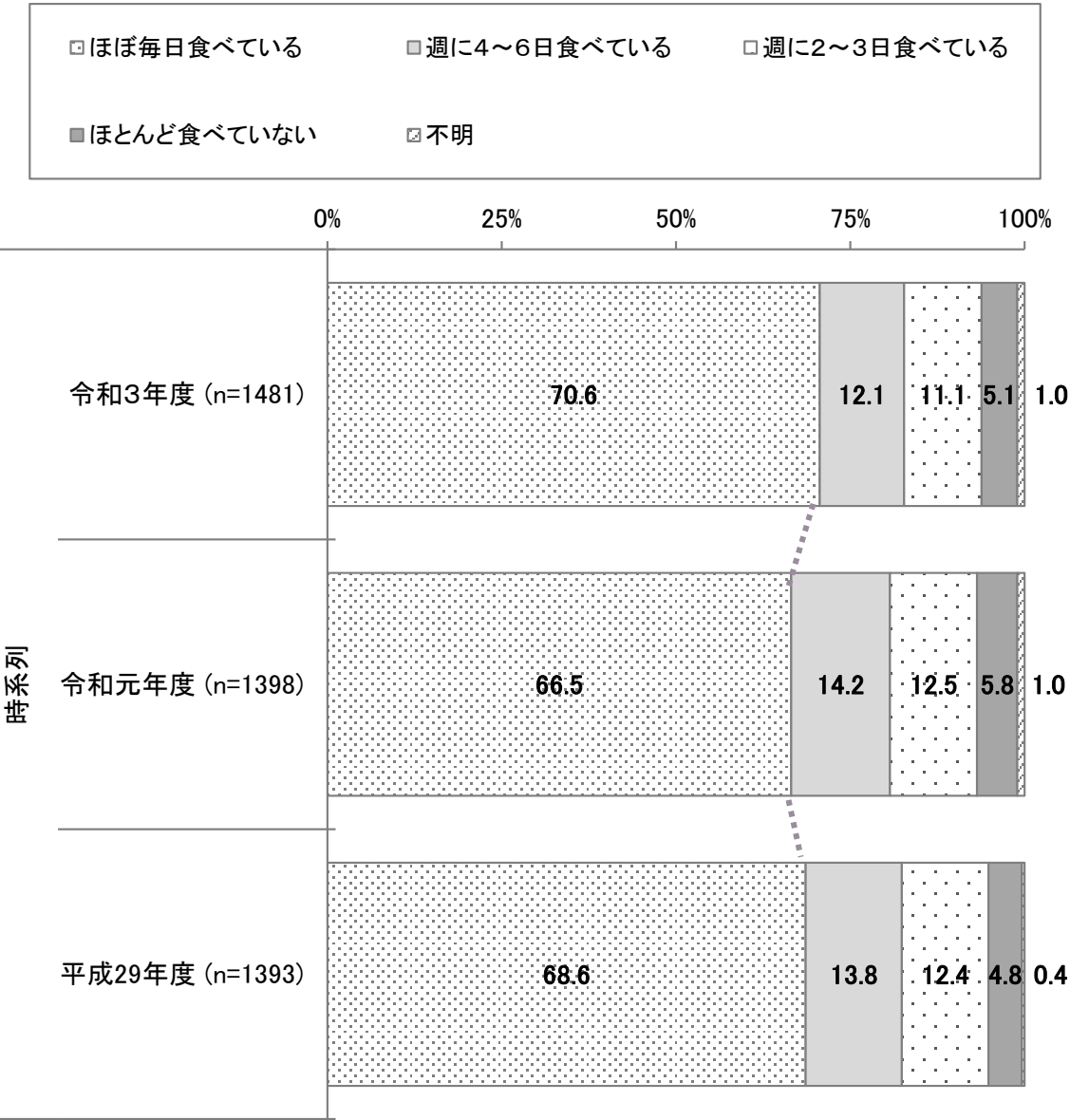


5. 健康・福祉について

【1日2回以上の食事： 全体・時系列】

- ・ 「ほぼ毎日食べている」が70.6%で、「ほとんど食べていない」は5.1%である。
- ・ 前回調査と比較すると、「ほぼ毎日食べている」の割合は4.1ポイント増加し、「ほとんど食べていない」の割合は減少している。

問12 1日2回以上、主食・主菜・副菜すべてを食べるのは週に何回ありますか。

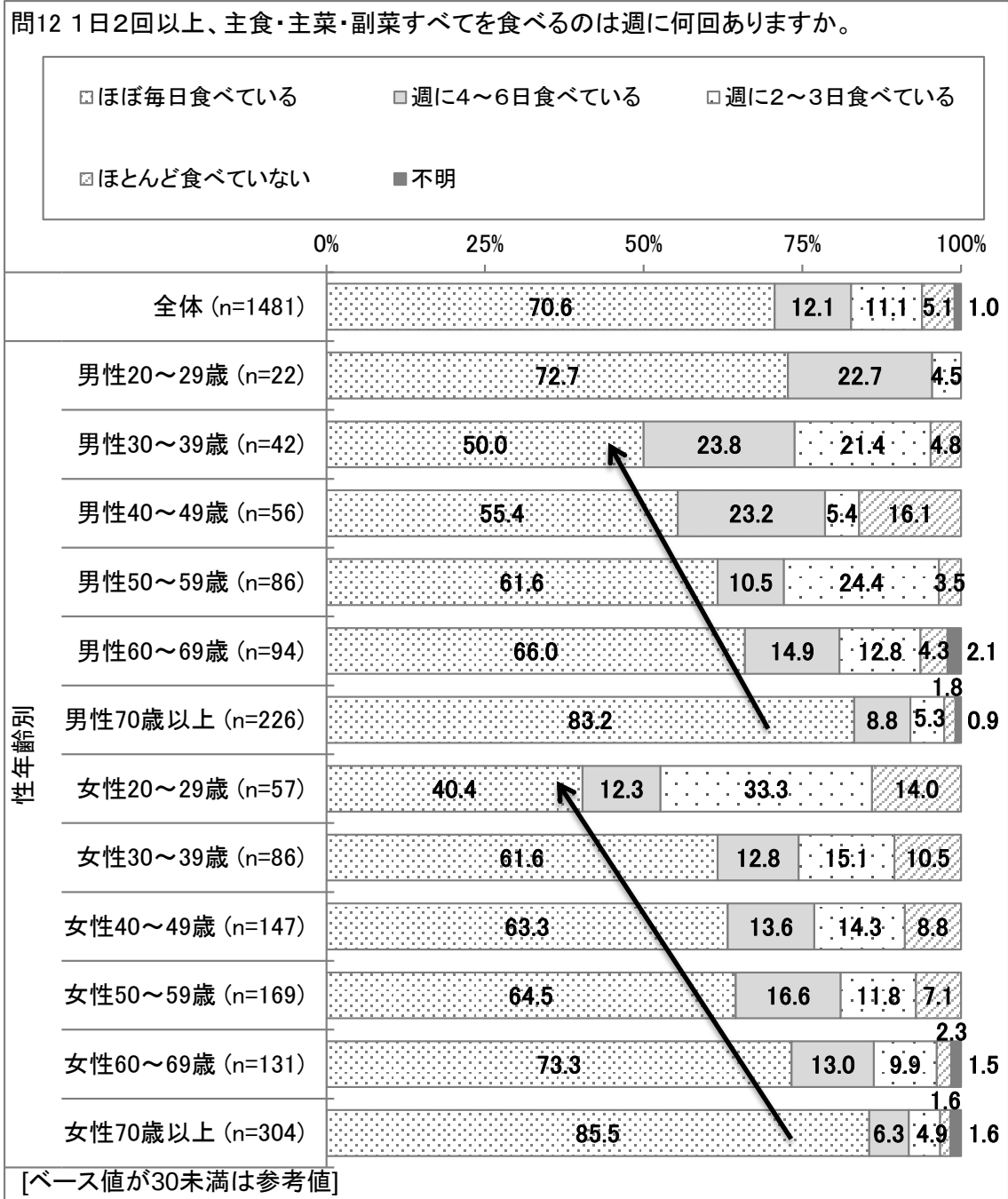


5. 健康・福祉について

【1日2回以上の食事： 性年齢別】

- 男女ともに、若年層ほど「ほぼ毎日食べている」の割合が低い傾向が窺われる。特に「男性30～39歳」、「女性20～29歳」は、全体より20ポイント以上少なく、「女性70歳以上」、「男性70歳以上」で10ポイント以上多い。
- 「ほとんど食べていない」は、「男性40～49歳」で全体より10ポイント以上多く、「女性20～29歳」、「女性30～39歳」で全体より5ポイント以上多い。

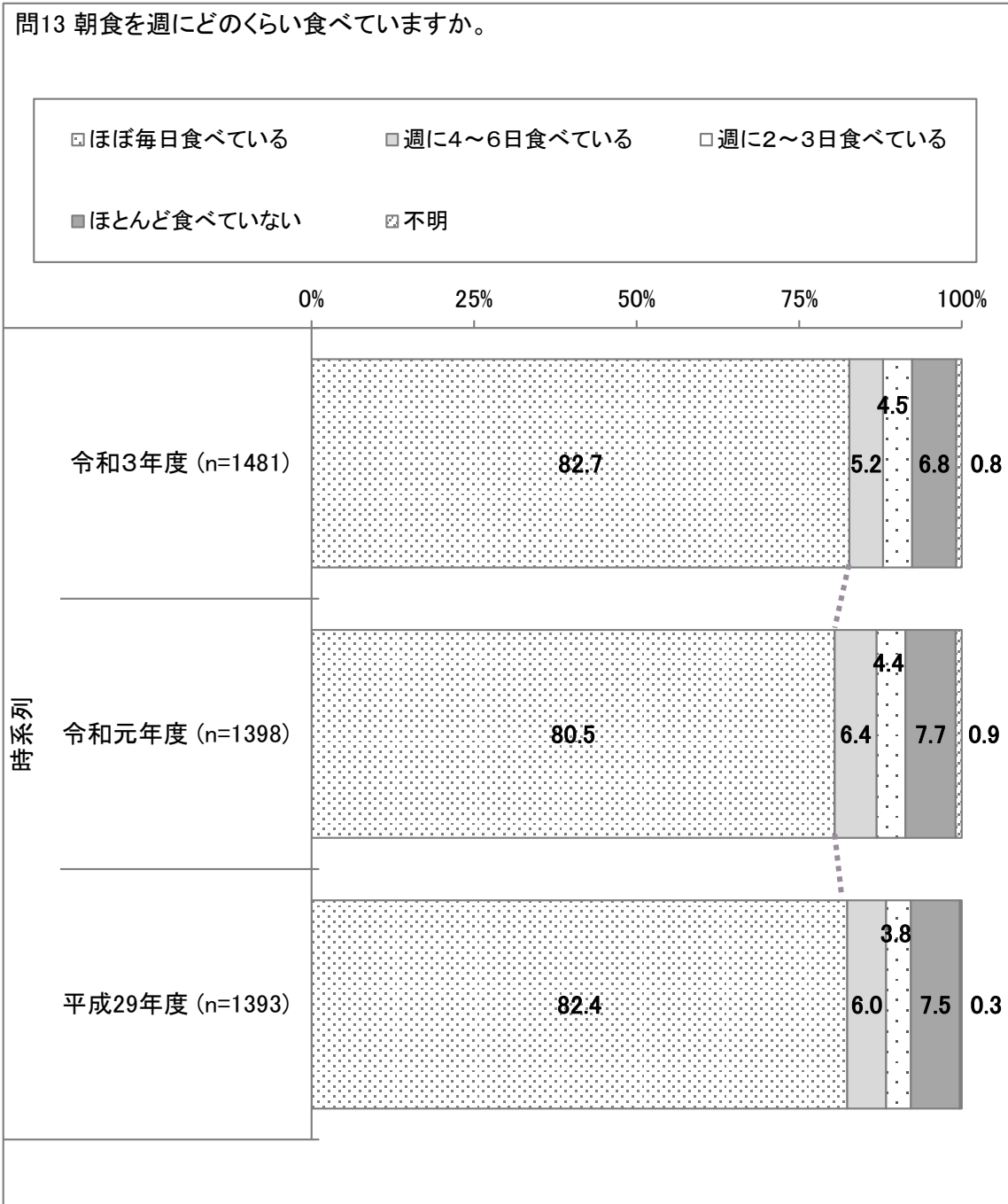
※「男性20～29歳」はベース値が30未満で参考値。



5. 健康・福祉について

【朝食： 全体・時系列】

- ・ 「ほぼ毎日食べている」が82.7%で、「ほとんど食べていない」は6.8%である。
- ・ 前回調査と比較すると、「ほぼ毎日食べている」の割合は2.2ポイント増加し、「ほとんど食べていない」の割合は減少している。

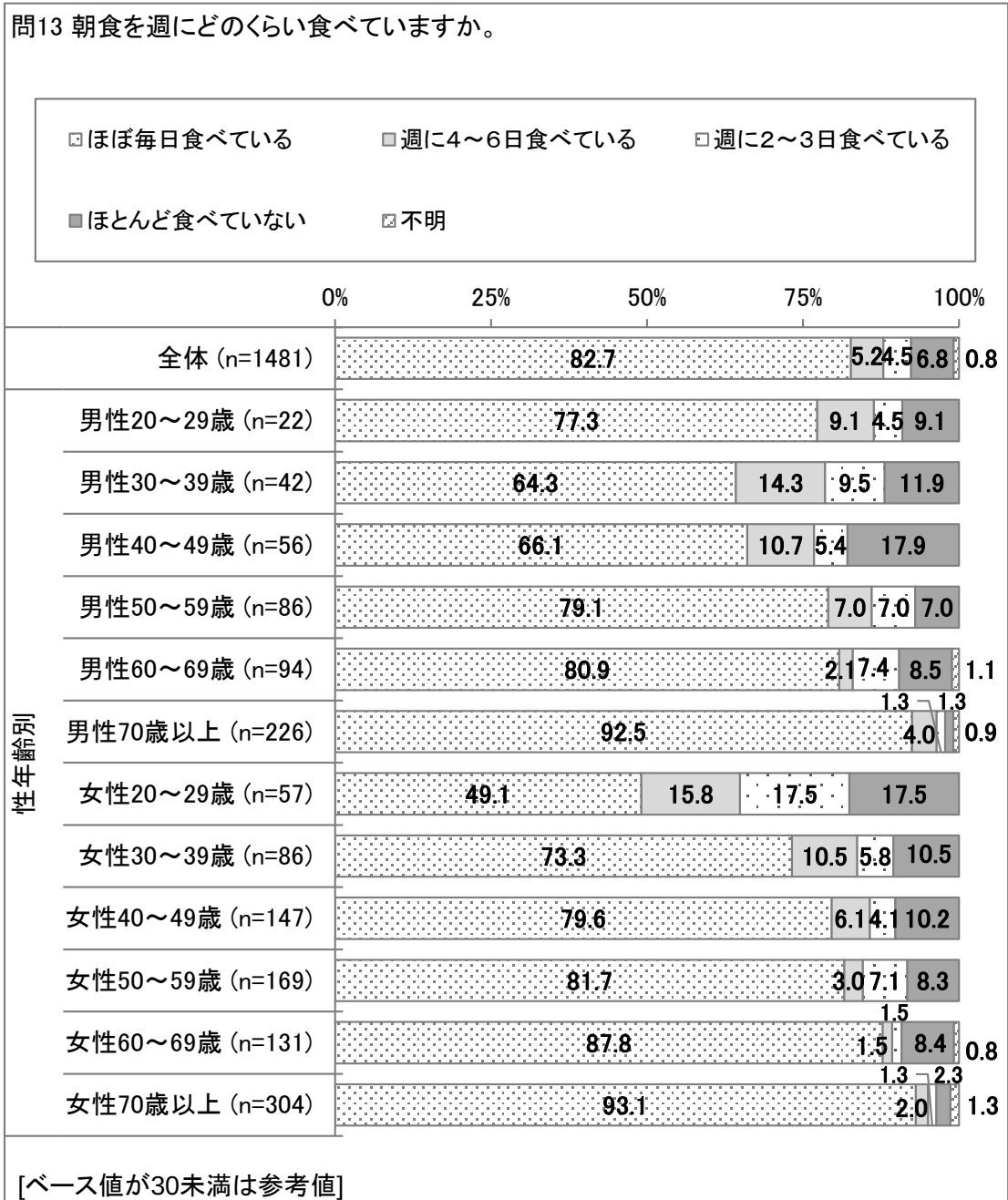


5. 健康・福祉について

【朝食： 性年齢別】

- 男女ともに、若年層ほど「ほぼ毎日食べている」の割合が低い傾向が窺われる。特に「女性20～29歳」は、全体より30ポイント以上少ない。一方、「女性70歳以上」で全体より10ポイント以上、「男性70歳以上」、「女性60～69歳」で全体より5ポイント以上多い。
- 「ほとんど食べていない」は、「男性40～49歳」で全体より10ポイント以上多く、「女性20～29歳」、「男性30～39歳」で全体より5ポイント以上多い。

※「男性20～29歳」はベース値が30未満で参考値。

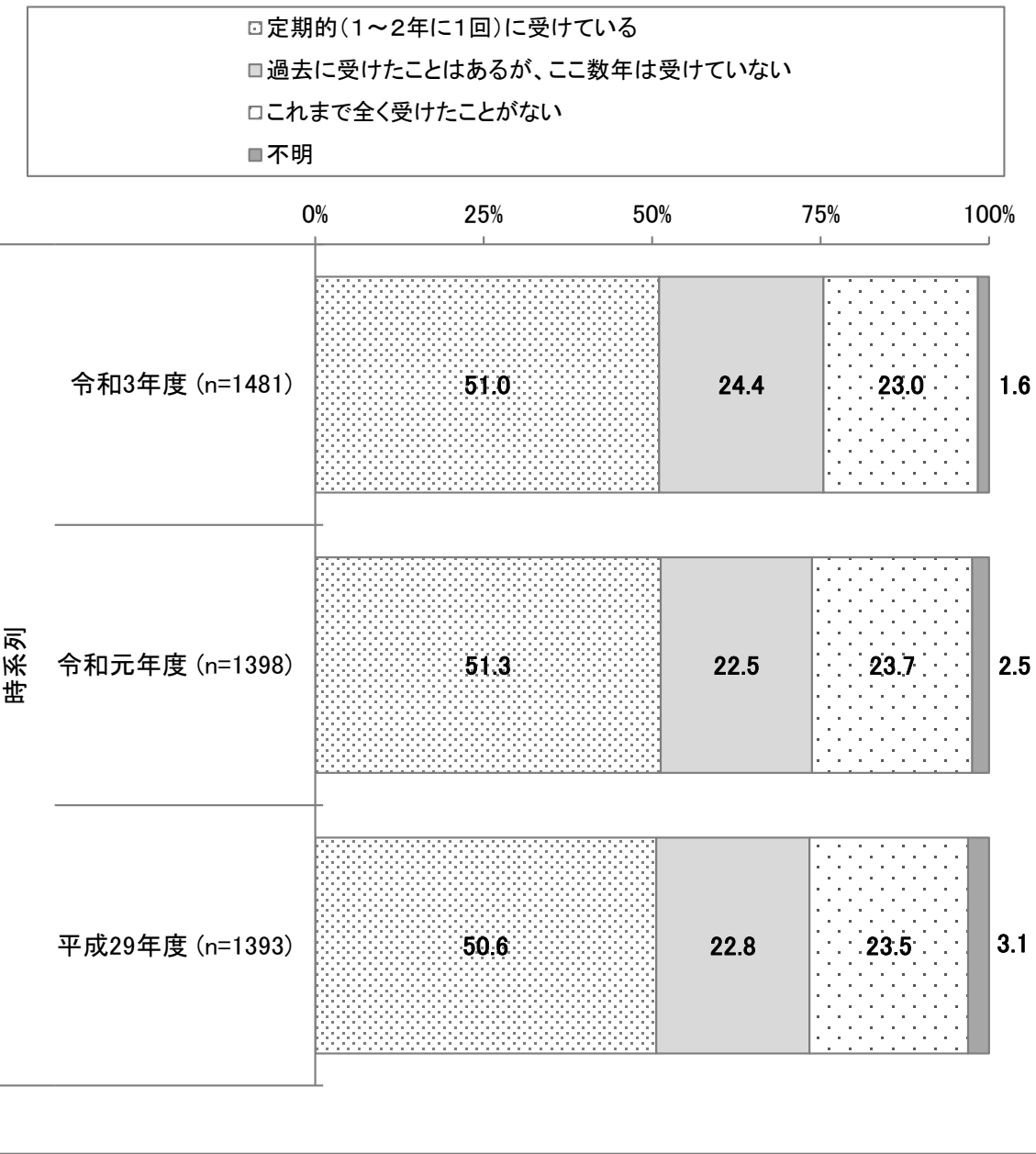


5. 健康・福祉について

【がん検診： 全体・時系列】

- 「定期的(1～2年に1回)に受けている」が51.0%で、「これまで全く受けたことがない」は23.0%である。
- 時系列で比較しても、経年で大きな差はみられない。

問14 がん検診を受けていますか。

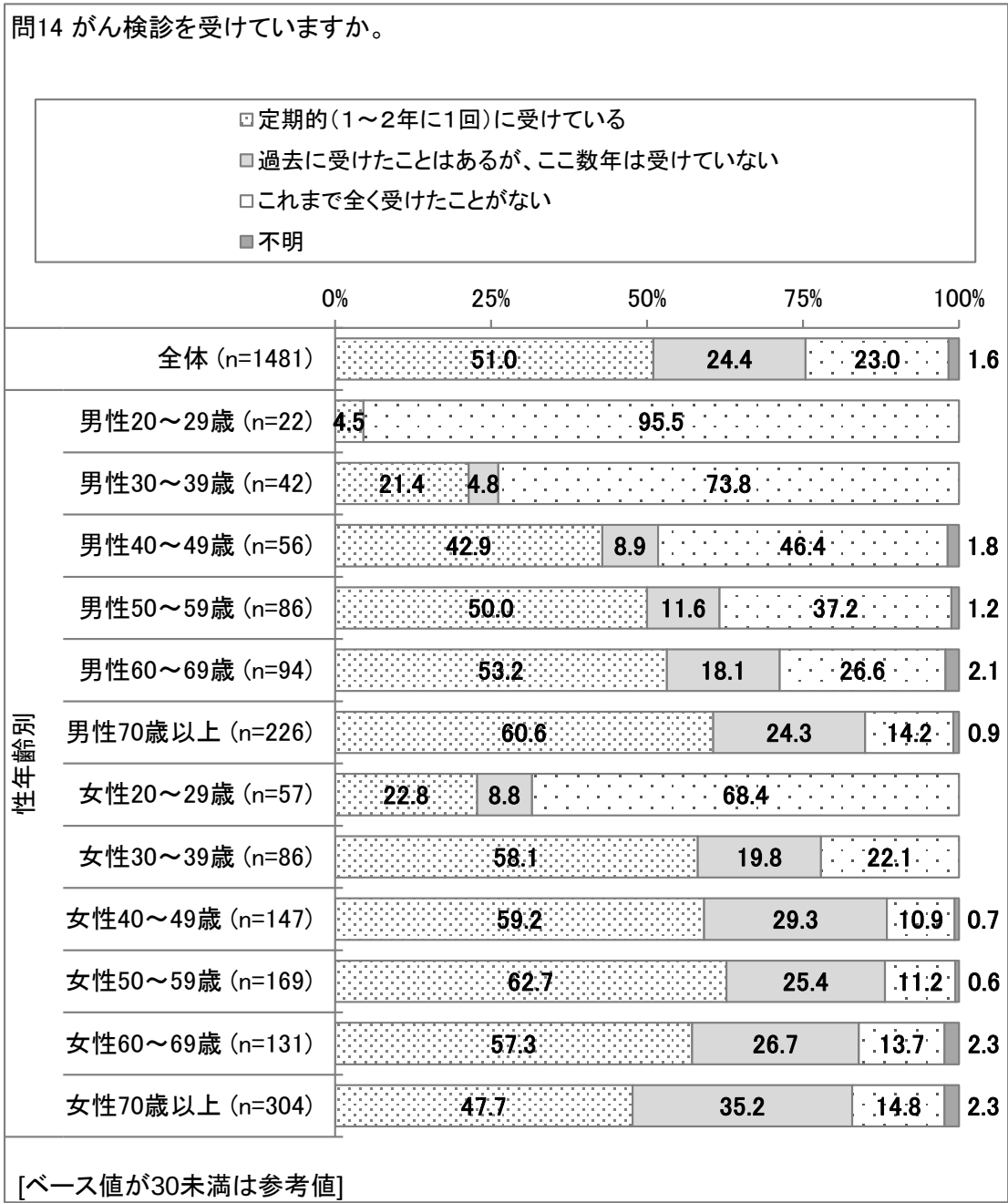


5. 健康・福祉について

【がん検診： 性年齢別】

- 「定期的(1～2年に1回)に受けている」の割合は、「女性50～59歳」で62.7%と全体より10ポイント多く、「男性70歳以上」、「女性30～39歳」、「女性40～49歳」、「女性60～69歳」で5ポイント以上多い。一方、「男性30～39歳」、「女性20～29歳」では全体より20ポイント以上少ない。
- 「これまで全く受けたことがない」は、男性60歳未満と「女性20～29歳」で全体より10ポイント以上多い。

※「男性20～29歳」はベース値が30未満で参考値。



5. 健康・福祉について

【がん検診部位： 全体・性年齢別】

- 全体では、「胃」が42.9%で最も高く、「大腸」、「肺」、「子宮」、「乳」の順。
- 男性は「胃」、「大腸」、「肺」の割合が高く、特に「胃」は「男性50～59歳」で全体より10ポイント以上多い。
- 「子宮」は60歳未満、「乳」は40歳以上70歳未満の女性の5割以上が受診している。

※「男性20～29歳」、「男性30～39歳」、「男性40～49歳」、「女性20～29歳」はベース値が30未満で参考値。

問14 がん検診を受けている部位はどこですか。 (％)

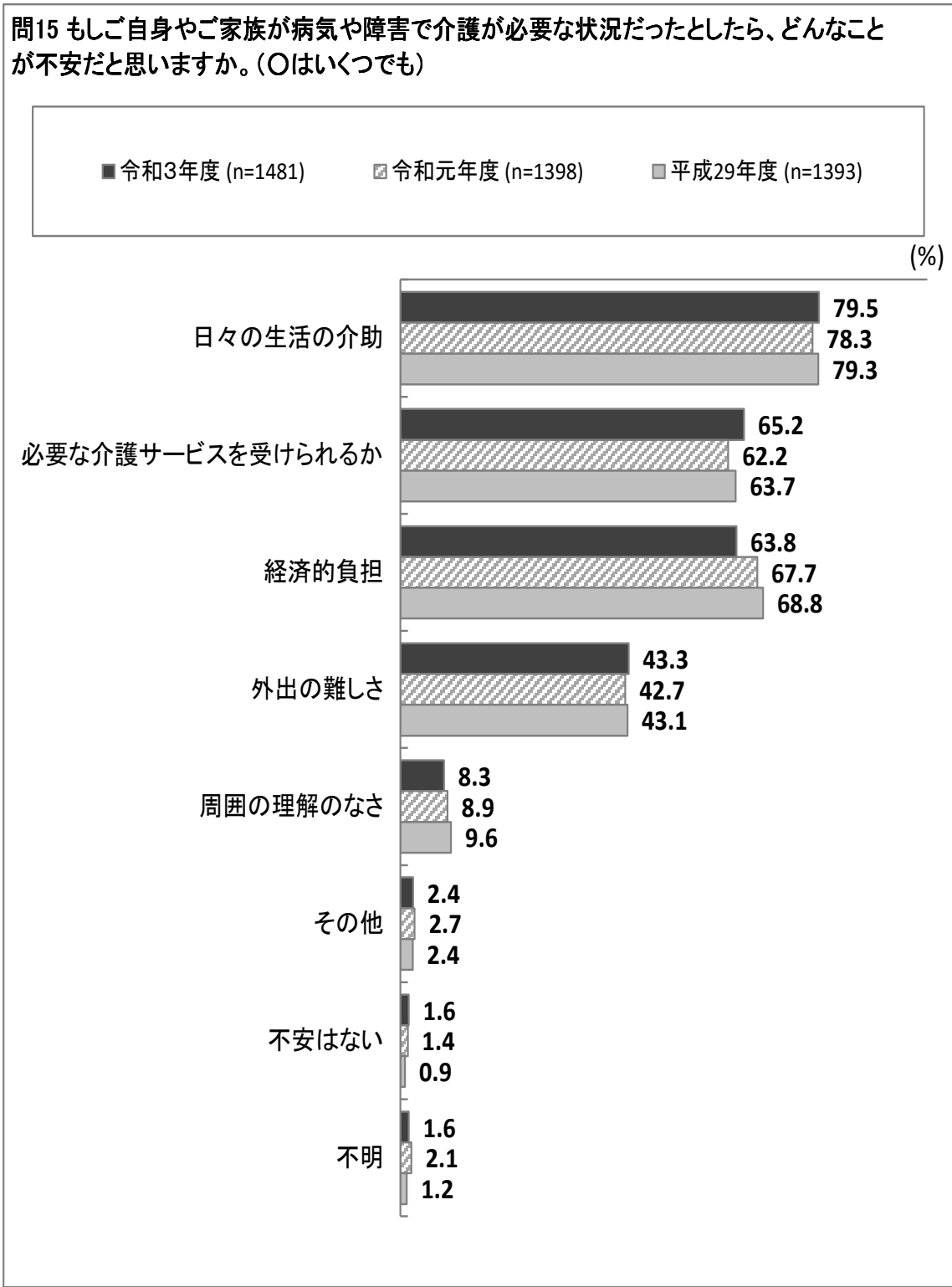
	胃	肺	大腸	乳	子宮	その他	不明
全体 (n=756)	42.9	32.4	39.2	31.7	31.9	6.1	23.3
男性20～29歳 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男性30～39歳 (n=9)	55.6	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	44.4
男性40～49歳 (n=24)	58.3	41.7	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3
男性50～59歳 (n=43)	53.5	37.2	48.8	2.3	0.0	4.7	34.9
男性60～69歳 (n=50)	50.0	42.0	44.0	2.0	2.0	10.0	38.0
男性70歳以上 (n=137)	47.4	40.9	41.6	2.9	2.9	16.1	29.9
女性20～29歳 (n=13)	0.0	0.0	0.0	15.4	92.3	0.0	7.7
女性30～39歳 (n=50)	4.0	6.0	4.0	40.0	84.0	0.0	10.0
女性40～49歳 (n=87)	35.6	31.0	29.9	64.4	63.2	2.3	13.8
女性50～59歳 (n=106)	41.5	33.0	44.3	59.4	55.7	0.0	23.6
女性60～69歳 (n=75)	50.7	36.0	45.3	53.3	45.3	6.7	14.7
女性70歳以上 (n=145)	47.6	31.0	46.9	33.1	20.7	6.2	20.7

集計ベース：がん検診を定期的に受けている [ベース値が30未満は参考値]

5. 健康・福祉について

【介護に対する不安： 全体・時系列】

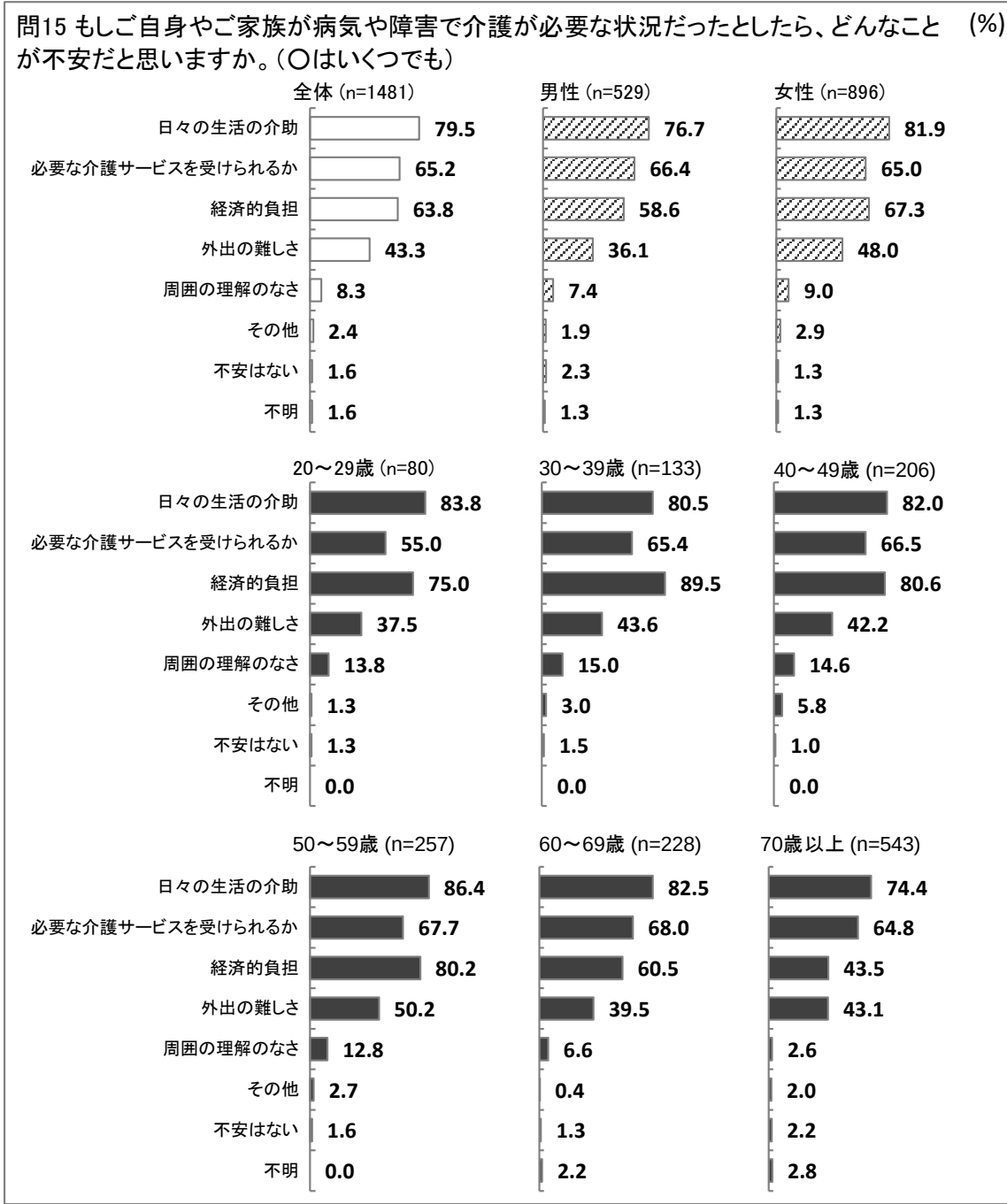
- ・ 「日々の生活の介助」が79.5％で最も高い。「必要な介護サービスが受けられるか」、「経済的負担」が続き、6割を超えている。
- ・ 前回調査と比較すると、「必要な介護サービスが受けられるか」で増加、「経済的負担」で減少がみられるが、経年変化にほとんど差はみられない。



5. 健康・福祉について

【介護に対する不安： 性別・年齢別】

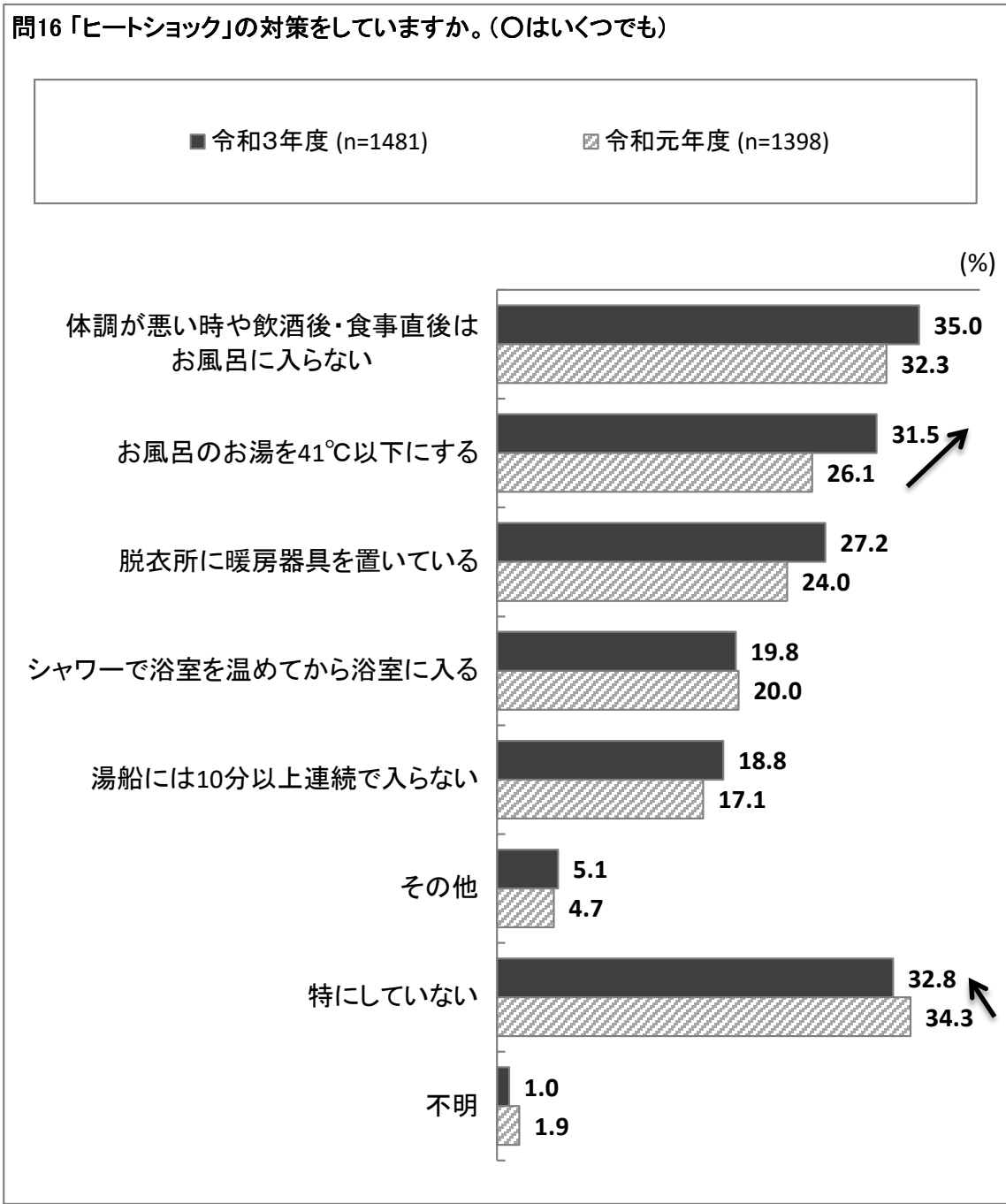
- 年齢別では、「経済的負担」は60歳未満で10ポイント以上、「日々の生活の介助」と「外出の難しさ」は「50～59歳」で、「周囲の理解のなさ」は50歳未満で全体より5ポイント以上多い。



5. 健康・福祉について

【「ヒートショック」対策について： 全体・時系列】

- 最も割合が高いのは、「体調が悪い時や飲酒後・食事直後はお風呂に入らない」で35.0%、次いで、「特にない」(32.8%)、「お風呂のお湯を41℃以下にする」(31.5%)が続く。
- 前回調査と比較すると、「お風呂のお湯を41℃以下にする」で5.4ポイント増加、「体調が悪い時や飲酒後・食事直後はお風呂に入らない」、「脱衣所に暖房器具を置いている」、「湯船には10分以上連続で入らない」でも増加している。
- 一方、「特にしていない」は前回調査より1.5ポイント減少している。

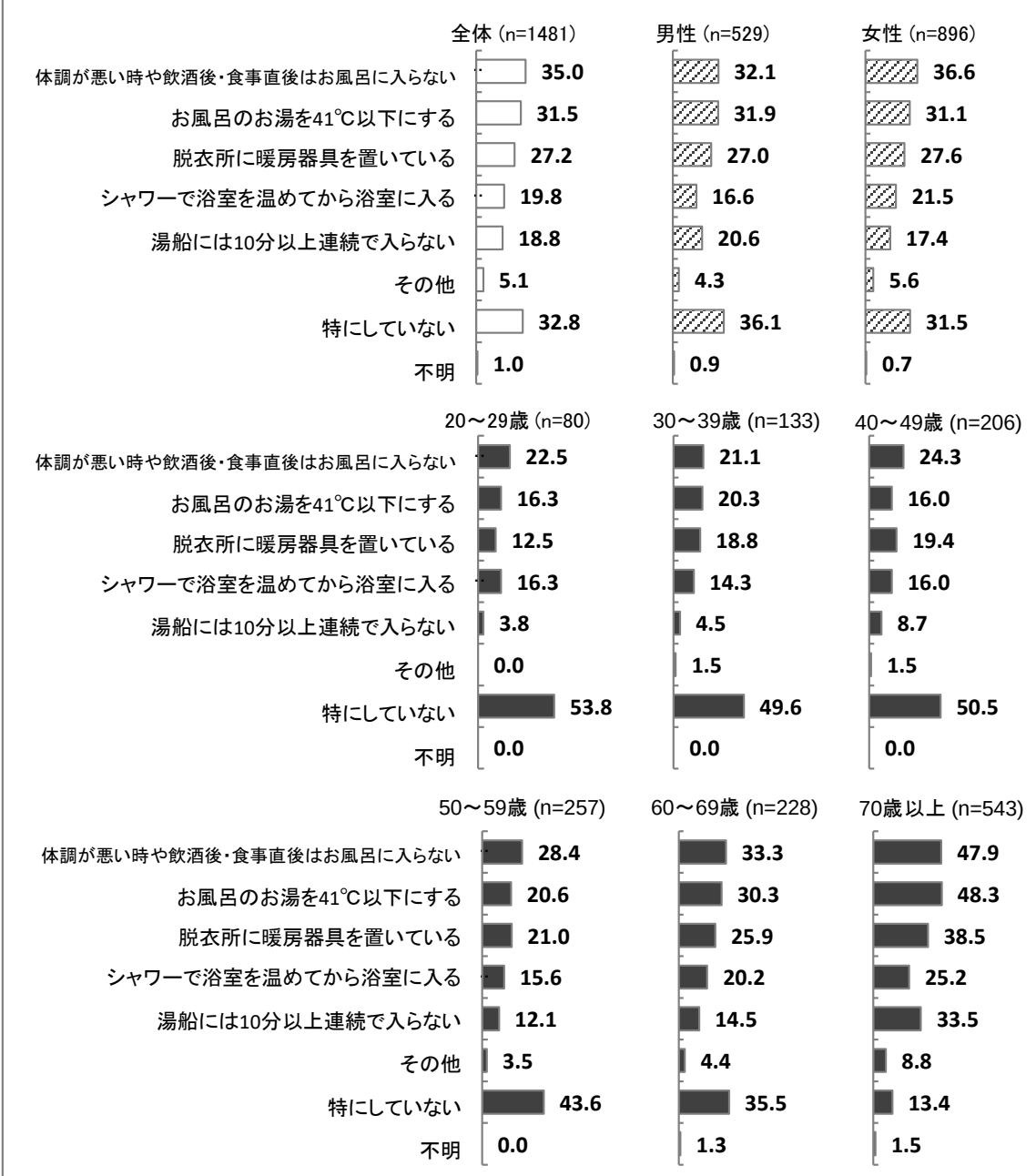


5. 健康・福祉について

【「ヒートショック」対策について： 性別・年齢別】

- 「70歳以上」で、「体調が悪い時や飲酒後・食事直後はお風呂に入らない」、「お風呂のお湯を41℃以下にする」、「脱衣所に暖房器具を置いている」、「湯船には10分以上連続で入らない」が全体より10ポイント以上多く、60歳未満では、「特にしていない」が全体より10ポイント以上多い。

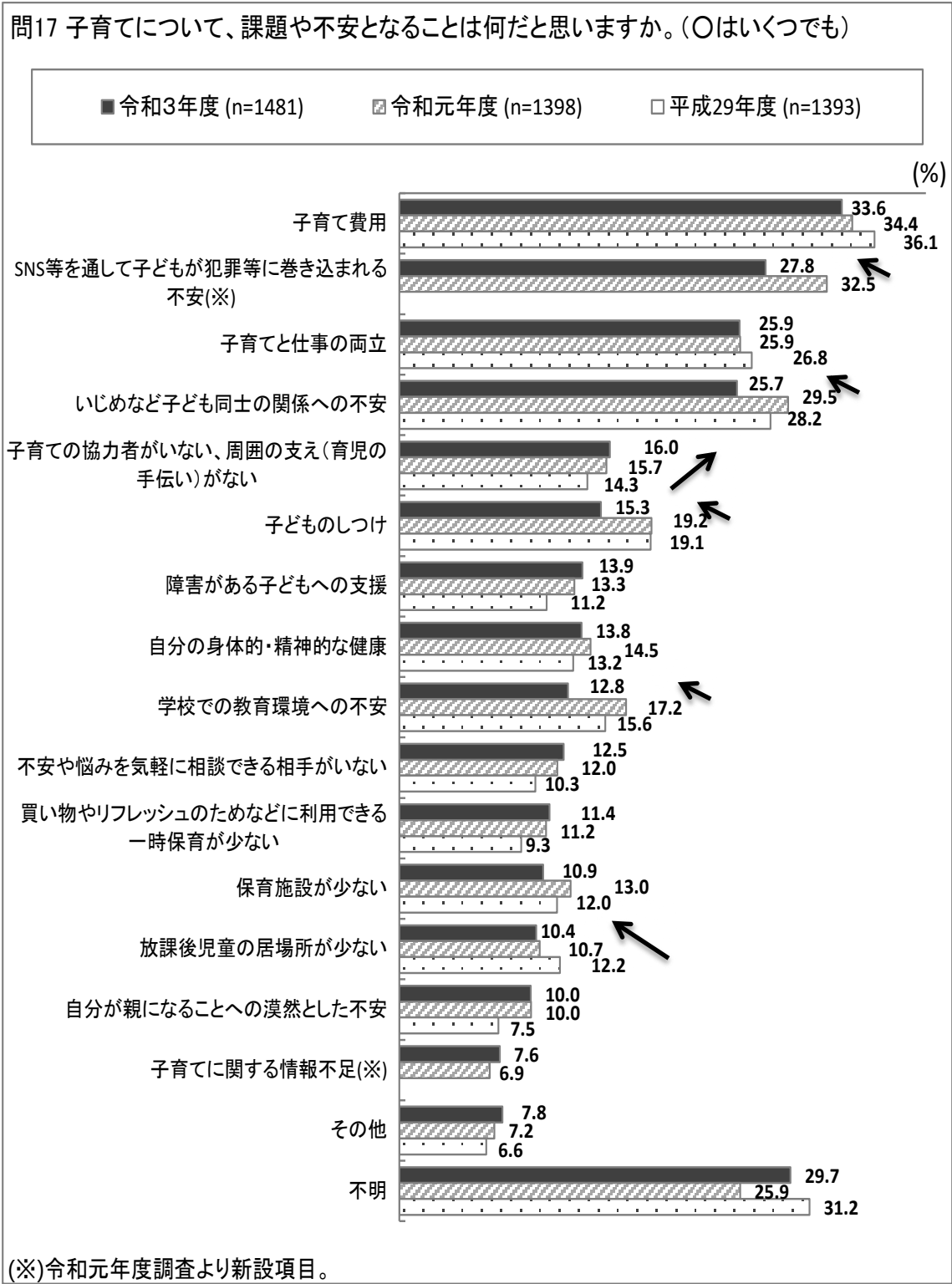
問16「ヒートショック」の対策をしていますか。(〇はいくつでも) (%)



6. 子育てについて

【子育てについての課題や不安： 全体・時系列】

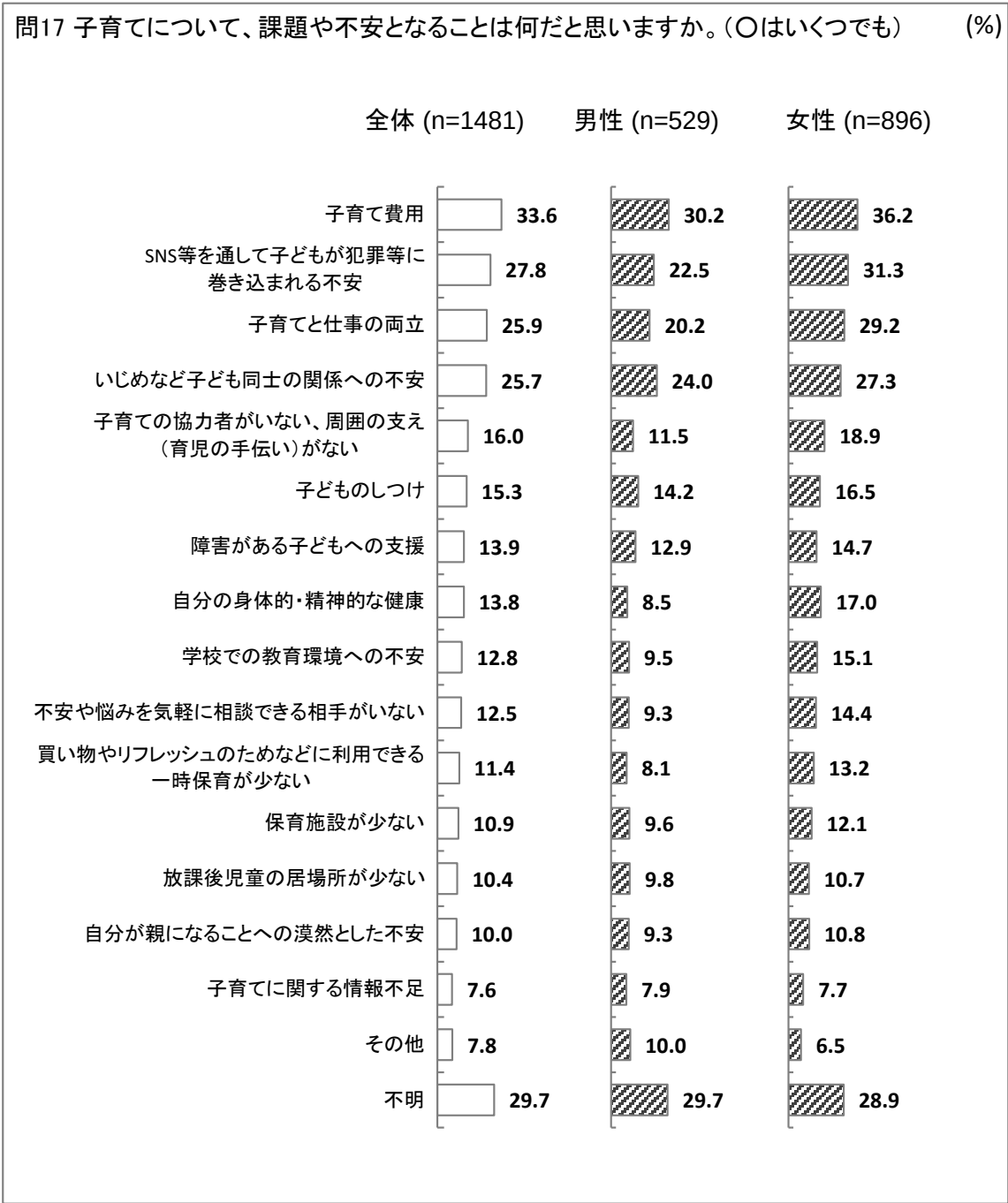
- 「子育て費用」が33.6%で最も高い。次いで、「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」が27.8%、「子育てと仕事の両立」が(25.9%)、「いじめなど子ども同士の関係への不安」(25.7%)と続く。
- 前回調査と比較すると、顕著に増加した項目はなく、「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」、「いじめなど子ども同士の関係への不安」、「子どものしつけ」、「学校での教育環境への不安」で4ポイント程度減少している。
- 時系列で比較すると、「子育ての協力者がいない、周囲の支え(育児の手伝い)がない」が増加傾向、「放課後児童の居場所が少ない」が少ないが減少傾向にある。



6. 子育てについて

【子育てについての課題や不安：性別】

- 性別では、「子育てに関する情報不足」以外のすべての項目で、「男性」より「女性」が不安を感じる割合が高い。中でも「子育てと仕事の両立」、「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」、「自分の身体的・精神的な健康」「子育ての協力者がいない、周囲の支え(育児の手伝い)がない」、「子育て費用」、「学校での教育環境への不安」、「不安や悩みを気軽に相談できる相手がいない」、「買い物やリフレッシュのためなどに利用できる一時保育が少ない」は「男性」より5ポイント以上多い。

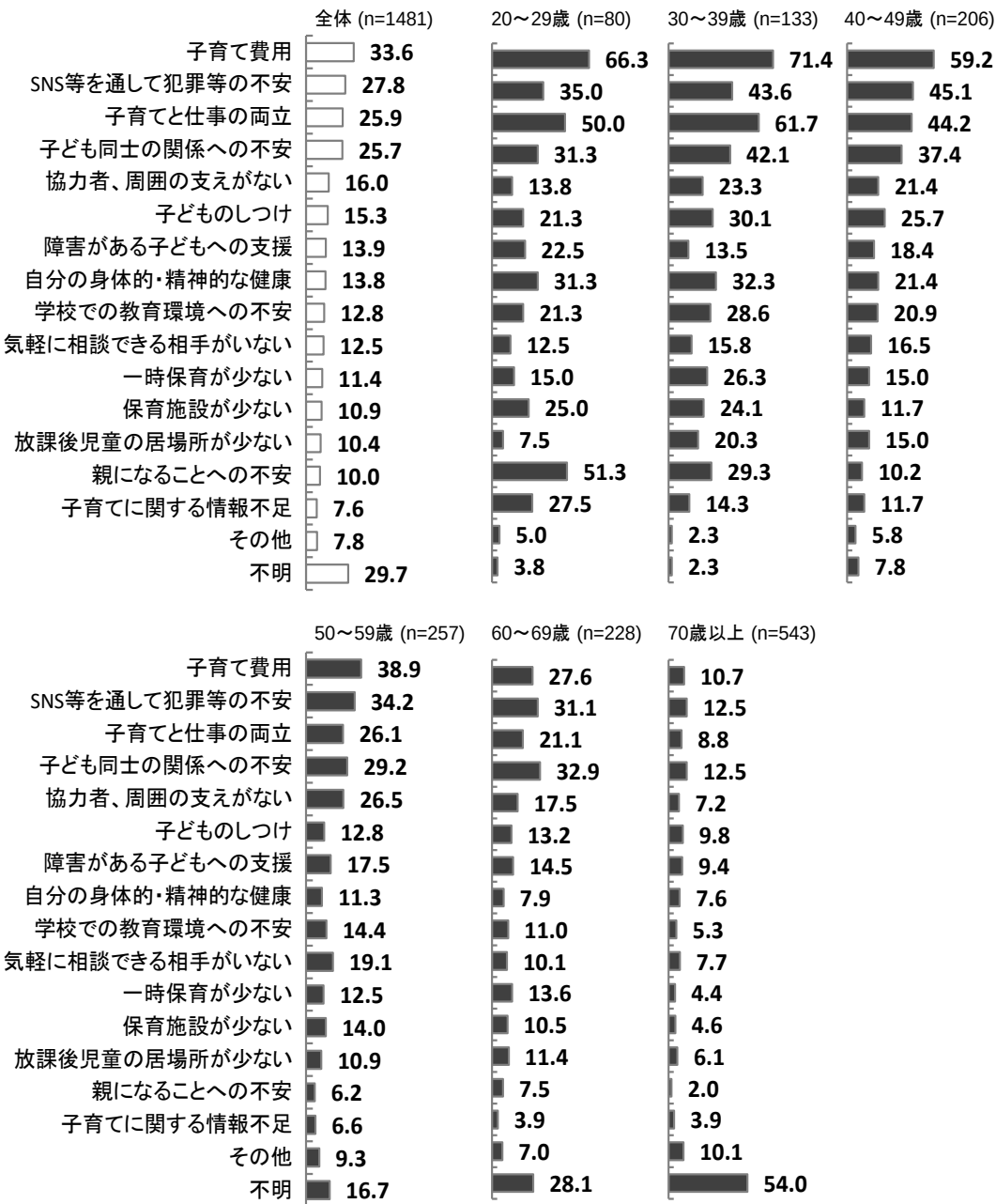


6. 子育てについて

【子育てについての課題や不安：年齢別】

- ・ 「20～29歳」では、「自分が親になることへの漠然とした不安」、「子育て費用」、「子育てと仕事の両立」に対する不安が全体よりも20ポイント以上多い。
- ・ 「30～39歳」では、「子育て費用」、「子育てと仕事の両立」に対する不安が全体より20ポイント以上多い。
- ・ 「40～49歳」では、「子育て費用」に対する不安が全体より20ポイント以上多い。

問17 子育てについて、課題や不安となることは何だと思いますか。(〇はいくつでも) (%)

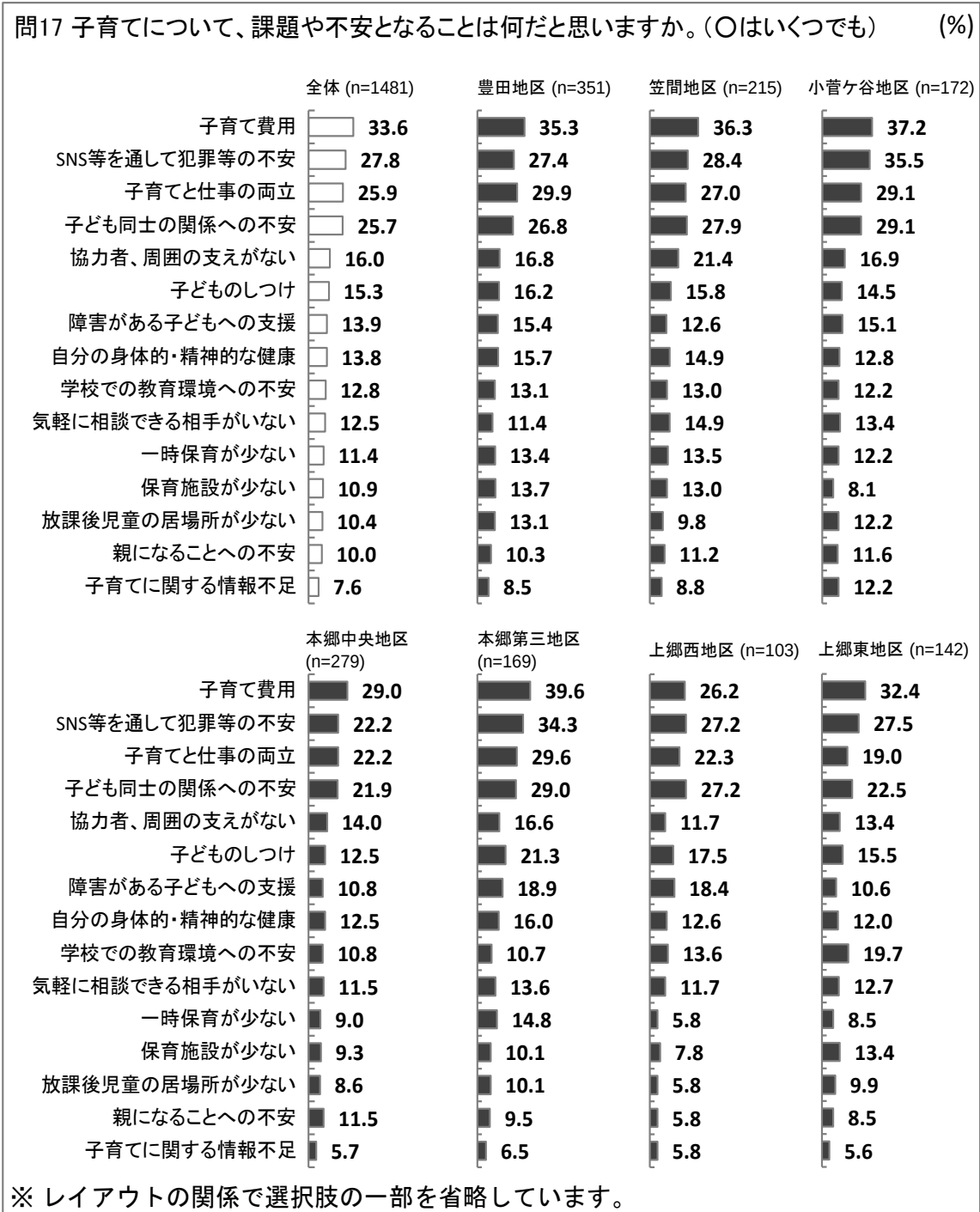


※ レイアウトの関係で選択肢の一部を省略しています。

6. 子育てについて

【子育てについての課題や不安： 居住地区別】

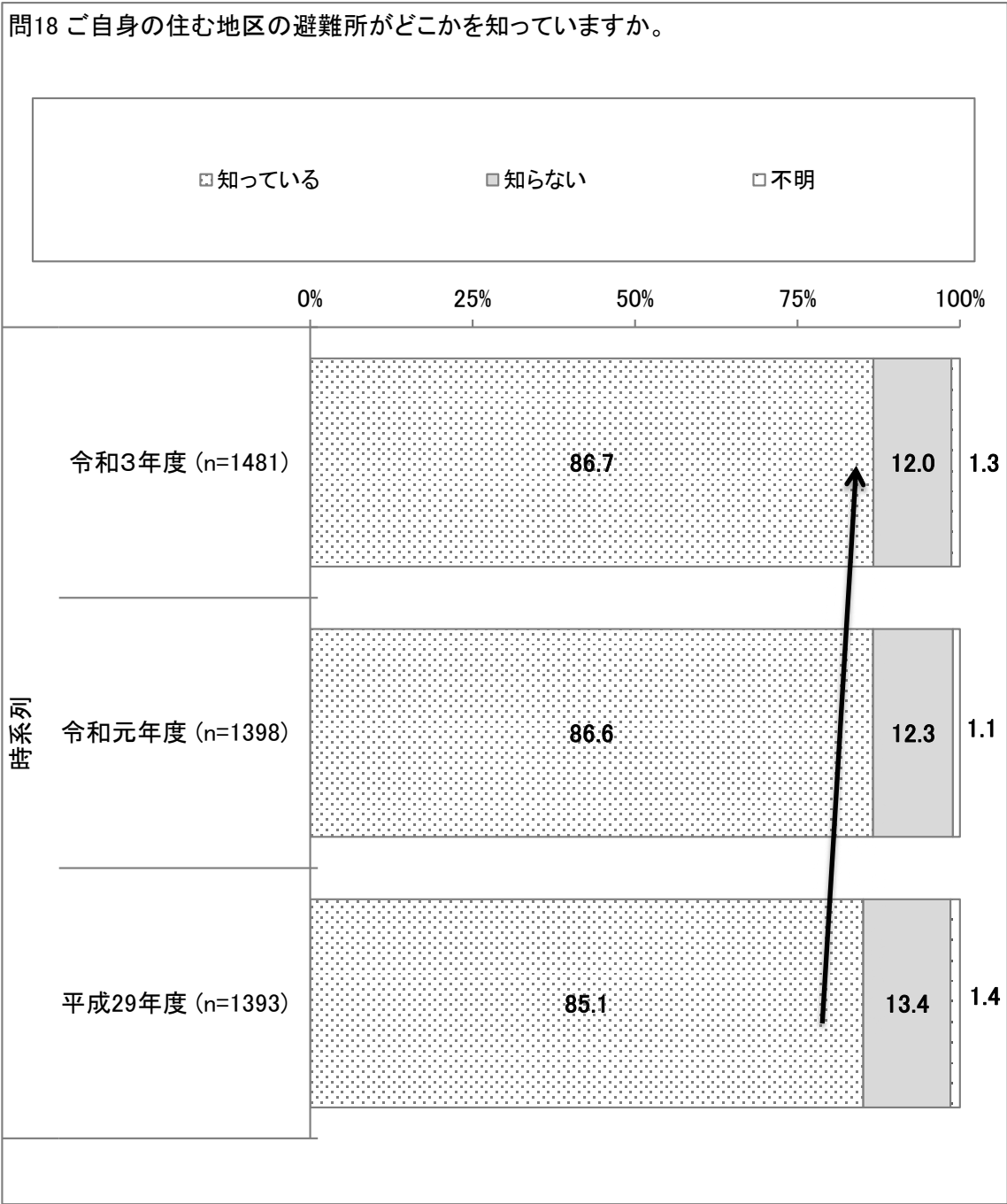
- ・ 「笠間地区」では、「子育ての協力者がいない、周囲の支え(育児の手伝い)がない」が全体よりも5ポイント以上多い。
- ・ 「小菅ヶ谷地区」では、「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」が全体よりも5ポイント以上多い。
- ・ 「本郷第三地区」では、「子育て費用」、「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」、「子どものしつけ」、「障害がある子どもへの支援」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「上郷東地区」では、「学校での教育環境への不安」が全体より5ポイント以上多い。



7. 防災について

【地区の避難所の場所の認知： 全体・時系列】

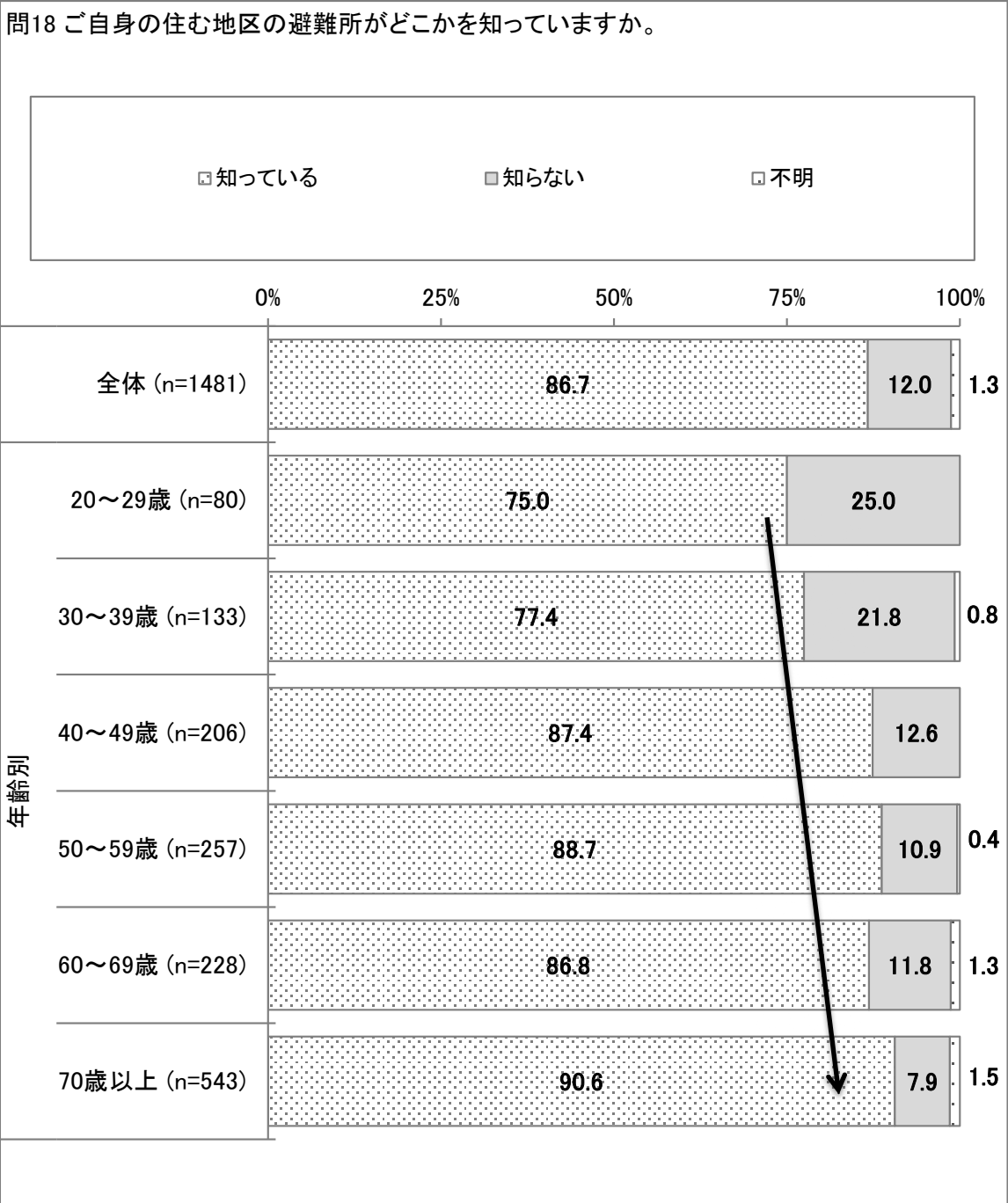
- ・ 「知っている」の割合は86.7％である。
- ・ 時系列で比較すると、認知度は上がりつつある。



7. 防災について

【地区の避難所の認知： 年齢別】

- 全体では、86.7％が「知っている」と答え、認知度は8割を超えている。
- 年代があがるほど「知っている」の割合が高くなる傾向にあり、「70歳以上」で9割を超えている。
- 一方、「20～29歳」の25.0％が「知らない」と回答し、全体より10ポイント以上多い。

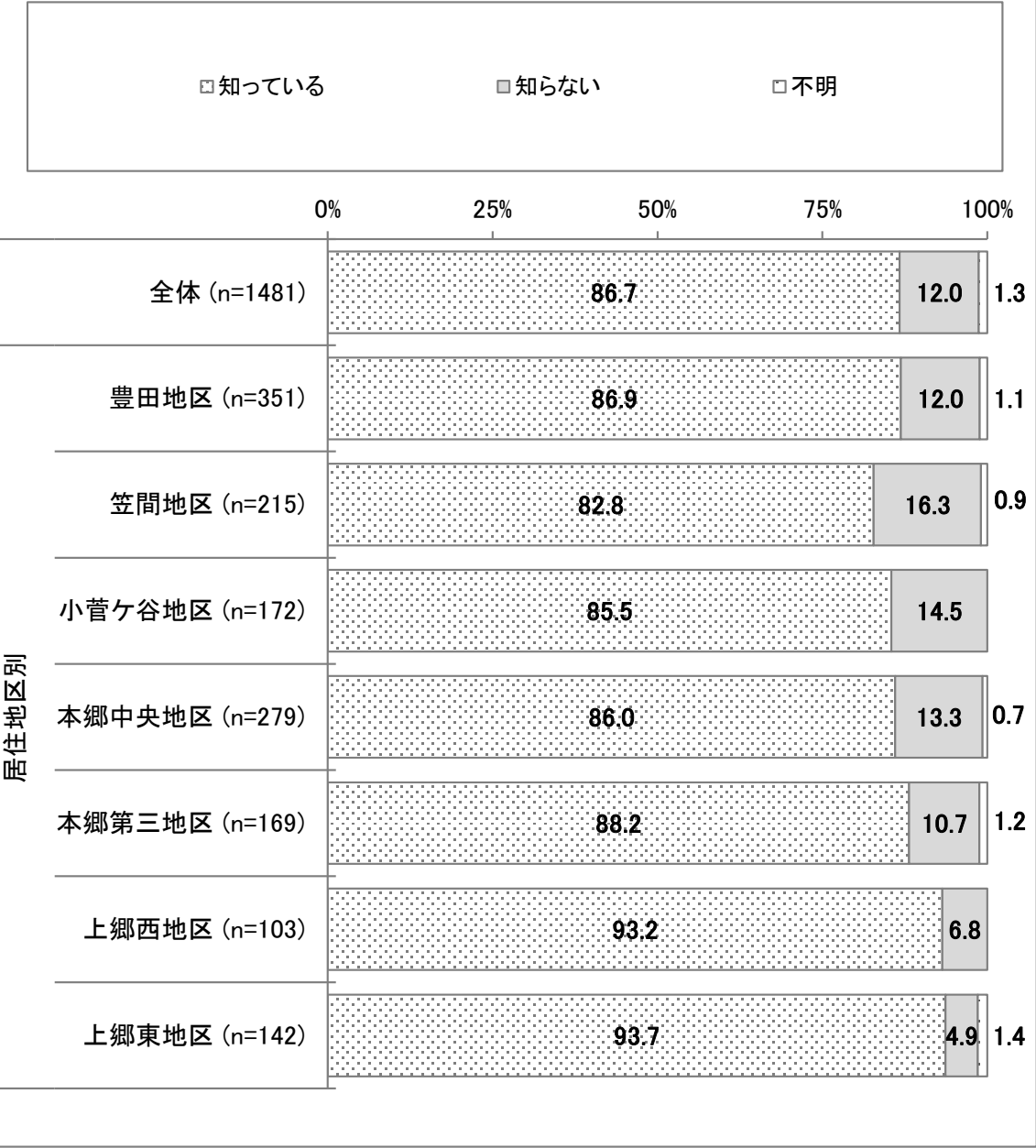


7. 防災について

【地区の避難所の認知：居住地区別】

- 「上郷東地区」と「上郷西地区」の「知っている」が全体より5ポイント以上多く、90%を超える。

問18 ご自身の住む地区の避難所がどこかを知っていますか。

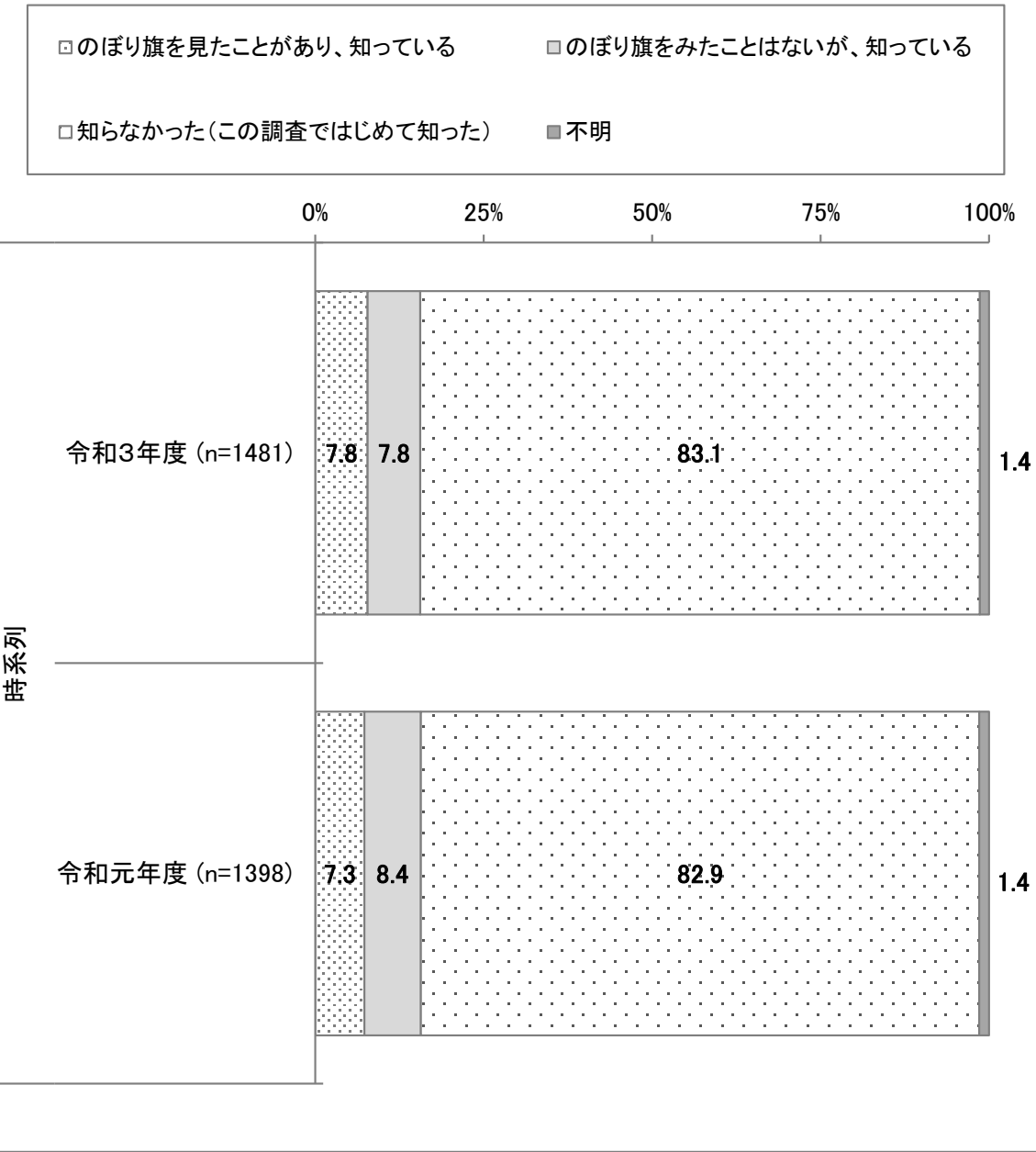


7. 防災について

【災害時、開設している医療機関の「のぼり旗」の認知： 全体・時系列】

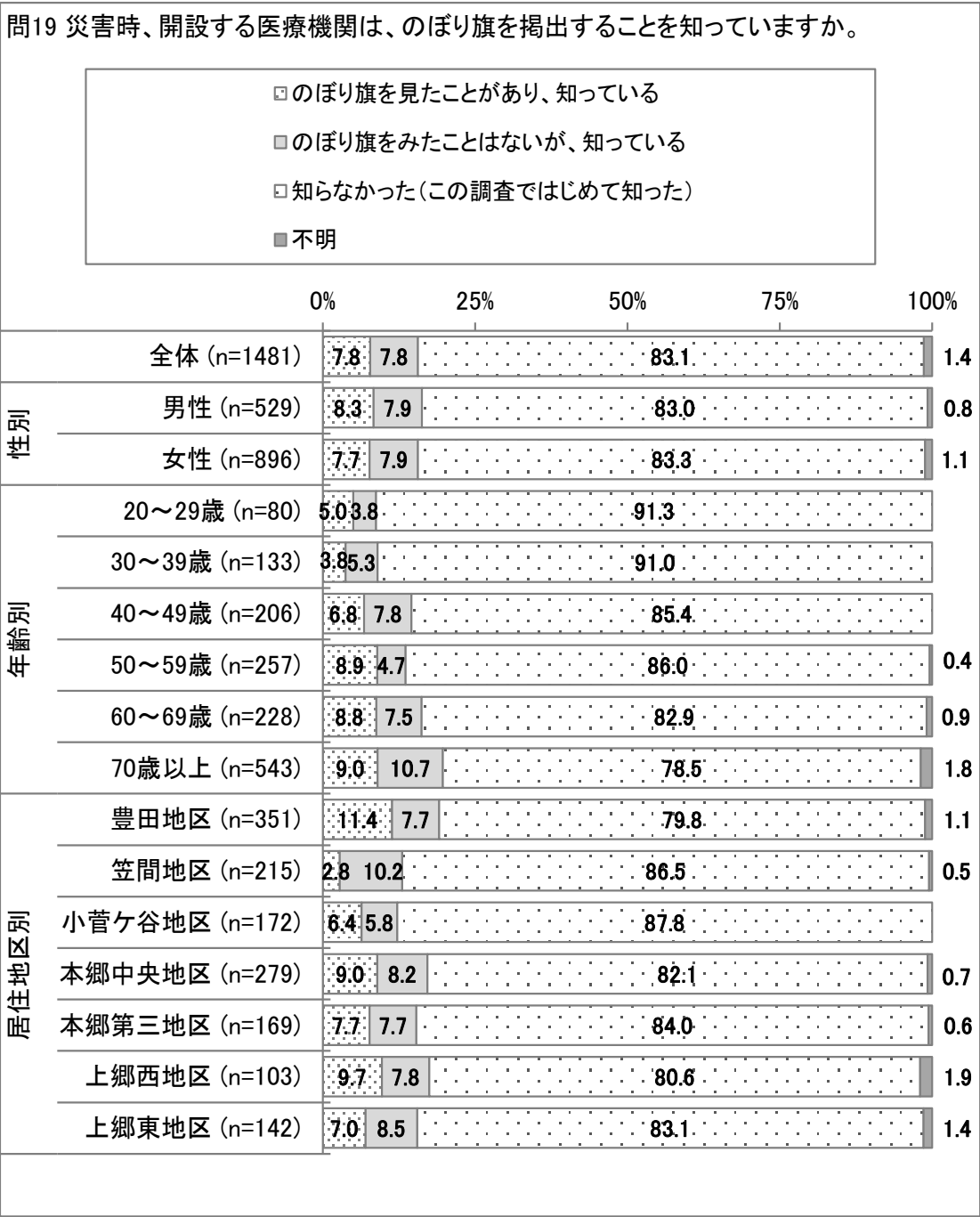
- ・ 「知らなかった(この調査ではじめて知った)」が83.1%で最も高く、「のぼり旗を見たことがあり、知っている」と「のぼり旗をみたことはないが、知っている」は、どちらも7.8%で1割弱である。
- ・ 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。

問19 災害時、開設する医療機関は、のぼり旗を掲出することを知っていますか。



7. 防災について

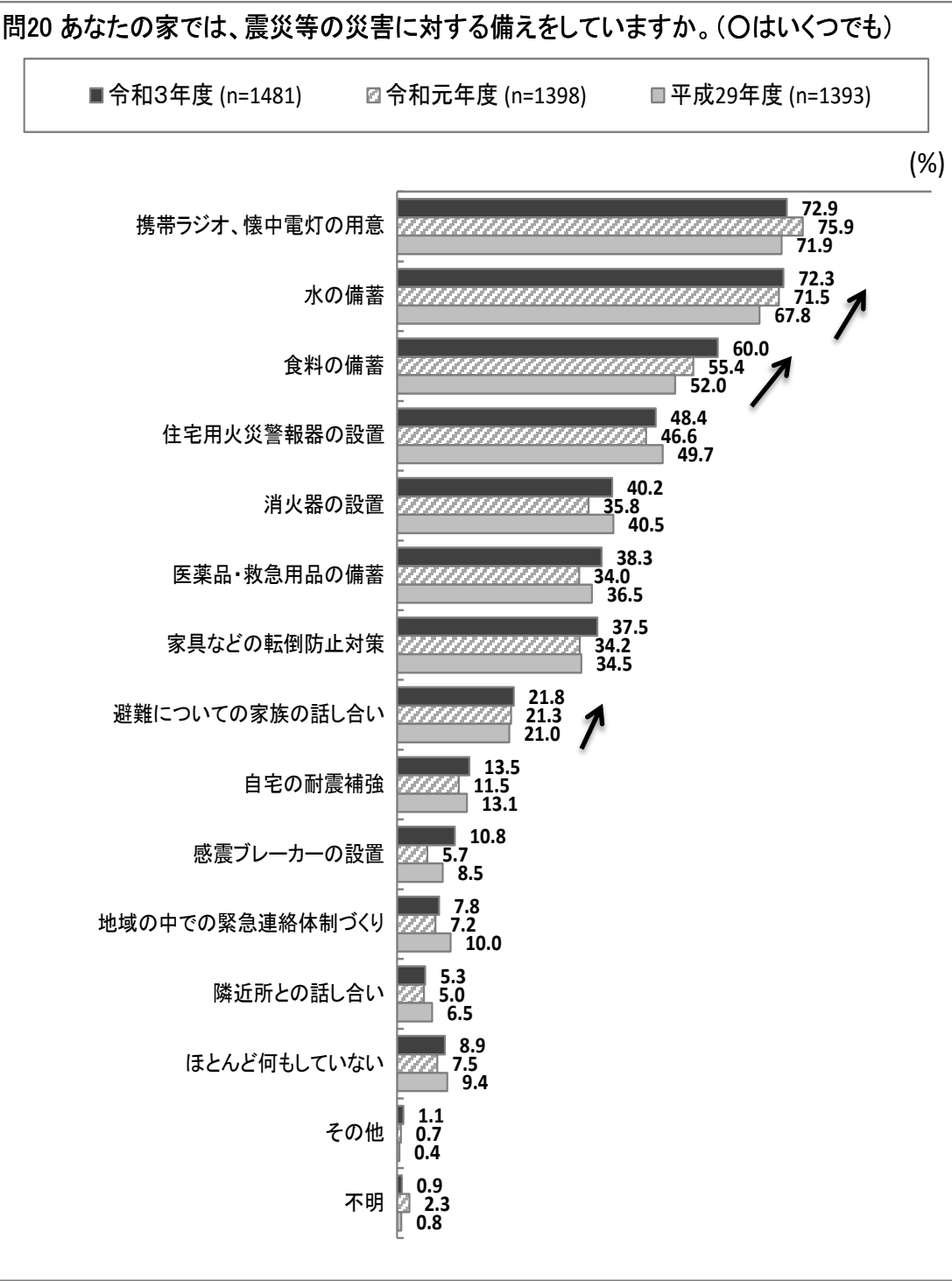
- 【災害時、開設している医療機関の「のぼり旗」の認知：性別・年齢別・居住地区別】
- ・ 「豊田地区」の「のぼり旗を見たことがあり、知っている」が11.4%と全体より3.6ポイント多く、他の地区と比べて多い。



7. 防災について

【災害に対する備え： 全体・時系列】

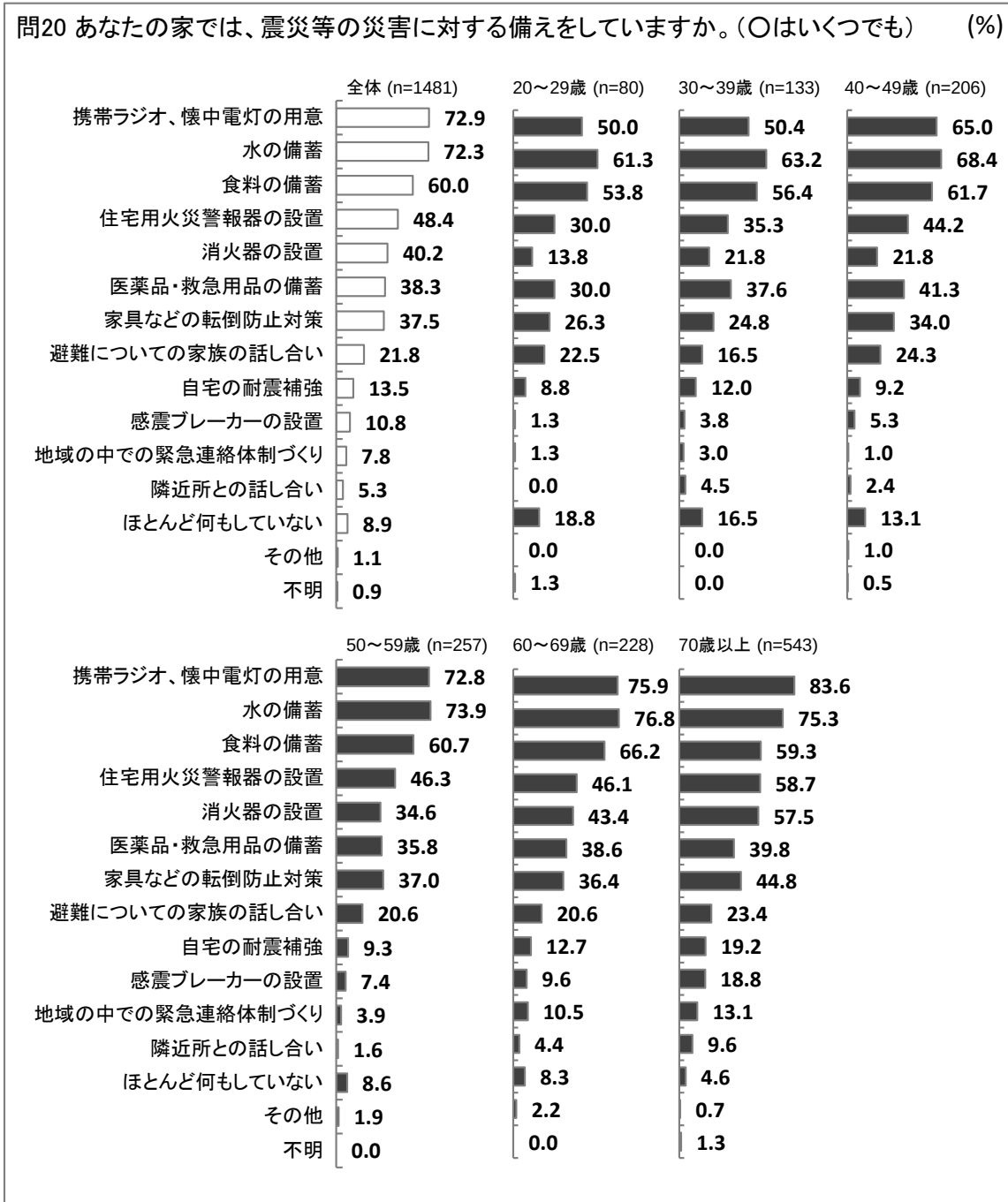
- ・ 「携帯ラジオ、懐中電灯の準備」が最も高く、72.9%に達する。「水の備蓄」(72.3%)、「食料の備蓄」(60.0%)が続いて高い。
- ・ 一方、「ほとんど何もしていない」は8.9%と1割を切っている。
- ・ 時系列で比較すると、大きな変化はみられないが、「水の備蓄」、「食料の備蓄」、「避難についての家族の話し合い」で増加傾向がみられる。



7. 防災について

【災害に対する備え：年齢別】

- 全体的に年代があがるほど震災などの災害に対する備えをしている割合が高く、「70歳以上」では、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」、「住宅用火災警報器の設置」、「消火器の設置」が全体より10ポイント以上多い。
- 「20～29歳」、「30～39歳」は、「ほとんど何もしていない」が、それぞれ18.8%、16.5%と全体より5ポイント以上多い。

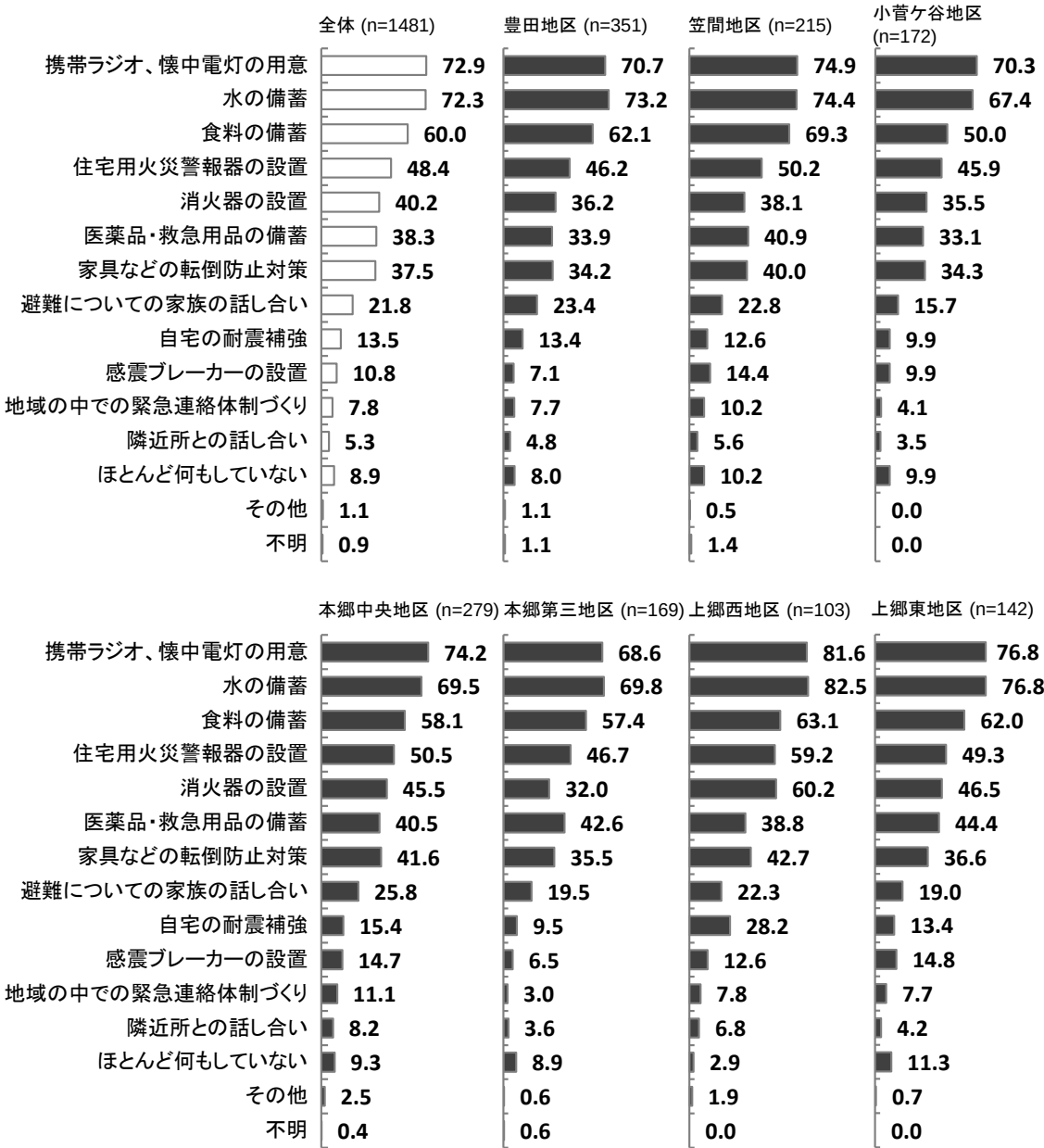


7. 防災について

【災害に対する備え： 居住地区別】

- 「上郷西地区」では、「水の備蓄」、「住宅用火災報知器の設置」、「消火器の設置」、「自宅の耐震補強」が全体より10ポイント以上、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」、「家具などの転倒防止対策」は全体より5ポイント以上多い。
- 「笠間地区」は「食料の備蓄」が、「上郷東地区」は「消火器の設置」と「医薬品・救急用品の備蓄」が、「本郷中央地区」は「消火器の設置」が全体より5ポイント以上多い。

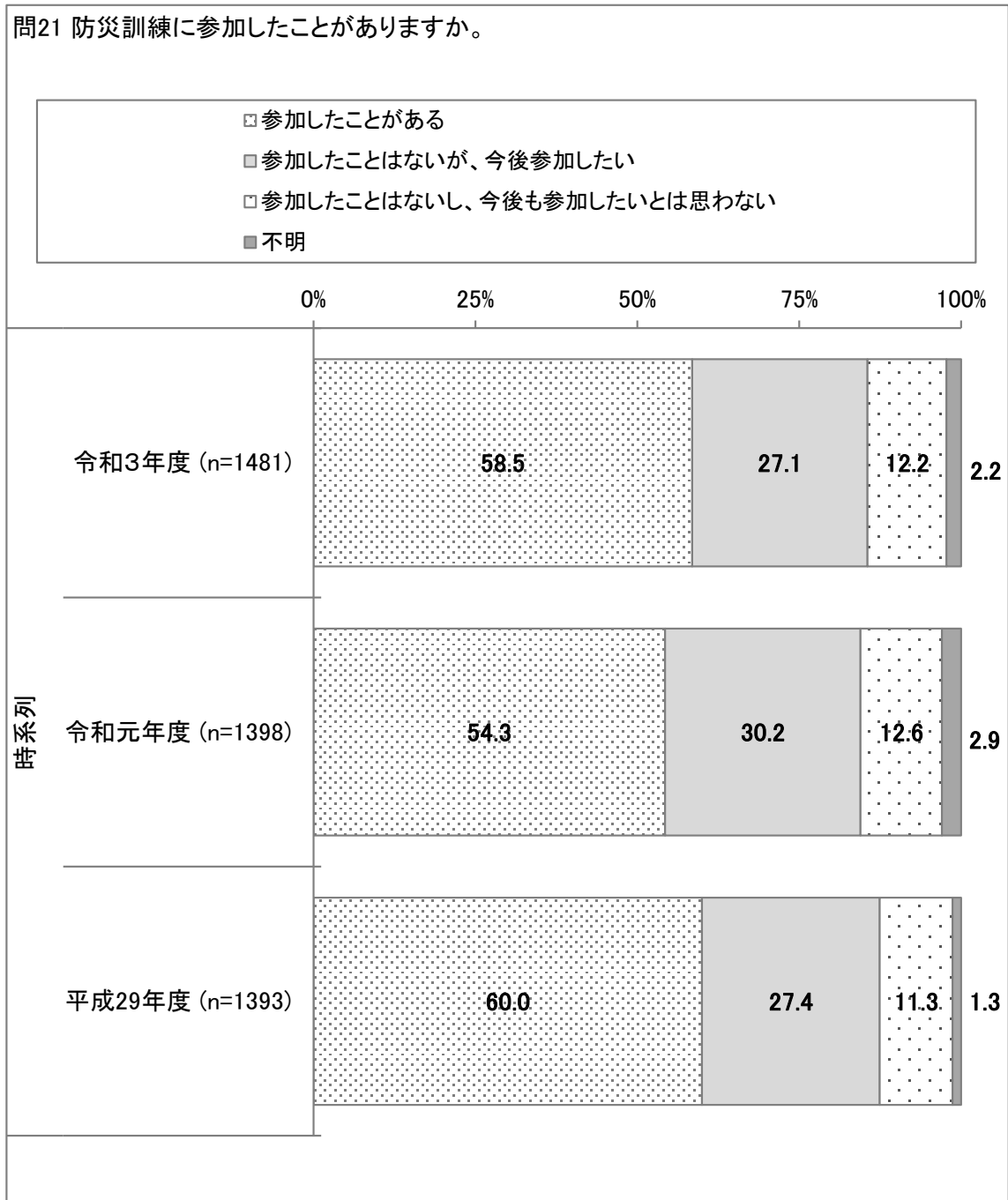
問20 あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。(〇はいくつでも) (%)



7. 防災について

【防災訓練：全体・時系列】

- 「参加したことがある」は58.5%で、「参加したことはないが、今後参加したい」は27.1%である。一方で「参加したことはないし、今後も参加したいとは思わない」は12.2%である。
- 前回調査と比較すると、「参加したことがある」が4.2ポイント増加している。

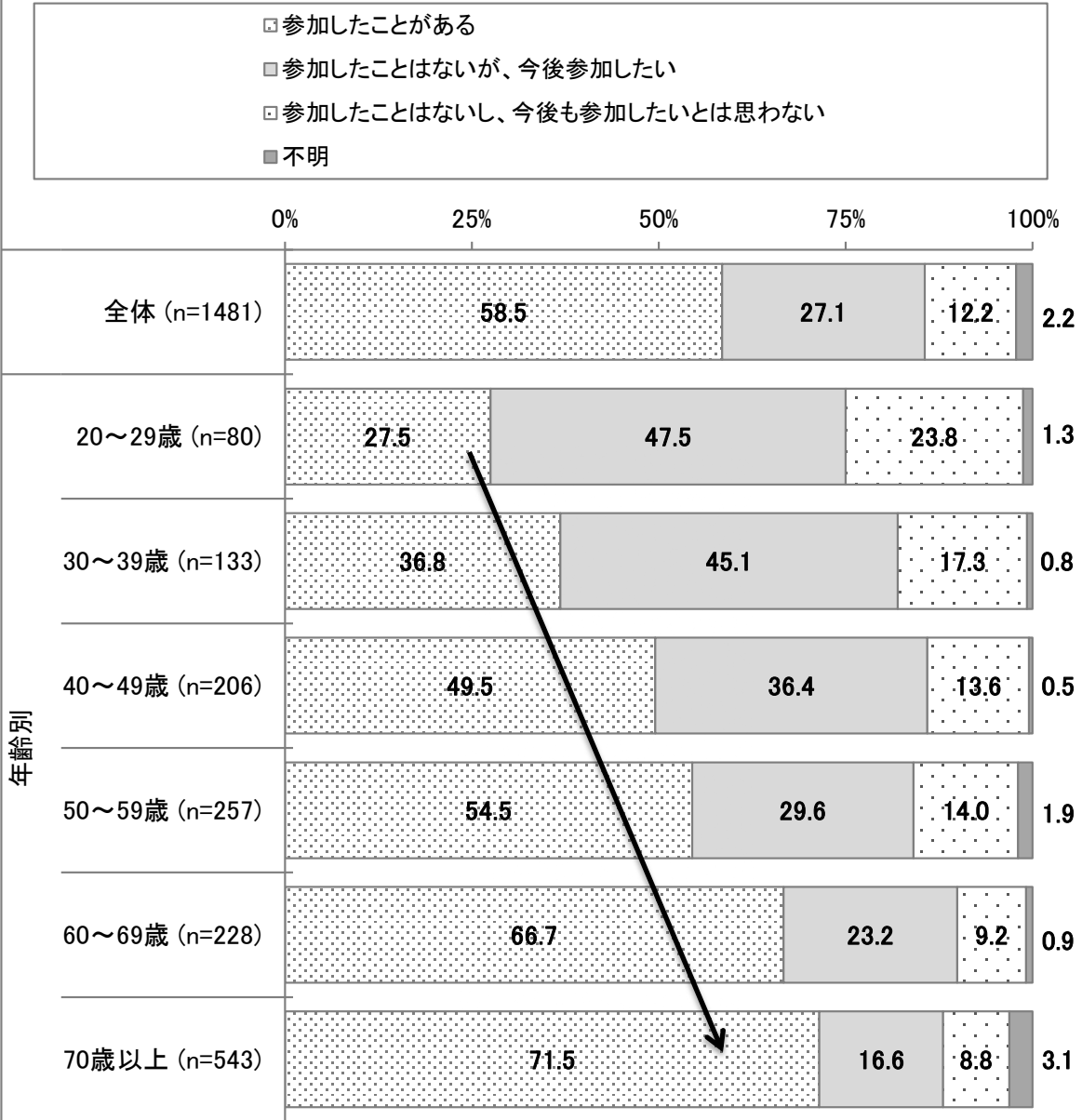


7. 防災について

【防災訓練：年齢別】

- 「参加したことがある」の割合は、年代があがるほど高くなり、「70歳以上」は71.5%と7割が参加経験がある。
- 「20～29歳」と「30～39歳」は、「参加したことがある」の割合が全体より20ポイント以上少ないが、「参加したことはないが、今後参加したい」の割合は全体より10ポイント以上多い。
- 「20～29歳」は、「参加したことはないし、今後参加したいとは思わない」が23.8%と全体より10ポイント以上多い。

問21 防災訓練に参加したことがありますか。

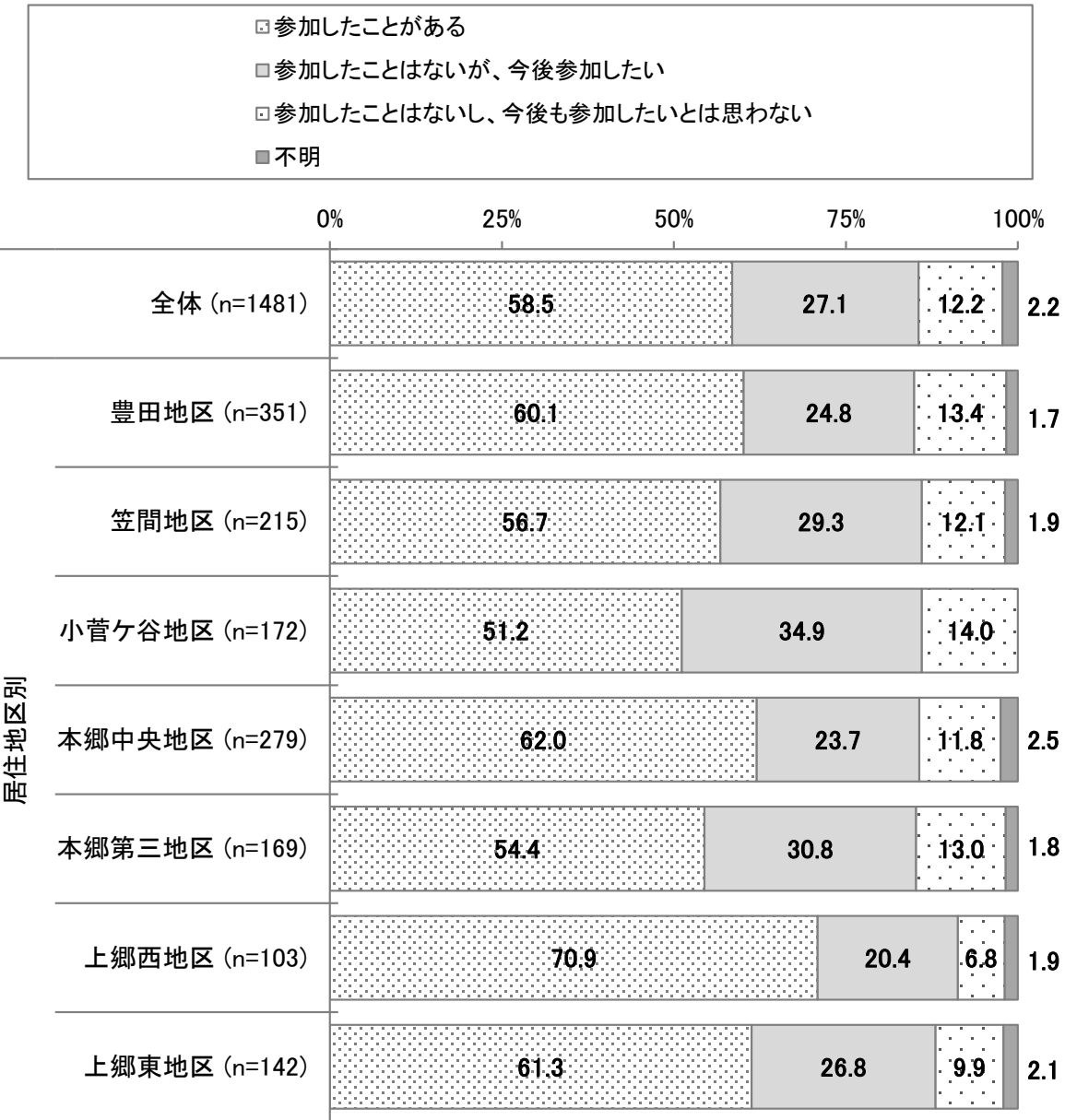


7. 防災について

【防災訓練：居住地区別】

- ・ 「上郷西地区」は、「参加したことがある」が70.9%と全体より10ポイント以上多い。
- ・ 「小菅ヶ谷地区」は、「参加したことはないが、今後参加したい」が34.9%と全体より5ポイント以上多い。

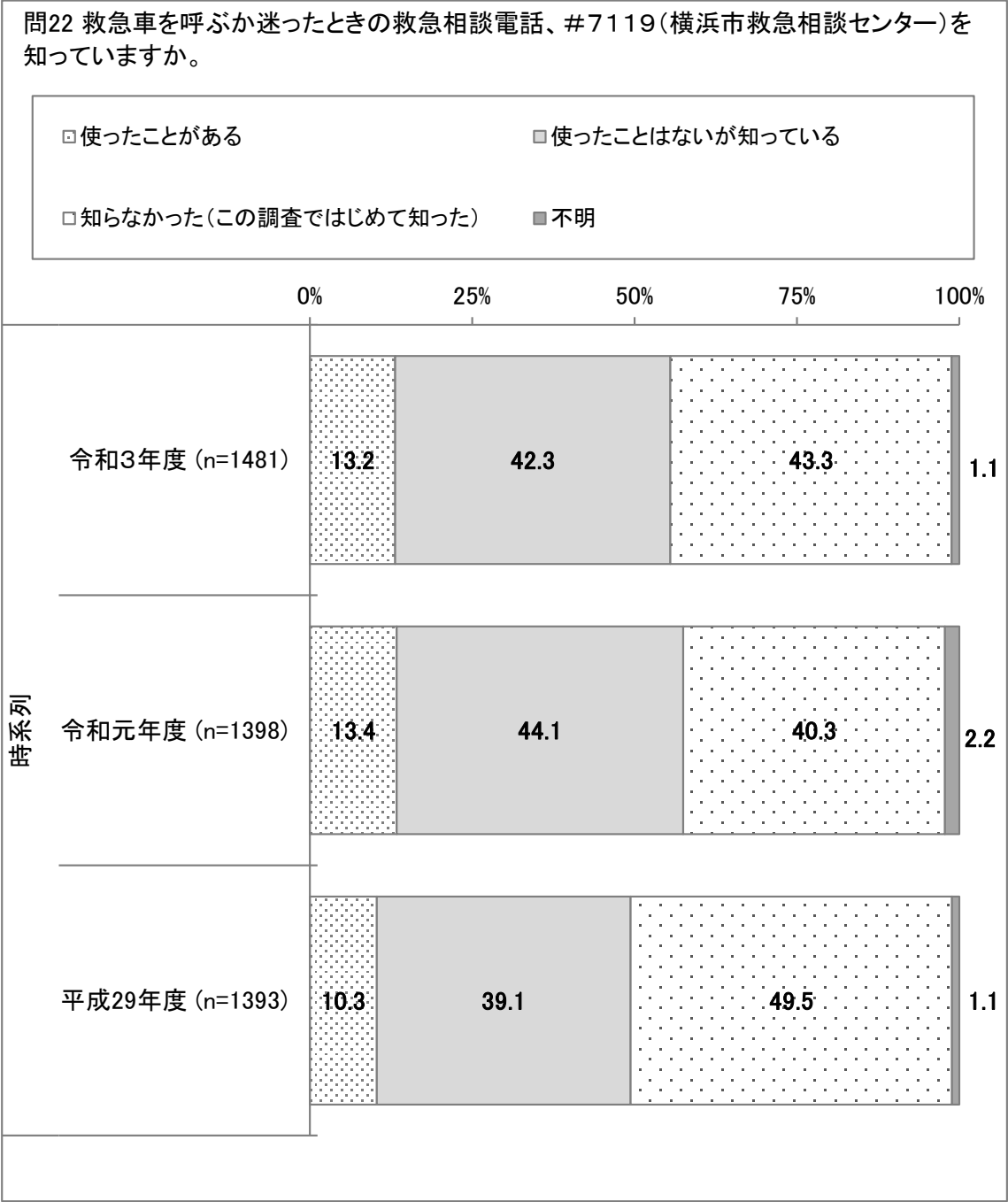
問21 防災訓練に参加したことがありますか。



7. 防災について

【横浜市救急相談センター認知：全体・時系列】

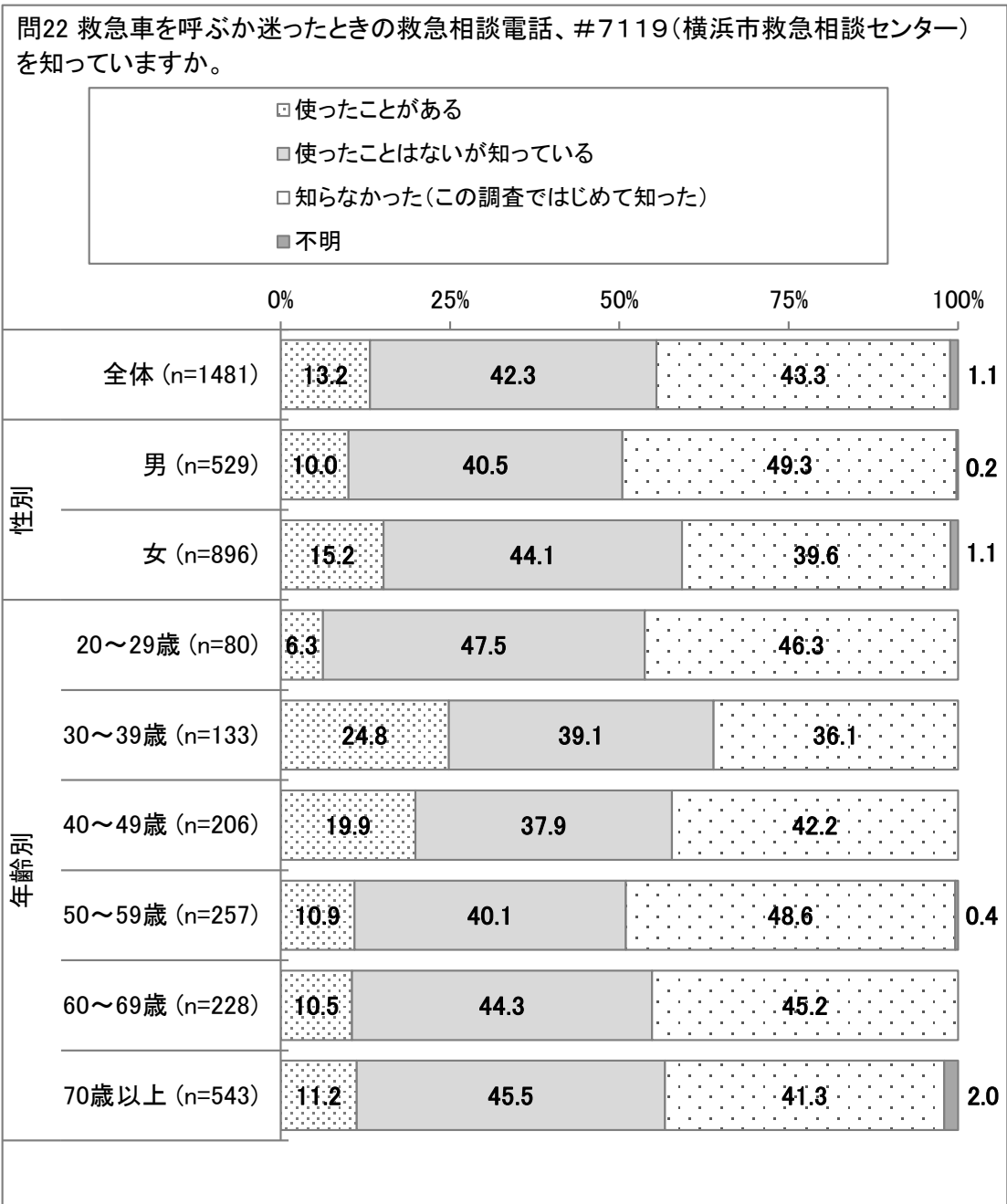
- ・ 「使ったことがある」は13.2%で、「使ったことはないが知っている」は42.3%である。一方で「知らなかった(この調査ではじめて知った)」は43.3%である。
- ・ 前回調査と比較しても、大きな差はみられない。



8. 救急について

【横浜市救急相談センター認知： 性別・年齢別】

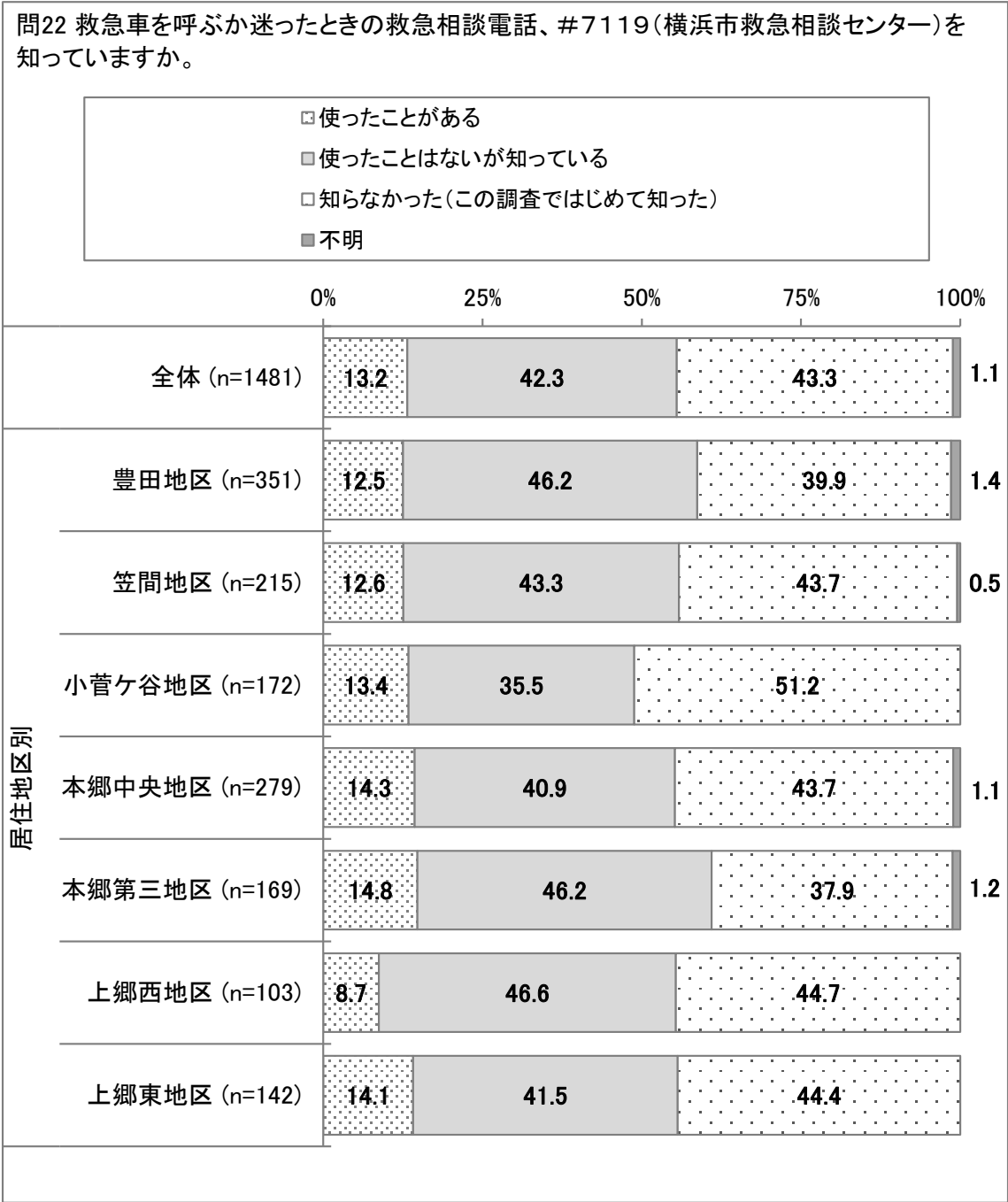
- 男女別では、「男性」で「知らなかった(この調査ではじめて知った)」が49.3%と全体より5ポイント以上多い。
- 年齢別では、「30～39歳」で「使ったことがある」が24.8%と全体より10ポイント以上多く、「40～49歳」も19.9%と全体より5ポイント以上多い。
- 一方、「知らなかった(この調査ではじめて知った)」は、「50～59歳」で48.6%と全体より5ポイント以上多い。



8. 救急について

【横浜市救急相談センター認知： 居住地区別】

- 「使ったことがある」、「使ったことはないが知っている」を合わせた割合は、「本郷第三地区」で60.9%と最も高く、次いで、「豊田地区」(58.7%)、「笠間地区」(55.8%)と続く。

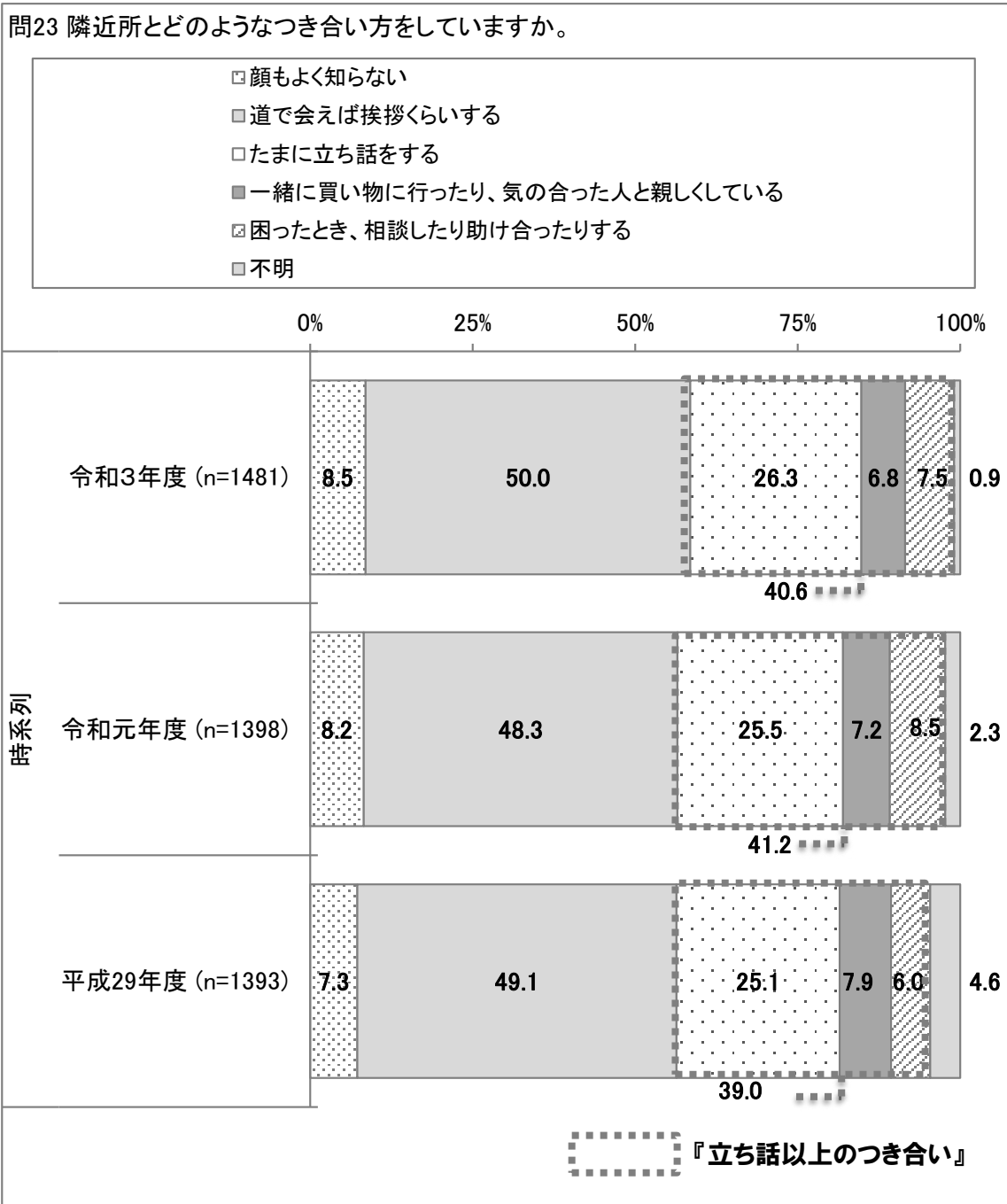


9. 地域のつながりについて

【隣近所との付き合い方：全体・時系列】

- 「道で会えば挨拶くらいする」は50.0%、「たまに立ち話をする」は26.3%である。『立ち話以上の付き合い』は40.6%である。一方、「顔もよく知らない」は8.5%である。
- 時系列で比較すると、「顔もよく知らない」の割合が増加傾向にあり、『立ち話以上の付き合い』の割合は、令和元年度では2.2ポイント増加し、今回調査では0.6ポイント減少している。

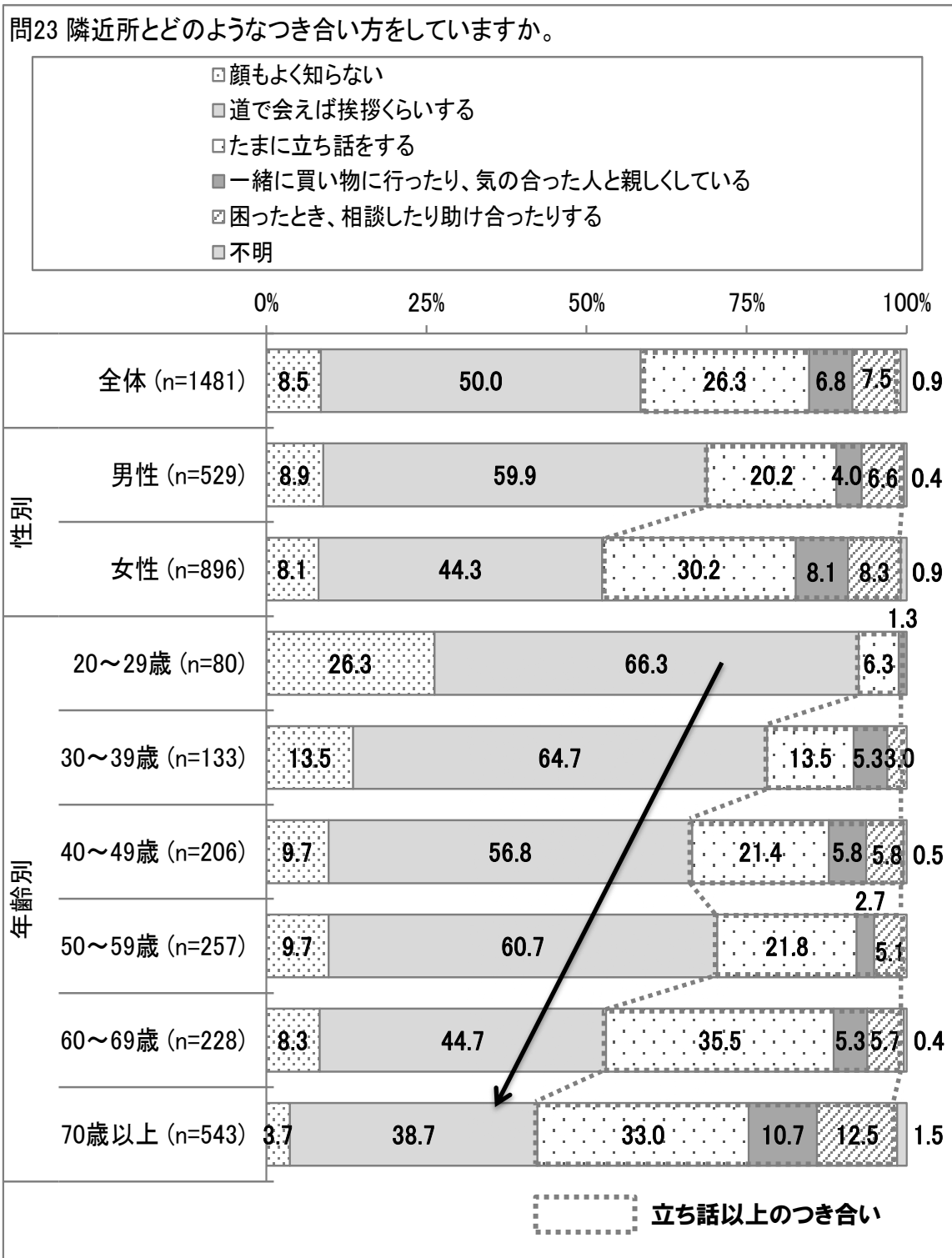
※『立ち話以上の付き合い』:「たまに立ち話をする」、「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」の合計



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合い方： 全体・性別・年齢別】

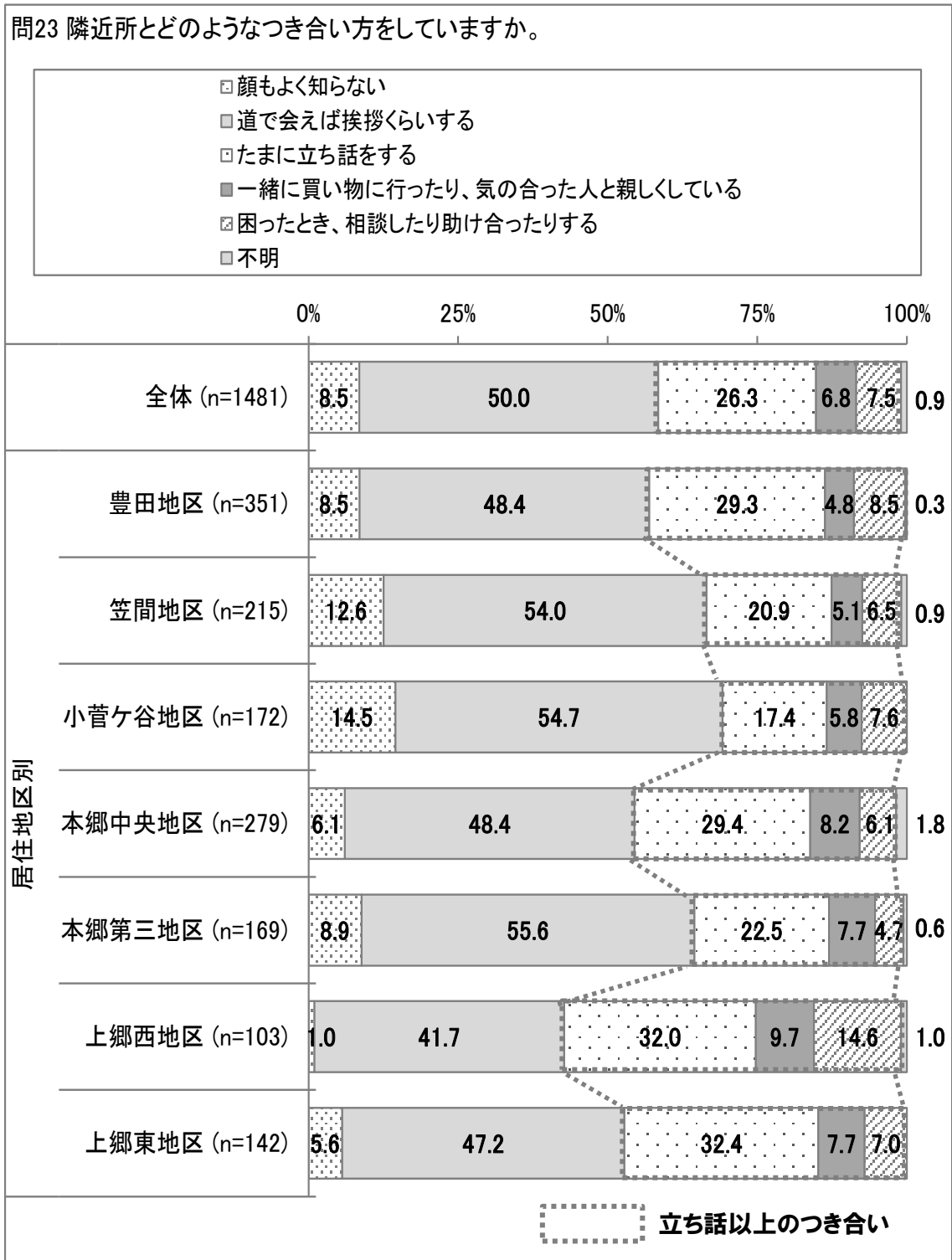
- 「道で会えば挨拶くらいする」は「男性」59.9%、「女性」44.3%である。また、『立ち話以上のつき合い』は、「男性」30.8%、「女性」46.7%である。
- 年齢別では、年代があがるほど『立ち話以上のつき合い』の割合が高くなる傾向にあり、「70歳以上」では56.2%と最も高い。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合い方：居住地区別】

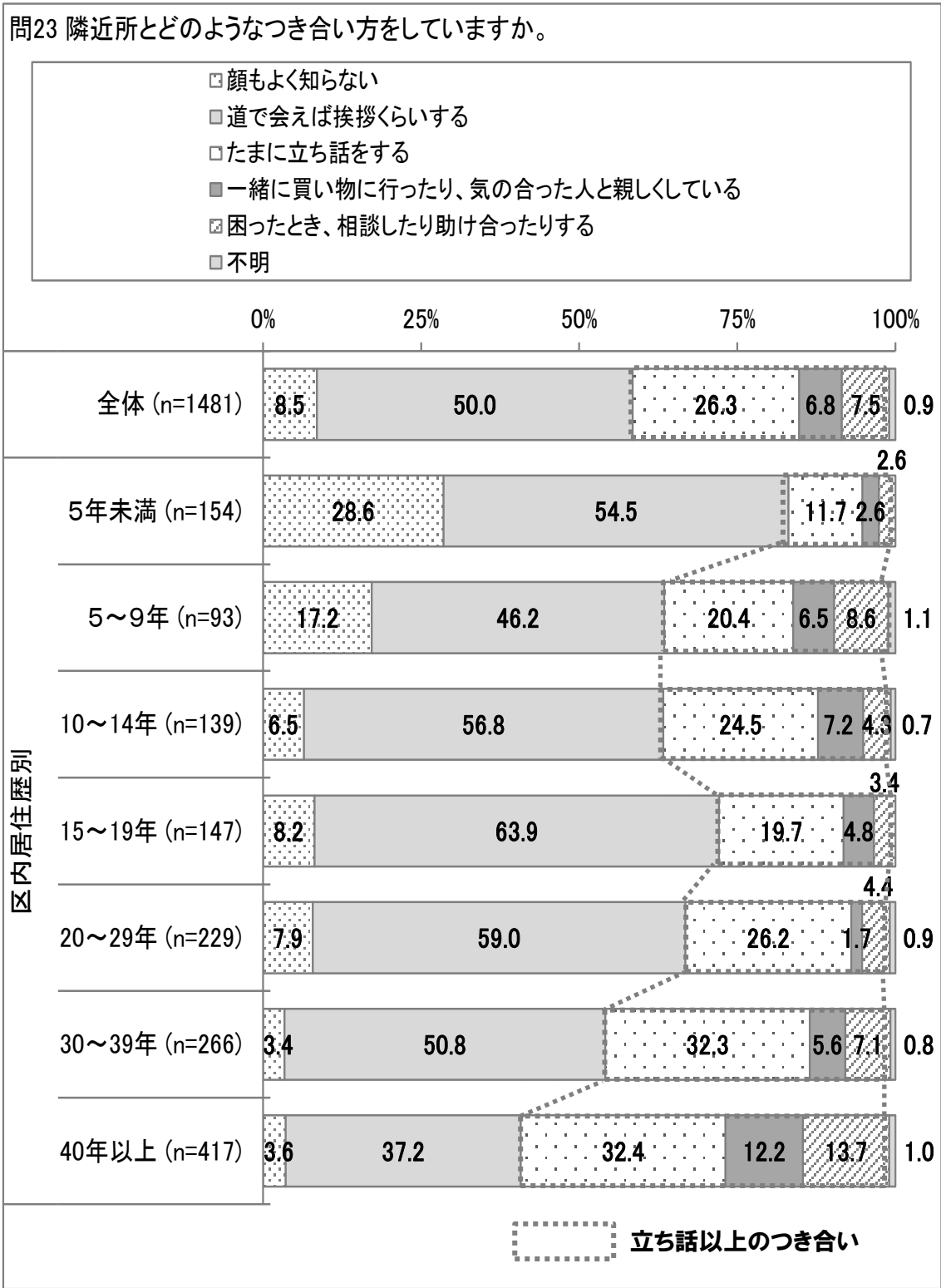
- 『立ち話以上のつき合い』の割合は、「上郷西地区」(56.3%)が最も高く、「上郷東地区」(47.1%)、「本郷中央地区」(43.7%)と続く。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合い方：区内居住歴別】

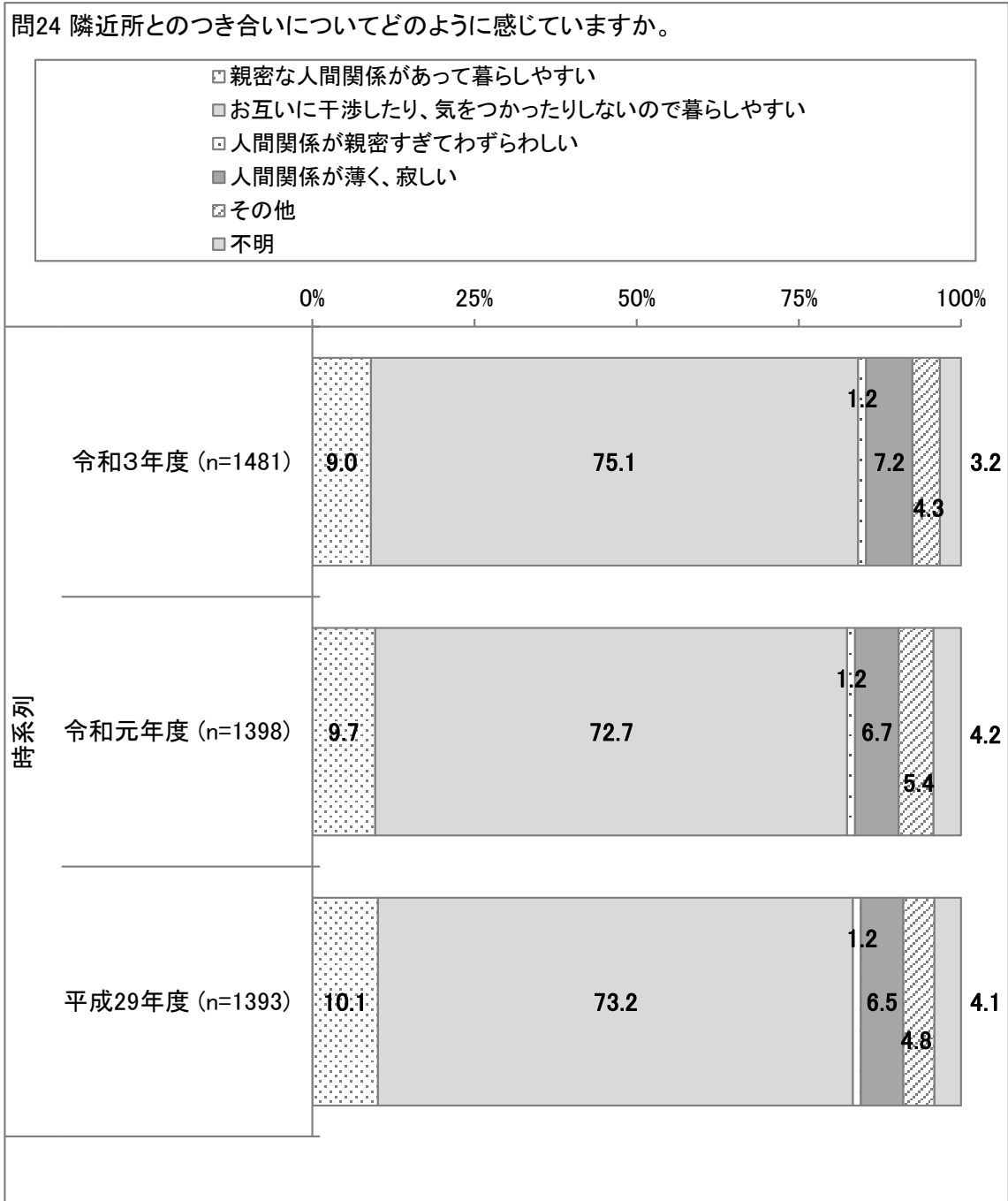
- 『立ち話以上のつき合い』の割合は、「40年以上」(58.3%)が最も高く、「30～39年」(45.0%)、「10～14年」(36.0%)と続く。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合いについて感じる事： 全体・時系列】

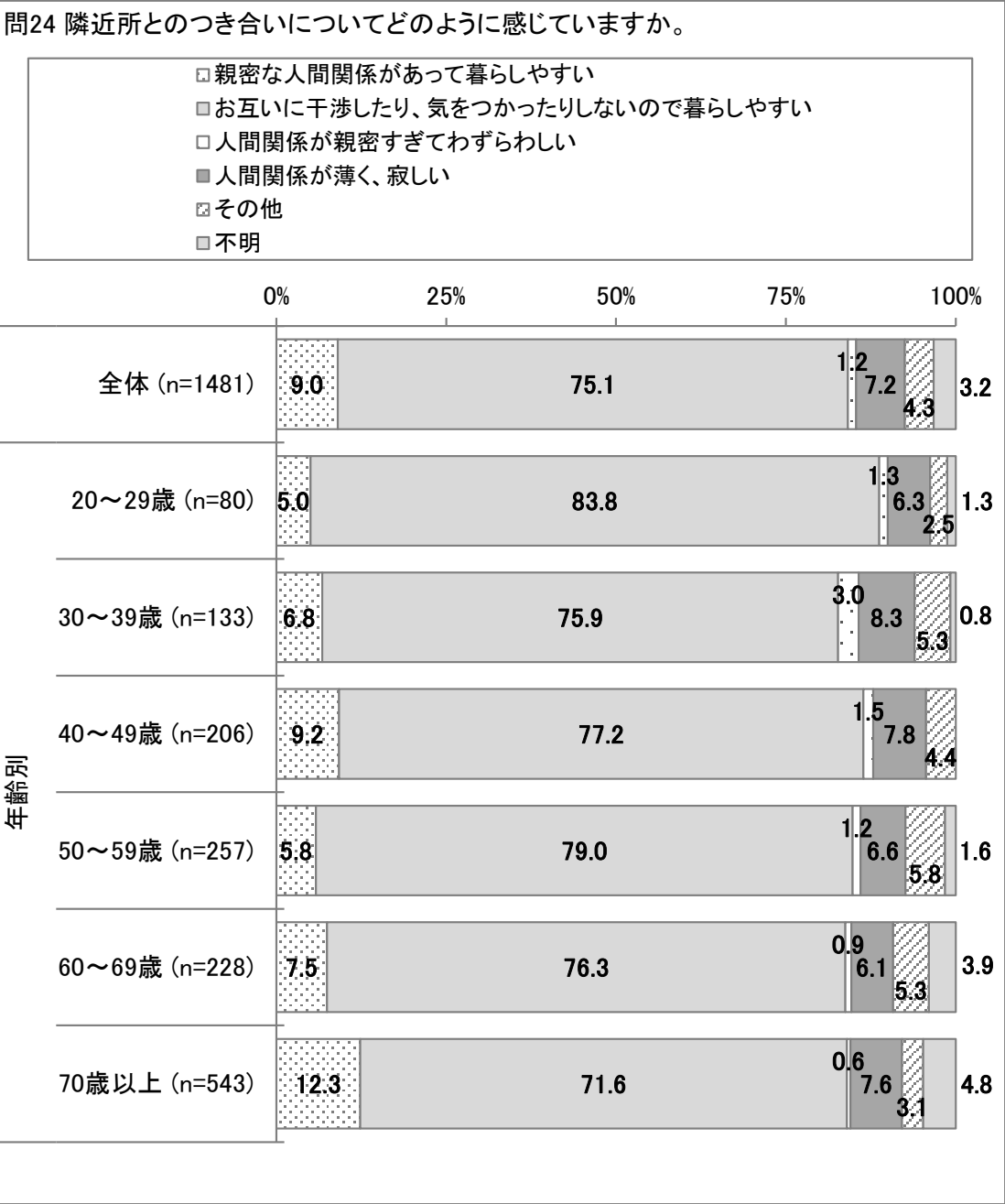
- 「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」と感じている割合が75.1%で最も高く、「親密な人間関係があって暮らしやすい」(9.0%)、「人間関係が薄く、寂しい」(7.2%)と続く。
- 時系列で比較すると、「親密な人間関係があって暮らしやすい」は減少傾向にある。



9. 地域のつながりについて

【隣近所とのつき合いについて感じる事：年齢別】

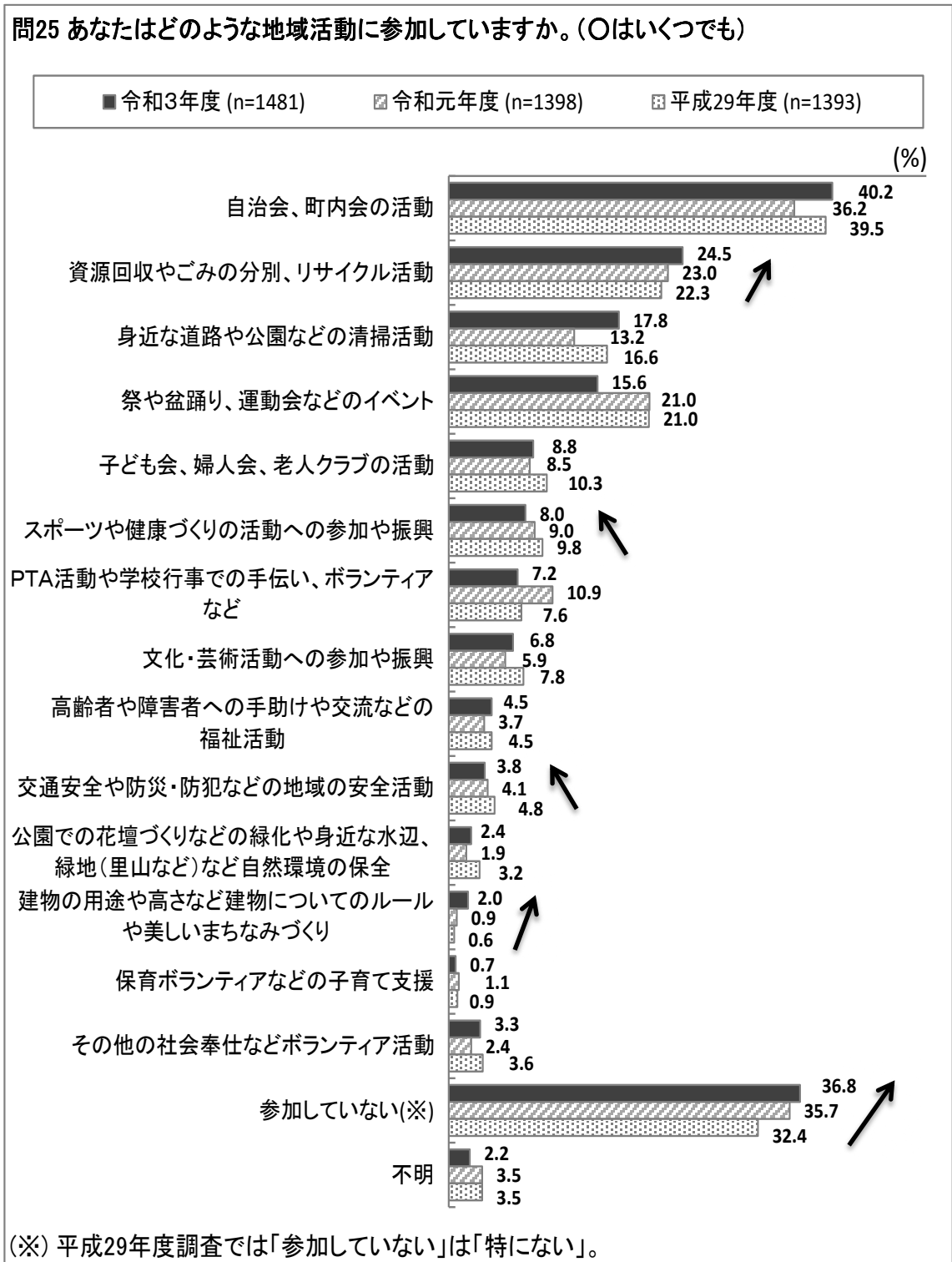
- 年齢別では、「20～29歳」で、「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」が全体より5ポイント以上多い。
- 「70歳以上」で、「親密な人間関係があって暮らしやすい」が全体より3.3ポイント多い。



9. 地域のつながりについて

【地域活動への参加： 全体・時系列】

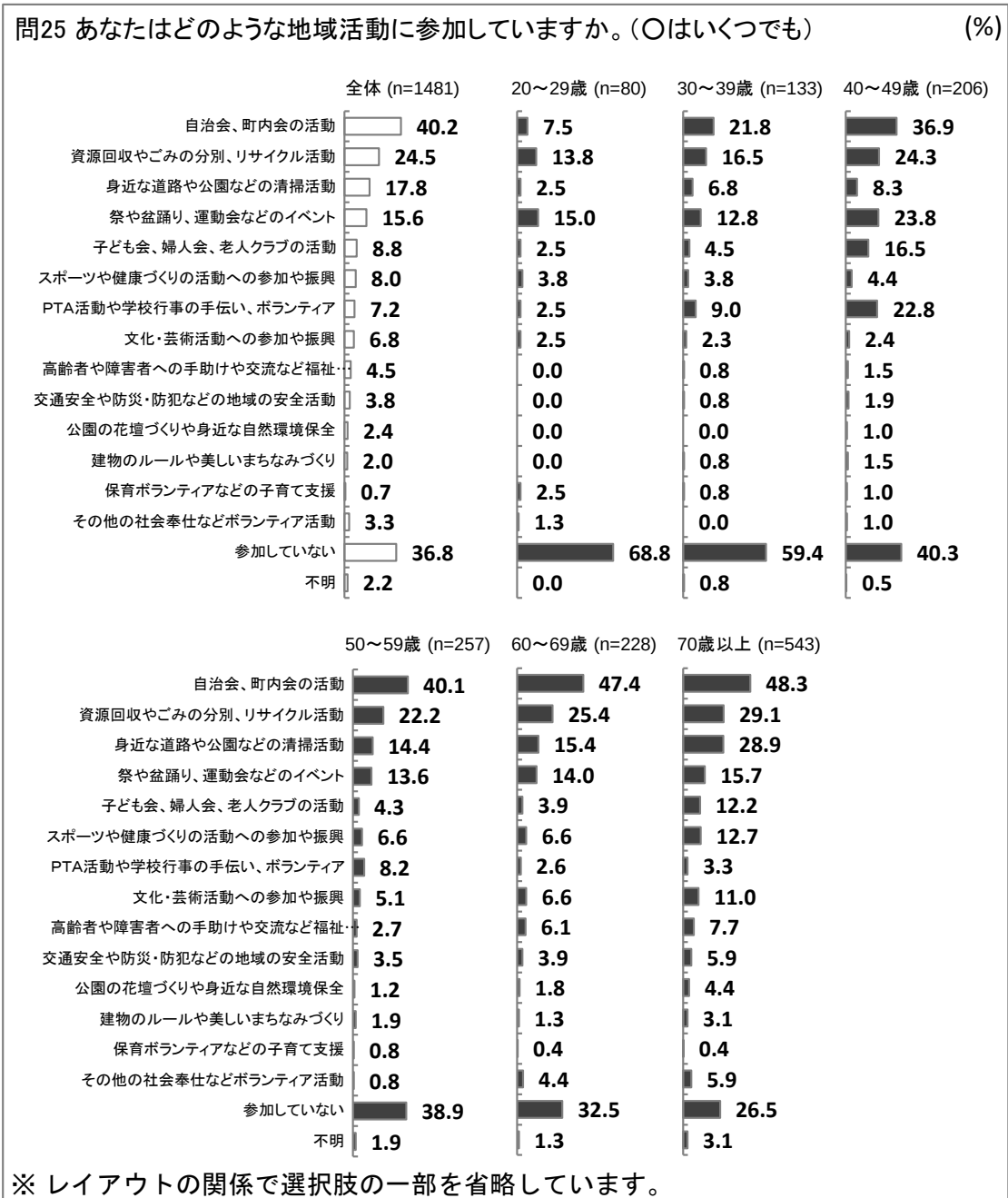
- 「自治会、町内会の活動」が40.2%で最も高く、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」(24.5%)、「身近な道路や公園などの清掃活動」(17.8%)が続く。
- 時系列で比較すると、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」、「建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり」では増加傾向、「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」では減少傾向がみられる。
- また、「参加していない」の割合は、増加傾向にある。



9. 地域のつながりについて

【地域活動への参加：年齢別】

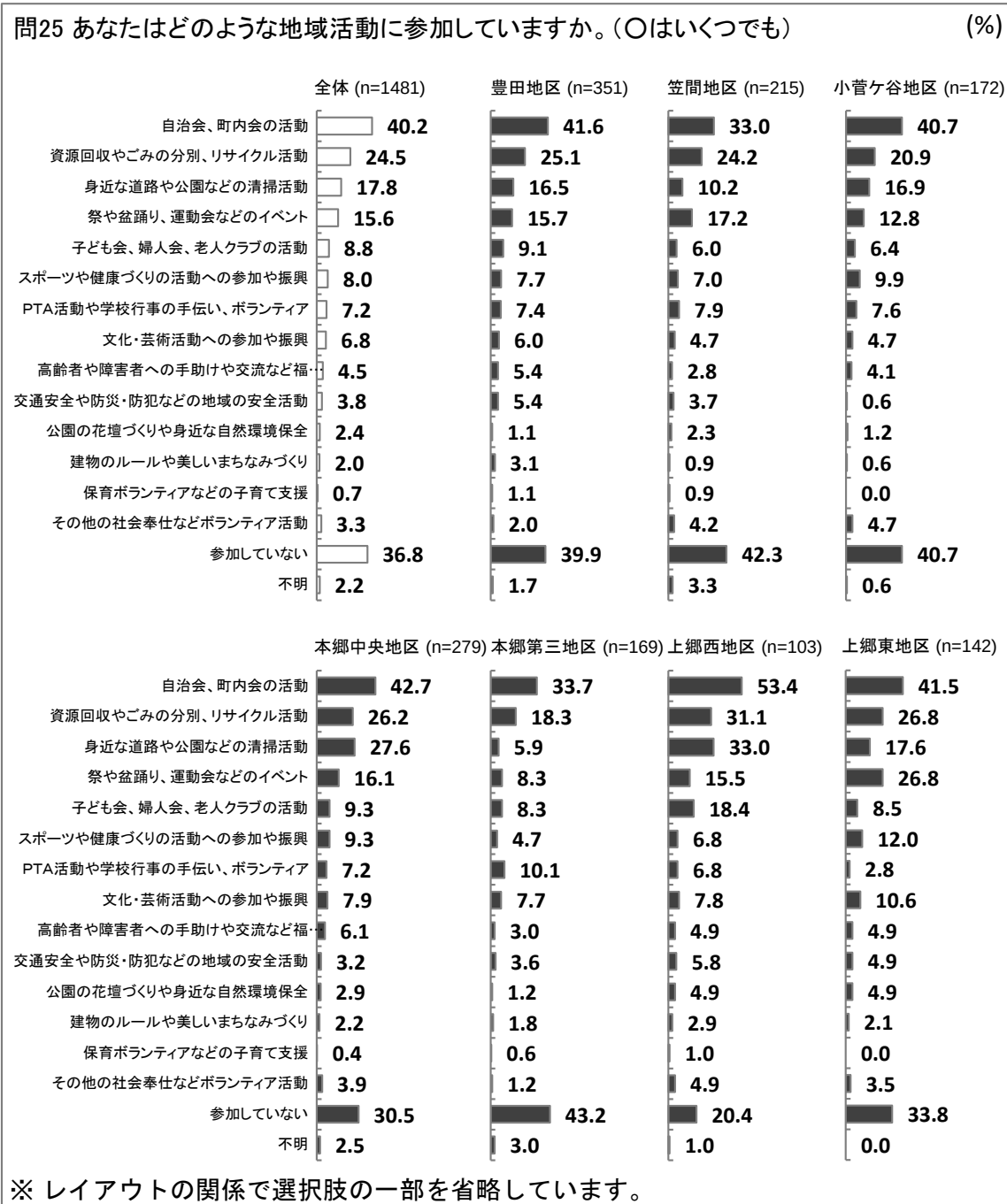
- ・ 「20～29歳」、「30～39歳」では、「参加していない」がそれぞれ68.8%、59.4%と全体より20ポイント以上多い。
- ・ 「40～49歳」では、「PTA活動や学校行事での手伝い、ボランティアなど」で全体より10ポイント以上多く、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」、「子ども会、婦人会、老人クラブの活動」で全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「60～69歳」では、「自治会、町内会の活動」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「70歳以上」では、「身近な道路や公園などの清掃活動」で全体より10ポイント以上多く、「自治会、町内会の活動」で全体より5ポイント以上多い。
- ・ 多くの活動で年代があがるほど活動に参加する割合が高い傾向にある。



9. 地域のつながりについて

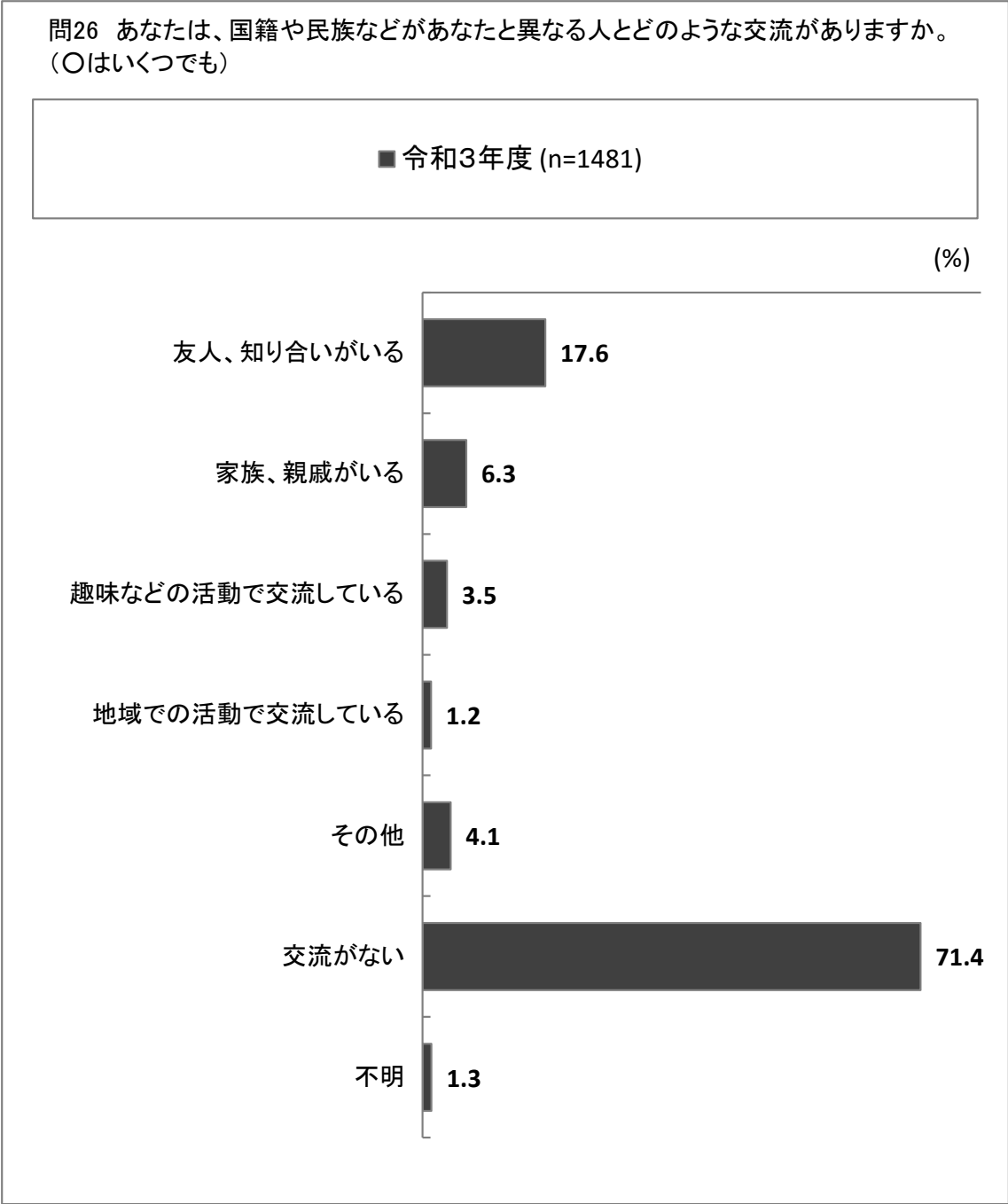
【地域活動への参加：居住地区別】

- ・ 「笠間地区」と「本郷第三地区」では、「参加していない」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「本郷中央地区」では、「身近な道路や公園などの清掃活動」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「上郷西地区」では、「自治会、町内会の活動」、「身近な道路や公園などの清掃活動」が全体より10ポイント以上多く、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」、「子ども会、婦人会、老人クラブの活動」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「上郷東地区」では、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」が全体より10ポイント以上多い。



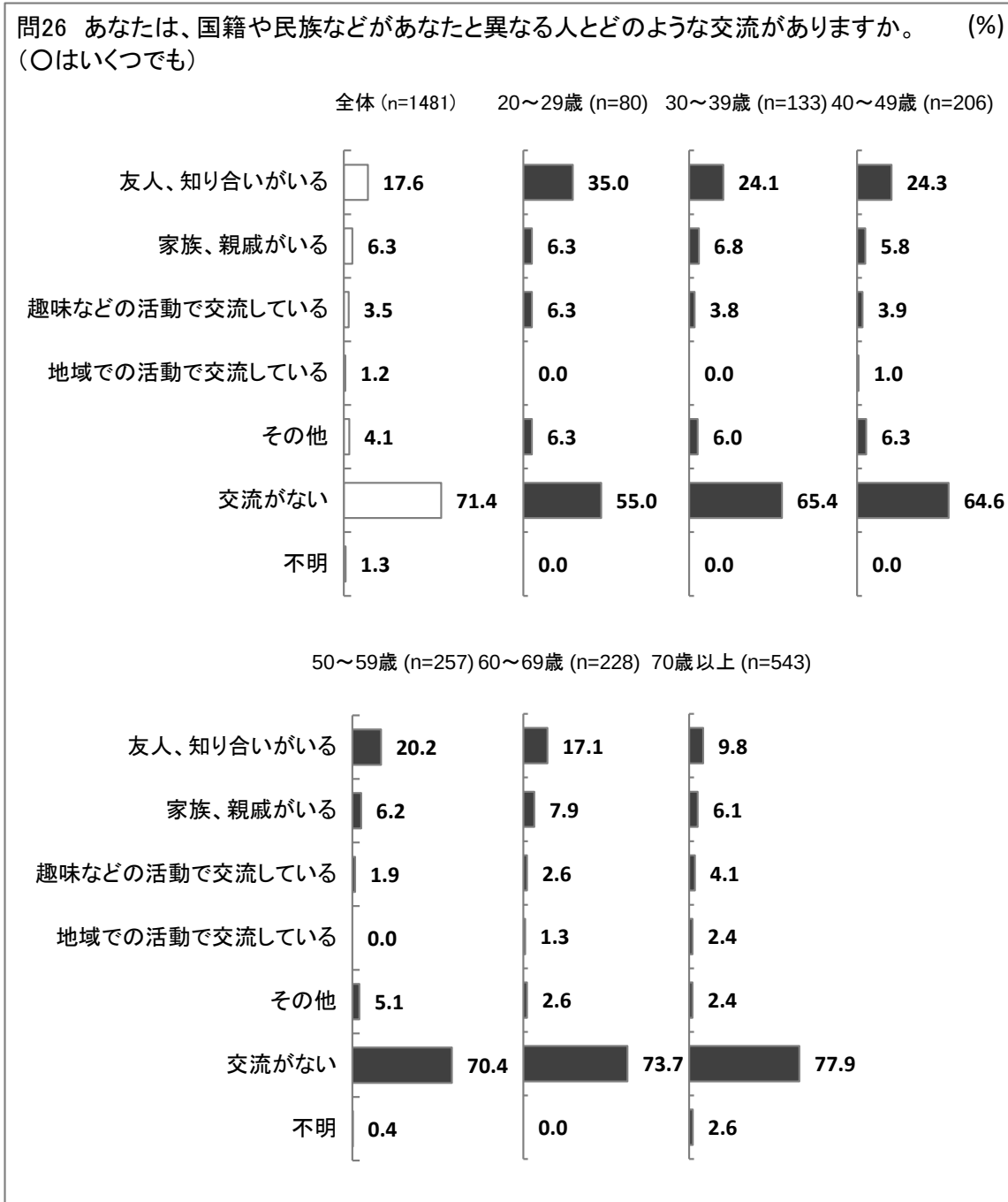
10. 多文化共生について

- 【国籍や民族が異なる人との交流：全体】
- ・ 「交流がない」が71.4%を占めている。「友人、知り合いがいる」は17.6%、「家族、親戚がいる」は6.3%である。



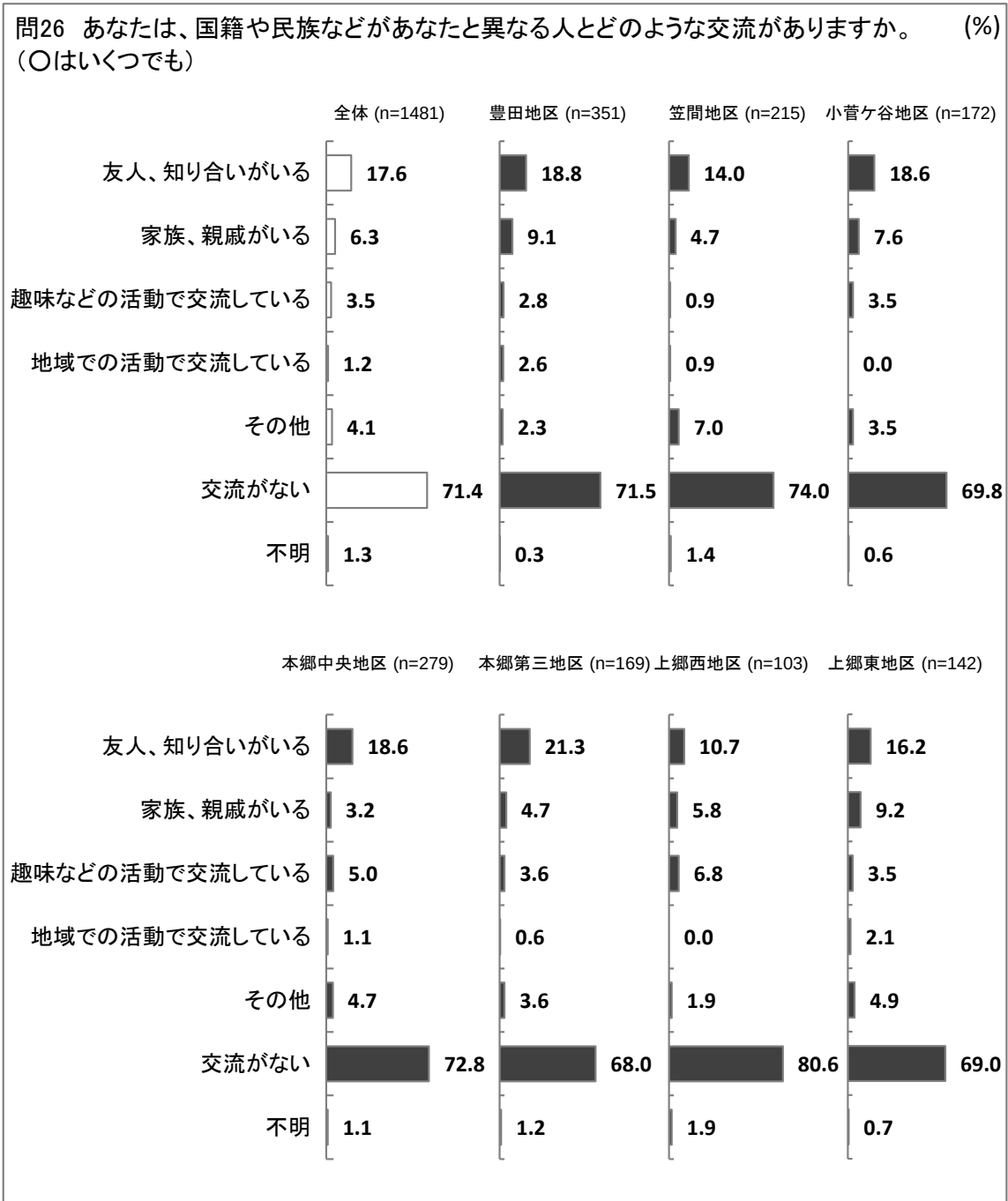
10. 多文化共生について

- 【国籍や民族が異なる人との交流： 全体・年齢別】
- ・ 年齢別では、「友人、知り合いがいる」が「20～29歳」で35.0%と全体より10ポイント、「30～39歳」、「40～49歳」で5ポイント以上多い。
 - ・ 「70歳以上」では、「交流がない」が77.9%と全体より5ポイント多い。



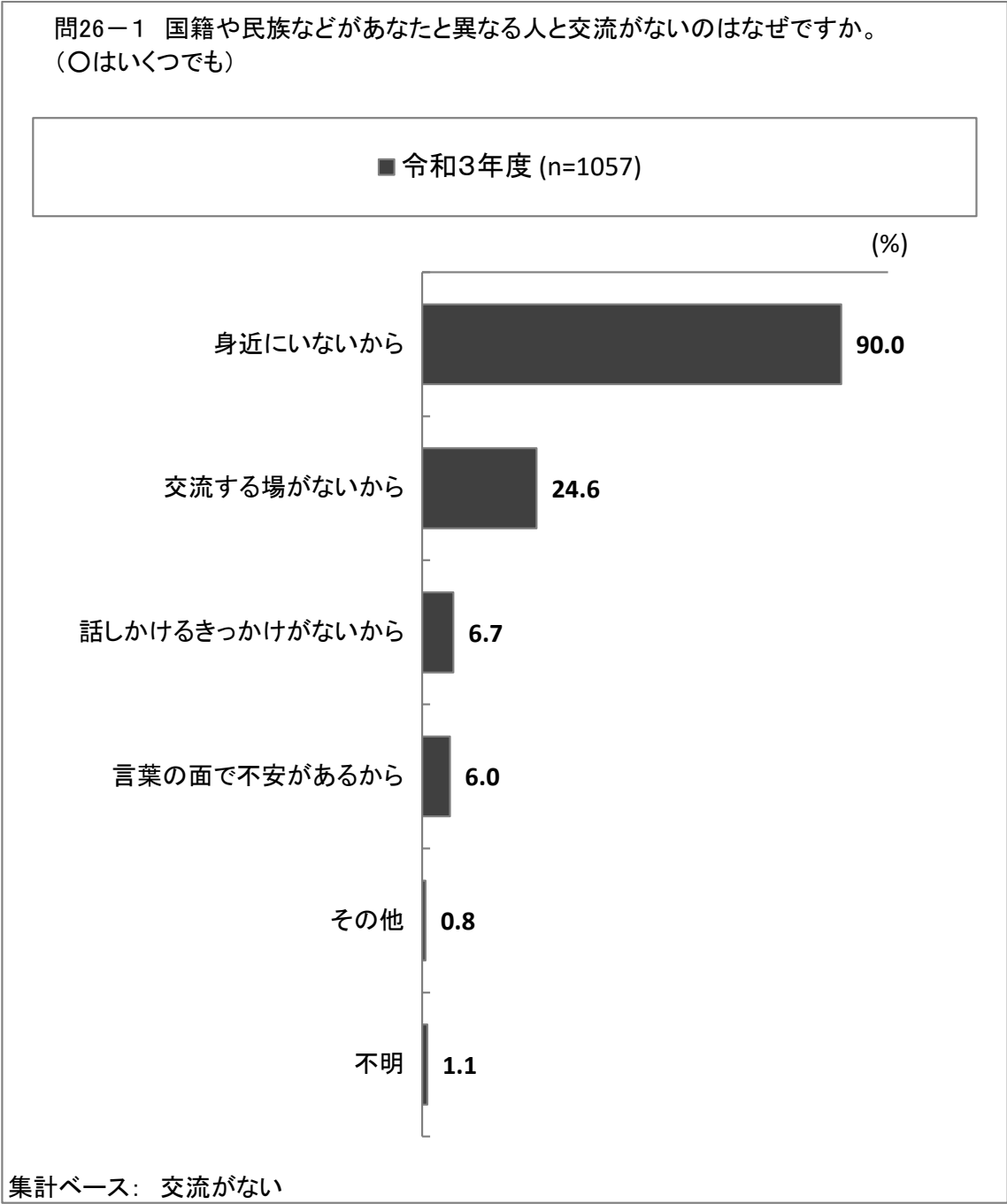
10. 多文化共生について

- 【国籍や民族が異なる人との交流：全体・居住地区別】
- 「上郷西地区」では、「友人、知り合いがいる」が全体より5ポイント以上少なく、「交流がない」が全体より5ポイント以上多い。



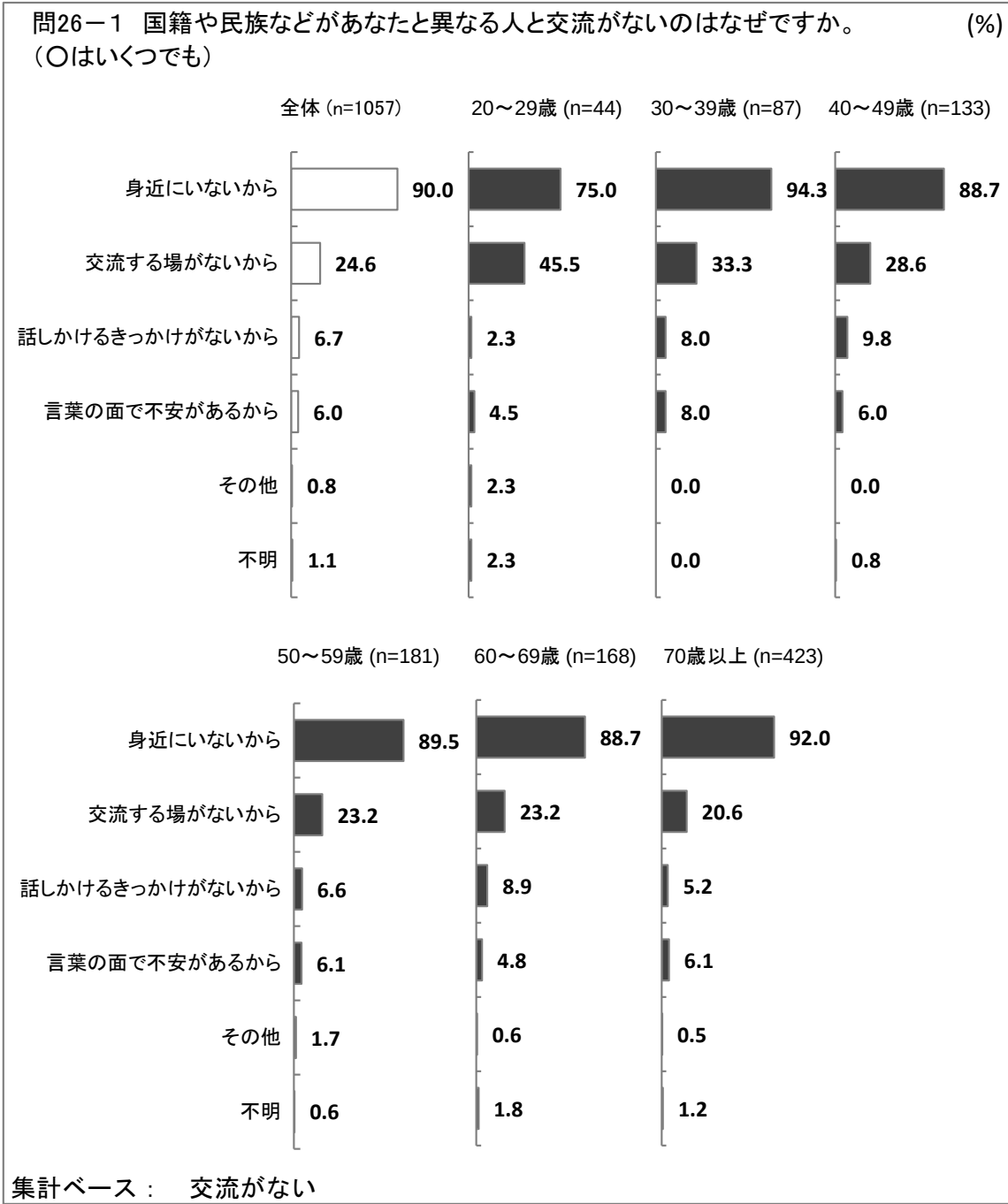
10. 多文化共生について

- 【国籍や民族が異なる人との交流がない理由： 全体】
- ・ 「身近にいないから」が90.0%で最も高く、「交流する場がないから」(24.6%)、「話しかけるきっかけがないから」(6.7%)、「言葉の面で不安があるから」(6.0%)が続く。



10. 多文化共生について

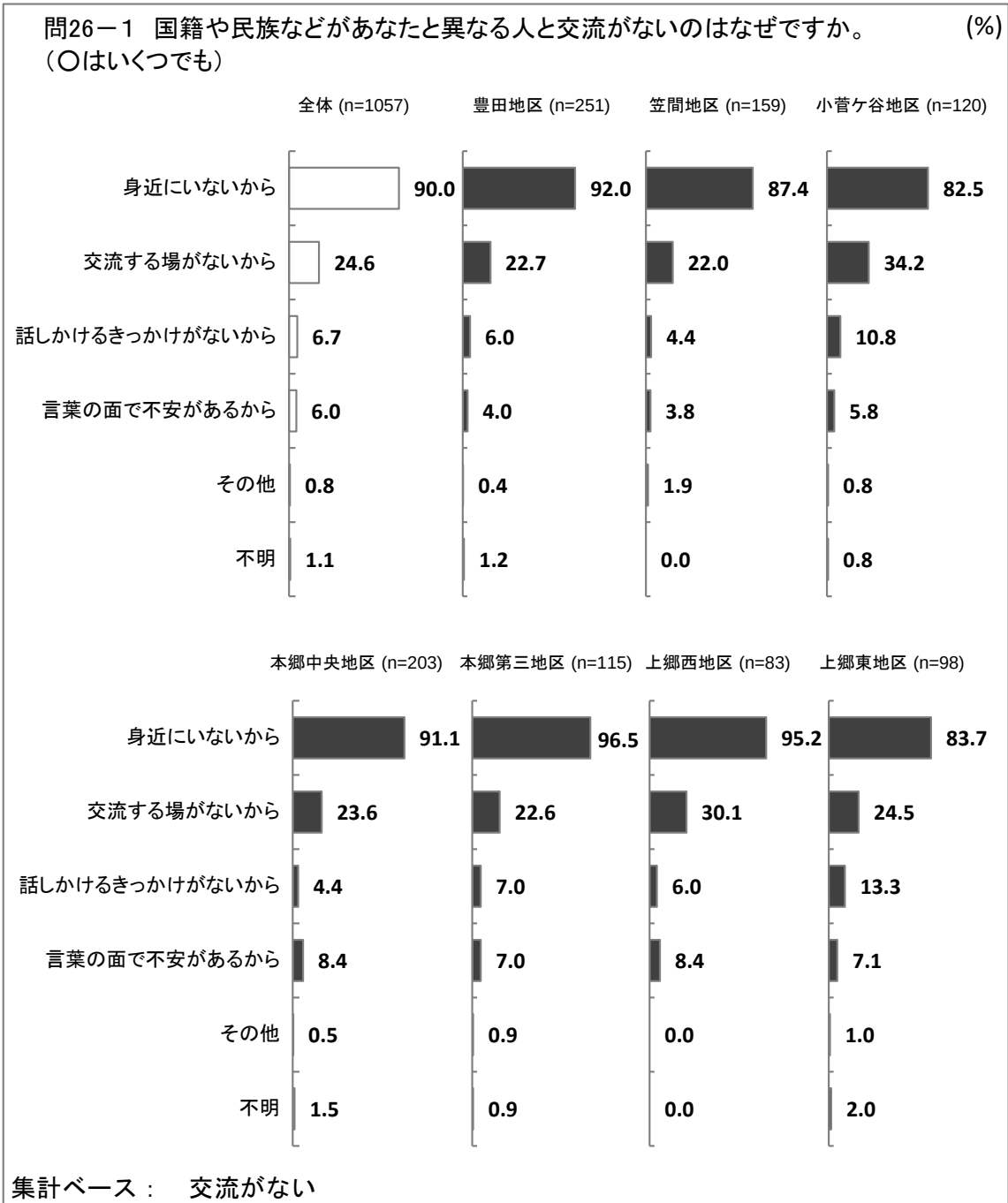
- 【国籍や民族が異なる人との交流がない理由： 全体・年齢別】
- 年齢別では、「交流する場がないから」は、「20～29歳」が45.5%と全体より10ポイント以上多く、年代があがるほどその割合は少なくなる。また、「身近にいないから」は、「20～29歳」が75.0%と全体より10ポイント以上少ない。



10. 多文化共生について

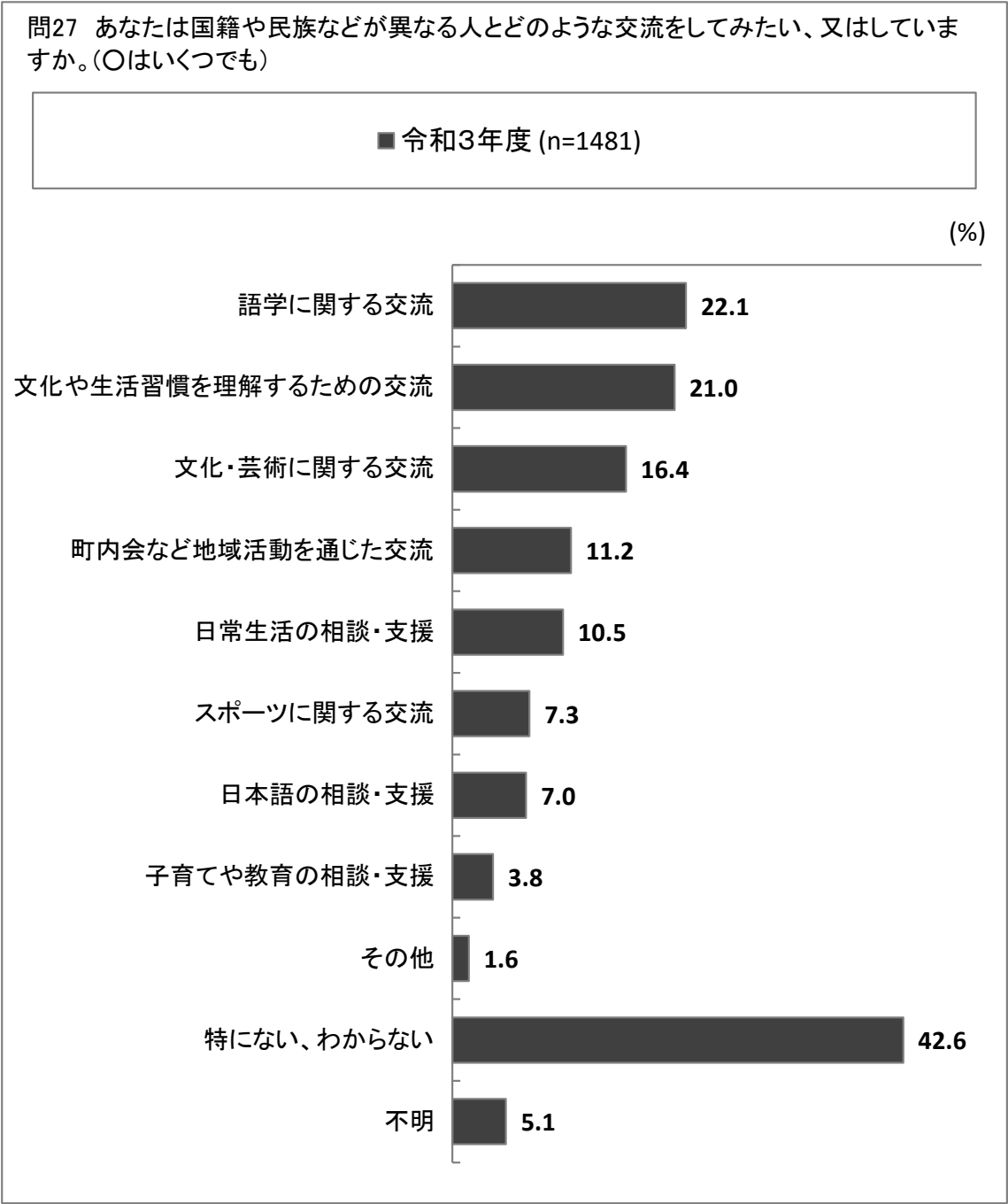
【国籍や民族が異なる人との交流がない理由： 全体・居住地区別】

- ・ 「身近にいないから」は「本郷第三地区」、「上郷西地区」で、「交流する場がないから」は「小菅ヶ谷地区」、「上郷西地区」で、「話しかけるきっかけがないから」は「上郷東地区」で全体より5ポイント以上多い。



10. 多文化共生について

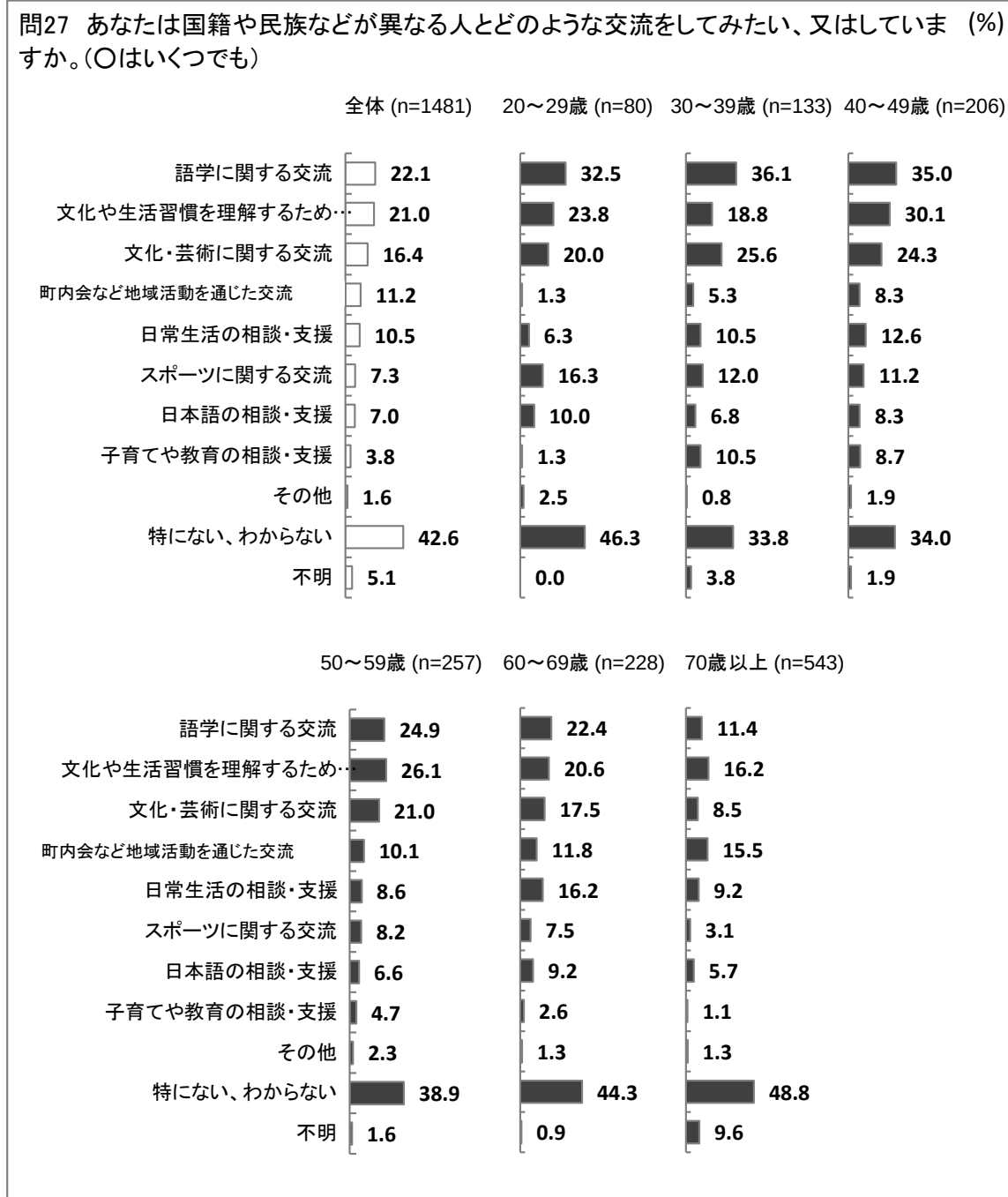
- 【国籍や民族が異なる人としてみたい・している交流：全体】
- 「語学に関する交流」が22.1%で最も高く、「文化や生活習慣を理解するための交流」(21.0%)、「文化・芸術に関する交流」(16.4%)、「町内会など地域活動を通じた交流」(11.2%)、「日常生活の相談・支援」(10.5%)が続く。



10. 多文化共生について

【国籍や民族が異なる人としてみたい・している交流： 全体・年齢別】

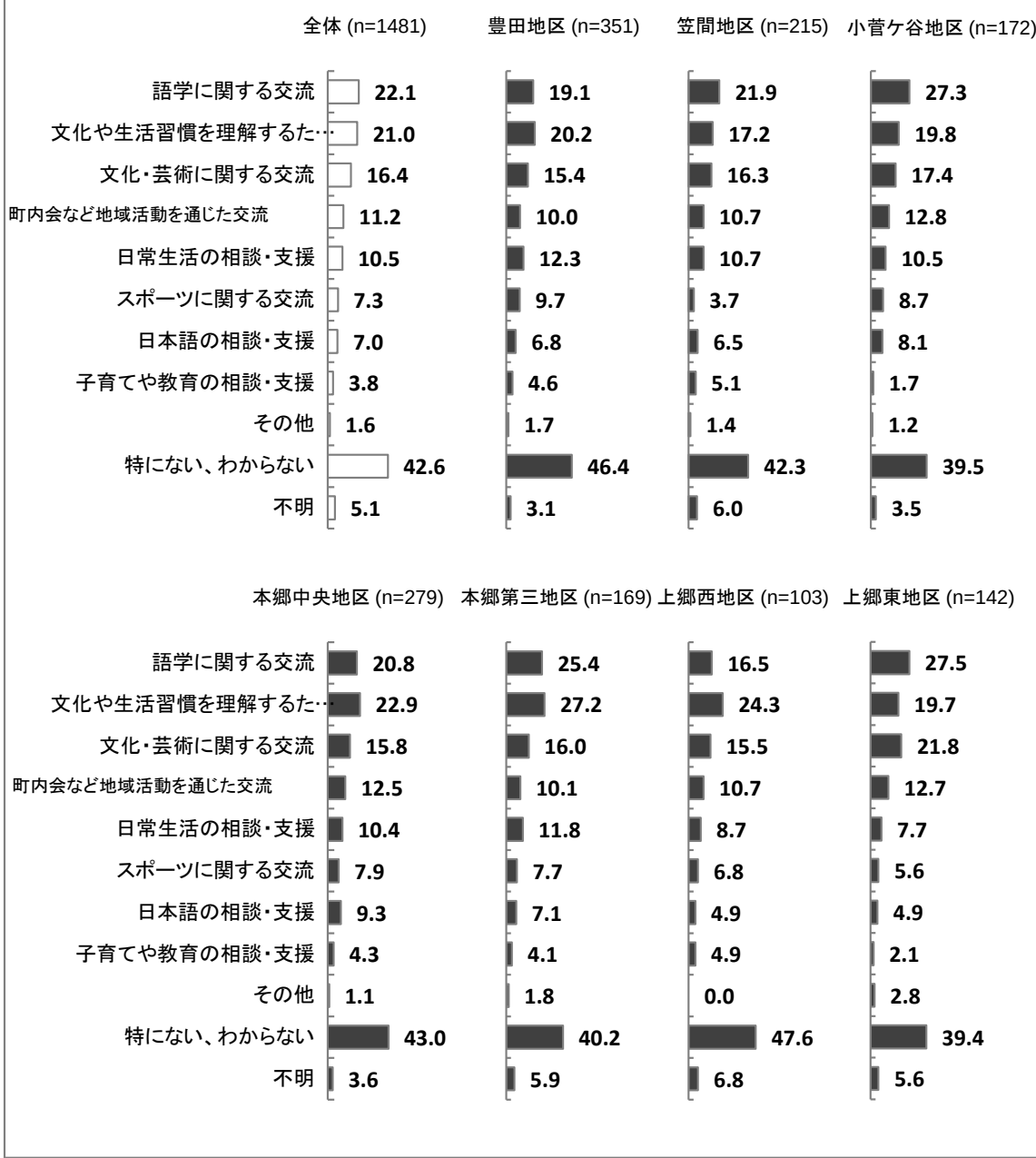
- 年齢別では、「20～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」は、「語学に関する交流」の割合が全体より10ポイント以上多い。
- 「文化や生活習慣を理解するための交流」は「40～49歳」、「50～59歳」が、「文化・芸術に関する交流」は「30～39歳」、「40～49歳」が、「日常生活の相談・支援」は「60～69歳」が、「スポーツに関する交流」は「20～29歳」が、「子育てや教育の相談・支援」は「30～39歳」が全体より5ポイント以上多い。
- 「特にない、わからない」は「70歳以上」で全体より5ポイント以上多い。



10. 多文化共生について

- 【国籍や民族が異なる人としてみたい・している交流交流： 全体・居住地区別】
- 「語学に関する交流」は「小菅ヶ谷地区」と「上郷東地区」で、「文化や生活習慣を理解するための交流」は「本郷第三地区」で、「文化・芸術に関する交流」は「上郷東地区」で全体より5ポイント以上多い。
 - 「特にない、わからない」は、「上郷西地区」で全体より5ポイント以上多い。

問27 あなたは国籍や民族などが異なる人とどのような交流をしてみたい、又はしていま（%）
すか。（○はいくつでも）

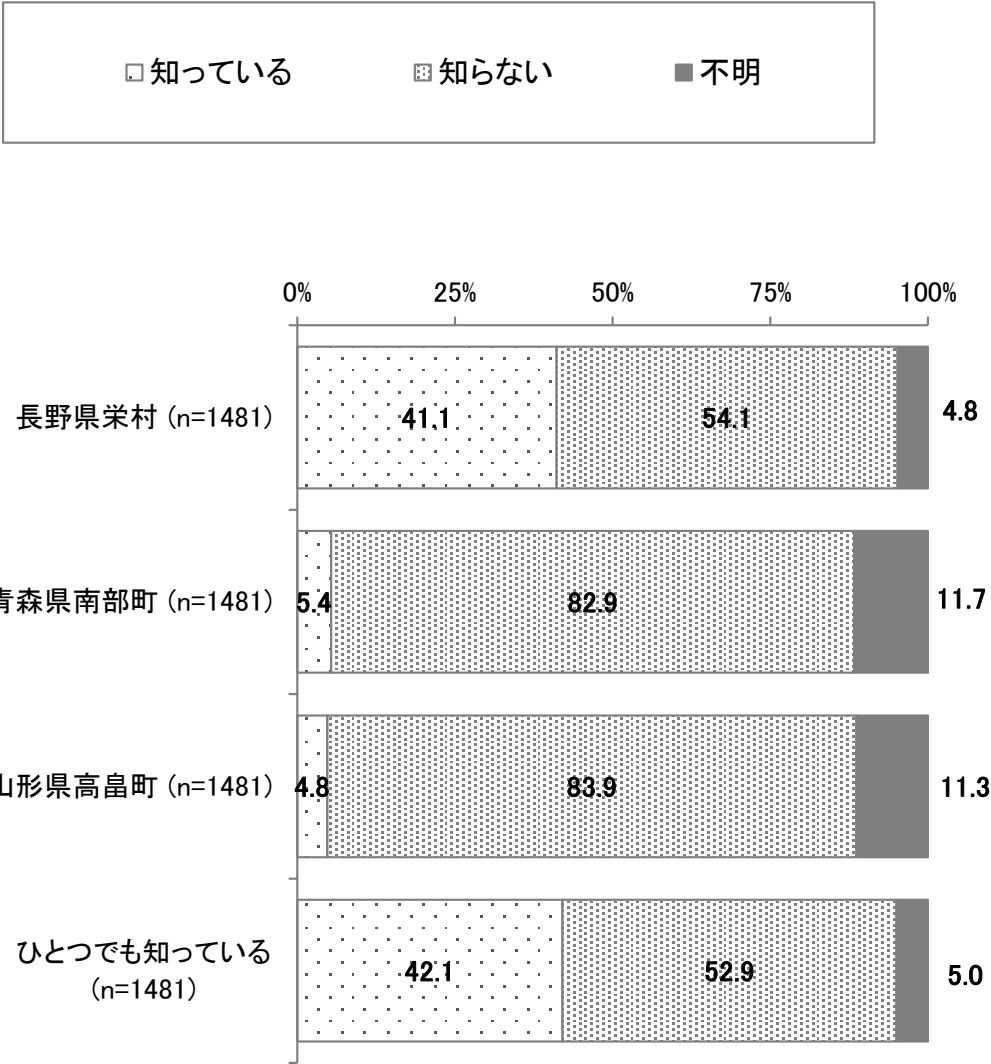


11. 友好交流都市について

【栄区の友好交流都市の認知度：全体】

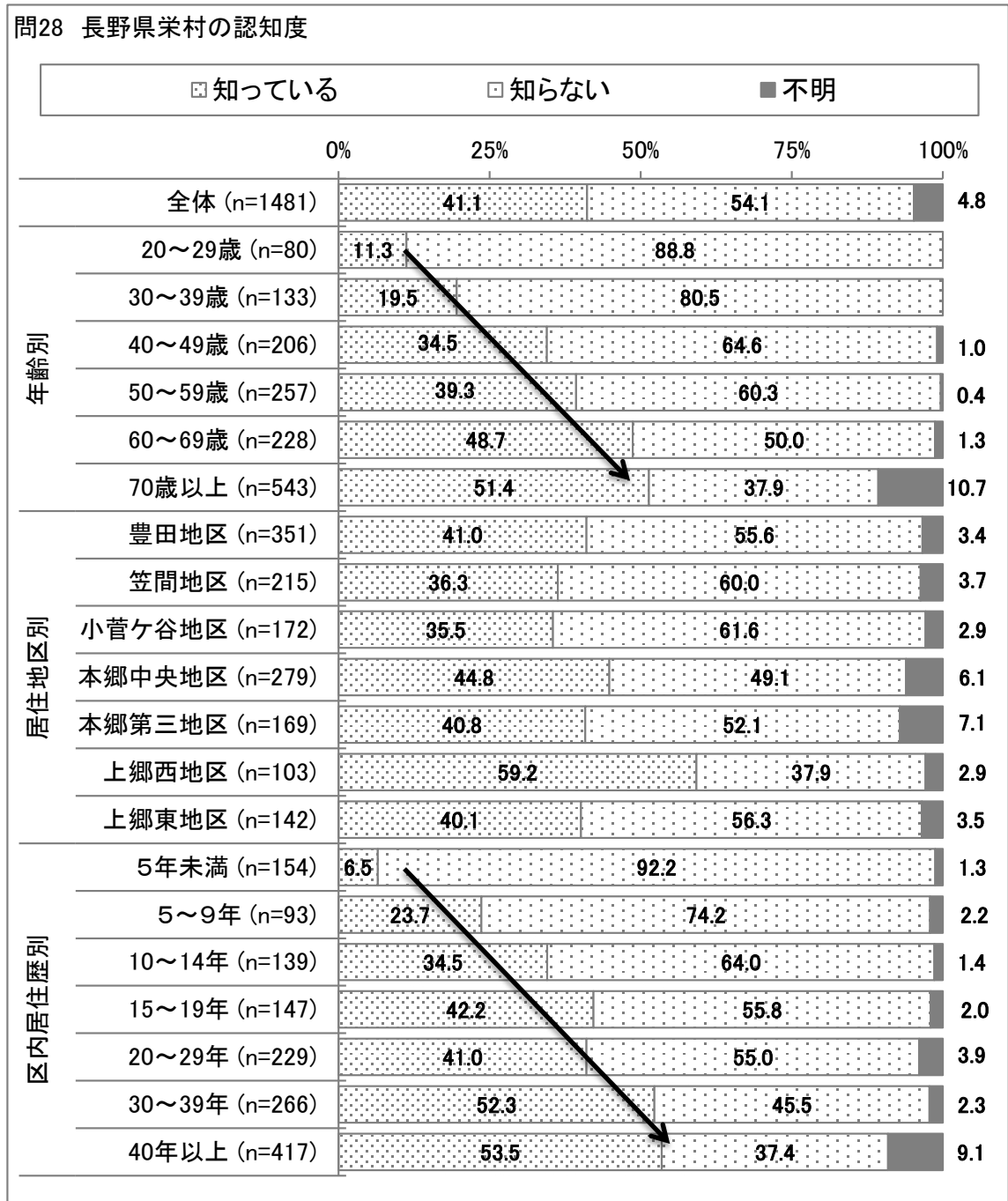
- 友好交流都市の認知度は、「長野県栄村」は41.1%、「青森県南部町」は5.4%、「山形県高畠町」は4.8%である。また、どれかひとつでも知っている割合は、42.1%。

問28 あなたは栄区の友好交流都市を知っていますか。(○はそれぞれ1つ)



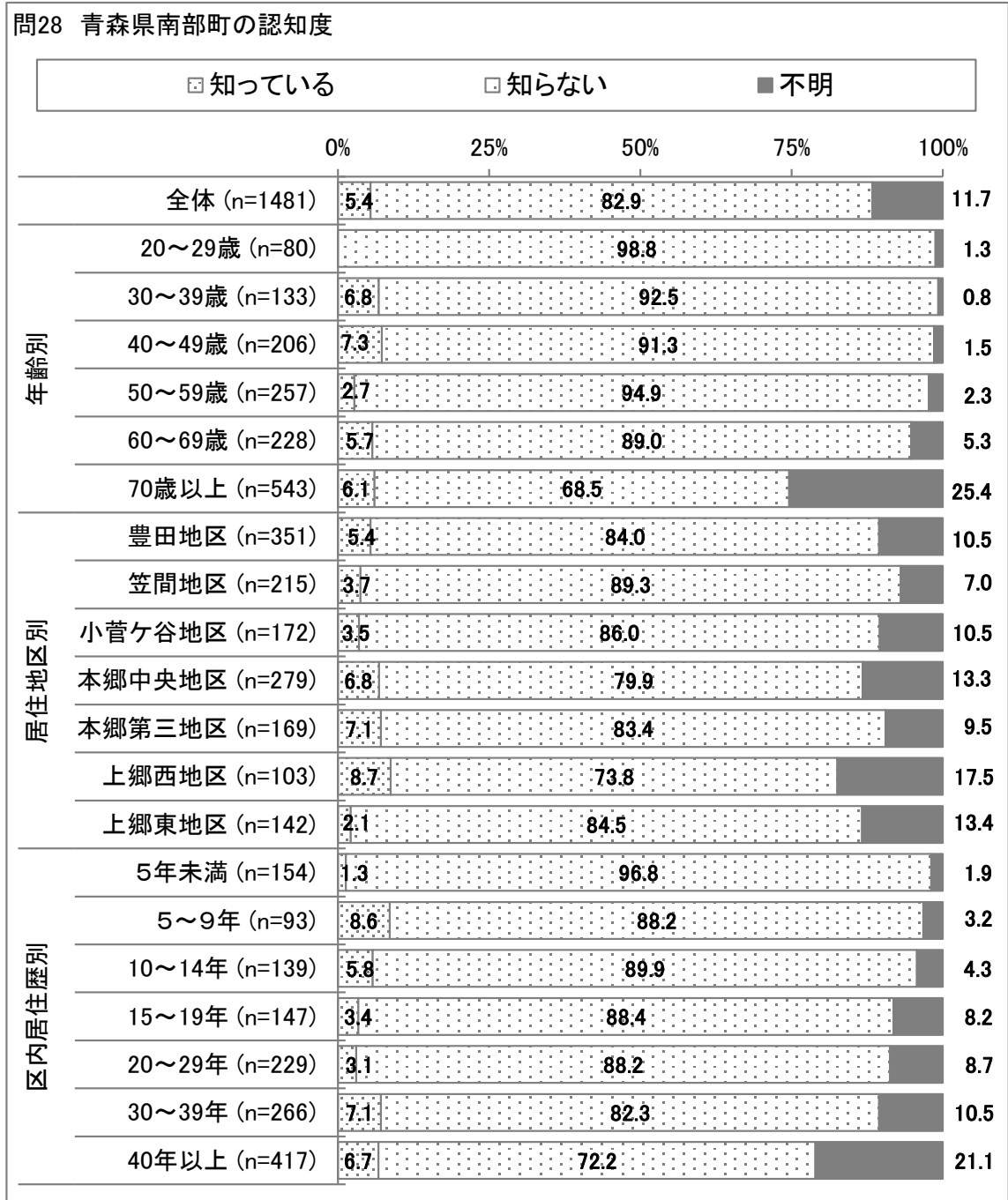
11. 友好交流都市について

- 【栄区の友好交流都市【長野県栄村】の認知度：
年齢別・居住地区別・区内居住歴別】
- 年齢別では、年代があがるほど認知度は高くなる傾向にある。「70歳以上」では、「知っている」の割合が全体より10ポイント以上多く、「20～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」では、「知らない」の割合が全体より10ポイント以上多い。
 - 居住地区別では、「上郷西地区」で「知っている」の割合が全体より10ポイント以上多く、「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」で「知らない」の割合が全体より5ポイント以上多い。
 - 区内居住歴別では、居住歴が長くなるほど「知っている」の割合が高くなり、「30～39年」、「40年以上」では全体より10ポイント以上多い。



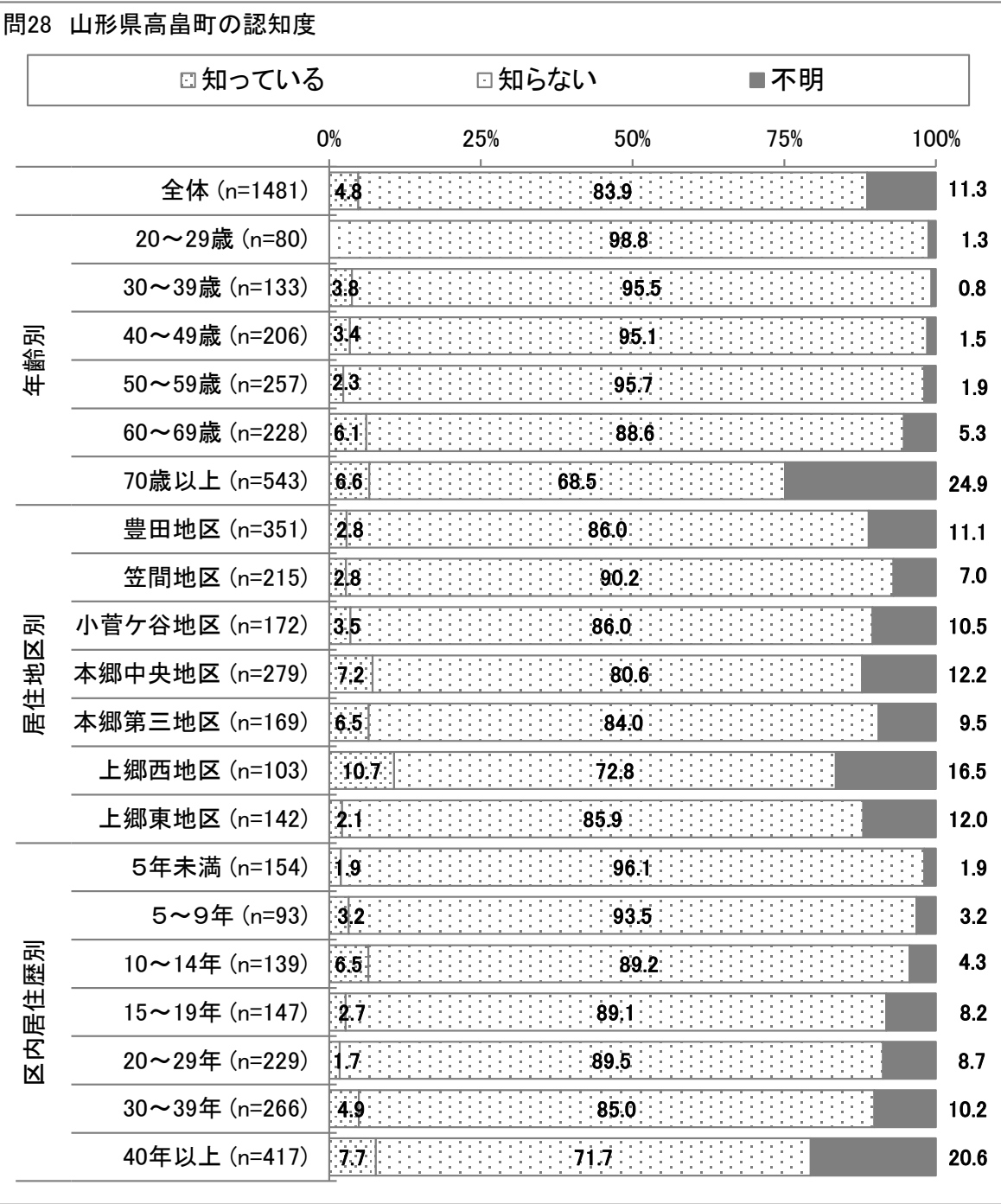
11. 友好交流都市について

- 【栄区の友好交流都市【青森県南部町】の認知度：
年齢別・居住地区別・区内居住歴別】
- 年齢別では、「20～29歳」で、「知っている」が0.0%、「知らない」が98.8%である。
 - 居住地区別では、「知っている」の割合が最も高いのは「上郷西地区」で8.7%、「知らない」の割合が最も高いのは「笠間地区」で89.3%で全体より5ポイント以上多い。
 - 区内居住歴別では、「知らない」の割合で居住歴が短いほど高くなる傾向がみられる。



11. 友好交流都市について

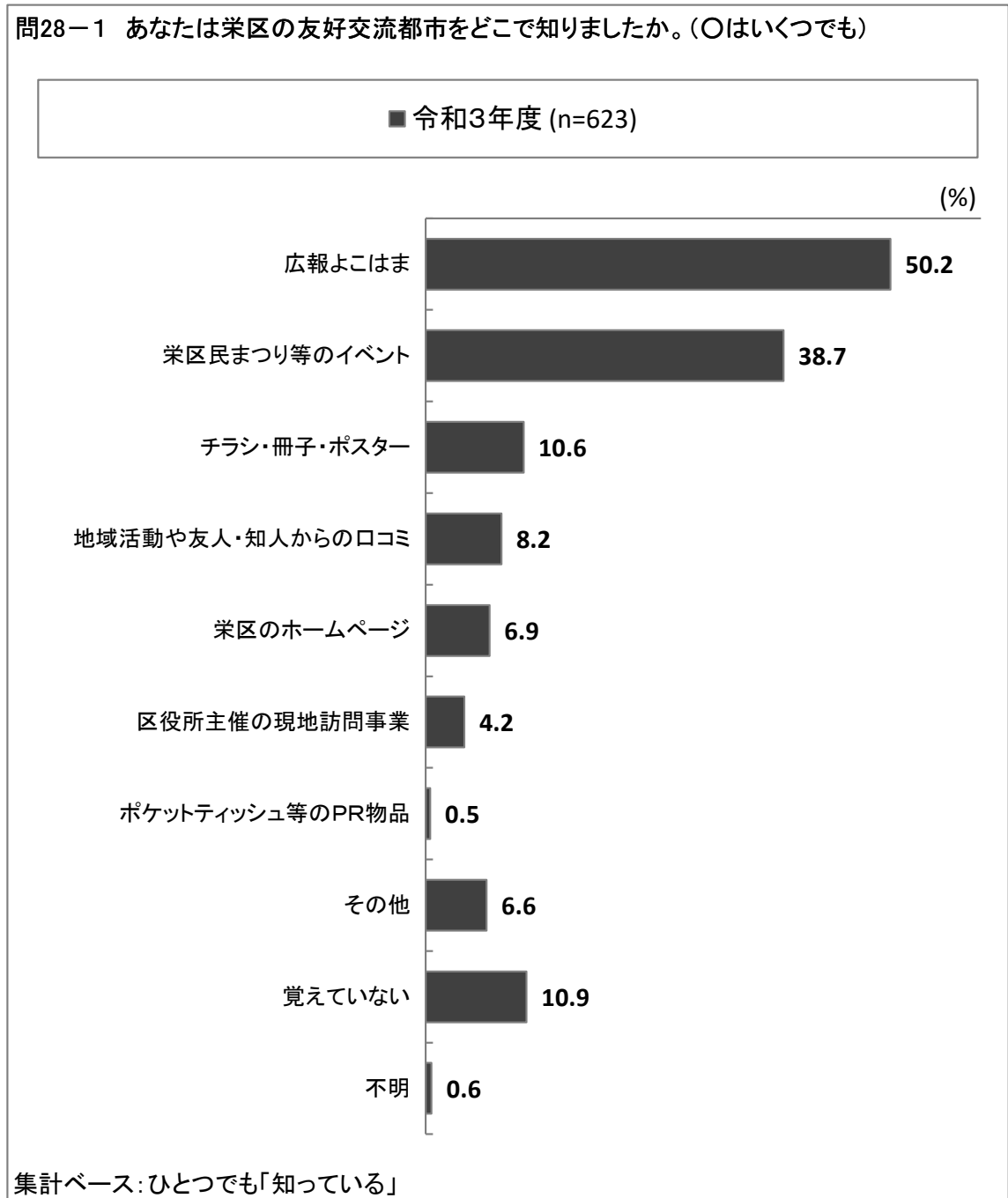
- 【栄区の友好交流都市【山形県高畠町】の認知度：
年齢別・居住地区別・区内居住歴別】
- 年齢別では、年代があがるほど認知度は高くなる傾向にある。「知っている」の割合は、「20～29歳」で0.0%、「70歳以上」で6.6%と最も高い。「知らない」の割合は、「20～29歳」で98.8%と最も高く、「70歳以上」で68.5%と最も低い。
 - 居住地区別では、「知っている」の割合が最も高いのは「上郷西地区」で10.7%で全体より5ポイント以上多い。一方、「知らない」の割合が最も高いのは「笠間地区」で90.2%で全体より5ポイント以上多い。
 - 区内居住歴別では、「知っている」の割合に大きな差はみられないが、「知らない」の割合は、居住歴が短いほど高くなる傾向がみられる。



11. 友好交流都市について

【友好交流都市を知った媒体：全体】

- 友好交流都市を知った媒体は、「広報よこはま」が50.2%で最も高く、「栄区民まつり等のイベント」(38.7%)、「チラシ・冊子・ポスター」(10.6%)、「地域活動や友人・知人からの口コミ」(8.2%)と続く。

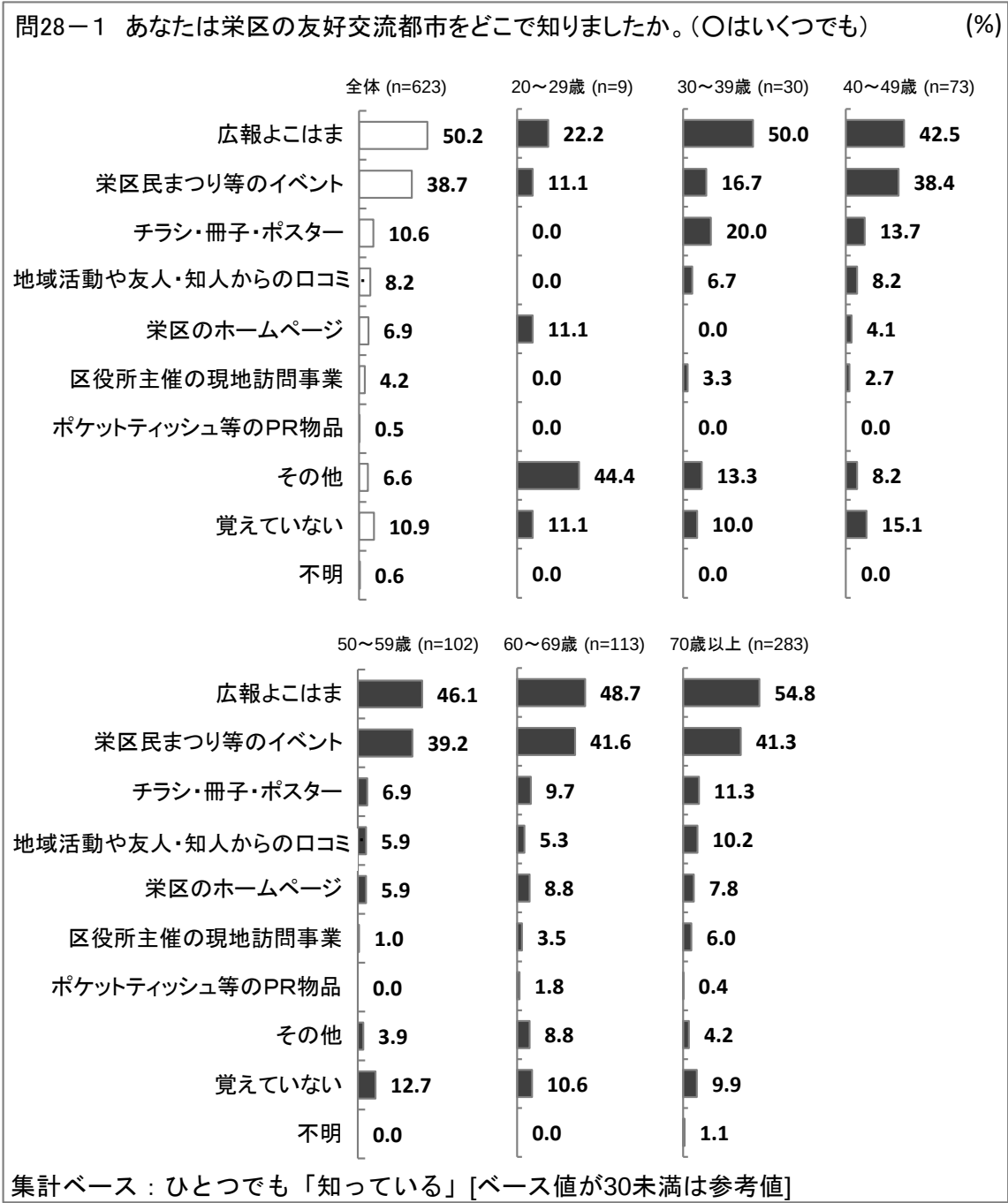


11. 友好交流都市について

【友好交流都市を知った媒体：年齢別】

- 年齢別では、「広報よこはま」、「地域活動や友人・知人からの口コミ」、「区役所主催の現地訪問事業」では「70歳以上」が、「栄区民まつり等のイベント」、「栄区のホームページ」、「ポケットティッシュ等のPR物品」では「60～69歳」が、「チラシ・冊子・ポスター」では「30～39歳」がそれぞれの媒体において最も割合が高い。

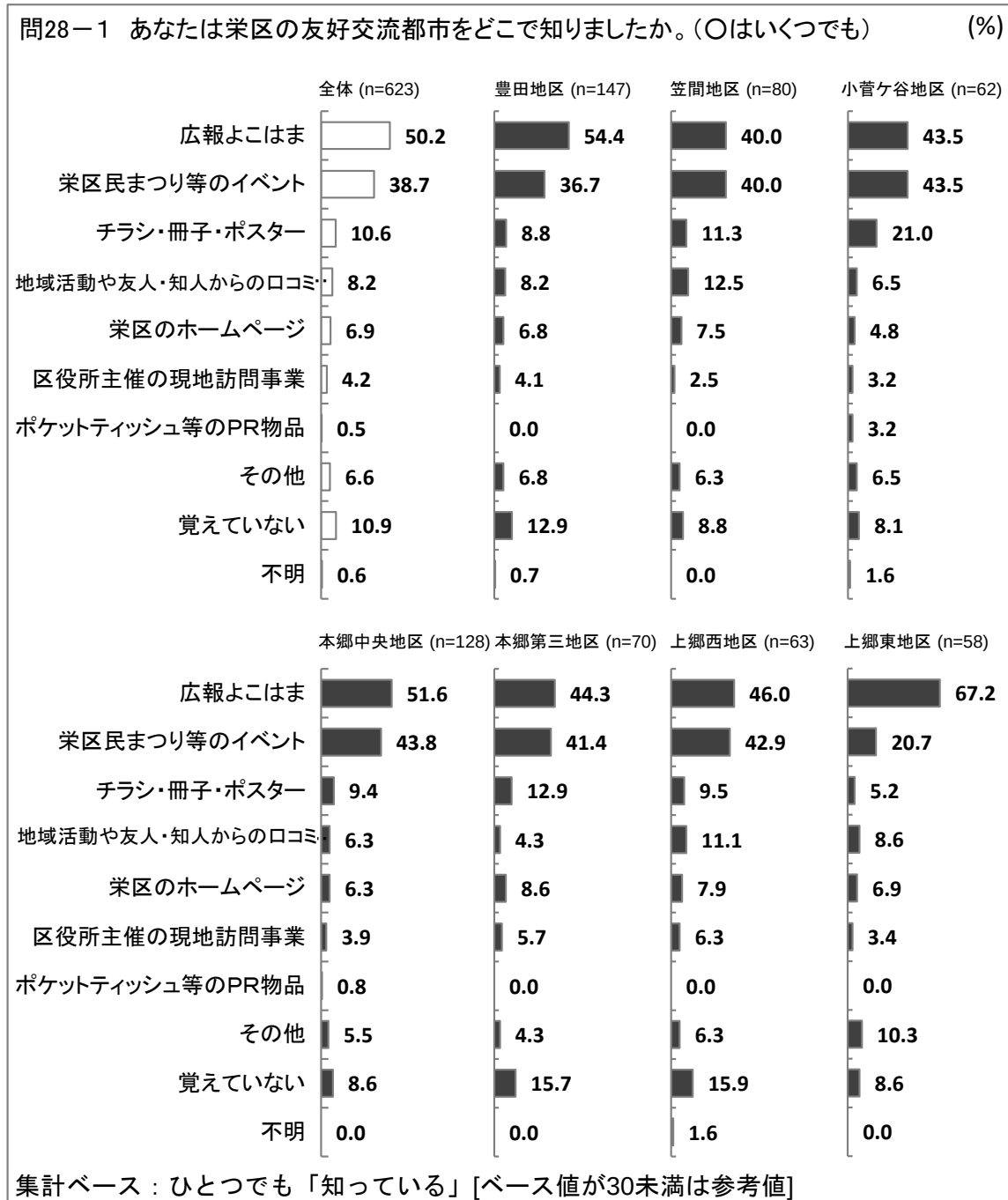
※「20～29歳」はベース値が30未満で参考値。



11. 友好交流都市について

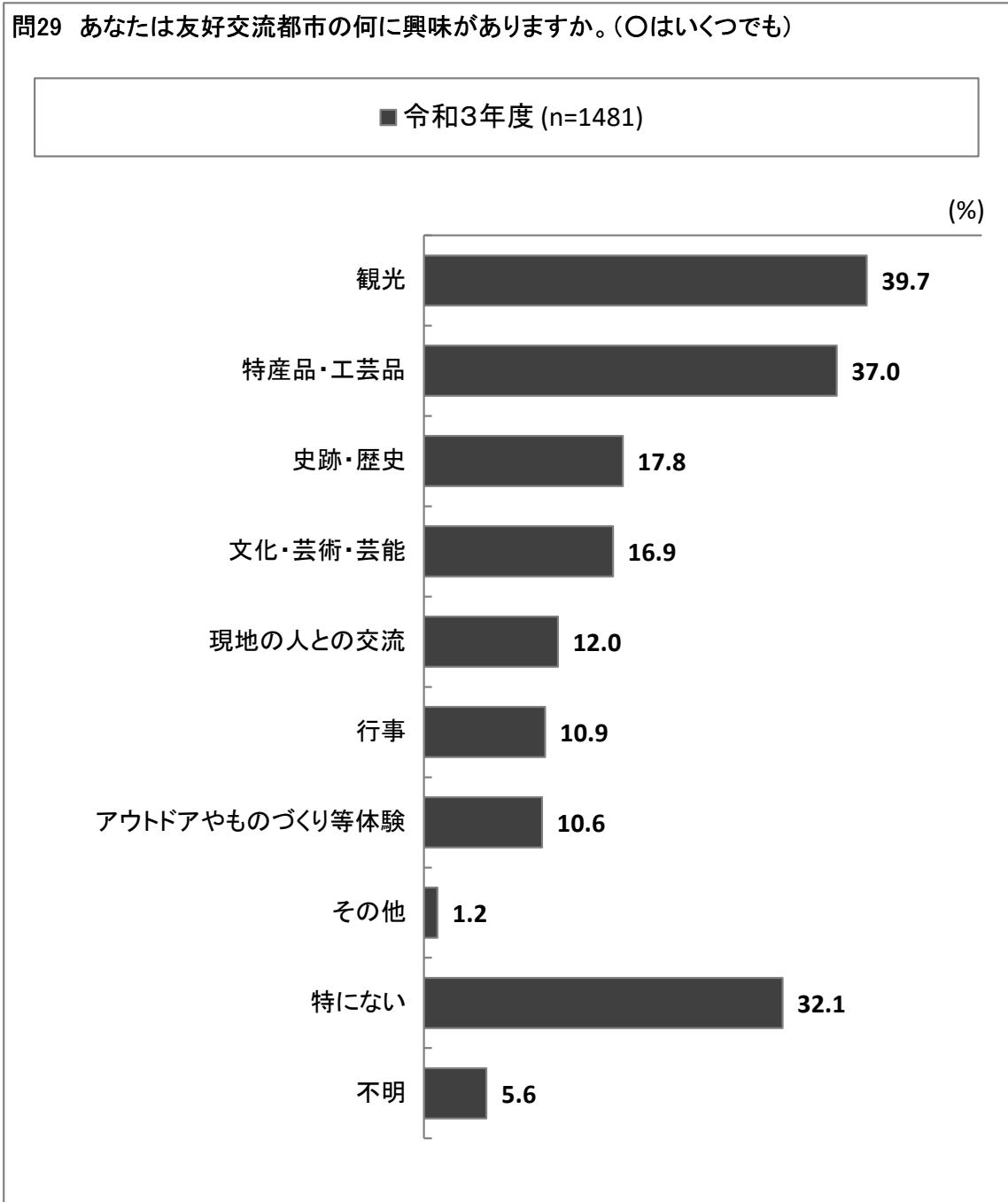
【友好交流都市を知った媒体：居住地区別】

- 居住地区別では、「広報よこはま」は「上郷東地区」が、「栄区区民まつり等のイベント」は「本郷中央地区」が、「チラシ・冊子・ポスター」は「小菅ヶ谷地区」が、「地域活動や友人・知人からの口コミ」は「笠間地区」が、「栄区ホームページ」は「本郷第三地区」が、「区役所主催の現地訪問事業」は「上郷西地区」がそれぞれの媒体において最も割合が高い。



11. 友好交流都市について

- 【興味のある友好交流都市の内容： 全体】
- ・ 興味のある友好都市の内容は、「観光」が39.7%で最も高く、次いで、「特産品・工芸品」(37.0%)、「史跡・歴史」(17.8%)と続く。
 - ・ 一方、「特にない」は32.1%。

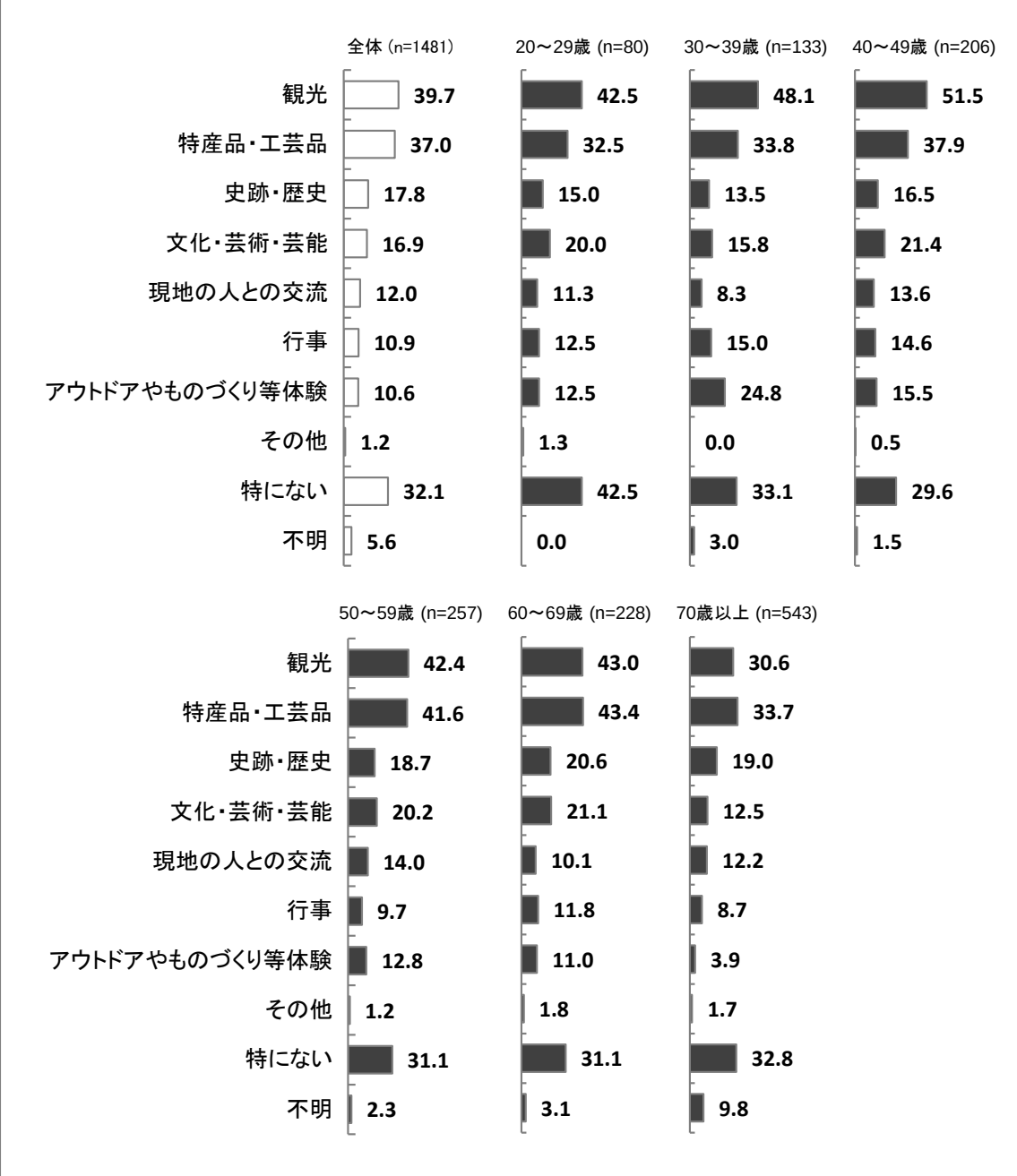


11. 友好交流都市について

【興味のある友好交流都市の内容： 年齢別】

- 年齢別では、「観光」、「文化・芸術・芸能」では「40～49歳」が、「特産品・工芸品」、「史跡・歴史」では「60～69歳」、「現地の人との交流」では「50～59歳」、「行事」、「アウトドアやものづくり等体験」では「30～39歳」の割合が最も高い。
- 「特にない」は、「20～29歳」で全体より10ポイント以上多い。

問29 あなたは友好交流都市の何に興味がありますか。(〇はいくつでも) (%)

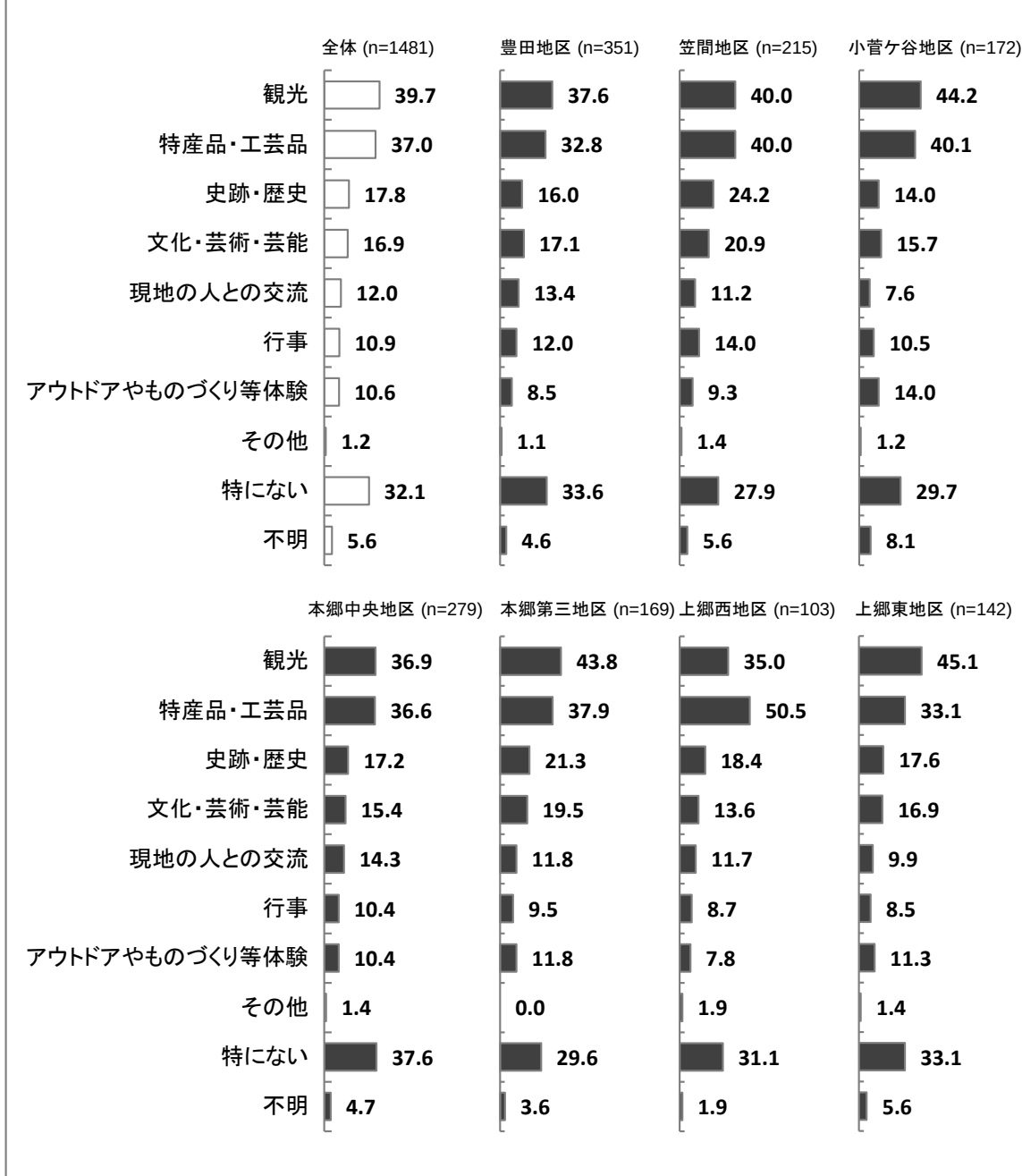


11. 友好交流都市について

【興味のある友好交流都市の内容： 居住地区別】

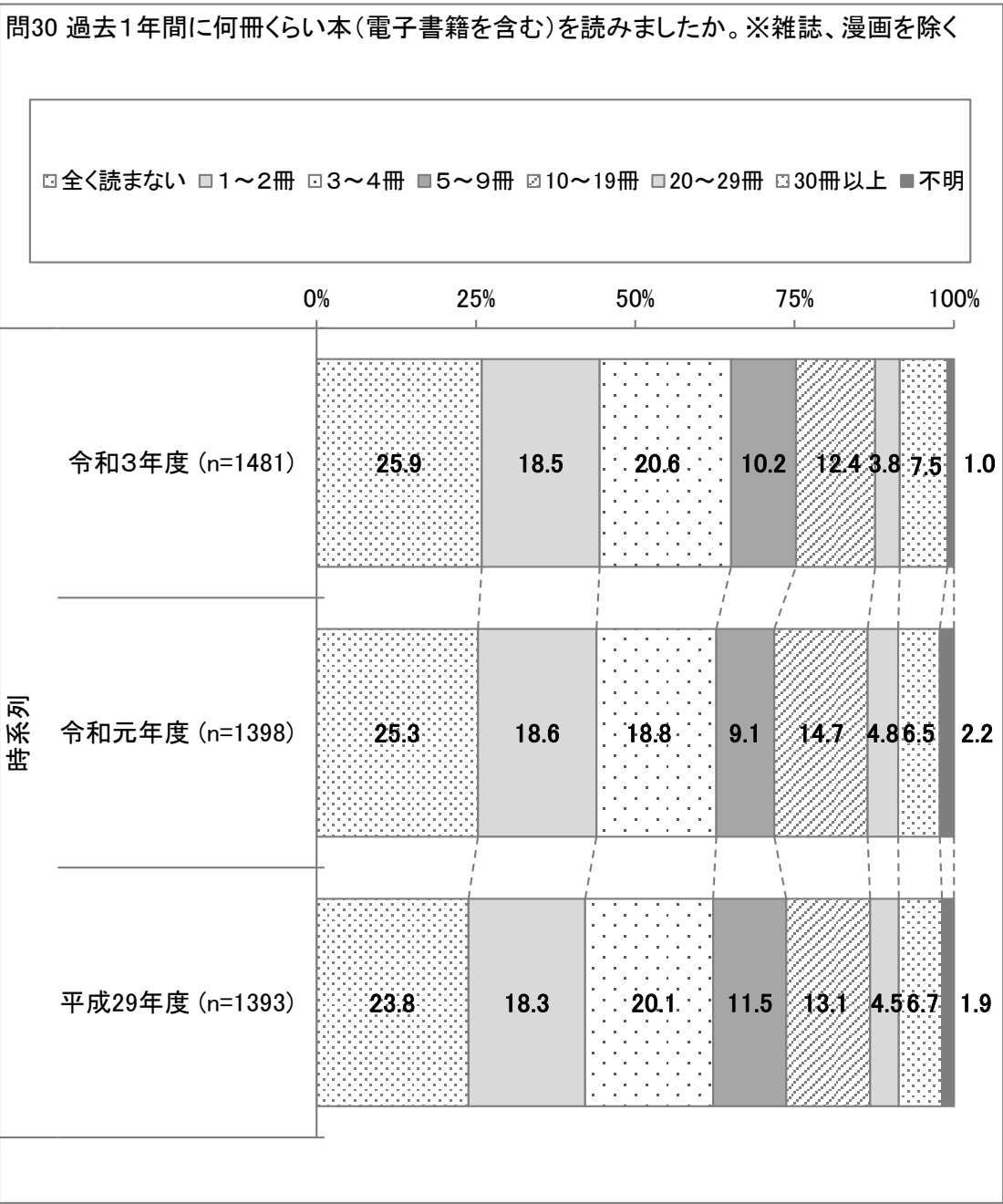
- 居住地区別では、「観光」は「上郷東地区」が、「特産品・工芸品」は「上郷西地区」が、「史跡・歴史」、「文化・芸術・芸能」、「行事」は「笠間地区」が、「現地の人との交流」は「本郷中央地区」が、「アウトドアやものづくり等体験」は「小菅ヶ谷地区」が最も割合が高い。
- 「特にない」は「本郷中央地区」が全体より5ポイント以上多い。

問29 あなたは友好交流都市の何に興味がありますか。(〇はいくつでも) (%)



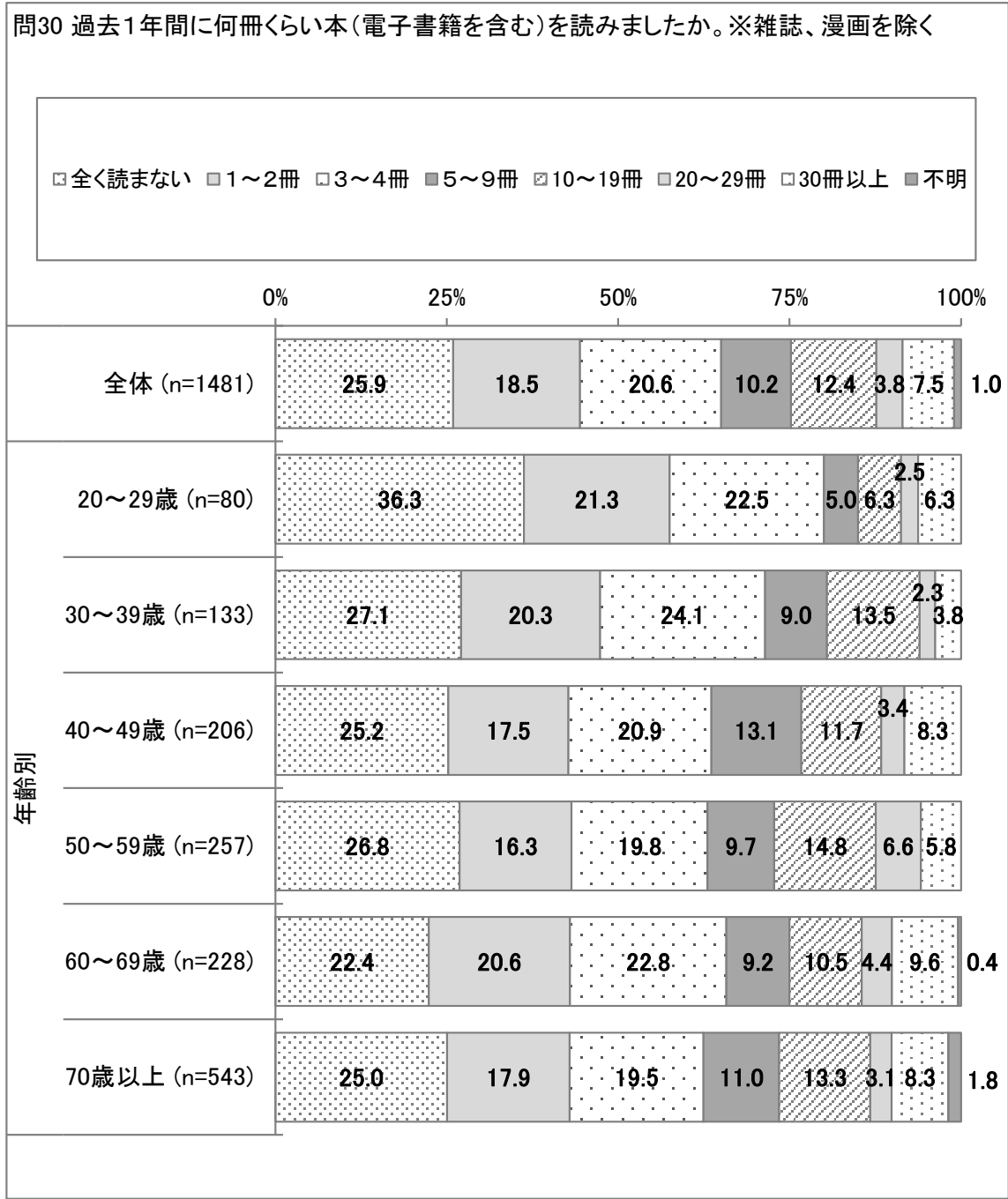
12. 読書について

- 【過去1年間に読んだ本の冊数：全体・時系列】
- ・ 「全く読まない」が25.9%である。「3～4冊」が20.6%、「1～2冊」が18.5%で続く。
 - ・ 時系列で比較すると、「全く読まない」に増加傾向がみられる。



12. 読書について

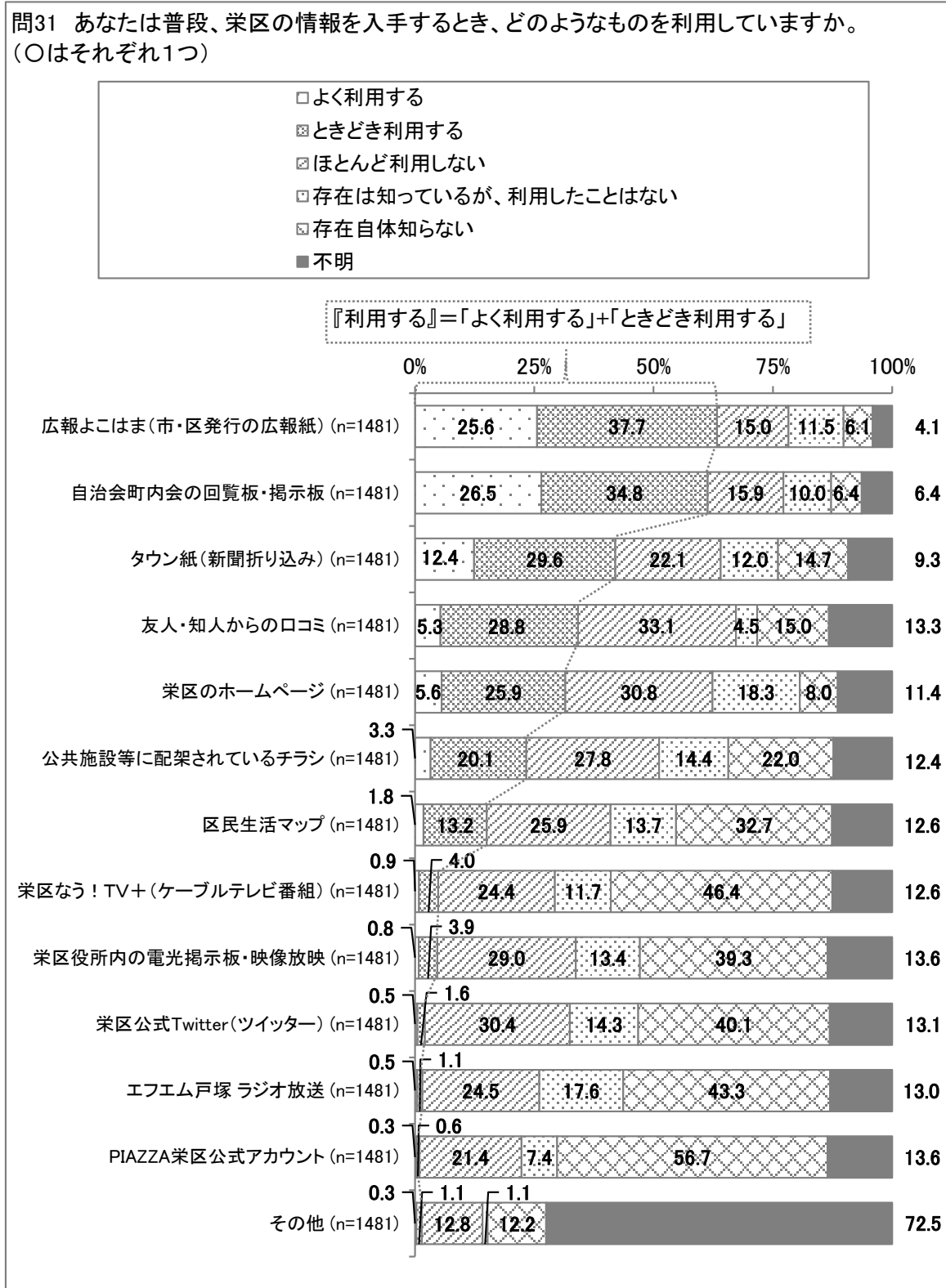
- 【過去1年間に読んだ本の冊数：年齢別】
- 「全く読まない」は、「20～29歳」で全体より10ポイント以上多い。



13. 広報について

【栄区の情報入手時の利用媒体： 全体】

- 「よく利用する」と「ときどき利用する」を合わせた『利用する』では、「広報よこはま（市・区発行の広報紙）」が63.3%で最も高く、「自治会町内会の回覧板・掲示板」（61.3%）、「タウン紙（新聞折り込み）」（42.0%）と続く。
- 「存在自体知らない」の割合が高いのは、「PIAZZA栄区公式アカウント」（56.7%）、「栄区なう！TV+（ケーブルテレビ番組）」（46.4%）、「エフエム戸塚ラジオ放送」（43.3%）である。

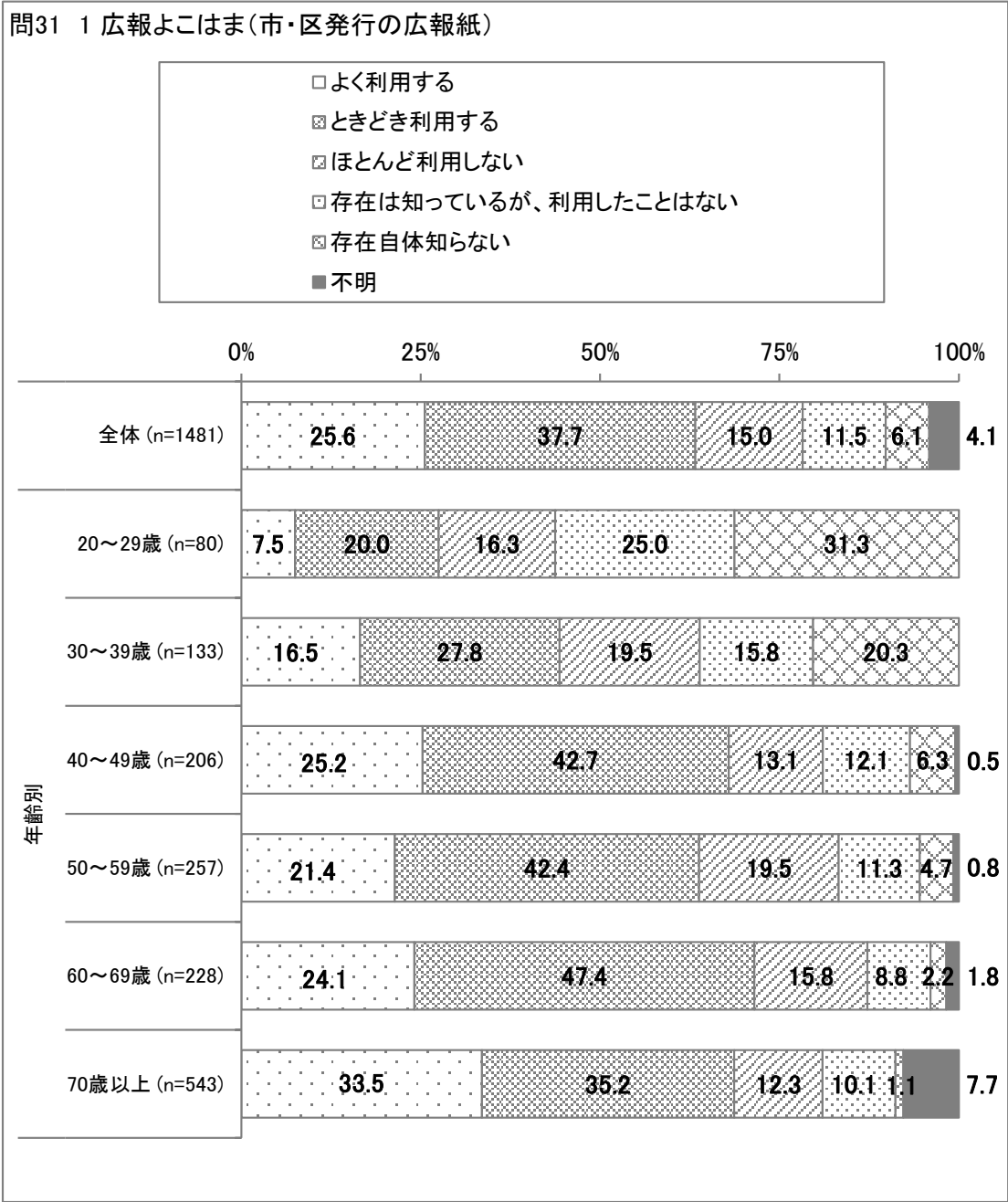


13. 広報について

【栄区の情報入手時の利用媒体：年齢別】

1 広報よこはま(市・区発行の広報紙)

- 「20～29歳」は「存在自体知らない」が31.3%で最も高く、その他の年代は「ときどき利用する」が最も高く、中でも「60～69歳」で47.4%と最も高い。
- 年代が下がるほど「存在自体知らない」の割合が増加傾向にある。

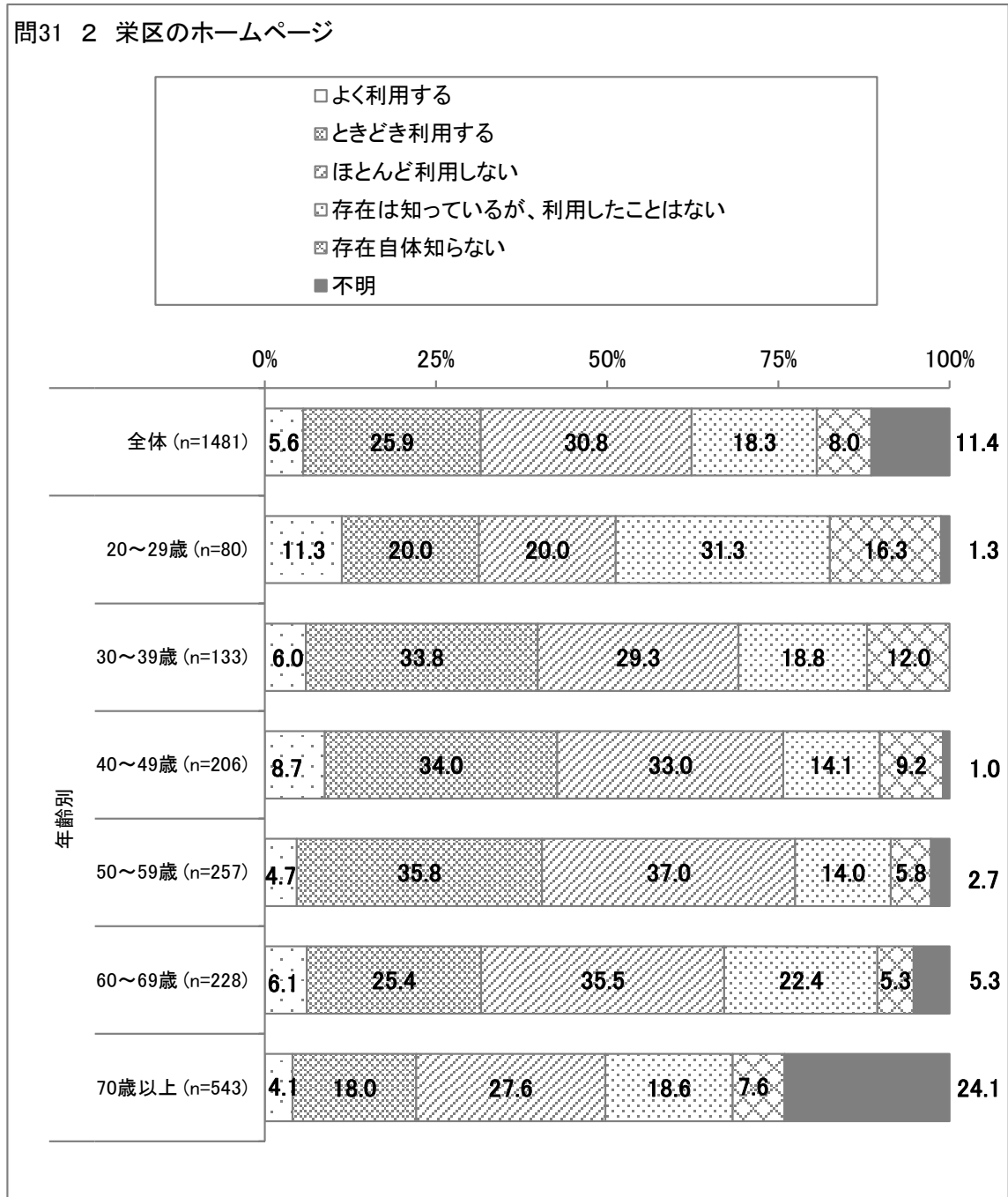


13. 広報について

【栄区の情報入手時の利用媒体： 年齢別】

2 栄区のホームページ

- 「20～29歳」は「存在は知っているが、利用したことはない」が31.3%で最も高く、「50～59歳」、「60～69歳」、「70歳以上」は「ほとんど利用しない」が最も高く、「30～39歳」「40～49歳」は「ときどき利用する」が最も高い。



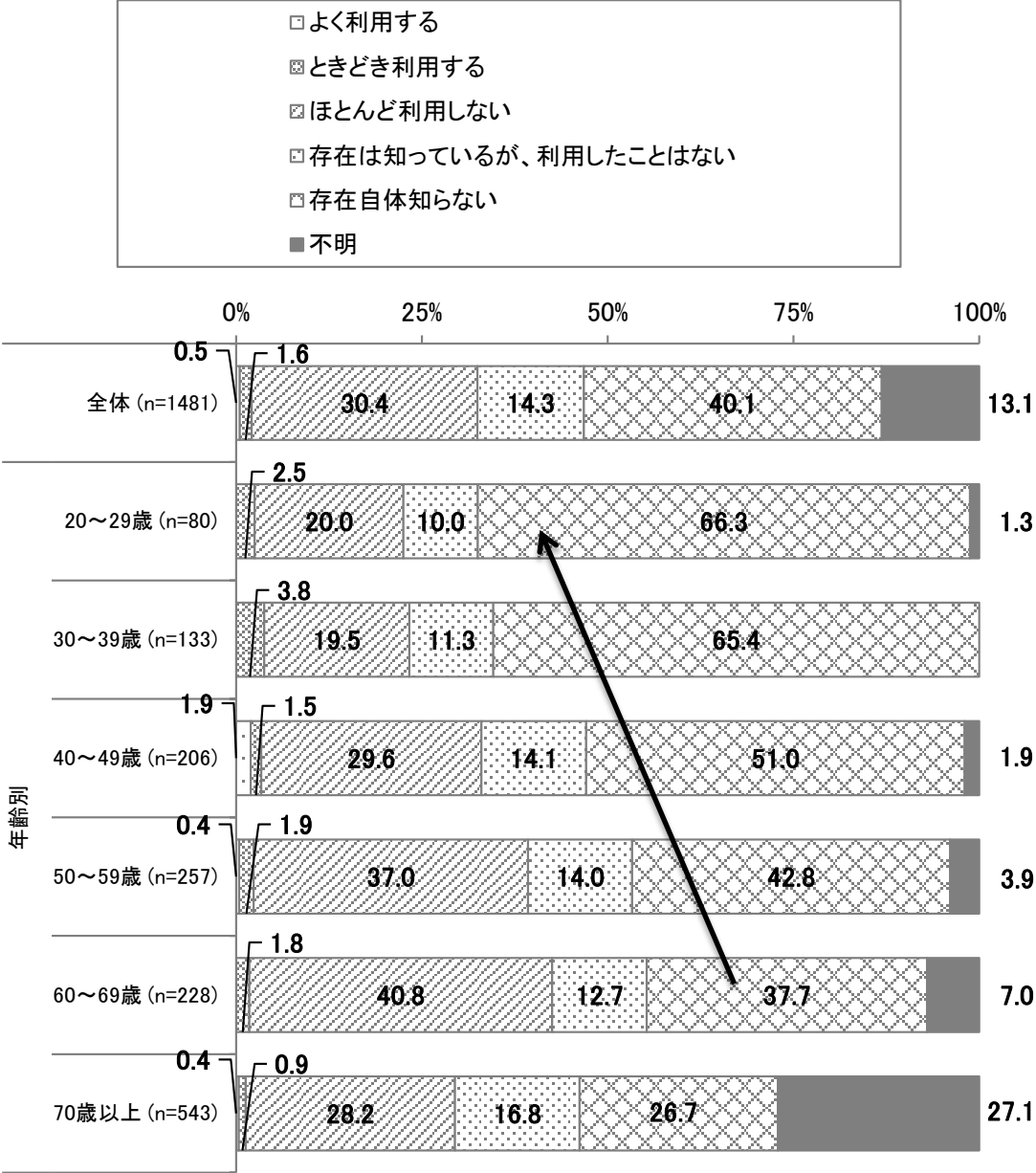
13. 広報について

【栄区の情報入手時の利用媒体：年齢別】

3 栄区公式Twitter(ツイッター)

- 「20～29歳」から「50～59歳」までは「存在自体知らない」が最も高く、「20～29歳」、「30～39歳」では6割を超えている。
- 年代が下がるほど、「存在自体知らない」の割合が増加傾向にある。

問31 3 栄区公式Twitter(ツイッター)

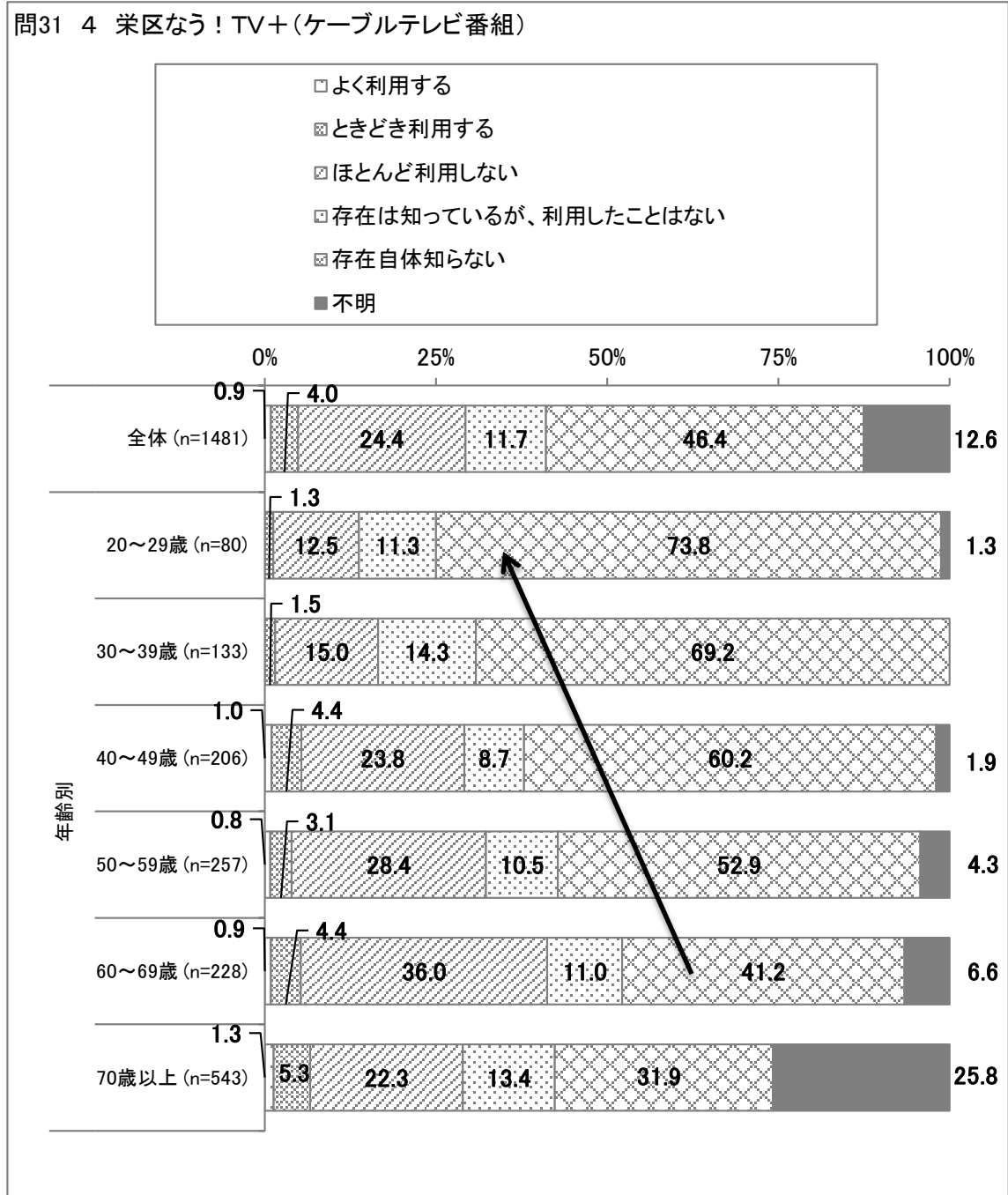


13. 広報について

【栄区の情報入手時の利用媒体： 年齢別】

4 栄区なう！TV+（ケーブルテレビ番組）

- 全ての年代で「存在自体知らない」が最も高く、中でも「20～29歳」では73.8%と全体より20ポイント以上多い。
- 年代が下がるほど、「存在自体知らない」の割合が増加傾向にある。

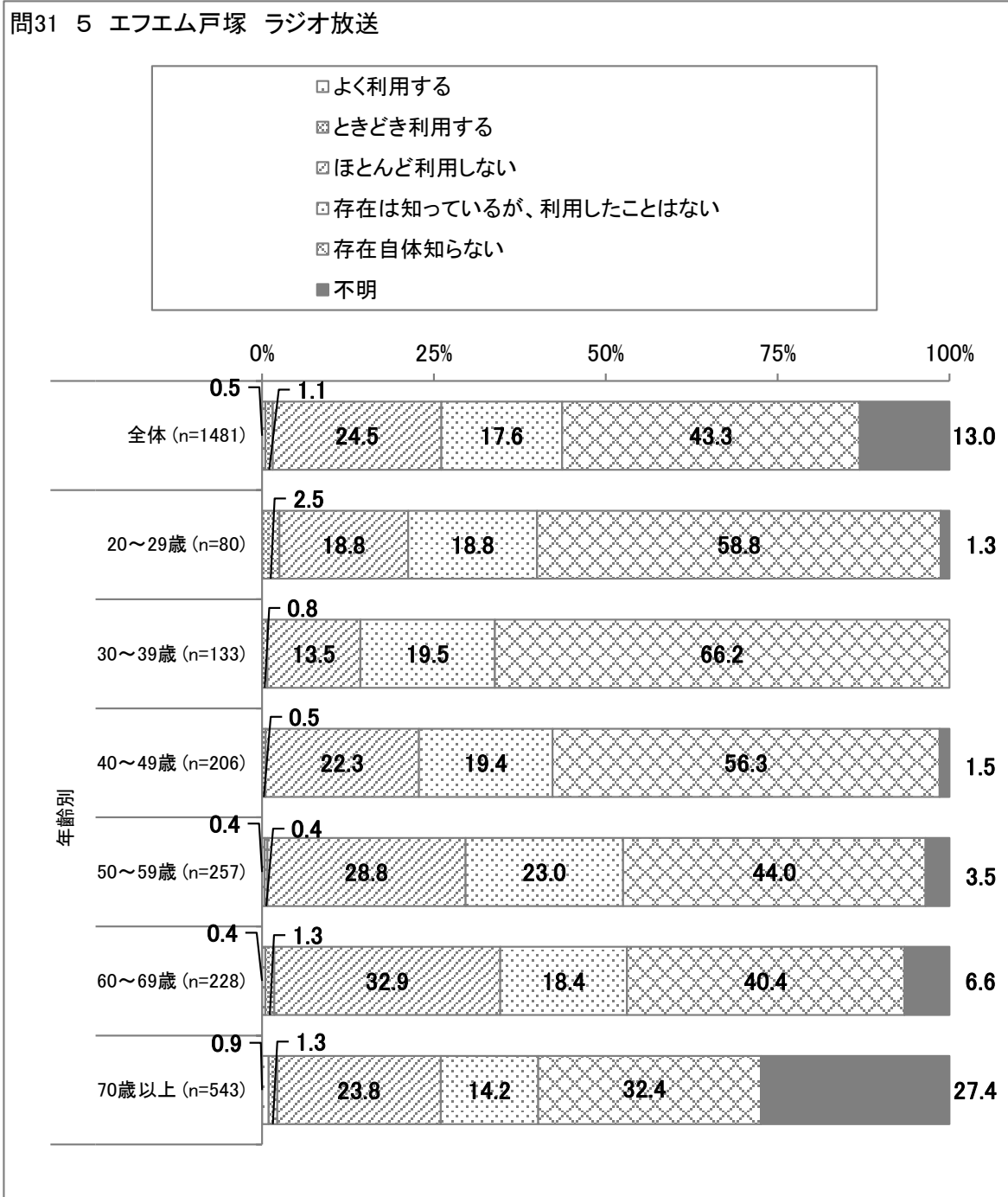


13. 広報について

【栄区の情報入手時の利用媒体：年齢別】

5 エフエム戸塚 ラジオ放送

- 全ての年代で「存在自体知らない」が最も高く、中でも「30～39歳」では66.2%と全体より20ポイント以上多い。

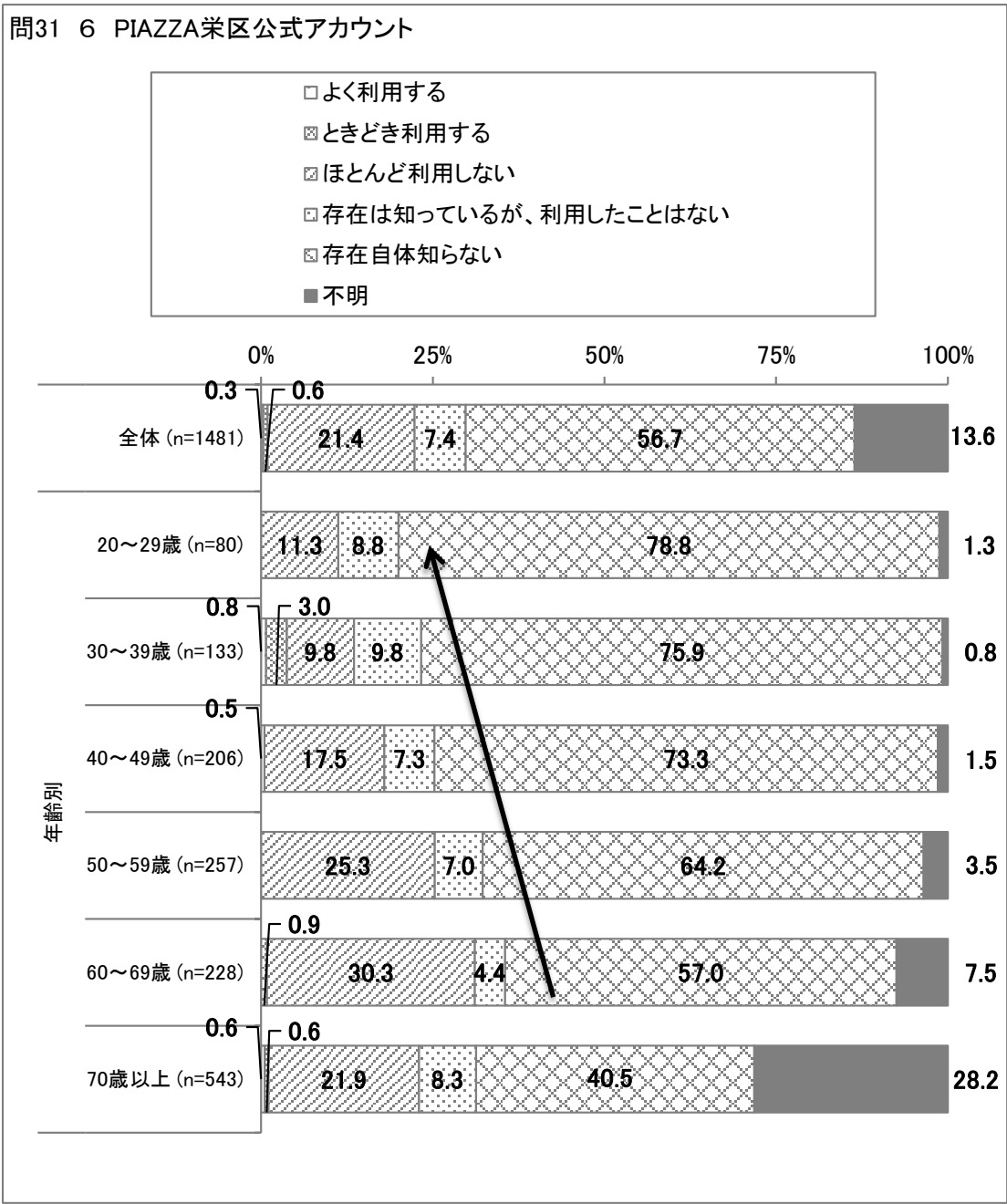


13. 広報について

【栄区の情報入手時の利用媒体： 年齢別】

6 PIAZZA栄区公式アカウント

- 全ての年代で「存在自体知らない」が最も高く、中でも「20～29歳」では78.8%と全体より20ポイント以上多い。
- 年代が下がるほど、「存在自体知らない」の割合が増加傾向にある。



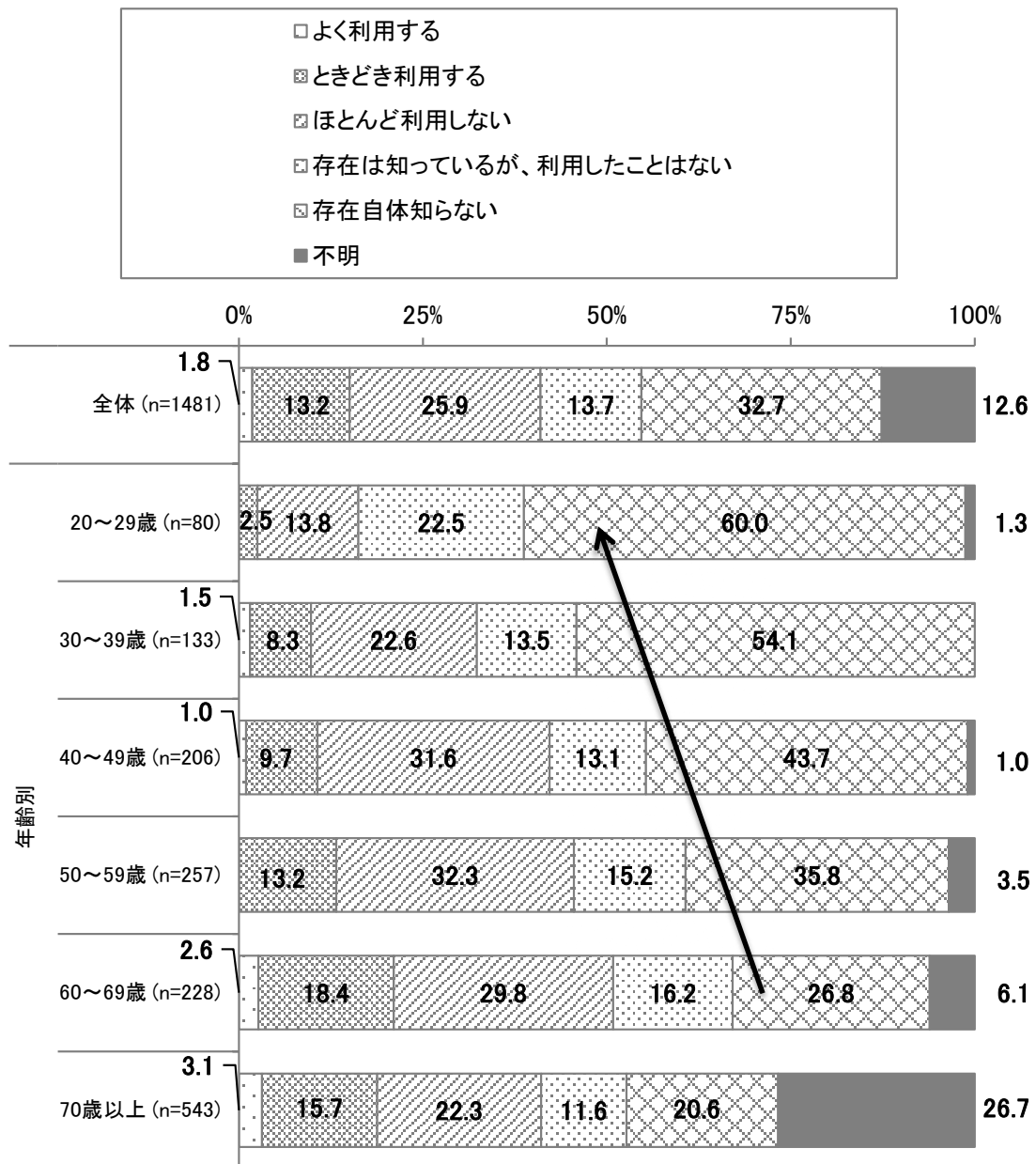
13. 広報について

【栄区の情報入手時の利用媒体： 年齢別】

7 区民生活マップ

- 「20～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」、「50～59歳」で「存在自体知らない」が最も高く、中でも「20～29歳」では60.0%と全体より20ポイント以上多い。一方、「60～69歳」と「70歳以上」では、「ほとんど利用しない」が最も高い。
- 年代が下がるほど、「存在自体知らない」の割合が増加傾向にある。

問31 7 区民生活マップ



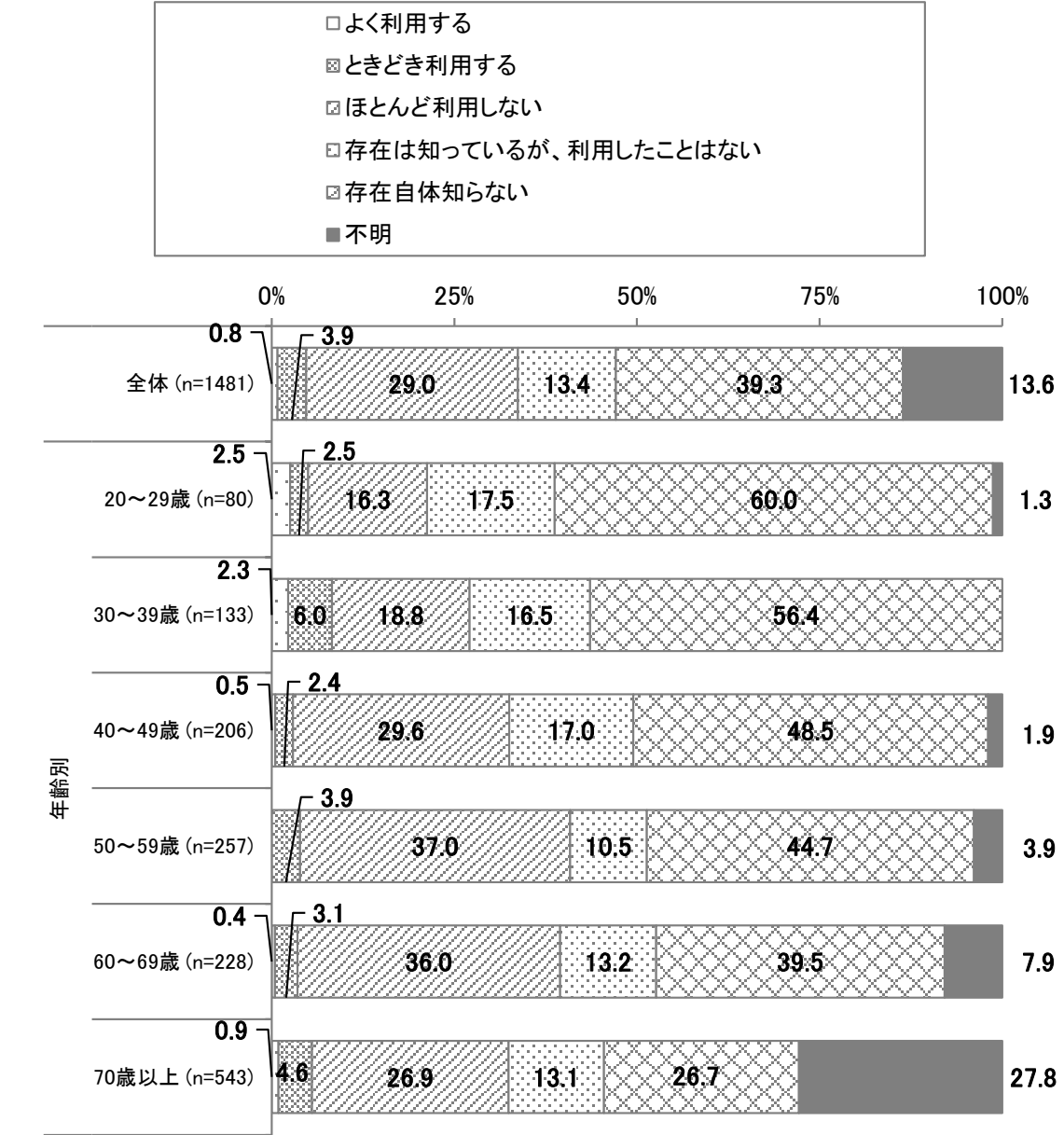
13. 広報について

【栄区の情報入手時の利用媒体：年齢別】

8 栄区役所内の電光掲示板・映像放映

- 「20～29歳」から「60～69歳」まで「存在自体知らない」が最も高く、特に「20～29歳」では60.0%と全体より20ポイント以上多い。一方、「70歳以上」では、「ほとんど利用しない」が26.9%で最も高い。

問31 8 栄区役所内の電光掲示板・映像放映

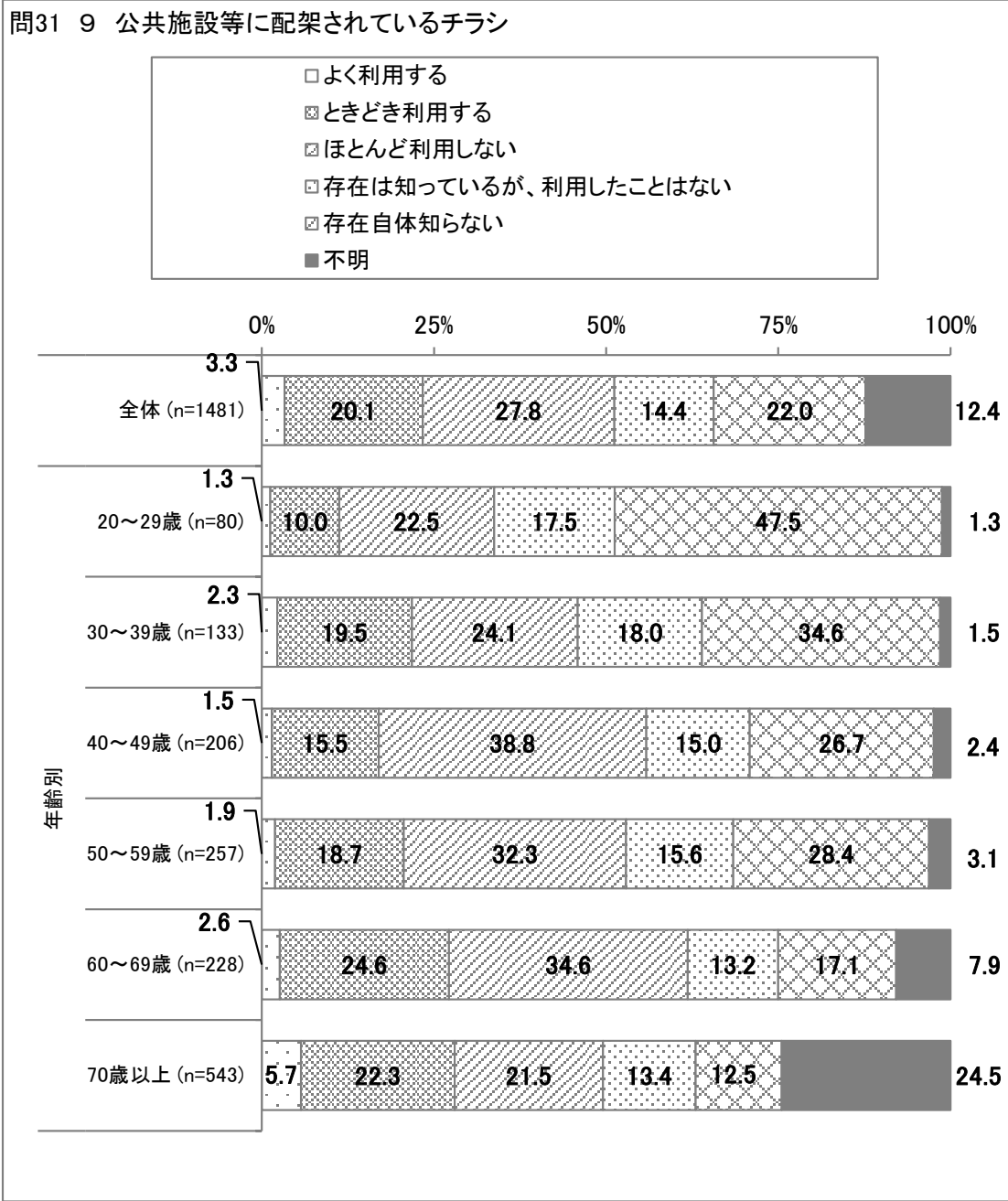


13. 広報について

【栄区の情報入手時の利用媒体： 年齢別】

9 公共施設等に配架されているチラシ

- 「20～29歳」、「30～39歳」で「存在自体知らない」が最も高く、「40～49歳」、「50～59歳」、「60～69歳」では「ほとんど利用しない」が最も高く、「70歳以上」では「ときどき利用する」が最も高い。

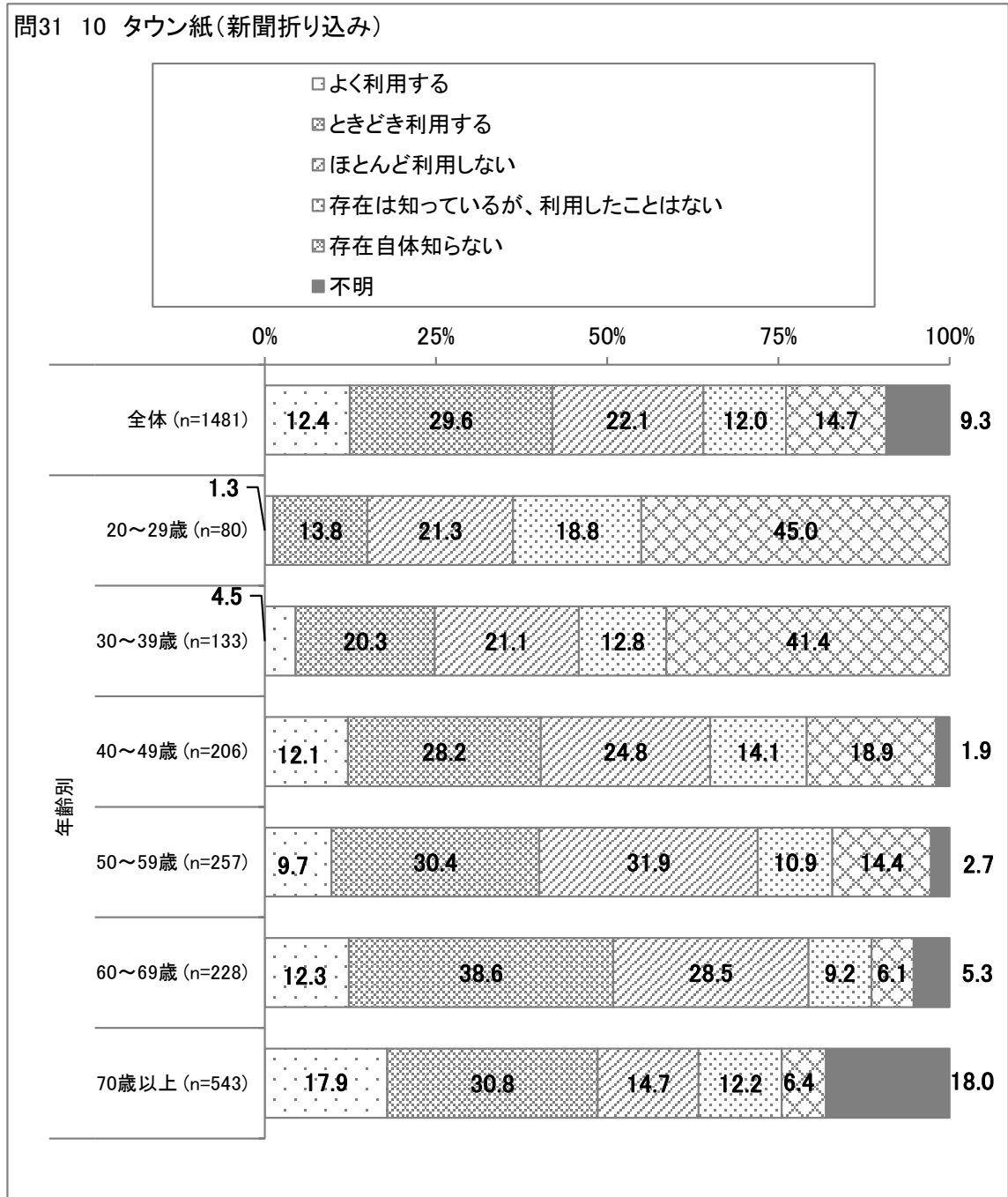


13. 広報について

【栄区の情報入手時の利用媒体：年齢別】

10 タウン紙(新聞折り込み)

- 「20～29歳」、「30～39歳」で「存在自体知らない」が最も高く、「50～59歳」で「ほとんど利用しない」が最も高く、「40～49歳」、「60～69歳」、「70歳以上」で「ときどき利用する」が最も高い。

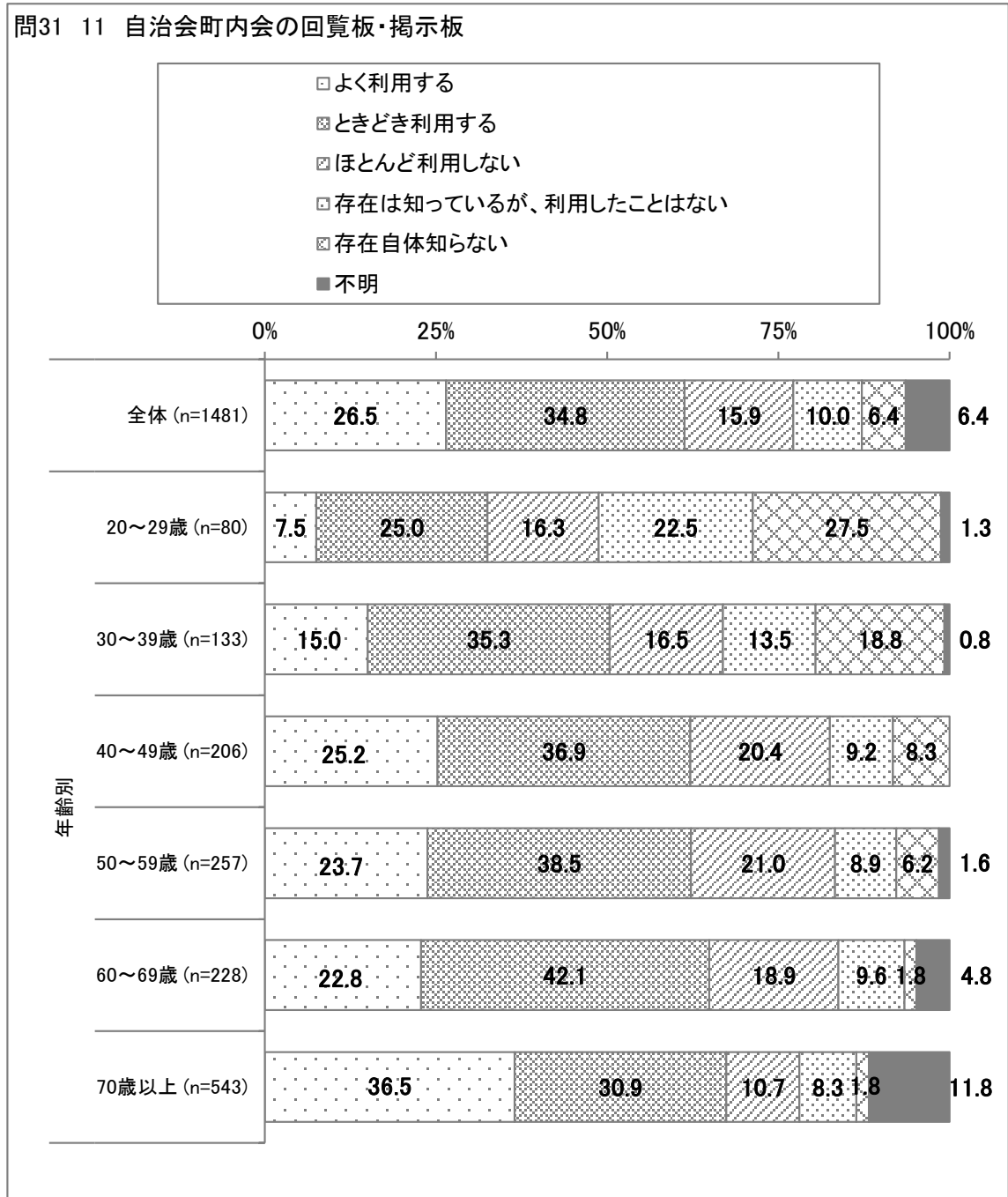


13. 広報について

【栄区の情報入手時の利用媒体：年齢別】

11 自治会町内会の回覧板・掲示板

- ・ 「存在自体知らない」が「20～29歳」では27.5%で全体より20ポイント以上多い。
- ・ 「よく利用する」が「70歳以上」では36.5%で全体より10ポイント以上多い。
- ・ その他の年代は「ときどき利用する」が最も高い。

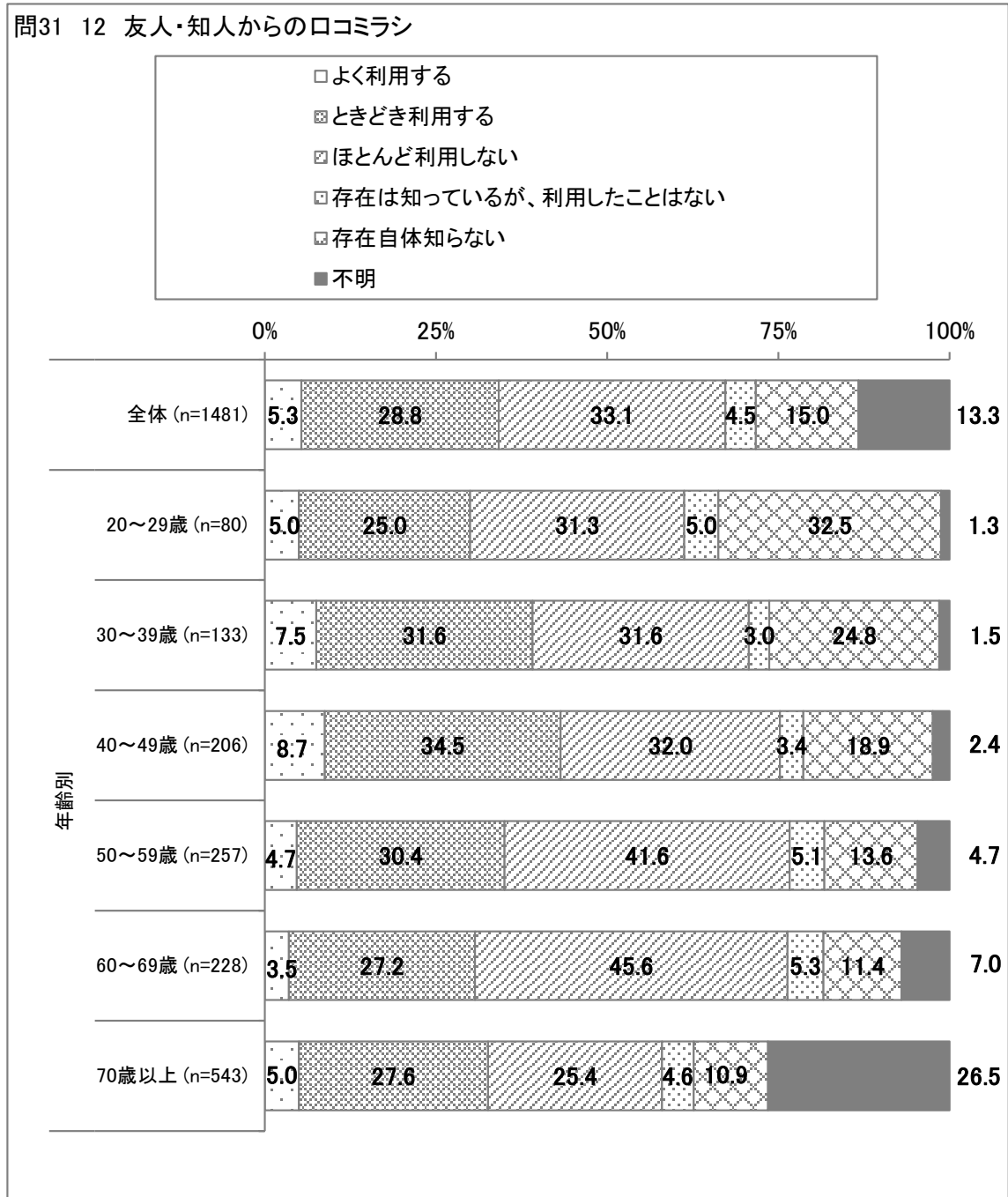


13. 広報について

【栄区の情報入手時の利用媒体： 年齢別】

12 友人・知人からの口コミ

- ・ 「ときどき利用する」は「40～49歳」が34.5%と全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「ほとんど利用しない」は「60～69歳」が45.6%で全体より10ポイント以上多く、「50～59歳」が41.6%で全体より5ポイント以上多い。

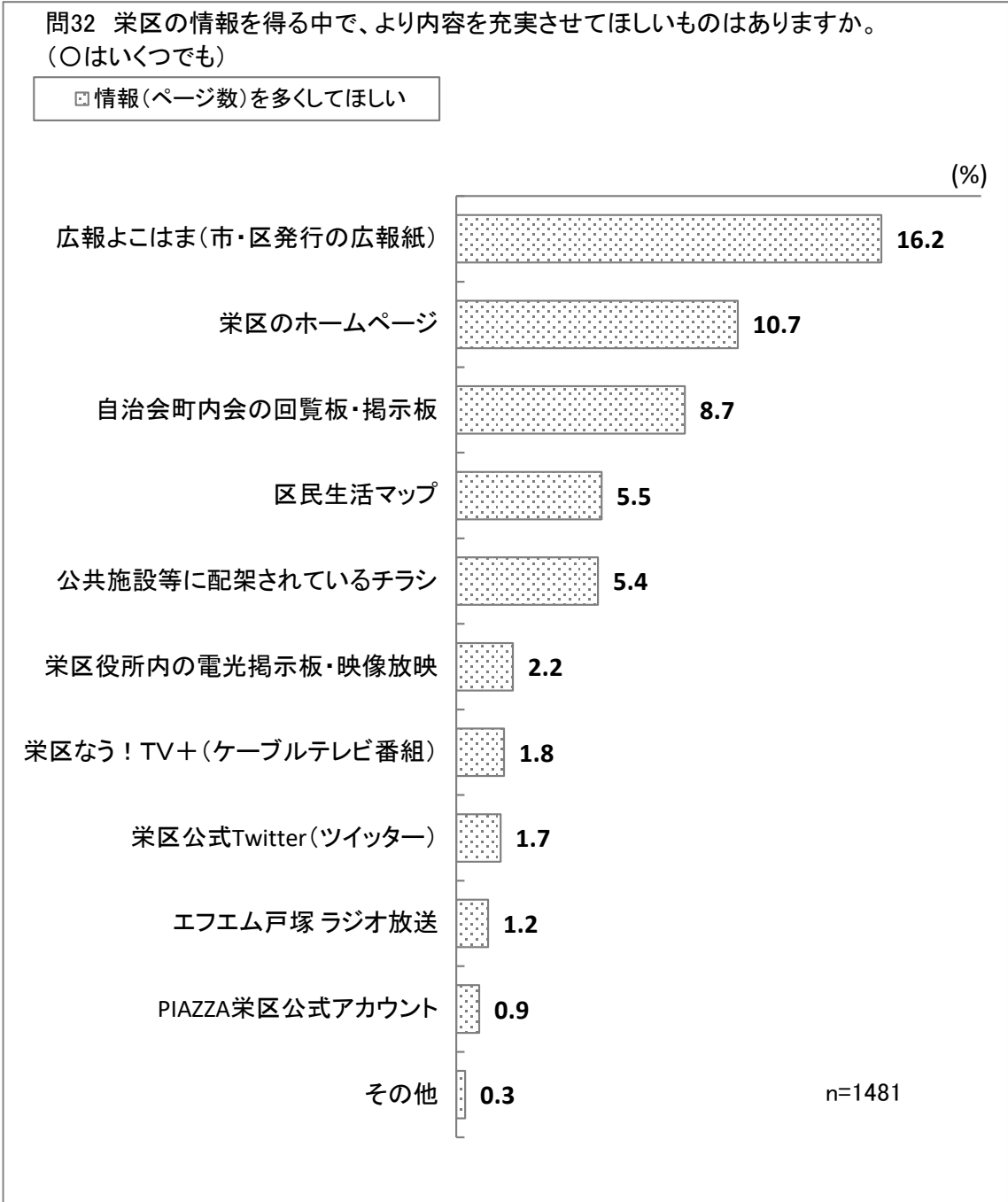


13. 広報について

【栄区の情報で充実してほしいもの：全体】

ア 情報(ページ数)を多くしてほしい

- 「情報(ページ数)を多くしてほしい」の上位5項目は、「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」(16.2%)、「栄区のホームページ」(10.7%)、「自治会町内会の回覧板・掲示板」(8.7%)、「区民生活マップ」(5.5%)、「公共施設等に配架されているチラシ」(5.4%)の順である。

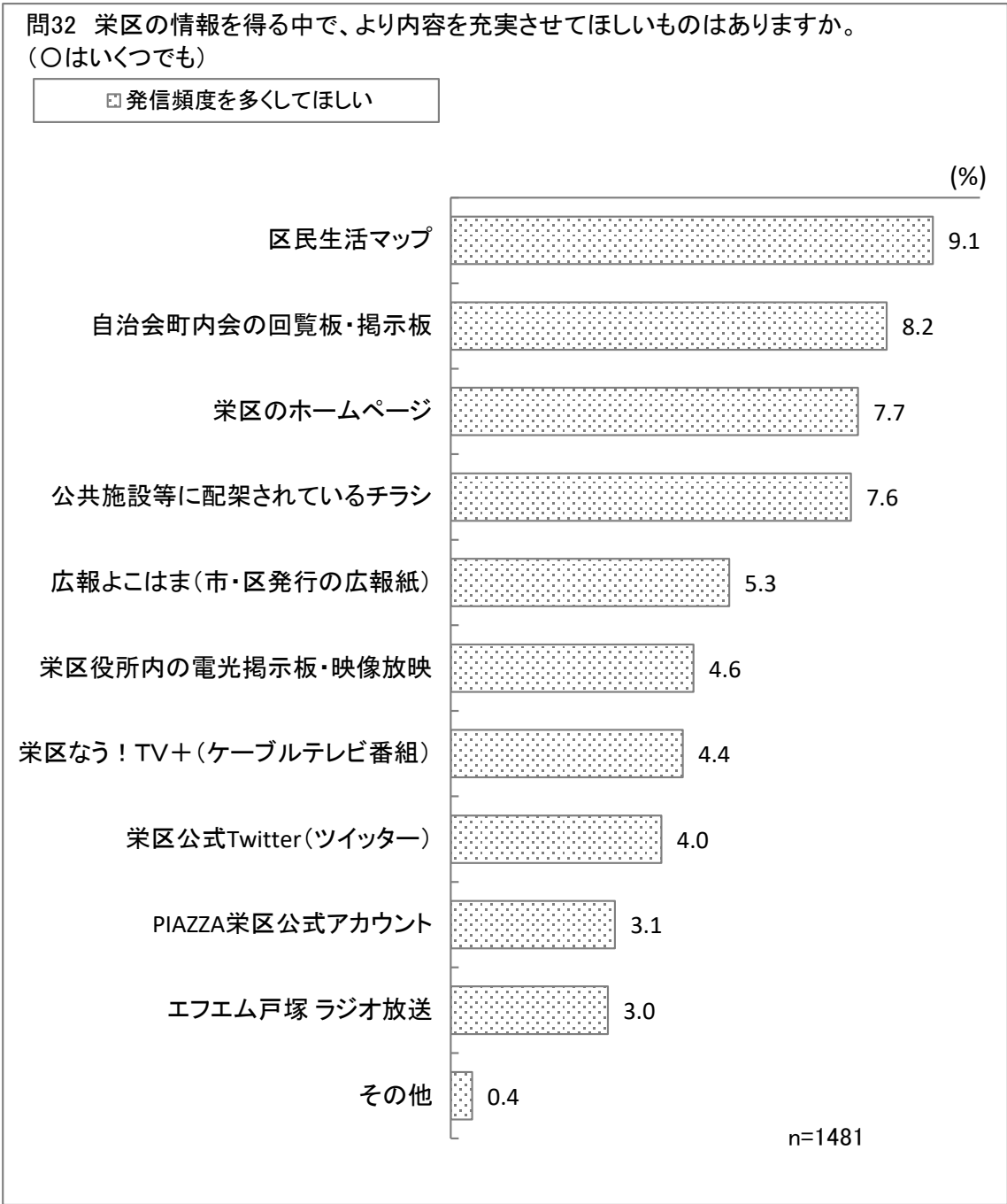


13. 広報について

【栄区の情報で充実してほしいもの： 全体】

イ 発信頻度を多くしてほしい

- 「発信頻度を多くしてほしい」の上位5項目は、「区民生活マップ」(9.1%)、「自治会町内会の回覧板・掲示板」(8.2%)、「栄区のホームページ」(7.7%)、「公共施設等に配架されているチラシ」(7.6%)、「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」(5.3%)の順である。

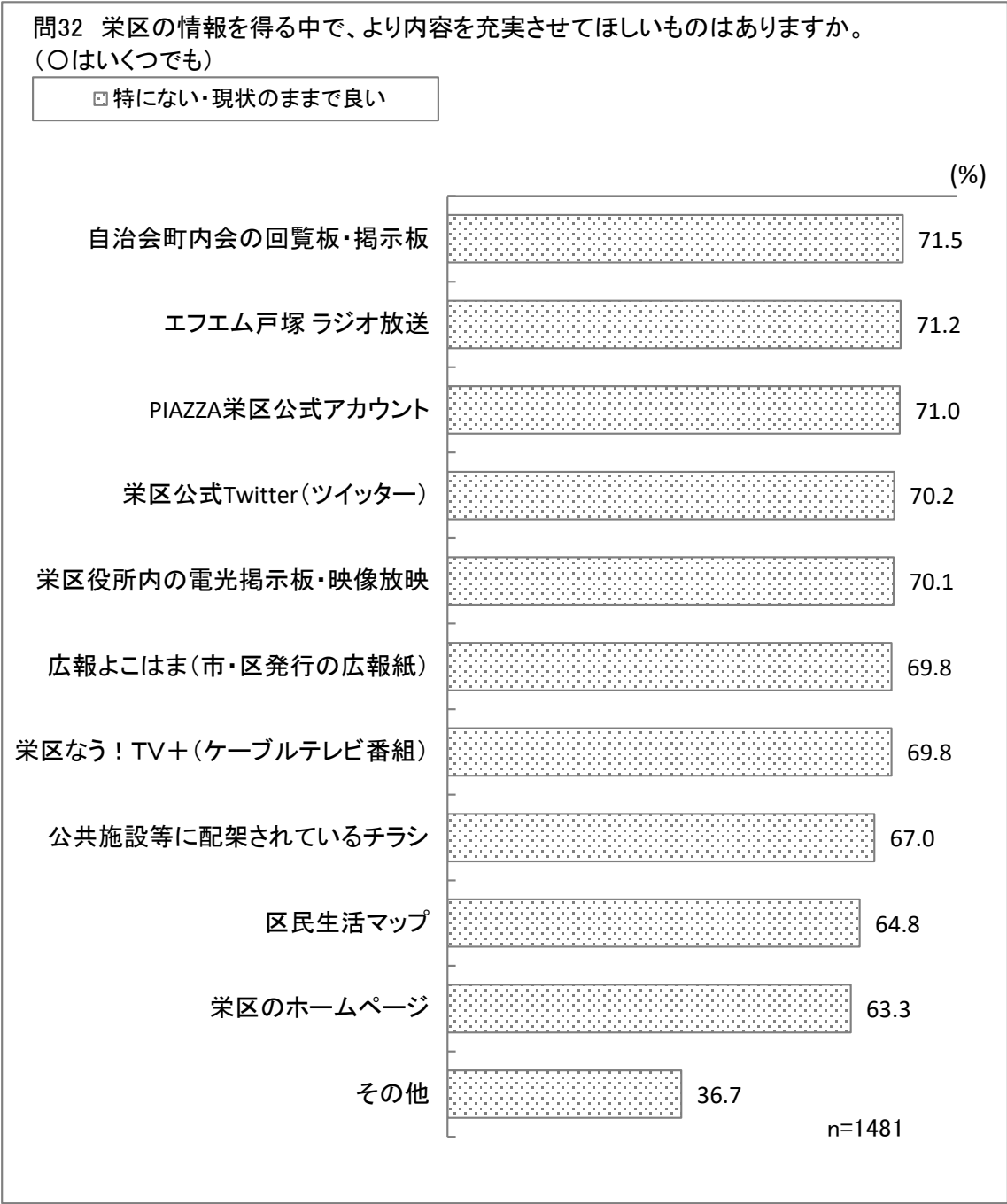


13. 広報について

【栄区の情報で充実してほしいもの：全体】

ウ 特にない・現状のままで良い

- ・ 「特にない・現状のままで良い」の上位5項目は、「自治会町内会の回覧板・掲示板」(71.5%)、「エフエム戸塚 ラジオ放送」(71.2%)、「PIAZZA栄区公式アカウント」(71.0%)、「栄区公式Twitter(ツイッター)」(70.2%)、「栄区役所内の電光掲示板・映像放映」(70.1%)の順である。

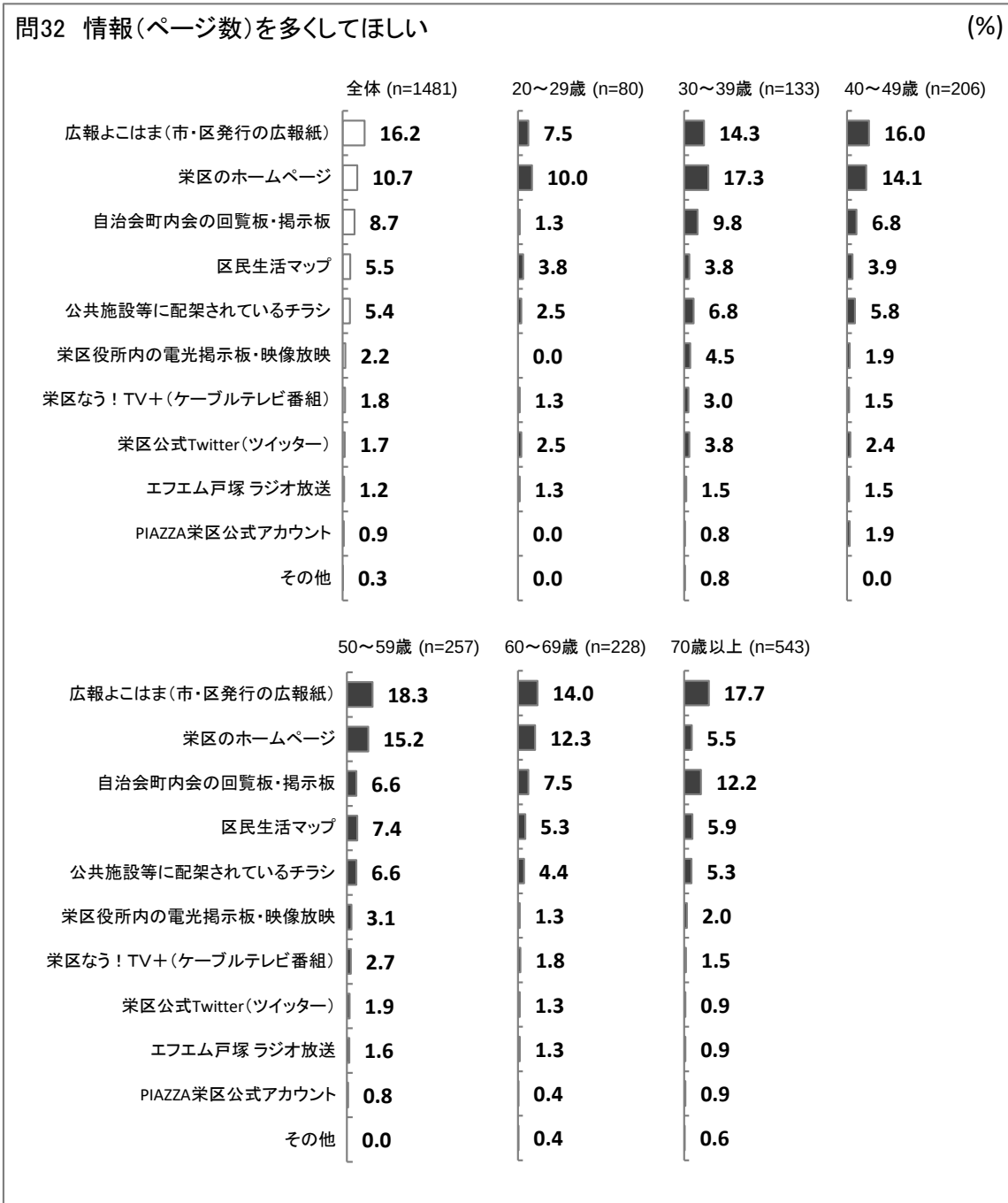


13. 広報について

【栄区の情報で充実してほしいもの：年齢別】

ア 情報(ページ数)を多くしてほしい

- 「情報(ページ数)を多くしてほしい」の上位項目を年齢別にみると、「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」は「50～59歳」で最も高く、「栄区のホームページ」は「30～39歳」で、「栄区のホームページ」は「30～39歳」で、「自治会町内会の回覧板・掲示板」は「70歳以上」で最も高い。

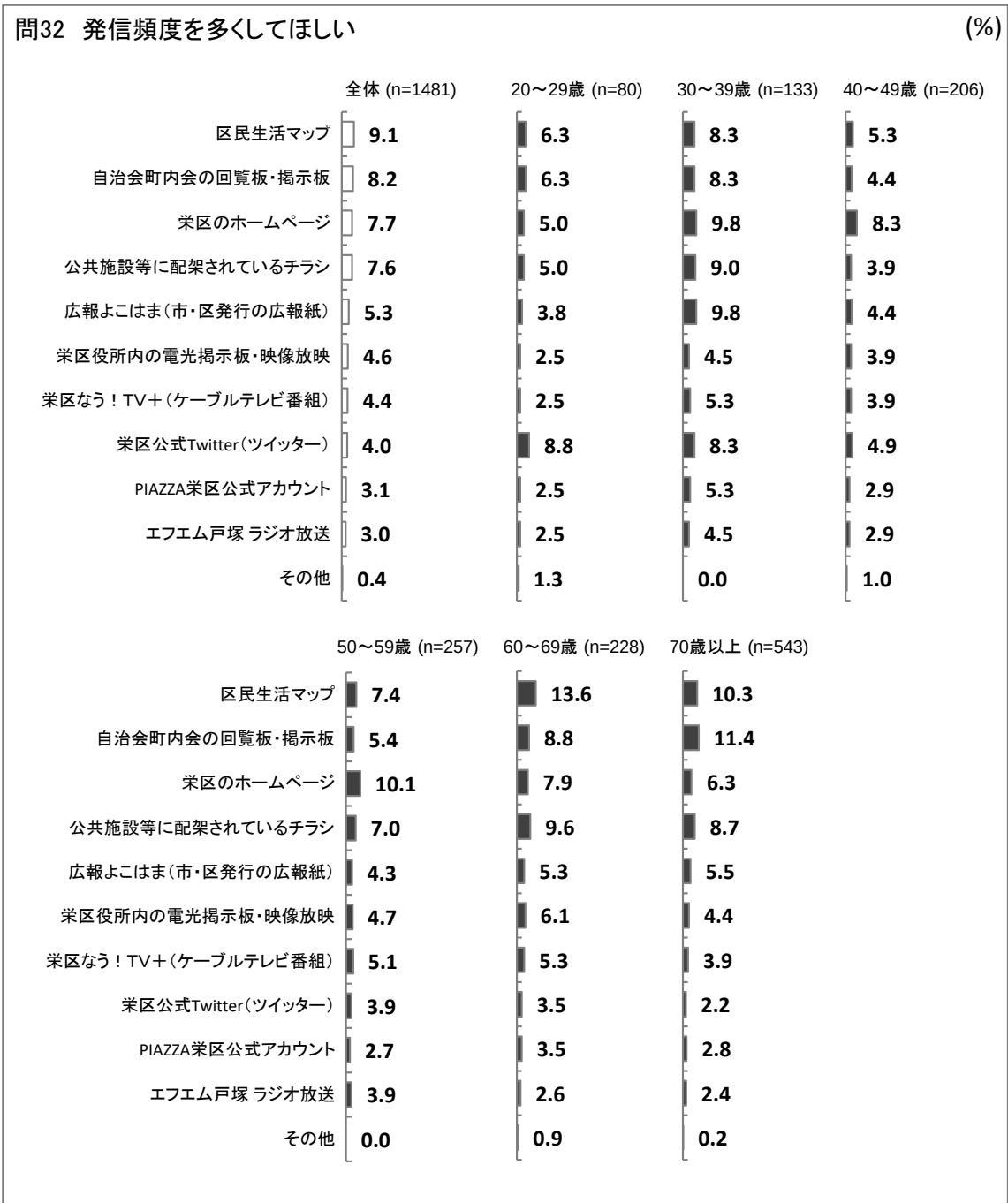


13. 広報について

【栄区の情報で充実してほしいもの：年齢別】

イ 発信頻度を多くしてほしい

- 「発信頻度を多くしてほしい」の上位5項目を年齢別にみると、「区民生活マップ」、「公共施設等に配架されているチラシ」は「60～69歳」で最も高く、「自治会町内会の回覧板・掲示板」は「70歳以上」で、「栄区のホームページ」は「50～59歳」で最も高く、「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」は「30～39歳」で最も高い。

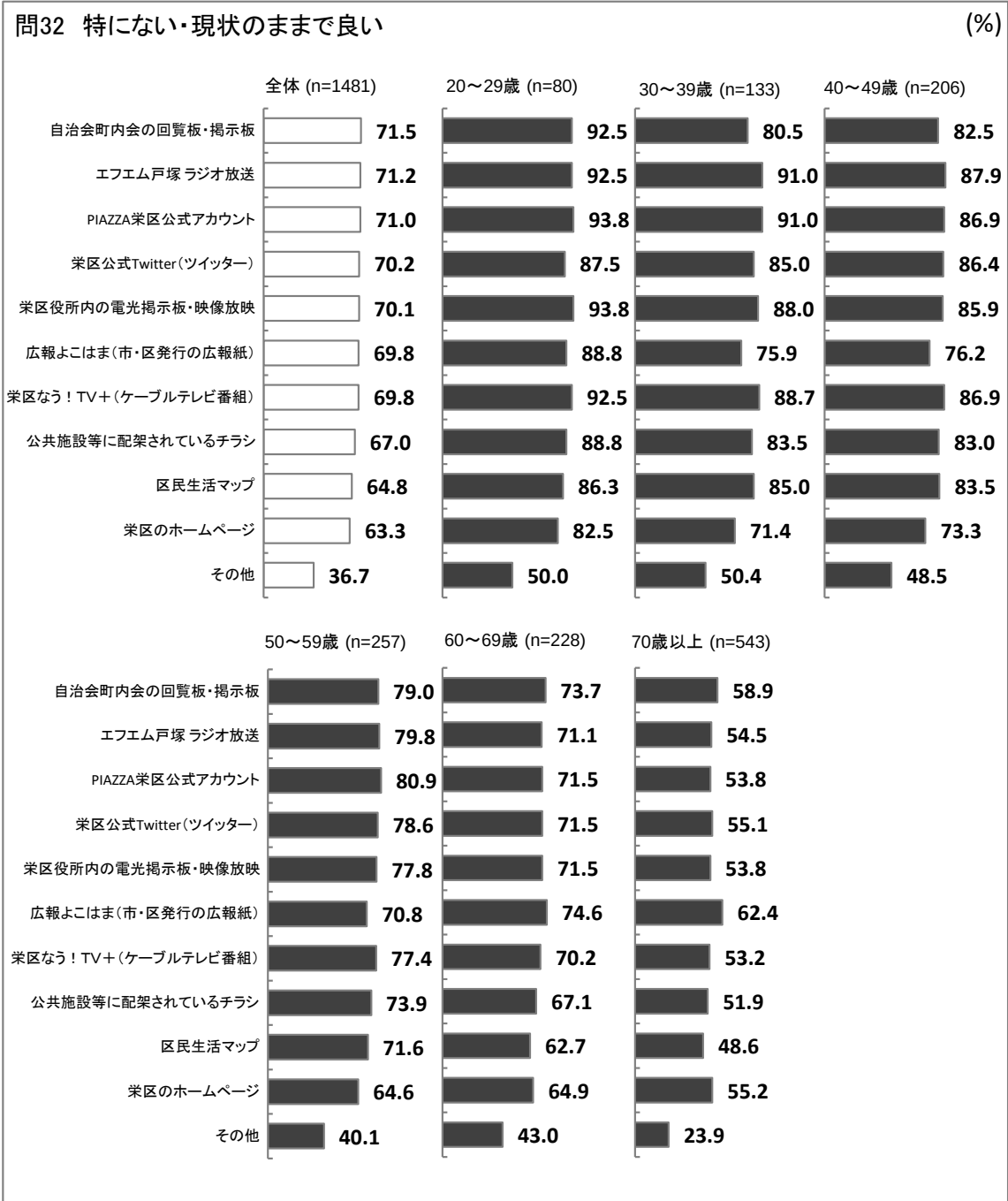


13. 広報について

【栄区の情報で充実してほしいもの：年齢別】

ウ 特にない・現状のままで良い

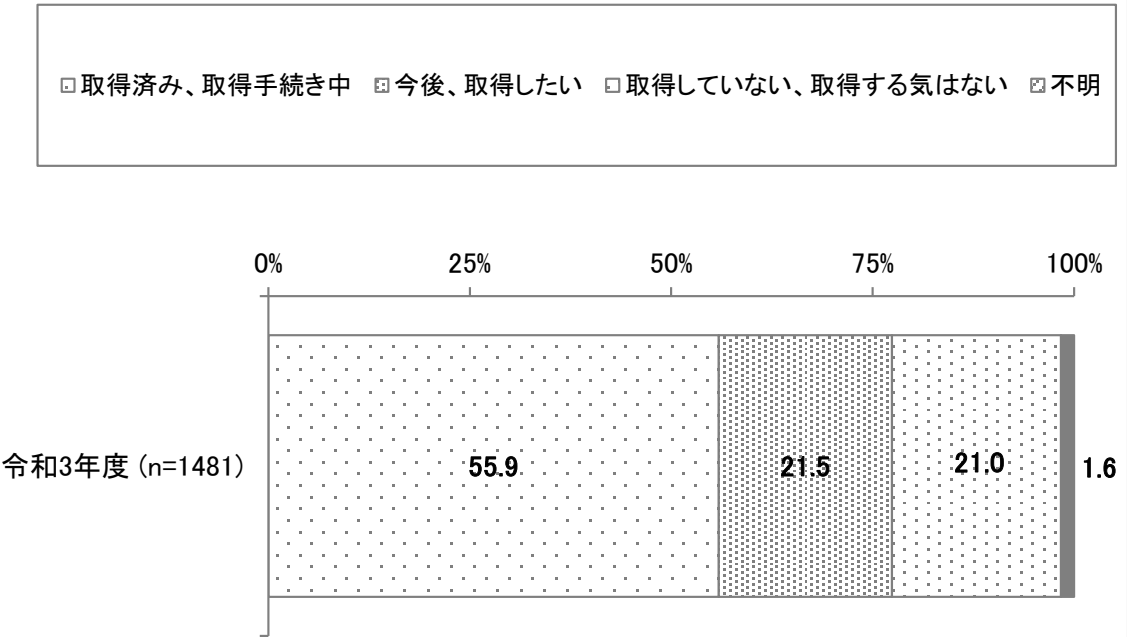
- ・ 「20～29歳」では、全ての項目で他の年代より割合が高い。



14. マイナンバーカードについて

- 【取得状況：全体】
- ・ マイナンバーカードの取得率（取得済み、取得手続き中）は55.9%である。
 - ・ 「今後取得したい」は21.5%で、「取得する気はない」が21.0%である。

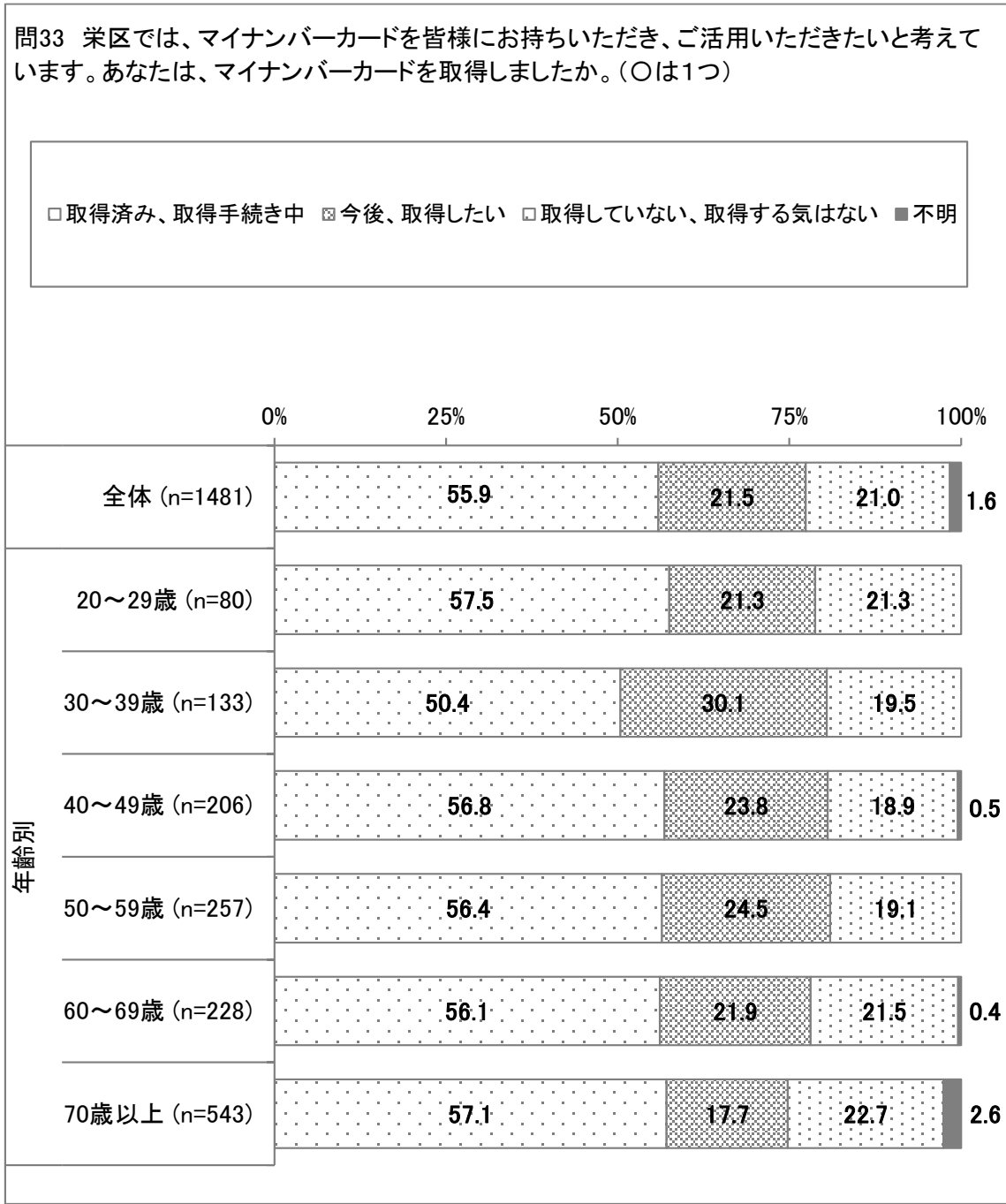
問33 栄区では、マイナンバーカードを皆様にお持ちいただき、ご活用いただきたいと考えています。あなたは、マイナンバーカードを取得しましたか。（○は1つ）



14. マイナンバーカードについて

【取得状況：年齢別】

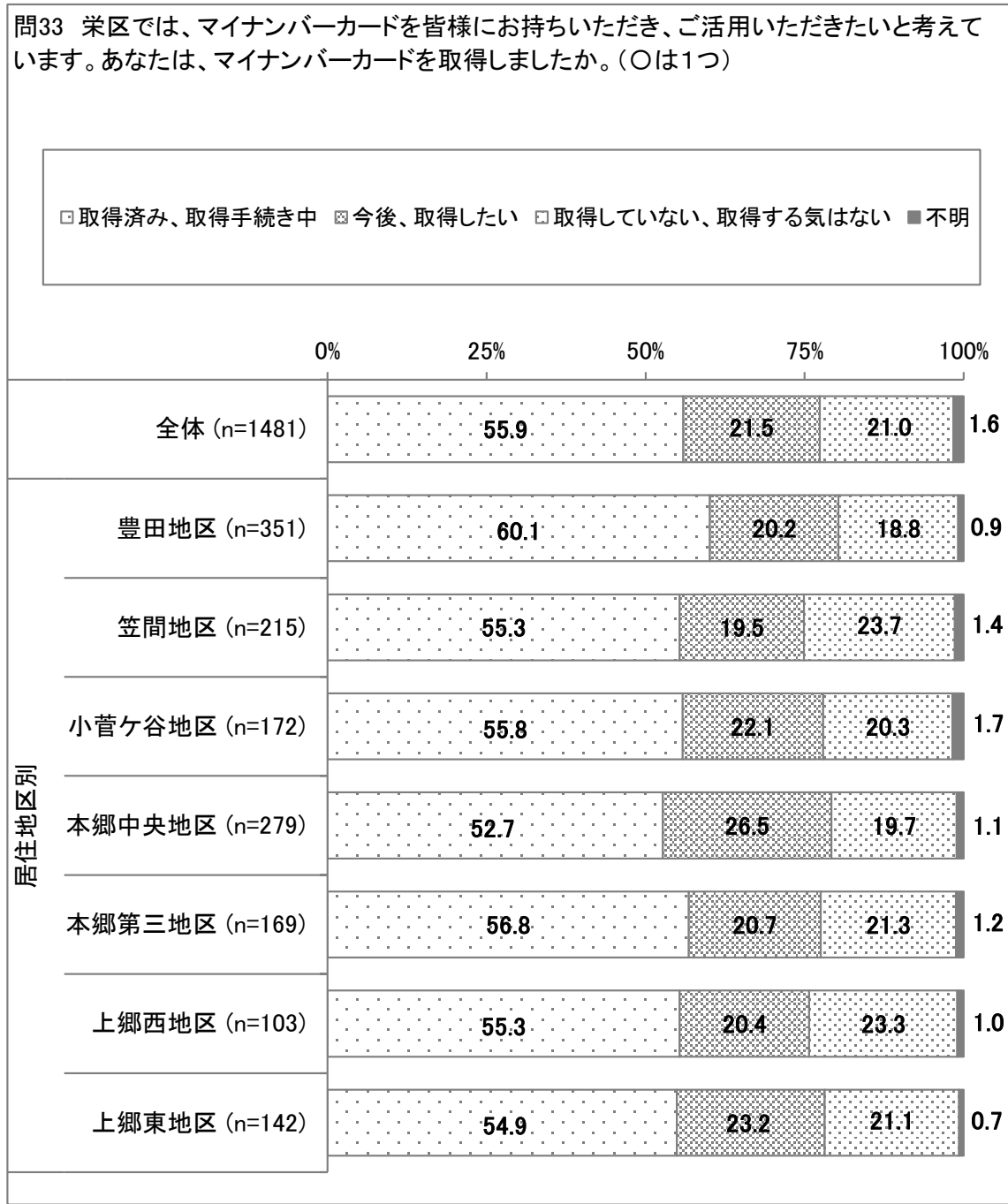
- 「30～39歳」のマイナンバーカードの取得率が50.4%と全体より5ポイント以上少なく、「今後取得したい」の割合が全体より5ポイント以上多い。



14. マイナンバーカードについて

【取得状況：居住地区別】

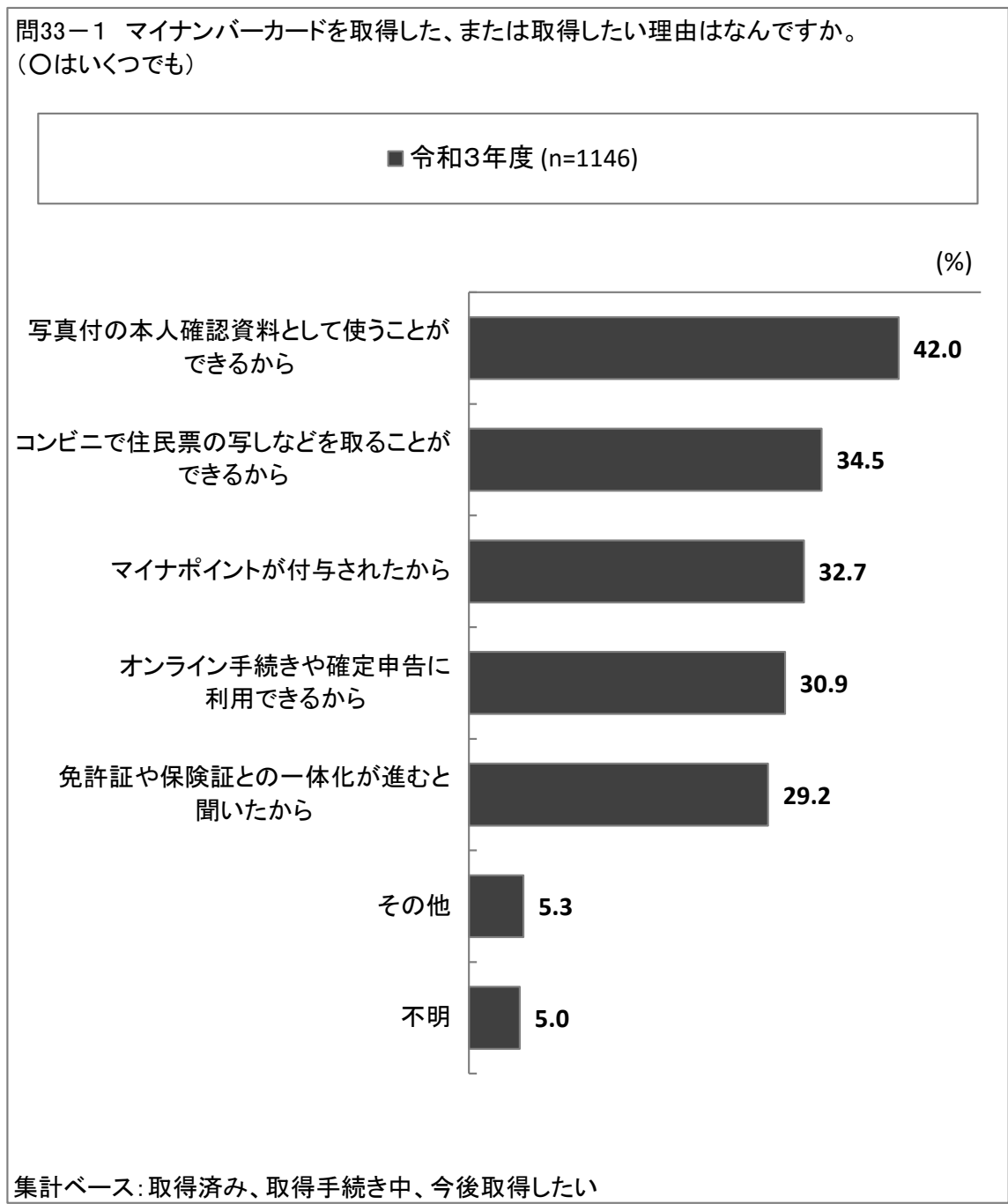
- ・ マイナンバーカードの取得状況に地区別の大きな差はみられない。
- ・ 豊田地区では取得率が6割を超えている。



14. マイナンバーカードについて

【取得理由：全体】

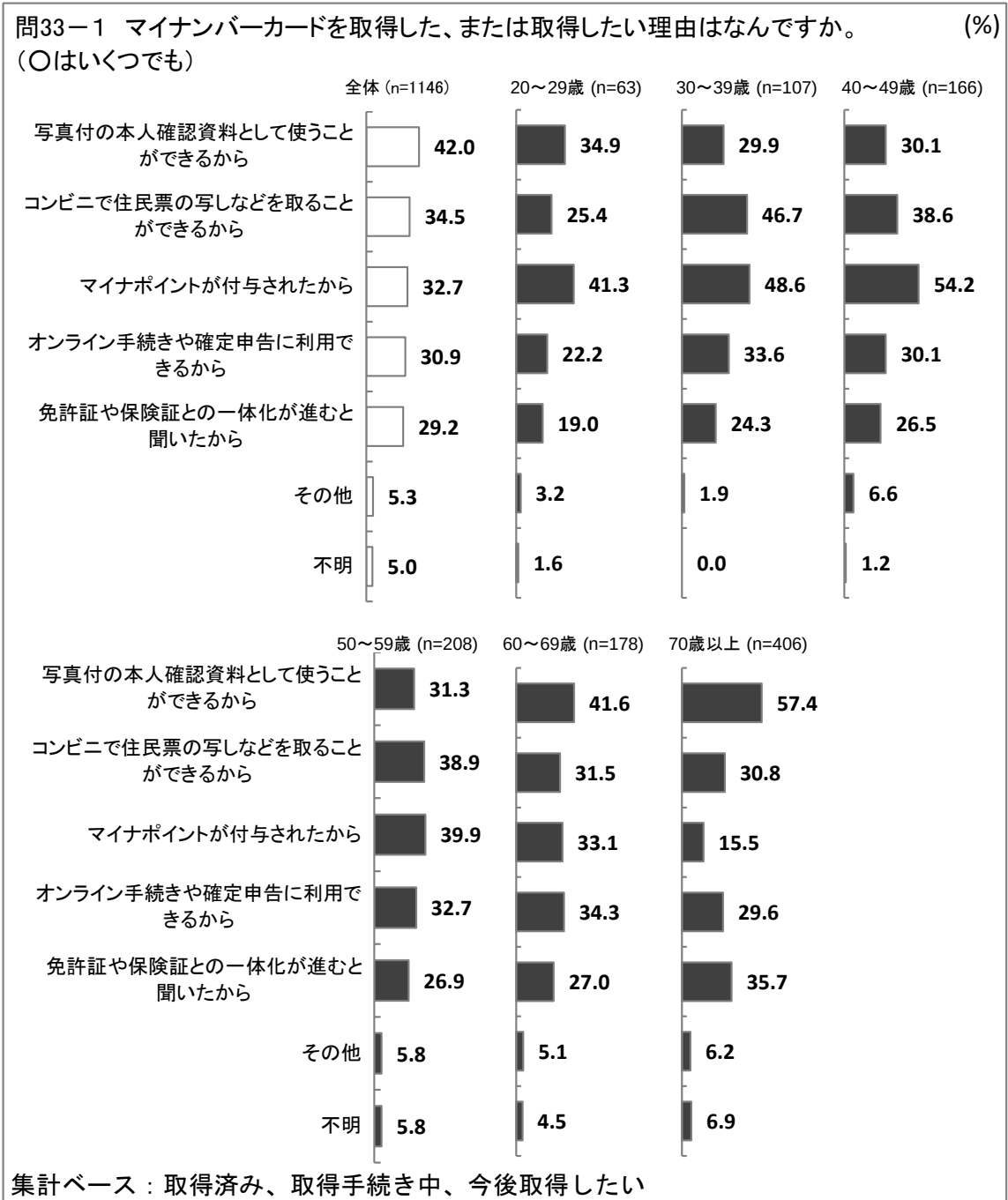
- ・ マイナンバーカードを取得した、取得したい理由としては、「写真付の本人確認資料として使うことができるから」が42.0%で最も高く、次いで、「コンビニで住民票の写しなどを取ることができるから」が34.5%と続く。



14. マイナンバーカードについて

【取得理由：年齢別】

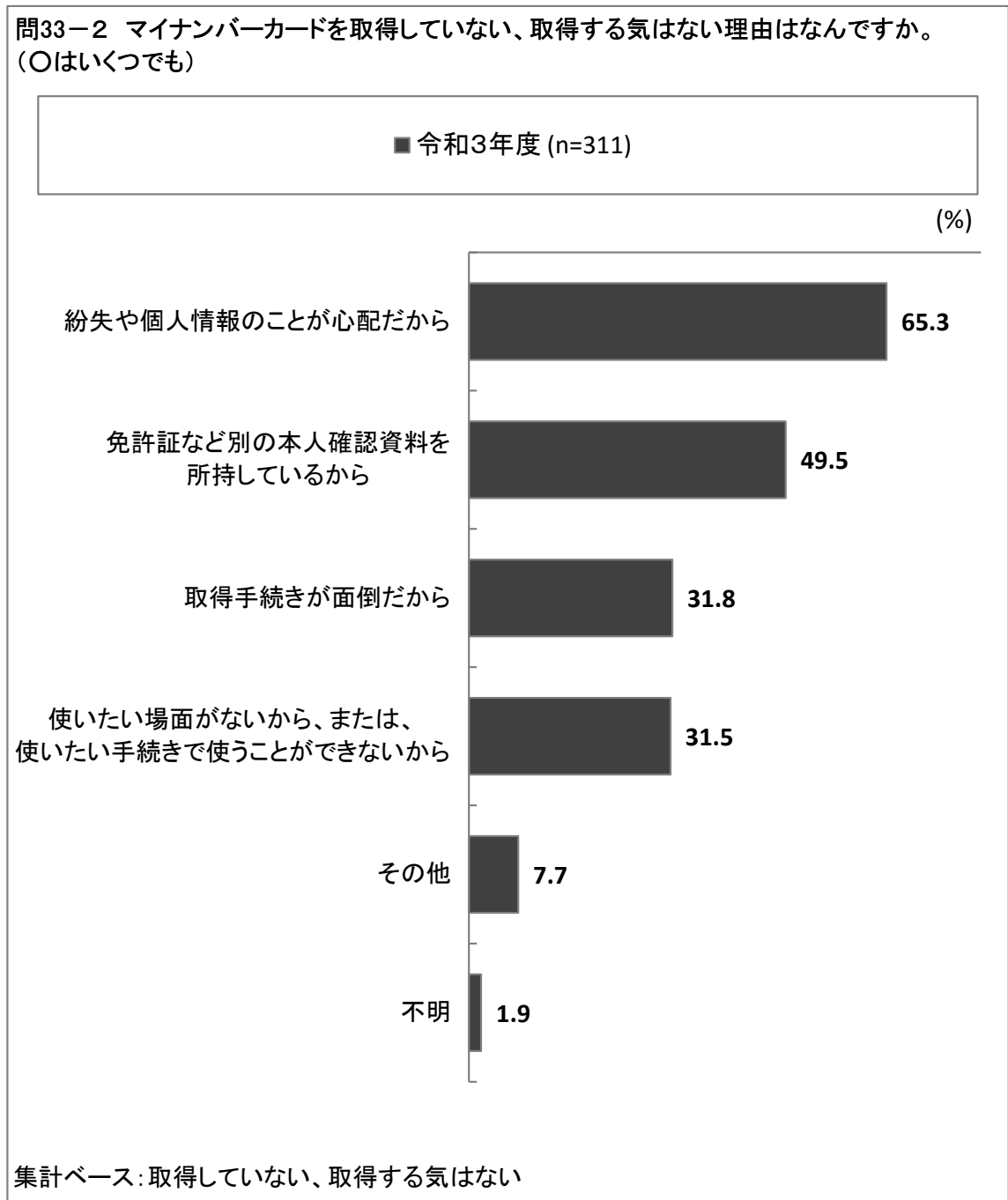
- ・ マイナンバーカードを取得した、取得したい理由として最も多かった「写真付の本人確認資料として使うことができるから」は「70歳以上」で57.4%と全体より10ポイント以上多く、次に多かった「コンビニで住民票の写しなどを取ることができるから」は「30～39歳」で46.7%と全体より10ポイント以上多く、「マイナポイントが付与されたから」は「30～39歳」、「40～49歳」で全体より10ポイント以上多い。



14. マイナンバーカードについて

【取得していない理由： 全体】

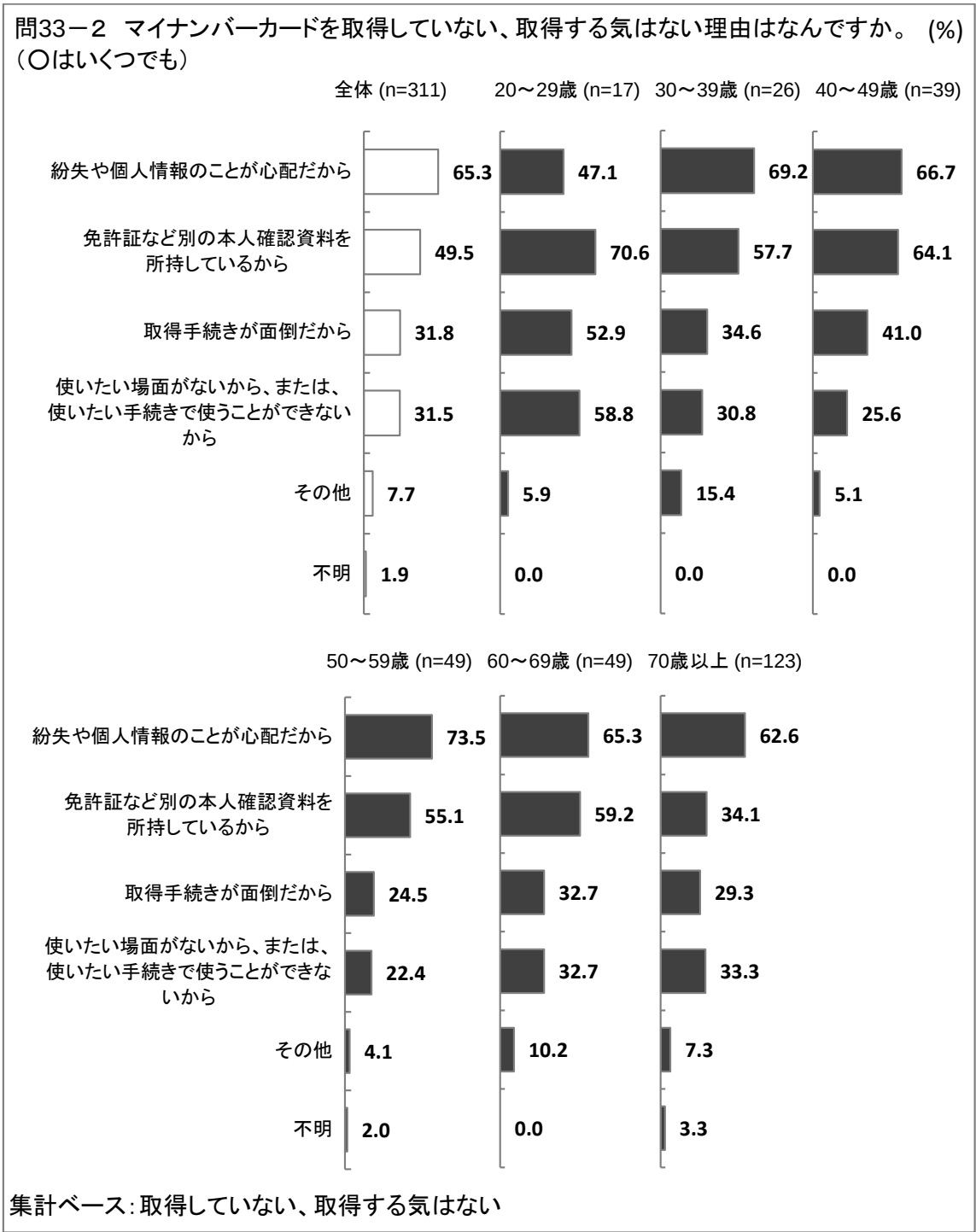
- ・ マイナンバーカードを取得していない、取得する気はない理由では、「紛失や個人情報のこと心配だから」が65.3%と最も高く、次いで、「免許証など別の本人確認資料を所持しているから」が49.5%と続く。



14. マイナンバーカードについて

【取得していない理由：年齢別】

- ・ マイナンバーカードを取得していない、取得する気はない理由が多かった「紛失や個人情報のことが心配だから」では「50～59歳」が73.5%と全体よりも5ポイント以上多く、「免許証など別の本人確認資料を所持しているから」は「20～29歳」、「40～49歳」で全体より10ポイント以上多い。



14. マイナンバーカードについて

【マイナンバーカードの活用： 全体】

- マイナンバーカードのコンビニ交付サービスは、「知っているが、使ったことがない」が61.1%で最も高く、次いで、「知らない」、「知っていて、使ったことがある」と続く。

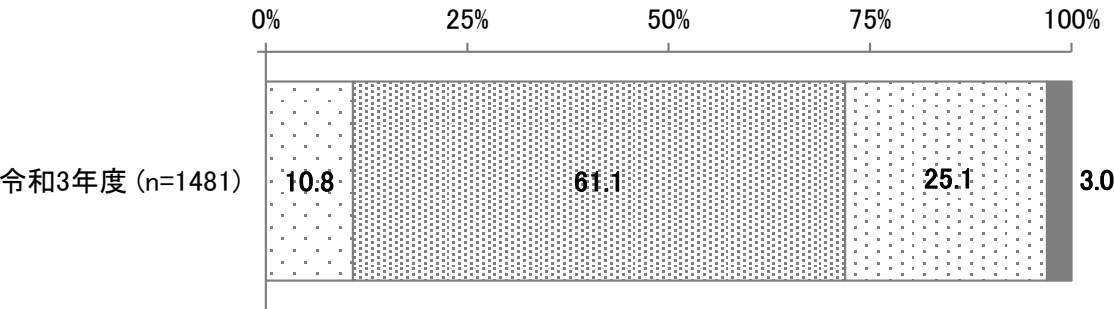
問34 マイナンバーカードを活用して、コンビニのマルチコピー機で住民票の写しなどの証明書を取得できるコンビニ交付サービスがあります。コンビニ交付サービスを使ったことがありますか。（○は1つ）

☐ 知っていて、使ったことがある

☒ 知っているが、使ったことがない

☐ 知らない

☐ 不明

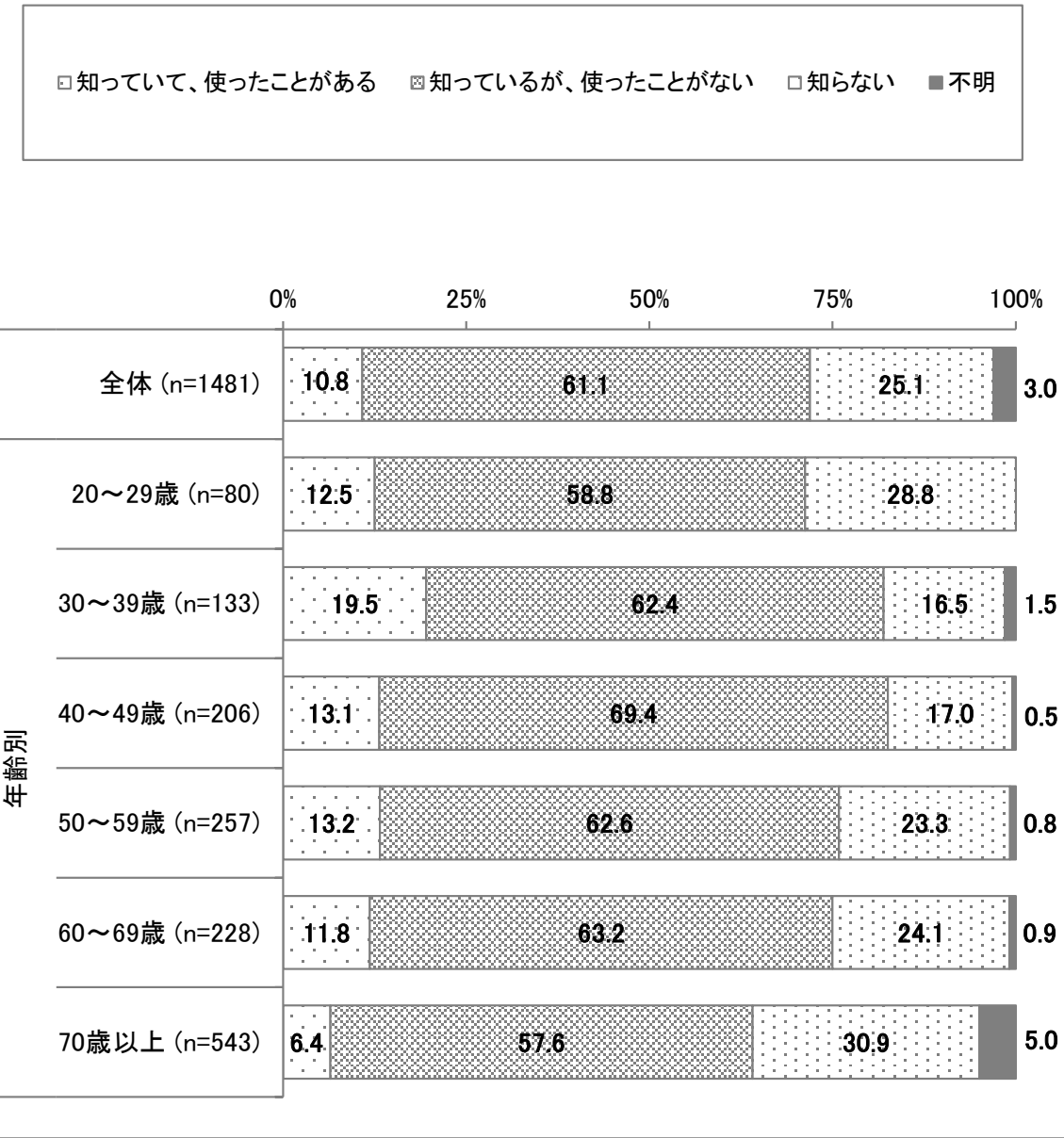


14. マイナンバーカードについて

【マイナンバーカードの活用：年齢別】

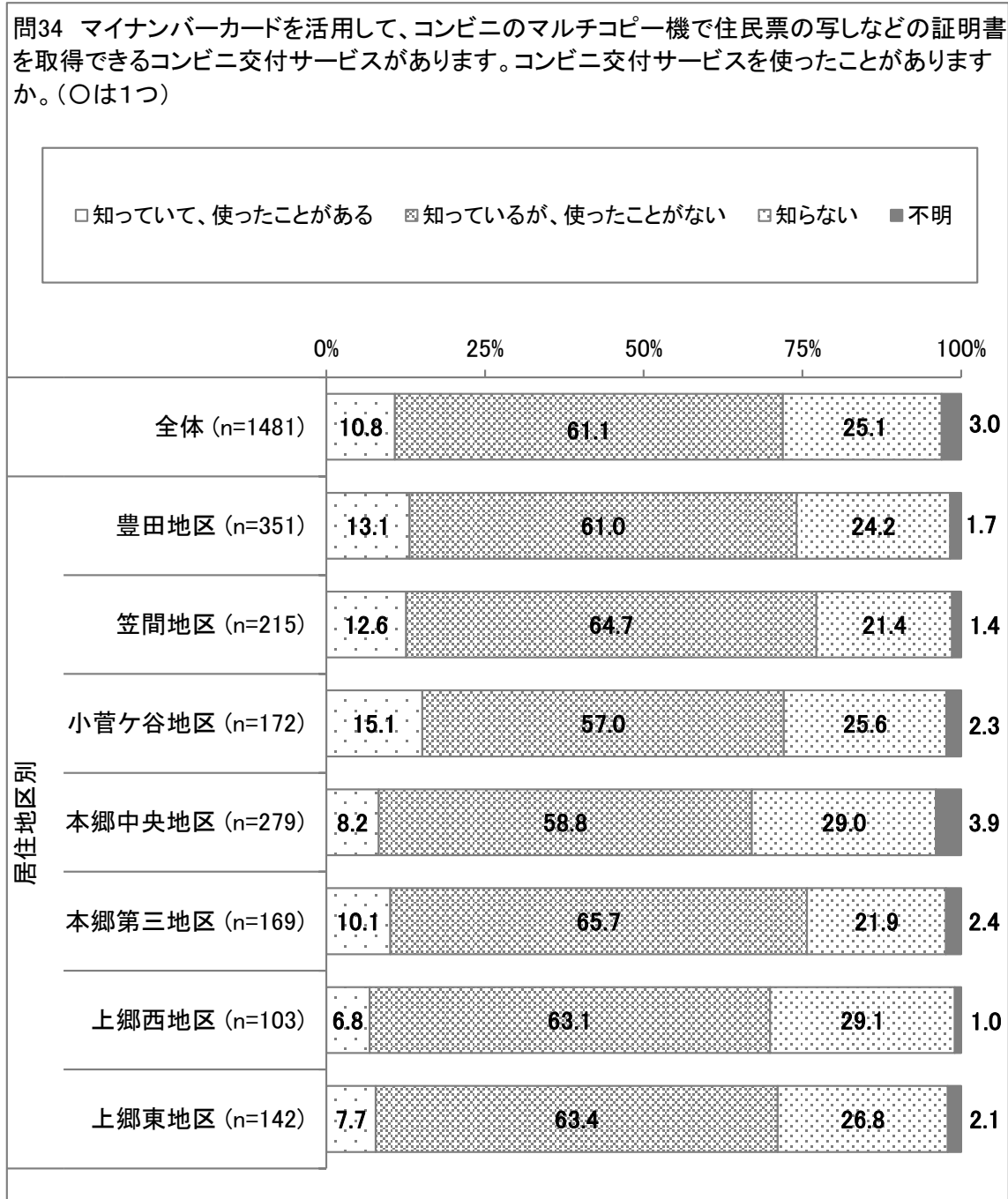
- ・ マイナンバーカードのコンビニ交付サービスを「知っていて、使ったことがある」は「30～39歳」で19.5%と全体より5ポイント以上多く、次いで、「50～59歳」、「40～49歳」と続く。
- ・ 「70歳以上」では「知らない」の割合が30.9%と全体より5ポイント以上多い。

問34 マイナンバーカードを活用して、コンビニのマルチコピー機で住民票の写しなどの証明書を取得できるコンビニ交付サービスがあります。コンビニ交付サービスを使ったことがありますか。(○は1つ)



14. マイナンバーカードについて

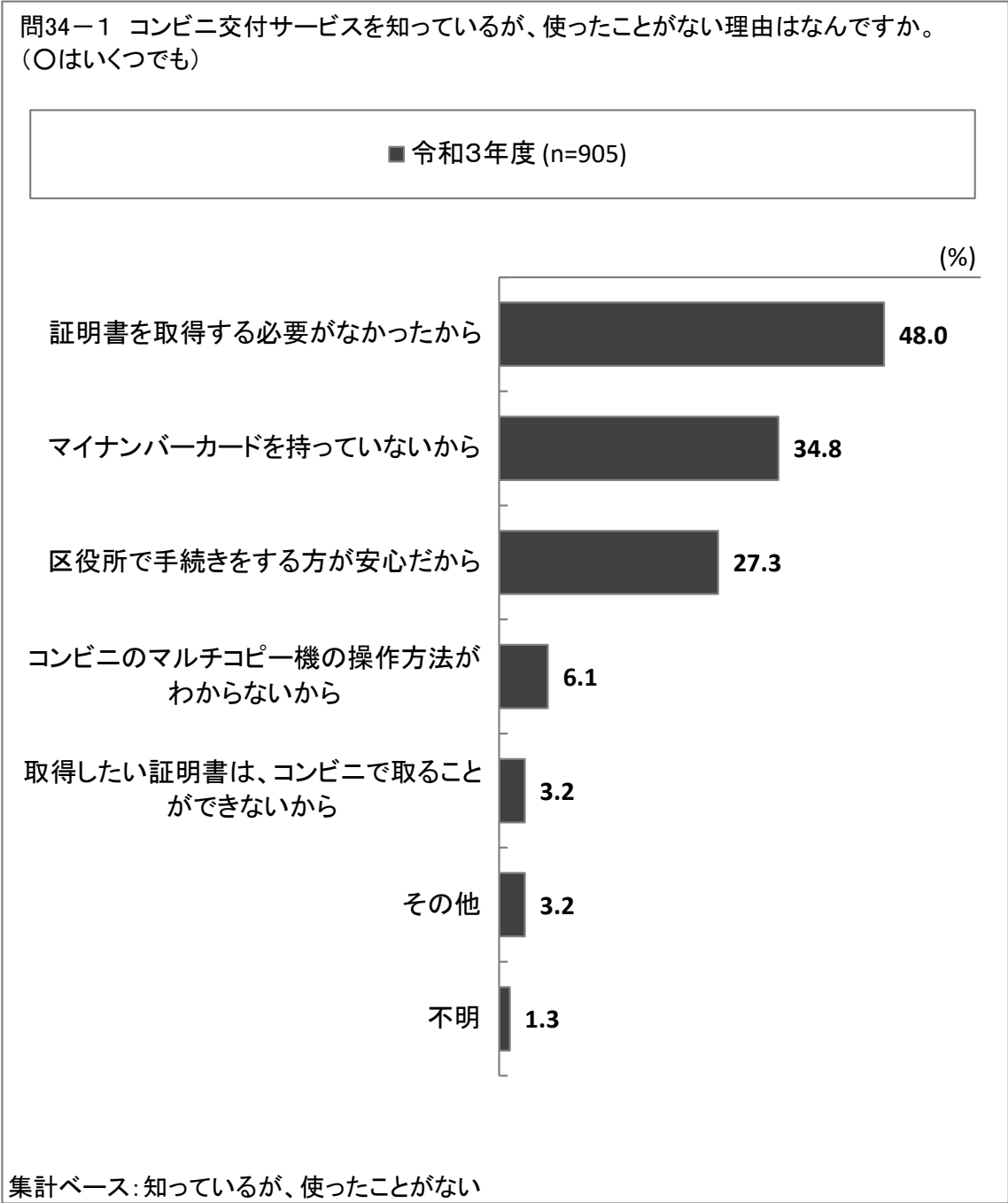
- 【マイナンバーカードの活用： 居住地区別】
- マイナンバーカードのコンビニ交付サービスを「知っていて、使ったことがある」は「小菅ヶ谷地区」で15.1%と最も高く、次いで、「笠間地区」、「豊田地区」と続く。



14. マイナンバーカードについて

【コンビニ交付サービスを使ったことがない理由： 全体】

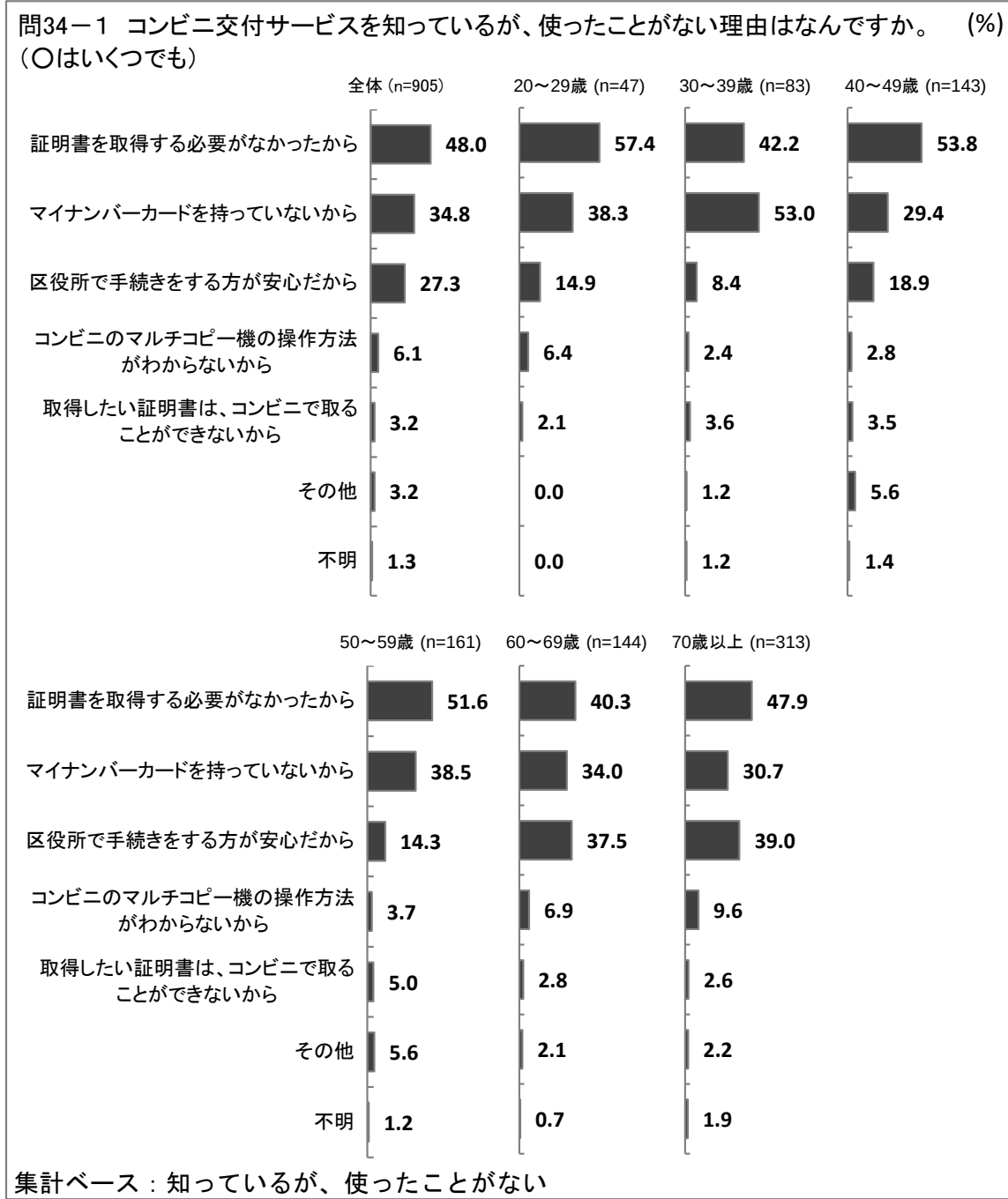
- ・ マイナンバーカードのコンビニ交付サービスを「知っているが、使ったことがない」理由は、「証明書を取得する必要がなかったから」が48.0%と最も高く、次いで、「マイナンバーカードを持っていないから」が34.8%、「区役所で手続きをする方が安心だから」が27.3%と続く。



14. マイナンバーカードについて

【コンビニ交付サービスを使ったことがない理由： 年齢別】

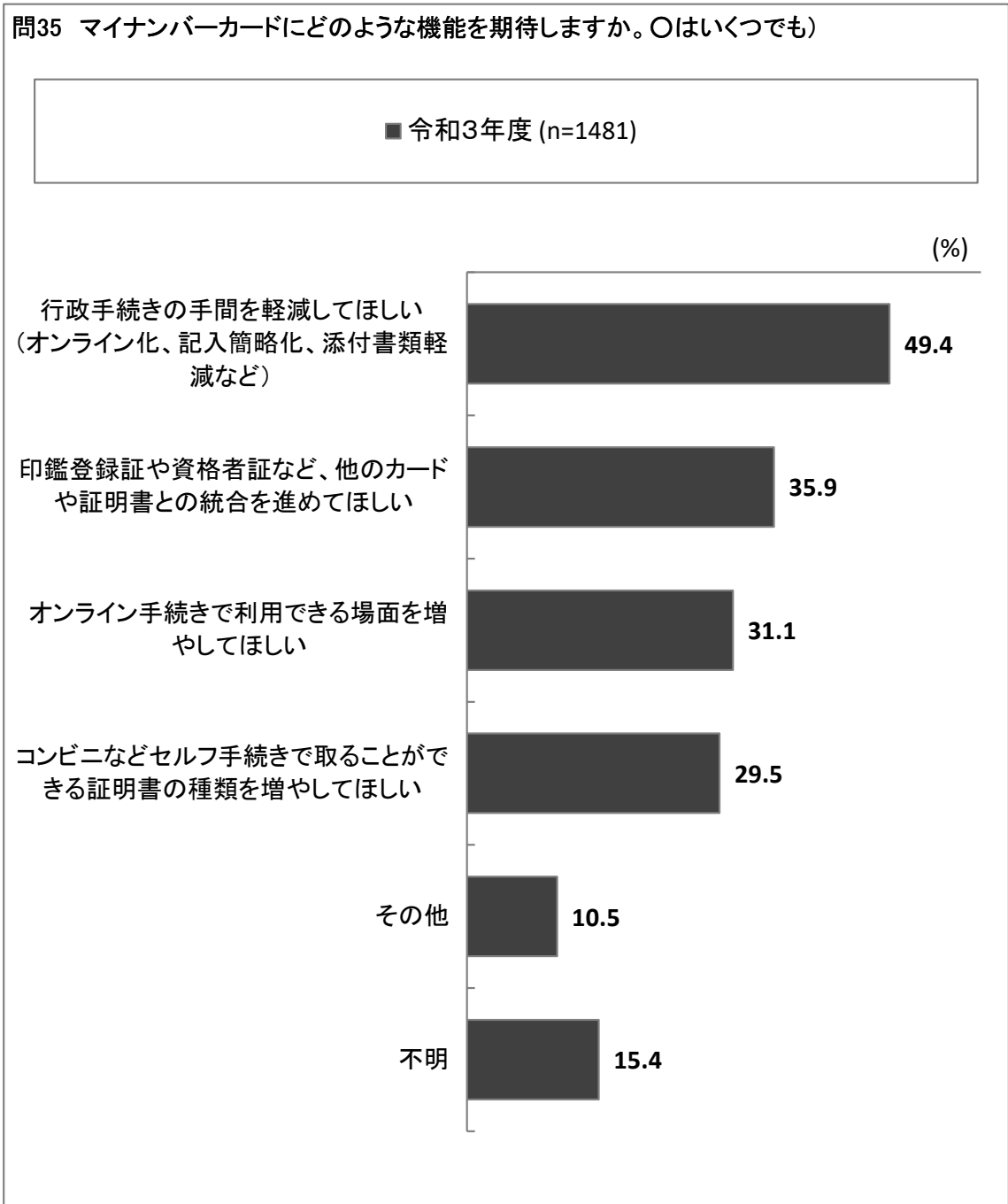
- ・ マイナンバーカードのコンビニ交付サービスを「知っているが、使ったことがない」理由のうち「区役所で手続きをする方が安心だから」は「60～69歳」、「70歳以上」で、「マイナンバーカードを持っていないから」は「30～39歳」で全体より10ポイント以上多い。また、「証明書を取得する必要がなかったから」は「20～29歳」と「40～49歳」で全体より5ポイント以上多い。



14. マイナンバーカードについて

【マイナンバーカードへの期待： 全体】

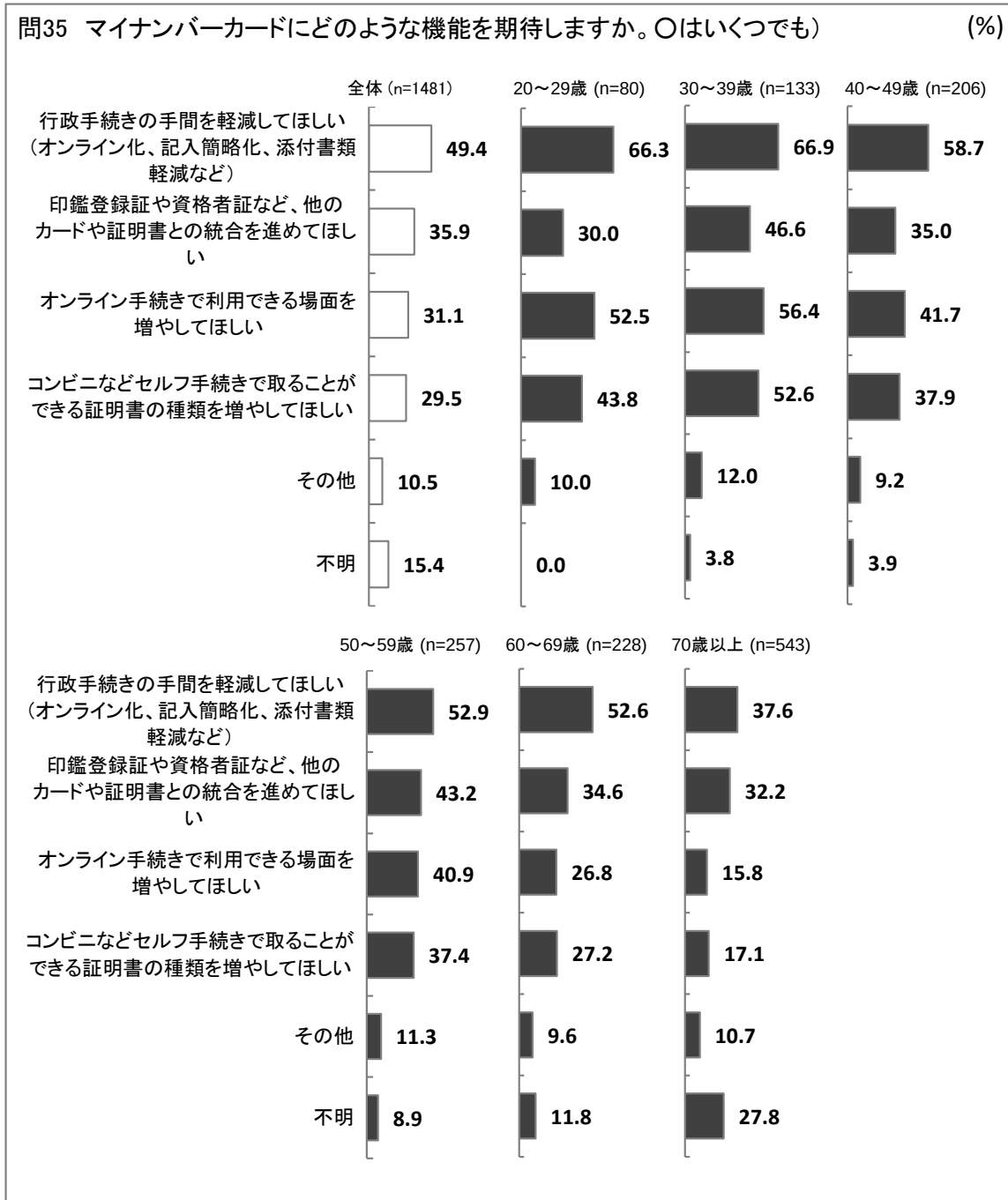
- マイナンバーカードに期待する機能は、「行政手続きの手間を軽減してほしい(オンライン化、記入簡略化、添付書類軽減など)」が49.4%で最も高く、次いで、「印鑑登録証や資格者証など、他のカードや証明書との統合を進めてほしい」35.9%、「オンライン手続きで利用できる場面を増やしてほしい」31.1%、「コンビニなどセルフ手続きで取ることができる証明書の種類を増やしてほしい」29.5%と続く。



14. マイナンバーカードについて

【マイナンバーカードへの期待： 年齢別】

- 「行政手続きの手間を軽減してほしい(オンライン化、記入簡略化、添付書類軽減など)」と「コンビニなどセルフ手続きで取ることができる証明書の種類を増やしてほしい」では「20～29歳」、「30～39歳」で全体より10ポイント以上多く、「70歳以上」で全体より10ポイント以上少ない。
- 「印鑑登録証や資格者証など、他のカードや証明書との統合を進めてほしい」では「30～39歳」で全体より10ポイント以上多い。
- 「オンライン手続きで利用できる場面を増やしてほしい」では「20～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」で全体より10ポイント以上多く、「70歳以上」で全体より10ポイント以上少ない。

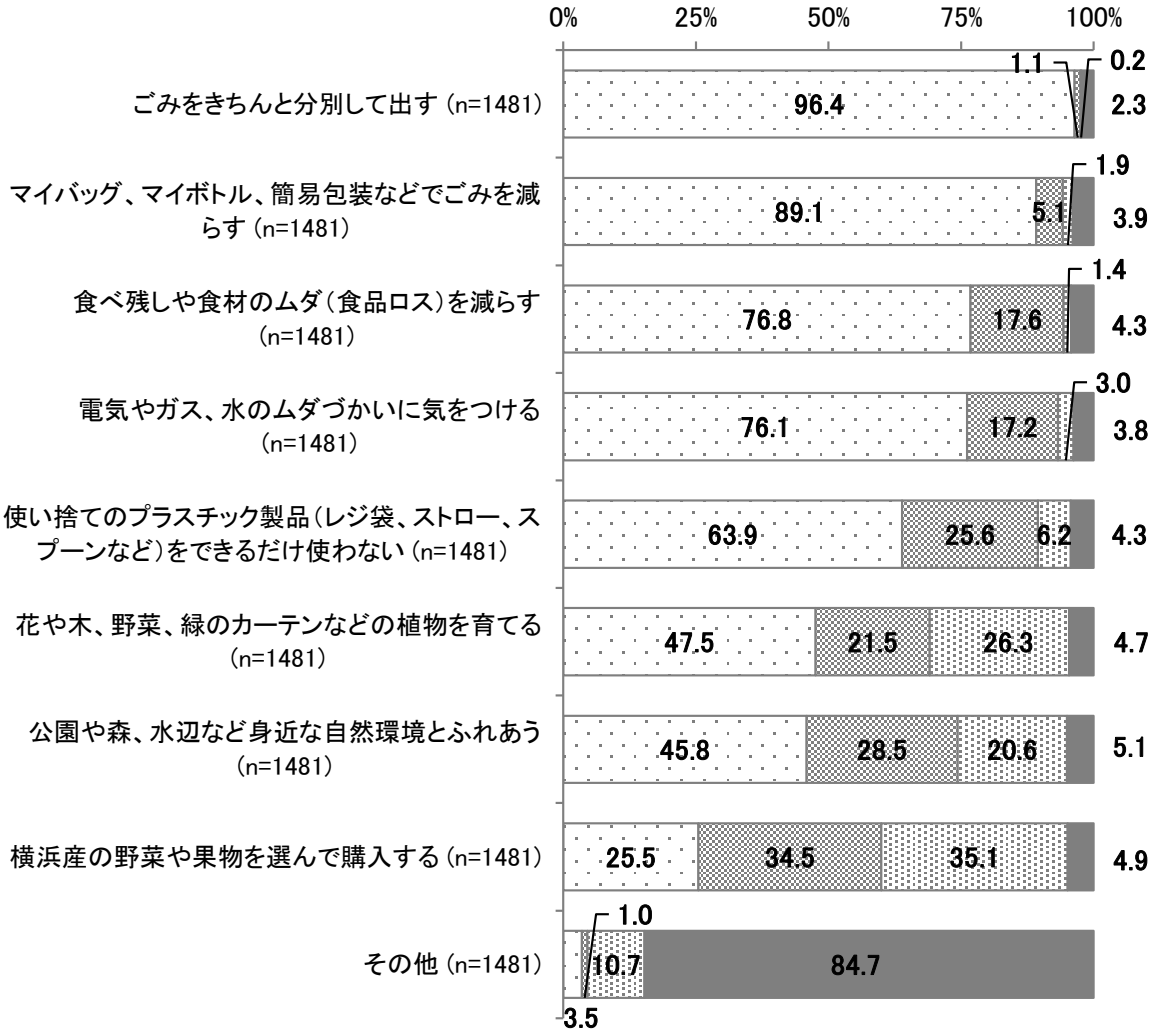
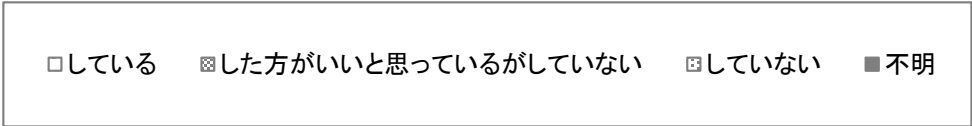


15. 環境行動について

【環境行動の実践：全体】

- 「ごみをきちんと分別して出す」、「マイバッグ、マイボトル、簡易包装などでごみを減らす」、「食べ残しや食材のムダ(食品ロス)を減らす」、「電気やガス、水のムダづかいに気をつける」について、7割以上の人実践している。
- 「していない」の割合が高いのは、「横浜産の野菜や果物を選んで購入する」35.1%、「花や木、野菜、緑のカーテンなどの植物を育てる」26.3%、「公園や森、水辺など身近な自然環境とふれあう」20.6%である。

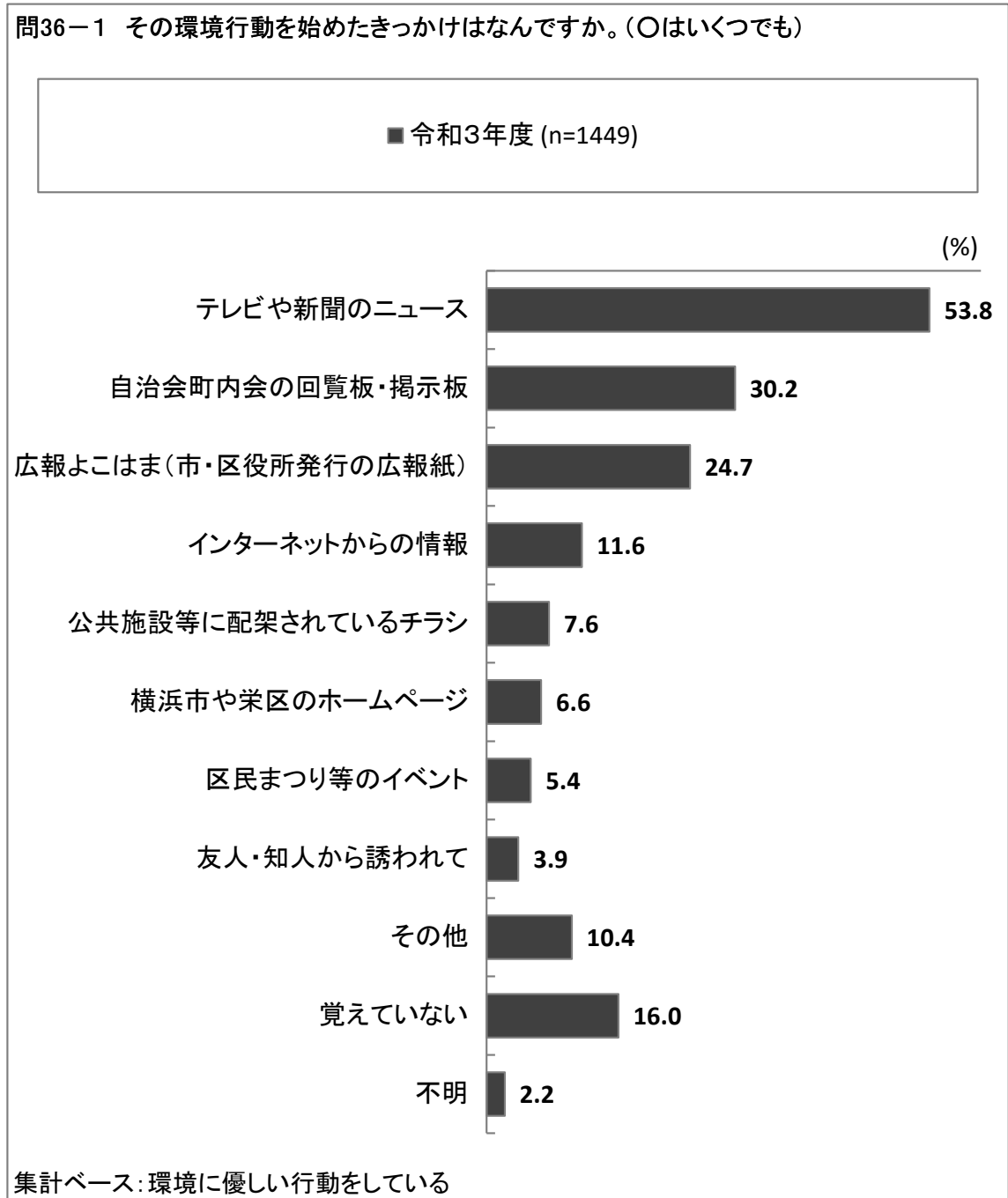
問36 あなたは普段、次にあげる個人でできる環境にやさしい行動(=「環境行動」)をしていますか。(○はそれぞれ1つ)



15. 環境行動について

【環境行動を始めたきっかけ： 全体】

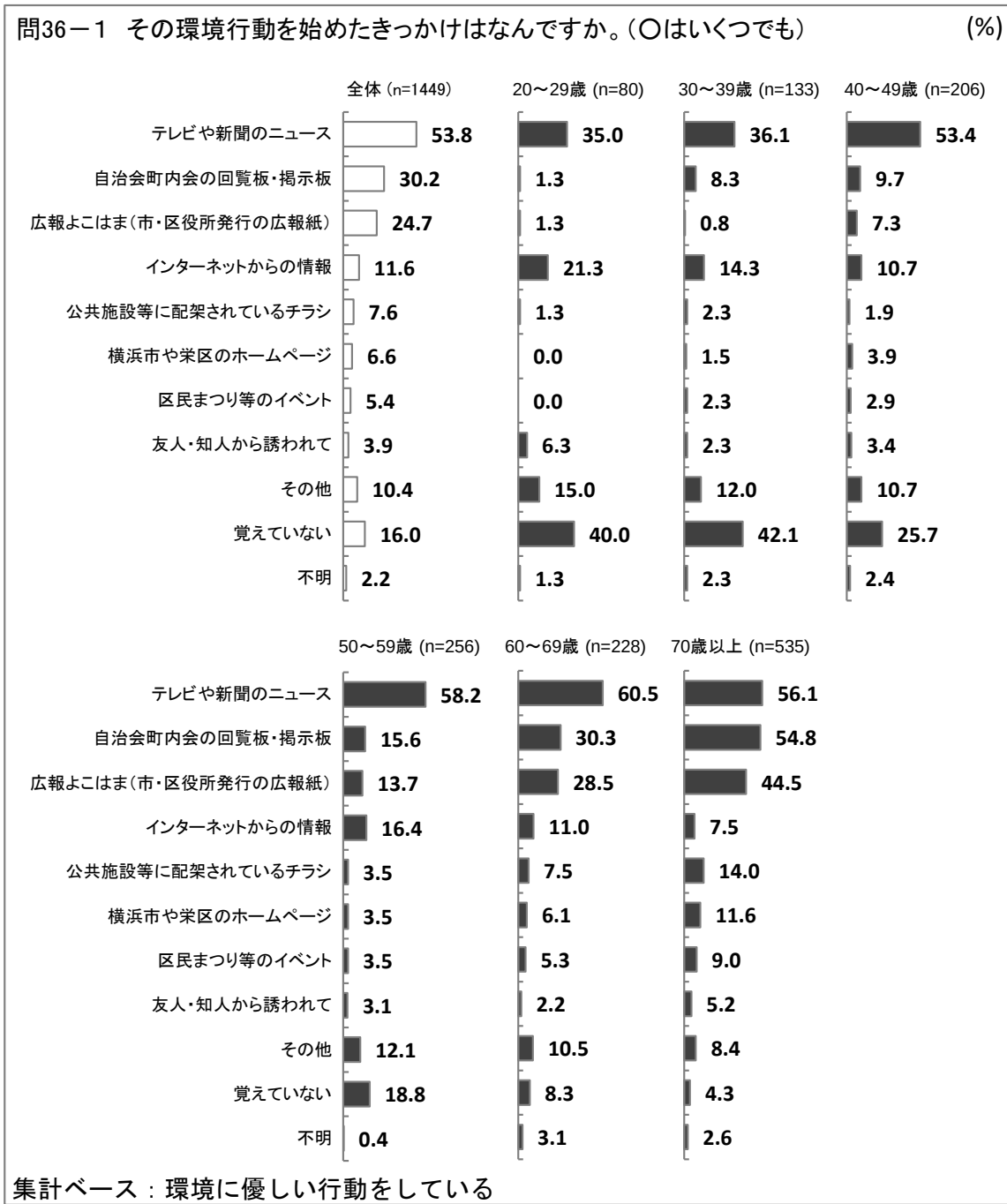
- 環境行動を始めたきっかけは、「テレビや新聞のニュース」が53.8%と最も高く、次いで、「自治会町内会の回覧板・掲示板」30.2%、「広報よこはま(市・区役所発行の広報紙)」24.7%と続く。



15. 環境行動について

【環境行動を始めたきっかけ：年齢別】

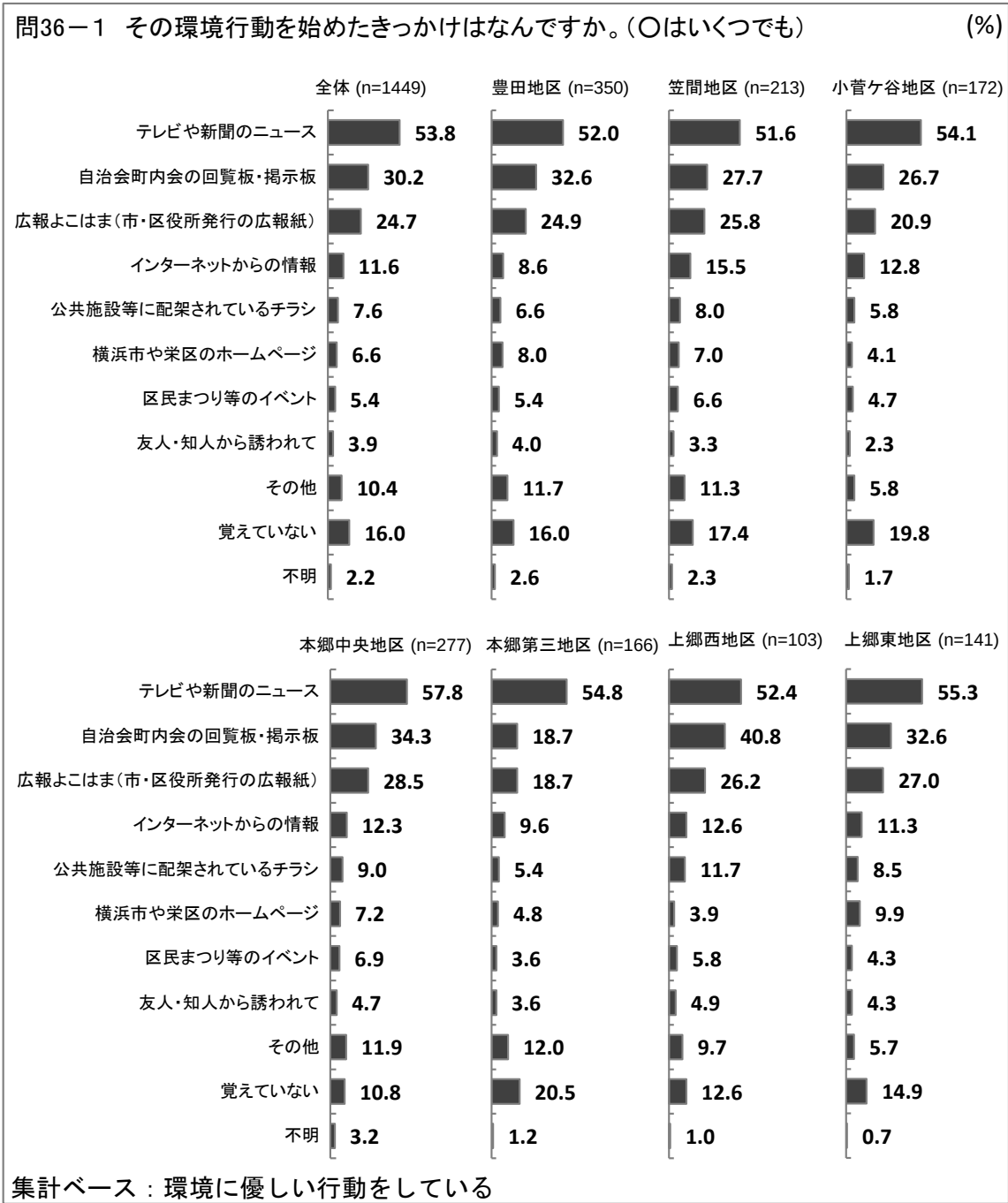
- ・ 「20～29歳」は、「インターネットからの情報」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「60～69歳」は、「テレビや新聞のニュース」が全体より5ポイント以上多い。
- ・ 「70歳以上」は、「自治会町内会の回覧板・掲示板」と「広報よこはま(市・区役所発行の広報紙)」が全体より10ポイント以上多く、「公共施設等に配架されているチラシ」が全体より5ポイント以上多い。



15. 環境行動について

【環境行動を始めたきっかけ： 居住地区別】

- 「上郷西地区」では「自治会町内会の回覧板・掲示板」が全体より10ポイント以上多い。



4. 參考資料 (調查票)

令和3年度栄区民意調査にご協力ください

栄区にお住まいの皆様に、栄区で生活するうえでの満足や不安、生活スタイルなどに対するご意見をお伺いします。この調査の集計結果は、今後の区政を進める基礎資料とし、「栄区に住んでいて本当によかった、これからも栄区に住み続けたい」と思えるまちづくりを、皆様と実現していきたいと考えております。

この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和3年11月

栄区長 富士田 学



過去の調査を栄区ではこの様に活用しています

取り組むべき課題に「防災・減災や災害時の備え」を選んだ方の割合

〈平成29年度〉

36.8%

→ +7.0%

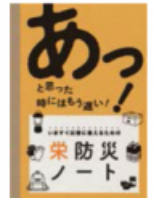
〈令和元年度〉

43.8%



〈令和2年度〉

災害時の備えができる冊子
「栄防災ノート」を製作し、
配付



①調査票を記入



②同封の返信用封筒(切手不要)
に入れる



③ポストにご投函



令和3年12月3日(金)までにポストに投函してください

◆ ◆ ◆ 調査票のご記入にあたって ◆ ◆ ◆

本調査は2年に一度、住民基本台帳から無作為抽出した区内在住の20歳以上の方3,000名を対象にご協力をお願いするものです。

調査結果につきましては、個人情報保護の趣旨に基づき統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

※ご返送の際も住所、氏名の記入は必要ありません。

※本調査に関してご不明な点がございましたら、下記担当までお問い合わせください。

【担当】 栄区役所区政推進課企画調整係 高木、鋤柄

電話：894-8161 Fax：894-9127

E-Mail：sa-kikaku@city.yokohama.jp

【1 満足度】

問1 あなたは、栄区での生活に満足していますか。(○は1つ)

1 概ね満足している	3 どちらともいえない	5 不満がある
2 やや満足している	4 やや不満がある	

問2 あなたは、横浜市や栄区、周辺地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

	ア	イ	ウ	エ	オ
	感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	まったく感じていない
1 横浜市に対して	ア	イ	ウ	エ	オ
2 栄区に対して	ア	イ	ウ	エ	オ
3 お住まいの周辺の地域に対して	ア	イ	ウ	エ	オ

【2 定住意向】

問3 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。(○は1つ)

1 住み続けたい	3 どちらかというに住み続けたくない
2 どちらかというに住み続けたい	4 住み続けたくない

(問3で「3」または「4」と答えた方にお聞きます)

問3-1 現在お住まいの地域に住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。(○は3つまで)

1 教育・文化環境が良くなる 2 交通の便が良くなる 3 都市基盤(道路、公園等)が整備される 4 スーパーや商店が増え、買い物が便利になる 5 通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる 6 近所づき合いが親密になる 7 その他(具体的に)

【3 生活意識】

問4 栄区は安全・安心なまちだと感じますか。

1 感じる	3 どちらかといえば感じない
2 どちらかといえば感じる	4 感じない

問5 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つずつ)

	ア	イ	ウ	エ	オ
	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	わからない
1 買い物環境	ア	イ	ウ	エ	オ
2 公園	ア	イ	ウ	エ	オ
3 緑地と水辺環境	ア	イ	ウ	エ	オ
4 河川改修	ア	イ	ウ	エ	オ
5 バスの利便性	ア	イ	ウ	エ	オ
6 幹線道路の整備	ア	イ	ウ	エ	オ
7 ごみの収集、リサイクル活動	ア	イ	ウ	エ	オ
8 ごみの不法投棄対策や街の美化	ア	イ	ウ	エ	オ
9 子育て環境	ア	イ	ウ	エ	オ
10 教育	ア	イ	ウ	エ	オ
11 青少年の健全育成	ア	イ	ウ	エ	オ
12 文化・芸術活動のための環境	ア	イ	ウ	エ	オ
13 スポーツ活動のための環境	ア	イ	ウ	エ	オ
14 病院や救急医療、地域の保健・病気予防対策	ア	イ	ウ	エ	オ
15 高齢者への福祉	ア	イ	ウ	エ	オ
16 障害者への福祉	ア	イ	ウ	エ	オ
17 区民向け講座などの生涯学習の充実	ア	イ	ウ	エ	オ
18 区民ボランティア活動に対する支援	ア	イ	ウ	エ	オ
19 祭や盆踊りなどの地域交流イベント	ア	イ	ウ	エ	オ
20 地域における助け合い、見守り	ア	イ	ウ	エ	オ
21 地区センターなどの地域施設の整備	ア	イ	ウ	エ	オ
22 防災対策	ア	イ	ウ	エ	オ
23 防犯対策	ア	イ	ウ	エ	オ
24 近隣の空家等の管理状況	ア	イ	ウ	エ	オ

問6 あなたは、近頃、ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○は3つまで)

1 自分の病気や老後のこと	8 環境問題
2 家族の健康や生活上の問題	9 事故や災害のこと
3 失業・倒産や収入が減ること	10 犯罪や防犯のこと
4 仕事や職場のこと	11 住宅のこと
5 景気や生活費のこと	12 現在及び将来の土地・建物の管理や相続のこと
6 子どもの保育や教育のこと	13 その他（具体的に ）
7 近隣からの悪臭・騒音	14 心配ごとや困っていることはない

問7 栄区では、住民による様々な地域活動が進められています。あなたのお住まいの地域で、取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)

1	住民同士の交流や助け合いの促進
2	高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援
3	子どもの見守りや子育て中の人への支援
4	青少年の居場所づくりや健全育成
5	文化・芸術などを楽しむ場やイベントの開催など
6	スポーツや健康づくりなどを楽しむ場やイベントの開催など
7	交通安全
8	防犯
9	防災・減災や災害時への備え
10	身近な道路や公園の清掃などの美化
11	花壇づくりなどの緑化や身近な自然環境の保全
12	まちなみや景観の創出や維持
13	その他（具体的に
14	特にな

【4 道路・交通】

問8 あなたがお住まいの地域の道路・交通環境や利便性はいかがですか。(〇は1つ)

1	とても便利	3	普通	5	不便
2	やや便利	4	やや不便		

【5 健康・福祉】

問9 あなたは、現在のご自身の健康状態について、どのように思いますか。(〇は1つ)

1	健康	2	まあ健康	3	あまり健康でない	4	健康でない
---	----	---	------	---	----------	---	-------

問10 あなたは、どのくらいの頻度でスポーツをしていますか。(〇は1つ)

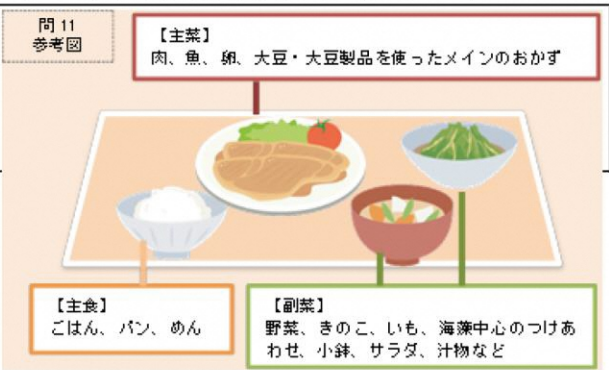
1	週1回以上	3	月1回未満
2	月に1～3回程度	4	ほとんどしていない

問11 栄区では、「ウォーキングで健康づくり」の取組を進めています。あなたは、日常の外出以外で、健康のためにどのくらいウォーキングをしていますか。(〇は1つ)

1	ほぼ毎日	3	月1～3日
2	週1～3日	4	ほとんどしていない

問12 あなたは、1日2回以上、主食・主菜・副菜すべてを食べるのは週に何回ありますか。(〇は1つ)

1	ほぼ毎日食べている
2	週に4～6日食べている
3	週に2～3日食べている
4	ほとんど食べていない



問13 あなたは、朝食を週にどのくらい食べていますか。(〇は1つ)

※飲み物やサプリメント等だけをとった場合は、「食べる」に含みません。

1	ほぼ毎日食べている
2	週に4～6日食べている
3	週に2～3日食べている
4	ほとんど食べていない

問14 あなたは、がん検診を受けていますか。(○は1つ)

- | | |
|--|---|
| 1 定期的(1～2年に1回)に受けている
受診部位(○はいくつでも)⇒ 胃・肺・大腸・乳・子宮・その他(具体的に) |) |
| 2 過去に受けたことはあるが、ここ数年は受けていない
理由(|) |
| 3 これまで全く受けたことがない
理由(|) |

問15 あなたは、もしご自身やご家族が病気や障害で介護が必要な状況だったとしたら、どんなことが不安だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|--------------------|
| 1 日々の生活の介助 | 5 必要な介護サービスを受けられるか |
| 2 経済的負担 | 6 その他(具体的に) |
| 3 外出の難しさ | 7 不安はない |
| 4 周囲の理解のなさ | |

問16 栄区では、寒い時期に脱衣所から熱い湯船に入ることによって脳出血や脳梗塞、心筋梗塞等を起こしてしまう「ヒートショック」の対策に取り組んでいます。あなたは、「ヒートショック」の対策をしていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1 お風呂のお湯を41℃以下にする | 5 体調が悪い時や飲酒後・食事直後はお風呂に入らない |
| 2 脱衣所に暖房器具を置いている | 6 その他(具体的に) |
| 3 シャワーで浴室を温めてから浴室に入る | 7 特にしていない |
| 4 湯船には10分以上連続で入らない | |

【6 子育て】

問17 あなたは、子育てについて、課題や不安となることは何だと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1 自分が親になることへの漠然とした不安 |
| 2 自分の身体的・精神的な健康 |
| 3 子育て費用 |
| 4 不安や悩みを気軽に相談できる相手がいない |
| 5 子育ての協力者がいない、周囲の支え(育児の手伝い)がない |
| 6 子育てに関する情報不足 |
| 7 子育てと仕事の両立 |
| 8 子どものしつけ |
| 9 障害がある子どもへの支援 |
| 10 保育施設が少ない |
| 11 買い物やリフレッシュのためなどに利用できる一時保育が少ない |
| 12 いじめなど子ども同士の関係への不安 |
| 13 学校での教育環境への不安 |
| 14 放課後児童の居場所が少ない |
| 15 SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安 |
| 16 その他(具体的に) |

【7 防災】

問18 あなたは、ご自身の住む地区の避難所がどこかを知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問19 災害時、開設する医療機関は、のぼり旗(イエローフラッグ)を掲出することを知っていますか。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 のぼり旗を見たことがあり、知っている | 3 知らなかった |
| 2 のぼり旗をみたことはないが、知っている | (この調査ではじめて知った) |



問 20 あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。(○はいくつでも)

1 水の備蓄	8 自宅の耐震補強
2 食料の備蓄	9 感震ブレーカーの設置
3 医薬品・救急用品の備蓄	10 避難についての家族の話し合い
4 携帯ラジオ、懐中電灯の用意	11 隣近所との話し合い
5 消火器の設置	12 地域の中での緊急連絡体制づくり
6 住宅用火災警報器の設置	13 ほとんど何もしていない
7 家具などの転倒防止対策	14 その他(具体的に)

問 21 あなたは、防災訓練に参加したことがありますか。(○は1つ)

1 参加したことがある
2 参加したことはないが、今後参加したい
3 参加したことはないし、今後も参加したいとは思わない(理由)

【8 救急】

問 22 あなたは、救急車を呼ぶか迷ったときの救急相談電話、#7 1 1 9 (横浜市救急相談センター)を知っていますか。(○は1つ)

1 使ったことがある
2 使ったことはないが知っている
3 知らなかった(この調査ではじめて知った)

【9 地域のつながり】

問 23 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。(○は1つ)

1 顔もよく知らない	4 一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている
2 道で会えば挨拶くらいする	5 困ったとき、相談したり助け合ったりする
3 たまに立ち話をする	

問 24 あなたは、隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。(○は1つ)

1 親密な人間関係があって暮らしやすい
2 お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい
3 人間関係が親密すぎてわずらわしい
4 人間関係が薄く、寂しい
5 その他(具体的に)

問 25 地域では様々な活動を行っていますが、あなたはどのような活動に参加していますか。(○はいくつでも)

1 自治会、町内会の活動
2 子ども会、婦人会、老人クラブの活動
3 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動
4 身近な道路や公園などの清掃活動
5 文化・芸術活動への参加や振興
6 スポーツや健康づくりの活動への参加や振興
7 祭や盆踊り、運動会などのイベント
8 資源回収やごみの分別、リサイクル活動
9 公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地(里山など)など自然環境の保全
10 PTA活動や学校行事での手伝い、ボランティアなど
11 保育ボランティアなどの子育て支援
12 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動
13 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり
14 その他の社会奉仕などボランティア活動(具体的に)
15 参加していない

【10 多文化共生】

問26 あなたは、国籍や民族などがあなたと異なる人とどのような交流がありますか。(〇はいくつでも)

1 家族、親戚がいる	4 趣味などの活動で交流している
2 友人、知り合いがいる	5 その他（具体的に)
3 地域での活動で交流している	6 交流がない

(問26で「6」と答えた方にお聞きます)

問26-1 国籍や民族などがあなたと異なる人と交流がないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

1 身近にいないから	4 言葉の面で不安があるから
2 話しかけるきっかけがないから	5 その他（具体的に)
3 交流する場がないから	

問27 あなたは国籍や民族などが異なる人とどのような交流をしてみたい、又はしていますか。(〇はいくつでも)

1 日常生活の相談・支援	6 語学に関する交流
2 子育てや教育の相談・支援	7 文化・芸術に関する交流
3 日本語の相談・支援	8 スポーツに関する交流
4 文化や生活習慣を理解するための交流	9 その他（具体的に)
5 町内会など地域活動を通じた交流	10 特にない、わからない

【11 友好交流都市】

問28 あなたは栄区の友好交流都市を知っていますか。(〇はそれぞれ1つ)

1 長野県栄村	知っている	知らない
2 青森県南部町	知っている	知らない
3 山形県高畠町	知っている	知らない

(問28で「知っている」と答えた方にお聞きます)

問28-1 あなたは栄区の友好交流都市をどこで知りましたか。(〇はいくつでも)

1 広報よこはま	6 区役所主催の現地訪問事業
2 チラシ・冊子・ポスター	7 地域活動や友人・知人からの口コミ
3 ポケットティッシュ等のPR物品	8 その他（具体的に)
4 栄区のホームページ	9 覚えていない
5 栄区民まつり等のイベント	

問29 あなたは友好交流都市の何に興味がありますか。(〇はいくつでも)

1 観光	6 アウトドアやものづくり等体験
2 行事	7 現地の人との交流
3 特産品・工芸品	8 その他（具体的に)
4 文化・芸術・芸能	9 特にない
5 史跡・歴史	

【12 読書】

問30 あなたは、過去1年間に何冊くらい本（電子書籍を含む）を読みましたか。※雑誌、漫画を除く(〇は1つ)

1 全く読まない	3 3～4冊	5 10～19冊	7 30冊以上
2 1～2冊	4 5～9冊	6 20～29冊	

【13 広報】

問 31 あなたは普段、栄区の情報入手するとき、どのようなものを利用していますか。(○はそれぞれ1つ)

	ア	イ	ウ	エ	オ
	よく利用する	ときどき利用する	ほとんど利用しない	存在は知っているが、利用したことはない	存在自体知らない
1 広報よこはま（市・区発行の広報紙）	ア	イ	ウ	エ	オ
2 栄区のホームページ	ア	イ	ウ	エ	オ
3 栄区公式Twitter（ツイッター）	ア	イ	ウ	エ	オ
4 栄区なう！TV+（ケーブルテレビ番組）	ア	イ	ウ	エ	オ
5 エフエム戸塚 ラジオ放送	ア	イ	ウ	エ	オ
6 PIAZZA 栄区公式アカウント	ア	イ	ウ	エ	オ
7 区民生活マップ	ア	イ	ウ	エ	オ
8 栄区役所内の電光掲示板・映像放映	ア	イ	ウ	エ	オ
9 公共施設等に配架されているチラシ	ア	イ	ウ	エ	オ
10 タウン紙（新聞折り込み）	ア	イ	ウ	エ	オ
11 自治会町内会の回覧板・掲示板	ア	イ	ウ	エ	オ
12 友人・知人からの口コミ	ア	イ	ウ	エ	オ
13 その他（具体的に ）	ア	イ	ウ	エ	オ

問 32 栄区の情報を得る中で、より内容を充実させてほしいものはありますか。(○はそれぞれいくつでも)

	ア	イ	ウ
	情報（ページ数）を多くしてほしい	発信頻度を多くしてほしい	特にない・現状のままで良い
1 広報よこはま（市・区発行の広報紙）	ア	イ	ウ
2 栄区のホームページ	ア	イ	ウ
3 栄区公式Twitter（ツイッター）	ア	イ	ウ
4 栄区なう！TV+（ケーブルテレビ番組）	ア	イ	ウ
5 エフエム戸塚 ラジオ放送	ア	イ	ウ
6 PIAZZA 栄区公式アカウント	ア	イ	ウ
7 区民生活マップ	ア	イ	ウ
8 栄区役所内の電光掲示板・映像放映	ア	イ	ウ
9 公共施設等に配架されているチラシ	ア	イ	ウ
10 自治会町内会の回覧板・掲示板	ア	イ	ウ
11 その他（具体的に ）	ア	イ	ウ

【14 マイナンバーカード】

問 33 栄区では、マイナンバーカードを皆様にお持ちいただき、ご活用いただきたいと考えています。
あなたは、マイナンバーカードを取得しましたか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1 取得済み、取得手続き中
2 今後、取得したい
3 取得していない、取得する気はない |
|---|

(問 33 で「1」または「2」と答えた方にお聞きします)

問 33-1 マイナンバーカードを取得した、または取得したい理由はなんですか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 オンライン手続きや確定申告に利用できるから
2 コンビニで住民票の写しなどを取ることができるから
3 写真付の本人確認資料として使うことができるから
4 免許証や保険証との一体化が進むと聞いたから
5 マイナポイントが付与されたから
6 その他 (具体的に |
|---|

)

(問 33 で「3」と答えた方にお聞きします)

問 33-2 マイナンバーカードを取得していない、取得する気はない理由はなんですか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 使いたい場面がないから、または、使いたい手続きで使うことができないから
2 免許証など別の本人確認資料を所持しているから
3 取得手続きが面倒だから
4 紛失や個人情報のことが心配だから
5 その他 (具体的に |
|---|

)

問 34 マイナンバーカードを活用して、コンビニのマルチコピー機で住民票の写しなどの証明書を取得できるコンビニ交付サービスがあります。コンビニ交付サービスを使ったことがありますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1 知っていて、使ったことがある
2 知っているが、使ったことがない
3 知らない |
|---|

(問 34 で「2」と答えた方にお聞きします)

問 34-1 コンビニ交付サービスを知っているが、使ったことがない理由はなんですか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 マイナンバーカードを持っていないから
2 証明書を取得する必要がなかったから
3 取得したい証明書は、コンビニで取ることができないから
4 コンビニのマルチコピー機の操作方法がわからないから
5 区役所で手続きをする方が安心だから
6 その他 (具体的に |
|--|

)

問 35 マイナンバーカードにどのような機能を期待しますか。○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 オンライン手続きで利用できる場を増やしてほしい
2 行政手続きの手間を軽減してほしい (オンライン化、記入簡略化、添付書類軽減など)
3 コンビニなどセルフ手続きで取ることができる証明書の種類を増やしてほしい
4 印鑑登録証や資格者証など、他のカードや証明書との統合を進めてほしい
5 その他 (具体的に |
|--|

)

【15 環境行動】

問 36 あなたは普段、次にあげる個人でできる環境にやさしい行動（＝「環境行動」）をしていますか。（○はそれぞれ1つ）

	ア	イ	ウ
	している	思った方がいい 思っているが していない	していない
1 ゴみをきちんと分別して出す	ア	イ	ウ
2 マイバッグ、マイボトル、簡易包装などでごみを減らす	ア	イ	ウ
3 使い捨てのプラスチック製品（レジ袋、ストロー、スプーンなど）をできるだけ使わない	ア	イ	ウ
4 食べ残しや食材のムダ（食品ロス）を減らす	ア	イ	ウ
5 横浜産の野菜や果物を選んで購入する	ア	イ	ウ
6 電気やガス、水のムダづかいに気をつける	ア	イ	ウ
7 花や木、野菜、緑のカーテンなどの植物を育てる	ア	イ	ウ
8 公園や森、水辺など身近な自然環境とふれあう	ア	イ	ウ
9 その他（具体的に	ア	イ	ウ

（問 36 で「ア している」と答えた方にお聞きします）

問 36－1 その環境行動を始めたきっかけはなんですか。（○はいくつでも）

1 テレビや新聞のニュース	6 公共施設等に配架されているチラシ
2 インターネットからの情報	7 自治会町内会の回覧板・掲示板
3 区民まつり等のイベント	8 友人・知人から誘われて
4 広報よこはま（市・区役所発行の広報紙）	9 その他（具体的に
5 横浜市や栄区のホームページ	10 覚えていない

【16 あなたのこと】

最後に、あなた自身のことについてお尋ねします。ご回答いただいた内容については、すべて統計的に処理され、個人が特定されることはありませんので、ご協力をお願いします。

F 1 性別（○は1つ） ※選択することに違和感がある場合は、回答不要です。

1 男性	2 女性
------	------

F 2 年齢（○は1つ）

1 20～24 歳	6 45～49 歳	11 70～74 歳
2 25～29 歳	7 50～54 歳	12 75～79 歳
3 30～34 歳	8 55～59 歳	13 80 歳以上
4 35～39 歳	9 60～64 歳	
5 40～44 歳	10 65～69 歳	

F 3 栄区にお住まいの期間（○は1つ） ※栄区内で転居した場合は通算してください。

1 5 年未満	4 15～19 年	7 40 年以上
2 5 ～ 9 年	5 20～29 年	
3 10～14 年	6 30～39 年	

F 4 現在のお住まいの世帯の家族形態（○は1つ）

1 ひとり暮らし	4 親と子と孫（3 世代）	
2 夫婦 2 人	5 その他（具体的に	）
3 親と子（2 世代）		

F 5 現在お住まいの地区（○は1つ）

1 飯島町	15 桂台西一丁目	29 小菅ケ谷三丁目	43 野七里一丁目
2 犬山町	16 桂台西二丁目	30 小菅ケ谷四丁目	44 野七里二丁目
3 尾月	17 桂台東	31 小山台一丁目	45 柏陽
4 笠間町	18 桂台南一丁目	32 小山台二丁目	46 東上郷町
5 笠間一丁目	19 桂台南二丁目	33 庄戸一丁目	47 本郷台一丁目
6 笠間二丁目	20 桂町	34 庄戸二丁目	48 本郷台二丁目
7 笠間三丁目	21 金井町	35 庄戸三丁目	49 本郷台三丁目
8 笠間四丁目	22 上郷町	36 庄戸四丁目	50 本郷台四丁目
9 笠間五丁目	23 上之町	37 庄戸五丁目	51 本郷台五丁目
10 鍛冶ケ谷町	24 亀井町	38 田谷町	52 元大橋一丁目
11 鍛冶ケ谷一丁目	25 公田町	39 長尾台町	53 元大橋二丁目
12 鍛冶ケ谷二丁目	26 小菅ケ谷町	40 長倉町	54 若竹町
13 桂台北	27 小菅ケ谷一丁目	41 長沼町	
14 桂台中	28 小菅ケ谷二丁目	42 中野町	

F 6 現在のお住まい（○は1つ）

1 持家（一戸建て）	5 借家（都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅）
2 持家（マンション・共同住宅）	6 社宅、公務員住宅
3 借家（一戸建て）	7 民間アパート、民間賃貸マンション
4 借家（県営・市営の共同住宅）	8 その他（具体的に

F 7 通勤・通学先はどちらですか。(○は1つ) ※複数ある場合は、主な通勤・通学先をお答えください。

1 栄区内	5 東京都内
2 横浜市内他区	6 その他(具体的に)
3 鎌倉市内	7 通勤・通学していない
4 神奈川県内(横浜市、鎌倉市を除く)	

(以下については、F 7で「1」～「6」と答えた方にお聞きします)

F 7-1 通勤・通学に利用する駅はどこですか。(○は1つ)

1 本郷台駅	5 金沢八景駅
2 大船駅	6 上大岡駅
3 港南台駅	7 その他(具体的に)
4 戸塚駅	

F 7-2 通勤・通学に利用する駅までの主な交通手段をお答えください。(○は1つ)

1 バス	4 自転車
2 自家用車(家族の送迎も含む)	5 徒歩
3 原付・バイク	6 その他(具体的に)

F 7-3 通勤・通学時間(片道)はどのくらいですか。複数ある場合は、主な通勤・通学先までの所要時間をお答えください。(○は1つ)

1 30分未満	4 1時間30分から2時間未満
2 30分から1時間未満	5 2時間以上
3 1時間から1時間30分未満	

※ ご協力ありがとうございました。
調査票は同封の返信用封筒に入れて、令和3年12月3日(金)までに ポストへ投函してください。(切手は不要です)